

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|---------|--|---|--|------------|-----|
| アイワ ケイコ 相川 圭子 | 女 | 1945 | 甲州市 | 甲州市 | 「山梨日日新聞」 | 哲学・宗教 | ヨガ・瞑想指導者。 | 『ヒマラヤ聖者の知恵があふれる瞑想法』(2010主婦の友社) 『宇宙に結ぶ「愛」と「叡智」』(2012講談社) 『ヒマラヤ聖者の太陽になる言葉』(2015河出書房新社) 『ヒマラヤ聖者の超シンプルなさとり方』(2016徳間書店) 『ヒマラヤ大聖者のマインドフルネス』(2017幻冬舎)ほか | 『心が浄化される瞑想の言葉』(マガジンハウス2016)山梨日日新聞2016.8.2125面 | 2020/10/18 | 塩山 |
| アイザワ ケイウ 相澤 啓三 | 男 | 1929 2021 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 詩人・評論家。 「朝日ジャーナル」副編集長、美術図書編集長、「アサヒカメラ」編集長などを経て朝日新聞を退職 『マンゴー幻想』で第35回高見順賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『北方』(昭森社、1962) 『声の森・氷の肋』(昭森社、1963) 『オペラの快楽』(洋泉社、1995) 『マンゴー幻想』(書肆山田、2004)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p293) | 2022/9/30 | 甲府 |
| アイダ ユウスケ 会田 雄亮 | 男 | 1931 2015 | 東京都 | 東京都 | 『現代日本人名録2002』 | 芸術・スポーツ | 陶芸家・忍野村に忍野窯を築窯 (『陶芸事典』日本美術出版、1991)・東北芸術工科大学名誉教授(2002,HP)愛知県立芸術大学客員教授(2006、HP)ファエンツァ国際陶芸コンペ金賞日本インテリアデザイン協会賞(『現代日本人名録2002』) | 『会田雄亮』(講談社、1987) | 『現代日本人名録2002-1』(日外アソシエーツ、2002、p16)「陶Vol.1」(京都書院、1992)『會田雄亮展変貌する陶土:コレクション練込の仲間達』(山形美術館、2004) http://www.yusukeaida.co.jp/career/careerframe.htm (2022.7.31現在) | 2022/7/31 | おしの |
| アイハラ チサト 相原 千里 | 男 | 1940 | 楡形町 | 南アルプス市 | 『山梨太宰治の記憶』 | 文学 | 山梨文芸協会・山梨県郷土数学研究会・やまなし金子文子研究会・山梨近代史の会 (『山梨太宰治の記憶』) | 『いのちをつぐ故郷』(山梨ふるさと文庫、2003) 『夜叉神峠を越えて第1部』(山梨ふるさと文庫、2004) 『誰がための祖国』(芙蓉書房、2007) 『山梨太宰治の記憶』(山梨ふるさと文庫、2011) 『もう一つの豊村』(千明書房、2015) 『言葉で伝える故郷』(銀河書籍、2019)ほか | 「山梨日日新聞」(2007.9.18、17面、2011.9.26、7面、2016.2.26、25面、2017.1.14、19面、2017.12.1、25面、2018.11.3、5面、顔写真あり、2020.2.7、20面、顔写真あり) | 2020/10/28 | 楡形 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|-------------------------------------|---------|--|--|--|------------|------|
| アオキ ヒシ 青木 人志 | 男 | 1961 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『グラフィック法学入門』 | 社会科学 | 一橋大学大学院法学研究科教授。 一橋大学法学部(1984年)卒。一橋大学大学院法学研究科助教授などを を経て、2002年教授。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『グラフィック法学入門』(新世社、2012) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p186) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| アオヤキ ミスホ 青柳 瑞穂 | 男 | 1899 1971 | 市川大門町 | 市川三郷町 | 『山梨百科事典』 | 文学 | フランス文学者。 骨董収集家。 (『山梨百科事典』) | 『ささやかな日本発掘』(新潮社、1960) 『壺のある風景』(日経経済新社、1970) 『古い物、遠い夢』(新潮社、1976) 『青柳瑞穂骨董のある風景』(みすず書房、2004) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p8) 『青柳瑞穂骨董のある風景』(みすず書房、2004) 『青柳瑞穂の生涯』(新潮社、2000) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p200~202) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| アカオ ヨシオ 赤尾 好夫 | 男 | 1907 1985 | 石和町 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | 旺文社創業者、テレビ朝日名誉会長、文化放送会長 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 日本における受験出版の先駆(『山梨百科事典』) | 『若い人のために』(洋々社、1955) 『忘れられぬ名言』(旺文社、1978) 『若人におけることば』(旺文社、1967) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p9) 『石和町誌2』(石和町、1991、p345~349) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p89~90) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p1~10) | 2022/10/13 | 石和 |
| アキヤマ キヨシ 秋山 樹好 | 男 | 1899 1981 | 大草村 | 韮崎市 | 『山梨百科事典』 | 自然科学・医学 | 1950~1979年、山梨生物同好会長。 1969年、文化功労者。 (『山梨百科事典』) | 『山梨県巨樹名木誌』(秋山樹好、1974) 『山梨県におけるツツジ・シャクナゲ類の分布』(秋山樹好、1977) 『植物観察図集』(秋山樹好、1977) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p12) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| アキヤマ コウイチ 秋山 幸一 | 男 | 1924 2006 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『甲州百人の顔』『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 社会科学 | 元山梨県議会議員、元韮崎市市長(1994年)、紺綬褒章受章、勲四等旭日小綬章(『日外アソシエーツ』、『甲州百人の顔』) | | 『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p12-13)、『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p49) | 2022/11/30 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------------|---|--|--|------------|-----|
| アキヤマ サワコ 秋山 佐和子 | 女 | 1947 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 文学 | 歌人。「玉ゆら」代表。 第1回日本歌人クラブ評論賞受賞。 歌人三ヶ島霞子の研究で知られる。 十月会、現代歌人協会理事、日本文芸家協会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『空に響る樹々』(砂子屋書房、1986) 『羊皮紙の花』(砂子屋書房、2000) 『歌ひつくさばゆるされむかも』(TBSブリタニカ、2002) 『秋山佐和子歌集』(砂子屋書房、2004) 『樋口一葉』(山梨日日新聞社、2005) 『彩雲』(砂子屋書房、2005) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p5) 『現代短歌大事典』(三省堂、2000、p10～11) | 2009/1/21 | 山梨 |
| アキヤマ ミズヒト 秋山 瑞人 | 男 | 1971 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』 『コレクション戦争と文学5』 | 文学 | 小説家・SF作家。 大学在籍中、金原瑞人の小説創作ゼミに在籍。「瑞人」のペンネームは教授の名前にちなむ。 (『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』) 1998年『E. G. コンバット』でデビュー。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) 2003年『おれはミサイル』で星雲賞日本短編部門受賞。 (『コレクション戦争と文学5』) | 『イリヤの空・UFOの夏①～④』(メディアワークス、2001～2003) 『E.G.コンバット』(メディアワークス、1998) 『おれはミサイル』(『コレクション戦争と文学5』集英社、2011、p221～) | 『山梨県人物・人材リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p314) 『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』(金原瑞人、牧野出版、2005、p195) (『コレクション戦争と文学5』集英社、2011、p674～) | 2016/8/2 | 甲府 |
| アサカワ ケイタ 浅川 継太 | 男 | 1979 | 山梨市 | 山梨市 | 「山梨日日新聞」 | 文学 | 作家 2010年『朝が止まる』で第53回群像新文学賞受賞。 (山梨日日新聞) 2014年『ある日の結婚』で第36回野間文芸新人賞候補。 (「山梨日日新聞」) | 『ある日の結婚』(講談社、2014) 『いまのあなたへ村上春樹への12のオマージュ』(NHK出版、2014年) 『ベスト・エッセイ2014』(光村図書出版、2014) ほか | 「山梨日日新聞」(2010.4.16、面、顔写真あり、2014.5.22、面、顔写真あり) | 2014/12/12 | 山梨 |
| アサカワ タクミ 浅川 巧 | 男 | 1891 1931 | 甲村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 産業 芸術・スポーツ | 林業技手。 朝鮮カラマツの養苗法「露天埋蔵法」の開発。 (『郷土史にかがやく人々』) 朝鮮陶磁、木工具の研究家。 (『山梨百科事典』) | 『朝鮮の膳』(八潮書店、1978、県立図書館所蔵) 『浅川巧全集』(草風館、1996) 『浅川巧日記と書簡』(草風館、2003) 『朝鮮民芸論集』(岩波書店、2003) 『朝鮮陶磁名考復刻版』(草風館、2004) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p18) 『郷土史にかがやく人々』第19集(青少年育成山梨県民会議、1993、p33～90) 『芸術新潮』(新潮社、1997年5月号、p3) 『ランデブー』(山本育夫事務所編、コミヤマ工業、2000年4月号、p32) 『朝鮮の土となった日本人』(高崎宗司著、草風社、1998) 『白磁の人』(江宮隆之著、河出書房新社、1994) 『韓国民芸の旅』(高崎宗司編著、草風館、2005、p18) 『浅川伯教の眼+浅川巧の心』(伊藤郁太郎監修、里文出版、2011) 『評伝浅川伯教と巧十四冊の日記帳』(澤谷滋子原作、山梨県北杜市、2021) | 2022/10/7 | たかね |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------------|---------------|---|---------|---|--|--|------------|-----|
| アサカワ タモツ 浅川 保 | 男 | 1945 | 福島県 矢吹町 | 福島県 矢吹町 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『偉大な言論人石橋湛山』 | 社会科学 | 甲府在住、石橋湛山の研究者。 山梨平和ミュージアム-石橋湛山記念館理事長。 山梨近代史の会幹事。 歴史教育者協議会全国委員。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) 山梨郷土研究会、山梨文芸協会会員ほか。 (『偉大な言論人石橋湛山』) | 『若き日の石橋湛山ー歴史と人間と教育と』(近代文芸社、1993) 『知っておきたいあの戦争』(山梨ふるさと文庫、1995) 『偉大な言論人石橋湛山』(山梨日日新聞社、2008) 『「平和の港」10年のあゆみ』(山梨平和ミュージアム、2017) 『地域に根ざし、平和の風を2』(山梨平和ミュージアムー石橋湛山記念館ー2021) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p184) 『偉大な言論人石橋湛山』(山梨日日新聞社、2008、奥付) 『21世紀ー山梨の100人』(山梨新報社、2002、p120~121) | 2022/9/30 | 甲府 |
| アサカワ ノブ 浅川 伯教 | 男 | 1884 1964 | 甲村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 彫刻家・陶磁評論家。 山梨高等師範卒業後、1913年に朝鮮公立小学校訓導として渡韓。 朝鮮陶磁器の発掘に尽くす。 (『山梨百科事典』) 民芸運動の創始者、柳宗悦と弟、巧と共に1924年朝鮮民族美術館を開館させる。 (『浅川伯教と巧』) | 『釜山窯と対州窯』(彩壺会、1930、県立図書館所蔵) 『陶器全集17李朝』(平凡社、1971、県立図書館所蔵) 『世界陶磁全集13.14.16』(河出書房、1955~1958、国会図書館所蔵) 『李朝の陶磁』(座右宝刊行会、1956、国会図書館所蔵) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p18) 『郷土史にかがやく人々17集』(青少年のための山梨県民会議、1993、p55~80) 『芸術新潮』(新潮社、1997年5月号、p3) 「ランデブー」(山本郁夫事務所編、コミヤマ工業、2000年4月号、p32) 『韓国民芸の旅』(高崎宗司編著、草風社、2005、p11) 『浅川伯教と巧』(浅川伯教・巧兄弟を偲ぶ会、2002) 『浅川伯教・巧兄弟の心と眼ー朝鮮時代の美』(大阪市立東洋陶磁美術館ほか編、美術館連絡協議会、2011) 『評伝浅川伯教と巧十四冊の日記帳』(澤谷滋子原作、山梨県北杜市、2021) | 2022/10/7 | たかね |
| アサカワ ミツヒコ 浅川 満彦 | 男 | 1959 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『野生動物の法獣医学』 | 自然科学・医学 | 日本野生動物医学会認定専門医、酪農学園大学野生動物医学センター施設長、市民団体「野生動物の死と向き合うF・VETSの会」代表。 日本生物地理学会賞(1991年)(『野生動物の法獣医学』) | 『野生動物医学への挑戦』(東京大学出版会2021) 『野生動物の法獣医学』(地人書館2021) | 『野生動物の法獣医学』(地人書館、2021) | 2022/11/30 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------|----------------|--|---|---|------------|-----|
| アサカワ ヨシトミ 浅川 嘉富 | 男 | 1941 | 小淵沢町 | 北杜市 | 『神々の楽園ハケ岳』 | 哲学・宗教 歴史・地理 | 1965年東京理科大学を卒業後、日本火災海上保険株式会社に入社。1999年専務取締役在任中、退任。地球・先史文明研究者/写真家「超古代文明」「UFO」「霊的世界」の研究を生涯のライフワークとして取り組む傍ら、世界各地の遺跡や南極・北極などの秘境を訪ね、貴重な写真を撮影し続けている。(『最後の楽園PERU』) | 『霊性の目覚め』(近代文芸社、1994) 『謎多き惑星地球上下』(徳間書店、2002) 『恐竜と共に滅びた文明』(徳間書店、2004) 『人間死んだらどうなるの』(中央アート出版社、2005) 『最後の楽園PERU』(あおば出版、2006) 『神々の楽園ハケ岳』(ヒカルランド、2012) | 『神々の楽園ハケ岳』(表紙裏、顔写真あり) 浅川嘉富のホームページ http://www.y-asakawa.com/ (2012.08.10確認) | 2018/11/12 | 小淵沢 |
| アサヒナ チョウヨウ 朝夷 晁陽 | 男 | 不詳 | 南部町 | 南部町 | 『南部地区における明治の群像』 『南部町誌』 | 歴史・地理 | 生家は醤油醸造業。独学で漢学を学ぶ。1875年、地券下調総代に任命され、南巨摩郡下の調査記録「巡回滞留日課録」「巡回滞留日誌録」を残す。近藤喜則の殖産社にも参加し、大蔵省印刷局との交渉日記も残されている。1883年、県会議員に当選。(『南部町誌』) | | 『改定南部町誌上巻』(南部町、1999、p963) 『南部町誌』(南部町、1964、p611) | 2012/8/14 | 南部 |
| アサワ シゲアキ 芦沢 誉明 | 男 | 1939 | 白根町 | 南アルプス市 | 『細孔の先』 | 文学 | 果樹農家 (『細孔の先』) | 『細孔の先』(芦沢誉明、2015) | 『細孔の先』(芦沢誉明、幻冬舎、2015、p124) | 2016/11/1 | 白根 |
| アサワ シゲキ 芦沢 茂喜 | 男 | 不詳 | 不詳 | 不詳 | 『ソーシャルワーカーになりたい』 | 社会科学 | ソーシャルワーカー(精神保健福祉士、社会福祉士)、第一号職場適応援助者。山梨県内の民間精神科病院などでの勤務を経て、山梨県庁に入庁(『ソーシャルワーカーになりたい』) | 『ひきこもりでいいみたい』(生活書院、2018)『ソーシャルワーカーになりたい』(生活書院、2020) | 山梨日日新聞2020年9月12日15面 | 2020/10/25 | 韮崎 |
| アサワ シンジ 芦澤 新二 | 男 | 1924 1989 | 西野村 | 南アルプス市 | 『天愛不息』 『山梨日日新聞』 | 社会科学 | 三和テック社長。 東京国際貿易会社会長、日本青年会議所副会長、東京青年会議所理事、鉄道電化協会理事ほか。 古典籍の収集家として知られ、特に『伊勢物語』については『鉄心斎文庫・伊勢物語古注釈叢刊』(八木書店、1988～)を刊行した。 (『天愛不息』) | 『芦沢新二対談集』(三和新聞社、1984) 『未開の国文明の国』(三和新聞社、1964) | 『天愛不息』(故芦澤新二追悼集編集委員会、三和テック株式会社、1990、p288～294) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p89) 『山梨日日新聞』(1989.1.2219面) | 2020/10/28 | 白根 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|------|---------------|-------------------------------|------------|--|--|---|------------|-------|
| アツミ フホウ 渥美 芙峰 | 男 | 1893 1973 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『富士北麓と文人たち』 | 芸術・スポーツ | 日本南画院岸浪百草居に師事、日本画の革新的絵画の進歩発展に尽くす。 (『富士北麓と文人たち』) | 『文は人なり』(文は人なり発行所1946～) 『俳誌と画』(文は人なり会) 『爐』(爐発行所) 『俳句の生れる原理と鑑賞の諸問題』(文は人なり発行所、1948) 『雨読帖』(芙峰画譜刊行会、1960) 『俳句維新』(勝田印刷株式会社出版部、1943) | 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、ぎょうせい、1986、p133) 『河口湖町文化のあゆみ』(河口湖町教育委員会、1978、p111) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| アトベ カオル 跡部 薫 | 男 | 1925 2009 | 武川村 | 北杜市 | 『句集枯木星』 『句集一里塚』 | 文学 | 武川村役場総務課長を長く勤め、1984年退職 武川村文化協会俳句部会所属 (『句集枯木星』) | 『句集枯木星』(旭ファースト、2001) 『句集一里塚』(旭ファースト、2005) | 『句集枯木星』(序、p151) | 2012/7/30 | むかわ |
| アナミス トモジロウ 穴水 朝次郎 | 男 | 1836 1899 | 田之岡村 | 南アルプス市 | 『八田村誌』 | 社会科学 | 治山・治水、農業・商工業の振興発展に尽力 釜無川堤防の整備に県土木課長として尽力 前釜無川の氾濫を防ぐのに尽力 (『八田村誌』) 稲作試験場や製糸場を設立 (『山梨百科事典』) | 『山梨県史資料編14』「穴水朝次郎発書簡」(山梨県、山梨日日新聞社、1996、p344～345) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p21) 『郷土に尽した人々』(清水小太郎、1976、p29) 『八田村誌』(八田村、1972、p266、p344) 『八田村誌』(八田村、2003、p175～178顔写真あり、p369～370) 『山梨県議会史第2巻』(山梨県議会、1972、p1382) 『中巨摩郡誌』(山梨県中巨摩郡聯合教育会、東京名著出版、1977、人物・褒章誌p51) 『広報南アルプス』(南アルプス市、2011.6、12面、顔写真あり) | 2012/8/17 | 八田 |
| アナミス ヨウシチ 穴水 要七 | 男 | 1875 1929 | 旭村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 社会科学 産業 | 幼名は哲。 1887年、甘利学校を卒業。 母方の伯父穴水嘉三郎が営む穴水商店の丁稚となって住みこんだ。嘉三郎により要七と改名。 25歳の時、伯父の娘とみ子の婿養子となる。 (『韮崎市誌』) 1908年、小野金六を頼り富士製紙に転じ、1915年取締役、1918年専務となった。同年政友会の推薦で甲府から衆院議員に当選、当選4回。また北海道電燈、小武川電力各社長、その他諸会社の重役を務めた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会編、韮崎市、1979、p424) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p31) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p1) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|-------------------|---|--|---|-----------|-----|
| アヤマ ショウドウ 穴山 勝堂 | 男 | 1890 1971 | 錦村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 『松と富士穴山勝堂伝』 | 芸術・ス ポーツ | 画家。本名、義平。 1931年第12回帝展で「夕映えの松」 が特選、皇室お買い上げとなる(宮 内庁三の丸尚蔵館蔵)。1933年第 14回帝展で「磯松風」が特選。 1937年山梨美術協会創立会員。 1968年山梨県文化功労者として表 彰。1970年叙勲、勲五等瑞宝章。 (『松と富士穴山勝堂伝』) | | 『松と富士穴山勝堂伝』(朝日新聞 出版、2019) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p175-176) 『山梨百科事典』増補改訂版(山梨 日日新聞社、1989、p32) | 2020/9/27 | 御坂 |
| アマノ ケン 天野 建 | 男 | 1928 2005 | 大月市 | 大月市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 社会科学 | 1979年から石和町長を3期務める 1991年から山梨県知事に3選 「元祖草の根知事」と呼ばれる 父は天野久(山梨県知事) (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『山は青く水は清く』(ぎょうせい、 1996) 『自らのために計らわず』(三省堂、 1990) 『明日の山梨』(山梨ふるさと文庫、 2000) 『天無私』(山梨ふるさと文庫、 2004) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p50～ 51) 『明日の山梨の発展のために』(内 外情勢調査会、2002) 『幸住県やまなし』(内外情勢調査 会、1993) 『山梨新時代の「創世」に向けて』 (内外情勢調査会、2001) 『天野建と「草の根」の奇跡』(岩崎 正吾著、山梨ふるさと文庫、1991) ほか | 2022/11/5 | 石和 |
| アマノ シゲル 天野 重知 | 男 | 1910 2004 | 忍野村 | 忍野村 | 『北富士入会の闘い』 『北富士演習場と天野重知の 夢』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地 理 社会科学 | 忍草入会組合長 忍野村村長 北富士闘争指導者 (『北富士入会の闘い』) | 『富士における望月氏の四つの大 罪』(忍草入会組合、1992)『分取育 林契約県の松丸尾奪取戦略北富士 県有地再払下げは幻影』(忍草入会 組合、1993) | 『北富士入会の闘い』(忍草母の会 事務局、御茶の水書房、2003) 『北富士演習場と天野重知の夢』 (斑目俊一郎、彩流社、2005)『山梨 日日新聞』(2004.1.6、22面)『結成7 5周年記念伝承・団結』(忍草入会 組合、2022) | 2022/7/31 | おしの |
| アマノ セン 天野 宣 | 男 | 1934 2014 | 都留市 | 都留市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『天野宣音楽事務所』 | 芸術・ス ポーツ | 和太鼓・篠笛奏者。 甲府無形文化財指定保持。 第1回甲府市市民栄誉賞受賞。 1999年、県文化功労者賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | CDアルバム「ゆらぎ」(天野宣&阿羅 漢、2005) 「ルネッサンス」(天野宣&阿羅漢、 2002) 「zipangu」(天野宣&阿羅漢、2002) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p467～ 468) 『風の伝承大地の鼓動天野宣生誕 80周年記念』(日本ステンレス工業 株式会社、2014) 『天野宣音楽事務所』 http://amanosen.info/ (2022.7.31確 認) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------------|-----------|---|--|--|-----------|-----|
| アマノ ヒサシ 天野 久 | 男 | 1890 1968 | 七里村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 『天野久の生涯』 | 社会科学 | 政治家・実業家 1919年山梨酒造(株)創立 1940年笹一酒造店設立 1946年衆院選当選、連続3期 1951年山梨県知事当選 笹子御坂自動車トンネル、富士山 有料道路などを建設 従3位勲2等旭日重光賞 (『山梨百科事典』) 天野建氏の父 (『天野久の生涯』) | | 『天野久の生涯』(天野久翁顕彰 会、1973) 『甲州人物風土記』(高橋賀寿雄、 1973、p8~14) 『平成・昭和に活躍する山梨県人』 (かいじしんぶん、1998) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p36) 『91山梨県知事選天野建と「草の 根」の奇跡』(星雲社、1991、p43) | 2012/8/21 | 塩山 |
| アマノ ユイナ 天野 ゆいな | 女 | 1994 | 大月市 | 大月市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 本名、天野結生。 中学3年の平成21年『さながら駆け し破軍の如く』で講談社X文庫ホワ イトハート新人賞を受賞してデ ビュー。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) 趣味は読書、書道、音楽鑑賞。 (『さながら駆けし破軍の如く』) | 『さながら駆けし破軍の如く』(講談 社、2009) 『月は腕に歴史を抱き』(講談社、 2010) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p297) 『さながら駆けし破軍の如く』(講談 社、2009、奥付) 『山梨日日新聞』(2010.2.15、1面、 顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| アマノ ヨシテル 天野 義輝 | 男 | 1914 1993 | 忍野村 | 忍野村 | 『山梨日日新聞』 『広報忍野』 『忍野村史増補版第1巻』 | 社会科学 | 教育者、忍野村村長 忍野村名誉村民第3号 勲五等双光旭日章 (『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、 2021)) | | 『広報忍野』145号(忍野村、 1993.3、p4)『山梨日日新聞』 (1993.1.30、17面)『忍野村史増補 版第1巻』忍野村、2021、p1130) | 2022/7/31 | おしの |
| アマノ ヨシヒコ 網野 善彦 | 男 | 1928 2004 | 御坂町 | 笛吹市 | 『追悼記録網野善彦』 | 歴史・地 理 | 歴史家。 日本中世史、日本海民史専攻。 神奈川大学教授。日本常民文化研 究所所員。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2023』) 山梨県文化財保護審議委員、山梨 県史編さん委員会委員、山梨県立 博物館顧問などを務めた。 (『甲斐の歴史をよみ直す』) | 『異形の王権』(平凡社、1986) 『甲斐の歴史をよみ直す』(山梨日 日新聞社、2008) 『日本の歴史をよみなおす』(筑摩 書房、2017) 『網野善彦列島の歴史を語る』(本 の森、2005) 『網野善彦著作集』(岩波書店、 2007~2009) 『網野善彦対談集』(岩波書店、 2015) ほか | 『ザやまなし』(山梨日日新聞社、 1998年8月号、p2~3) 『山梨日日新聞』(2004.3.5、16面、 顔写真あり、2004.3.27、7面、 2007.6.20、11面、顔写真あり、 2015.4.17、15面) 『僕の叔父さん網野善彦』(集英社、 2004) 『網野善彦を継ぐ。』(講談社、2004) 『追悼記録網野善彦』(洋泉社、 2006) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p193~ 195) ほか | 2023/2/23 | 県立 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------|---------|---|--|--|------------|-----|
| アミヤ ケイジロウ 雨宮 敬次郎 | 男 | 1846 1911 | 牛奥村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | 起業家・社会実業家 1888年甲武鉄道取締役就任 1903年日本防腐木材会社設立 (『天下の雨敬』) 日本鑄鉄会社社長 東京商品取引所理事長 (『山梨百科事典』) | 『過去六十年事蹟』(武蔵野社、1977) | 『天下の雨敬』(情報山梨企画、1991) 『軽便王国雨宮』(丹沢新社、1972) 『郷土史にかがやく人々集合編』(青少年のための山梨県民会議、1974)『天下の雨敬、明治を拓く』(河出書房新社、2012)『鉄道王雨宮敬次郎と根性一代』(東洋出版、2010) | 2012/8/21 | 塩山 |
| アミヤ タスケ 雨宮 竹輔 | 男 | 1860 1942 | 牛奥村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | デラブドウ普及の先駆者 ブドウ栽培とブドウ酒醸造の技術を研究 1930年奥野田村長就任 (『山梨百科事典』) | | 『デラ葡萄の父雨宮竹輔翁』(雨宮竹輔翁頌徳碑建立委員会、1956) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p41) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(青少年のための山梨県民会議、1974、p339) ほか | 2012/8/21 | 塩山 |
| アミヤ ナオコ 雨宮 尚子 | 女 | 1971 | 一宮町 | 笛吹市 | 『旅館すずめや』 『とりのずかん』 | 芸術・スポーツ | 絵本作家・イラストレーター。 2002年ボローニャ国際絵本原画展入選 | 絵本『旅館すずめや』(白泉社、2009.4) 『旅館すずめやてくてく遠足日和』(白泉社、2009.10) 絵本『えんぎがいい』(白泉社、2015.12) 絵本『とりのずかん』(白泉社、2020.9) 絵本『むしのずかん』(白泉社、2022.4) | 『旅館すずめや』 『とりのずかん』 『むしのずかん』 | 2022/8/19 | 一宮 |
| アミヤ ヒコヘエ 雨宮 彦兵衛 | 男 | 1839 1895 | 下岩崎村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | (雨宮一陽)岩崎村名主。明治5年から祝村戸長となる。 明治9年頃、政府の勧告により、大日本葡萄酒株式会社を創設。土屋龍憲、高野正誠をフランスに派遣する。二人の帰国後、日本ではじめて葡萄酒の製造を開始する。 (『古書が伝えた甲州葡萄酒の歴史』) | 『甲州葡萄酒手引草』(雨宮彦兵衛、1885) | 『ぶどう酒物語』(山梨日日新聞社、1978、p58~) 『古書が伝えた甲州葡萄酒の歴史』(勝沼図書館、2007) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p41) | 2012/8/21 | 勝沼 |
| アミヤ ヨウコ 雨宮 洋子 | 女 | 1942 | 塩山市 | 甲州市 | 山梨日日新聞 『カミーラと呼ばれた230日』 | 社会科学 | ベネズエラで誘拐され、生還した日本人女性 (『カミーラと呼ばれた230日』) | 『カミーラと呼ばれた230日』(東京図書出版2015) | 朝日新聞2016.03.0229面 山梨日日新聞2015.02.1827面 | 2016/11/30 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------------|----|----------|------|---------------|---------------------|---------|--|--|---|------------|-------|
| アミヤ ヨウコ 雨宮 洋子 | 女 | 1945 | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | 箏曲家 「桐音会」主宰 ロシア文学者亀山郁夫と従兄弟 「花の色は」などを作曲 （「菅垣」） 甲府市民文化奨励賞受賞 （山梨日日新聞1999.12.9） 県文化奨励賞受賞 （山梨日日新聞2010.11.14） | CD「菅垣一雨宮洋子独奏箏の世界」 （fontec、2005） CD「夏雨宮洋子作品集」 （大日本家庭音楽会、2010） | CD『「菅垣」創作のあゆみ』 （fonetec、2005） 「山梨日日新聞」 （1999.12.9.5面、顔写真あり） 「山梨日日新聞」 （2005.5.4、9面、顔写真あり） 「山梨日日新聞」 （2010.9.15、11面、顔写真あり） | 2022/9/30 | 甲府 |
| アミヤ リュウコウ 雨宮 柳香 | 男 | 1933 | 甲府市 | 甲府市 | 『条痕』 | 文学 | 山梨県芸術祭川柳部門優秀賞受賞 10回 第3回甲信交流川柳大会第1位 第4回エクラン大賞エッセー最優秀賞受賞 （『条痕』） | 『条痕』 （雨宮柳香、2004） | 『条痕』 （雨宮柳香、2004、奥付） | 2014/11/27 | 竜王 |
| アミヤ ノリス 館屋 法水 | 男 | 1961 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 山梨県生まれ、神奈川県育ち。 唐十郎主宰の状況劇場を経て、東京グランギニョル、M.M.M.を結成し、機械と肉体の融合を図る特異な演劇活動を展開。 90年代は活動領域を美術へと移行するも、1995年、ヴェネツィア・ビエンナーレ参加後に作家活動を停止。 同年に「動物堂」を開店し、動物の飼育、販売を始める。 2007年、演劇活動を再開。 2014年、いわき総合高校の生徒たちと校庭で上演した「ブルーシート」で第58回岸田國土戯曲賞を受賞。 （『山梨県人物・人材情報リスト2021』） （『彼の娘』） （『ブルーシート』） | 『キミは動物（ケダモノ）と暮らせるか？』 （筑摩書房、1997） 『ブルーシート』 （白水社、2014） 『彼の娘』 （文藝春秋、2017） | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 （日外アソシエーツ、2020、p297～298、511） 『彼の娘』 （文藝春秋、2017、奥付） 「館屋法水：twitter」 https://twitter.com/norimizua | 2022/9/30 | 甲府 |
| アヤノウジ キミマロ 綾小路 きみまる | 男 | 1950 | 鹿児島県 | 鹿児島県 | 『きみまる流』 | 芸術・スポーツ | 拓殖大学商学部卒業。 司会業、漫談師。 富士河口湖町特別町民 （『きみまる流』） | 『きみまる流』 （PHP研究所、2003）、 『有効期限の過ぎた亭主・賞味期限の切れた女房』 （PHP研究所、2002） 『失敗は顔だけで十分です』 （PHP研究所、2006） 『こんな夫婦に誰がした』 （PHP研究所、2006） 『こんな女房に誰がした』 （PHP研究所、2005） 『きみまる！』 （ベストセラーズ、2004） | 「朝日新聞」 （2004.5.9）、 「産経新聞」 （2004.5.9）、 「毎日新聞」 （2004.5.9）、 | 2012/8/16 | 富士河口湖 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|------------------------------|---------------|--|---|---|------------|------|
| アユカワ セイゾウ 鮎川 省三 | 男 | 1892 1992 | 大河内村 | 身延町 | 『広報みのぶ』 『山梨県剣道史』 | 芸術・スポーツ | 1923年、大和尋常小学校校長を務めて以来、各小中学校校長を歴任。 1949年退職後は旧大河内村などの教育長ほか公職を歴任。 長年にわたり山梨県剣道連盟の役員を務め、のち名誉会長。鮎川杯による奨励など、後進の育成に努める。 1979年、全日本剣道連盟より範士の称号を授与された。 1939年から5度の叙勲を受け、1969年には勲五等瑞宝章受章。旧身延町名誉町民。 (『広報みのぶ』) | 『身延町誌』 (身延町役場・1970、p1046～第十六編「町民の記録」共著) 『山梨県剣道史』(山梨県剣道連盟、1977、p145、248) | 『山梨の剣道』(山梨県剣道連盟、2004、p191) 「山梨日日新聞」 (1992.2.7ズームアップ、14面) 「広報みのぶ」 身延町名誉町民に鮎川省三氏(身延町役場No.321、1992年3月号、2面写真あり) | 2022/11/30 | 身延 |
| アライシミ サダオ 有泉 貞夫 | 男 | 1932 2022 | 市川大門町 | 市川三郷町 | 『山梨の近代』 『山梨近代史論集』 | 歴史・地理 社会科学 | 京都大学大学院博士課程満期退学後、国立国会図書館司書に採用され、憲政資料室などに勤務。 東京商船大学教授、東大・京大非常勤講師などを歴任。 1989年より、山梨県史編さん専門委員となる。 (『山梨の近代』、『山梨近代史論集』) | 『やまなし明治の墓標』(山梨郷土研究会、1979) 『星亨』(朝日新聞社、1983) 『山梨の近代』(山梨ふるさと文庫、2001) 『山梨の百年』(山川出版社、2003) 『山梨近代史論集』(岩田書院、2004) 『私の郷土史・日本近現代史拾遺』(山梨ふるさと文庫、2012) | 『山梨の近代』 『山梨近代史論集』 | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| アルカ コウ 有賀 剛 | 男 | 1983 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 芸術・スポーツ | ラグビー選手 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p.25～26)中日新聞2006.12.19夕刊7面毎日新聞2006.11.17朝刊20面朝日新聞2006.11.02夕刊15面読売新聞2005.12.14朝刊20面『山梨県体育史第3巻』(山梨県体育史編集委員会、2008、写真でみる山梨体育・スポーツの20年の項目に写真と数行の紹介あり) | 2016/11/30 | 塩山 | |
| アワジ イサヲ 淡路 一郎 | 男 | 1927 2020 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『山梨県人物人材情報リスト2019』 山梨日日新聞 | 文学 | 元山梨県議、農協理事、甲西町長に2選、1995年山梨県議に当選1期つとめる。1999年落選(『山梨県人物人材情報リスト2019』)2006年『赤い大地』で中村星湖特別賞受賞(『山梨日日新聞』) | 『赤い大地』(やまなしふるさと文庫2005) 『倉角了以と富士川』(やまなしふるさと文庫2011) | 『山梨県人物人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ2018,p51)「山梨日日新聞」(2006.9.23、24面) | 2020/10/28 | 甲西 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|------------------|--|--|--|------------|------|
| アンドウ ミキエ 安東 みきえ | 女 | 1953 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 児童文学作家。 本名、安東美貴恵。 1994年、『ふゆのひだまり』で第11回小さな童話大賞受賞。 2001年、『天のシーソー』で第11回椋鳩十児童文学賞受賞。 2007年に刊行した『頭のうしろが悪かった熊の話』は大人が読んでも楽しめるユーモアと皮肉に富んだ物語で話題となる。 2018年、『満月の娘たち』で第56回野間児童文芸賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 『夜叉神川』で日本児童文学者協会賞(第62回)受賞 (日本児童文学2022.7-8月号) | 『どこまでいってもはんぶんこ』(ひかりのくに、1996) 『天のシーソー』(理論社、2000) 『頭のうしろが悪かった熊の話』(理論社、2007) 『まるまれアルマジロ!』(理論社、2009) 『ゆめみの駅遺失物係』(ポプラ社、2014) 『迷いクジラの子守歌』(PHP研究所、2016) 『夜叉神川』(講談社、2021.) 『メンドリと赤いてぶくろ』(KADOKAWA、2021) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p298) 『山梨日日新聞』(2009.1.13、9面、2012.1.19、9面、 『山梨日日新聞』2018.11.6、23面) | 2022/9/30 | 甲府 |
| イヤンジ 李 良枝 | 女 | 1955 1992 | 西桂町 | 西桂町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 文学 | 小説家、韓国舞踊家。本名、田中淑枝。早稲田大学社会科学部中退、ソウル大学国語国文学科卒。『由熙(ゆひ)』で第100回芥川賞受賞。 1989年ソウルで、弟子入りしていた金淑子の公演に出演する。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『かずきめ』(講談社、1983) 『刻』(講談社、1985) 『由熙』(講談社、1989) 『石の声』(講談社、1992) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p317、515) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸出版、1993、p232) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| イジマ シゲル 飯島 茂 | 男 | 1868 1953 | 春日居村 | 笛吹市 | 『春日居町誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 歴史・地理 自然科学・医学 | 陸軍軍医総監。 1891年山梨県日川病院長、1892年峡東医会会頭、1894年陸軍三等軍医となり、第六師団付、1897年陸軍軍医学校修了。 1924年陸軍軍医総監、1925年陸軍軍医学校長となった。1926年退官。 竜孫、甲山、不求安居主人の号で詩歌をよくした。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』、『春日居町誌』) | 『行軍病論』(南江堂書店、1912、県立図書館所蔵) 『視墨新語』(雄山閣、1935、県立図書館所蔵) | 『春日居町誌』(春日居町、1988、p1362~1373) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p457~458) | 2022/10/14 | 春日居 |
| イジマ シズオ 飯島 志津夫 | 男 | 1934 2007 | 東京都 | 東京都 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 写真家。1969年山梨日日新聞紙上に東京から富士山頂までをテーマに45回の連載を発表。1976年~80年個展「富士山」を開催。日本カメラ社年度賞(1962年)、中華民国国際写真サロン金賞(1985年)、富士吉田文化功労賞(1987年)、芙蓉文化賞(第2回、1997年)受賞。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』、『山梨日日新聞』) | 『富士山-その風土と参道-』(飯島志津夫著、研光社、1973) 『富士五湖風物誌』(萱沼英雄文、飯島志津夫写真、文一総合出版、1980) 『富士光彩』(飯島志津夫著、ぎょうせい、1986) 『ふじさん』(飯島志津夫写真、フレーベル館、1989) 『富士山の四季』(飯島志津夫著、日本カメラ社、1991) | 『山梨日日新聞』(2007.11.21、27面)(2008.12.24、16面) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p435) | 2014/11/25 | 富士吉田 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------------|---------|--|---|---|------------|-----|
| イダ シロウ 飯田 四郎 | 男 | 1932 2011 | 山梨市 | 山梨市 | 『日本美術家事典』 『飯田四郎展図録』 | 芸術・スポーツ | 画家 1987年「天上の詩」で第8回日伯現代美術受賞者展金賞受賞 (『飯田四郎展図録』) | 『飯田四郎展図録』(1992) 『樹木を描く』(グラフィック社、1992) 『うつる』(福音館書店、1972) | 『日本美術家事典』(オーアンドエムリミテッド、1995、p231) | 2020/10/20 | 上野原 |
| イダ タコツ 飯田 蛇笏 | 男 | 1885 1962 | 五成村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 俳人 本名、飯田武治 別号「山廬(さんろ)」 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト』2021) | 『山廬集』(雲母社、1932) 『山響集』(河出書房、1940) 『雪峽』(創元社、1951) 『美と田園』(育英書院、1941) 『旅行く諷詠』(人文書院、1941) 『山廬随筆』(宝文館、1958) 『明丘舎句集』(1926) 『現代俳句の批判と鑑賞』(創元社、1950) 『現代俳句の批判と鑑賞続』(創元社、1953) 『飯田蛇笏集成第1巻～第7巻』(角川書店、1994～2002) 『飯田蛇笏前句集』(KADOKAWA、2016) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p49) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p299～300) 『東ハメモリーズこんなひとがい。』(東八代広域行政組合、2002、p41～54) 『境川村誌』(境川村、1978、p786～791) 『飯田蛇笏』(角川源義著、桜楓社、1980、p146～147) 『日本の詩歌19』(中央公論社、1979) 『飯田蛇笏展』(山梨県立文学館、1992) 『山廬の四季飯田秀實随筆・写真集蛇笏・龍太・秀實の飯田家三代の暮らしと俳句』(飯田秀實著、コールサック社、2022)ほか | 2022/11/5 | 石和 |
| イダ ブンヤ 飯田 文彌 | 男 | 1928 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県の歴史』 | 社会科学 | 山梨県立高校教諭歴任 甲斐史学会委員 (『郷土史にかがやく人々』) 塩山市文化財審議会会長 山梨県文化財保護審議会有形文化財部会長 山梨県史編纂専門委員 2004年秋瑞宝双光章受章 (『山梨日日新聞』) | 『山梨県の歴史』(山川出版社、1999) 『山梨の百年』(NHKサービスセンター甲府支所、1968) 『甲斐近世史の研究上』(雄山閣、1974) ほか | 『山梨県の歴史』(山川出版社、1973) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅰ』(青少年のための山梨県民会議、1974) 『山梨日日新聞』(2004.11.3、5面)ほか | 2012/8/21 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|---------|--|--|---|------------|-----|
| イダ リュウタ 飯田 龍太 | 男 | 1920 2007 | 境川村 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 俳人 「雲母」主宰 俳人・飯田蛇笏の四男 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『新編飯田龍太読本』(富士見書房、1990) 『地名俳句歳時記』(中央公論社、1986) 『甲斐の四季』(実業之日本社、1983)『飯田龍太全句集』(角川学芸文芸出版、2020)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p300～302) 『飯田龍太の四季』(福田甲子雄著、富士見書房、2001) 『飯田龍太読本』(角川書店、1978) 『飯田蛇笏』(角川源義著、桜楓社、1980、p146～147) 『境川村誌』(境川村、1978、p786～791) 『飯田龍太俳句の魅力』(山梨県立文学館、2021) 『山廬の四季飯田秀實随筆・写真集 蛇笏・龍太・秀實の飯田家三代の暮らしと俳句』(飯田秀實著、コールサック社、2022年)ほか | 2022/11/5 | 石和 |
| イノ サンウ 飯野 燦雨 | 男 | 1920 2004 | 飯野村 | 南アルプス市 | 『南アルプスの四季』 『わが故郷の大東亜戦争』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 俳人。 本名(猛)。「雲母」「白露」同人。元白根町議会議員。 1954年県芸術祭受賞、1988年文化功労実賞受賞。 (『わが故郷の大東亜戦争』) | 『黄落』(創風社、1983) 『明けゆく扇状地』(創風社、1984) 『燦雨俳話』(創風社、1984) 『山柿』(創風社、1989) 『燦雨俳句選集』(卯辰山文庫、1992) 『わが故郷の大東亜戦争』(飯野燦雨、2002) ほか | 『南アルプスの四季』(飯野燦雨、山梨日日新聞社、2003、p5) 『わが故郷の大東亜戦争』(飯野燦雨、2002、p335～338) 『山梨日日新聞』(2004.3.16、24面) | 2012/7/11 | 白根 |
| イノ フミヒコ 飯野 文彦 | 男 | 1961 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 | 文学 | 小説家。 1984年、ノベライズ『新作ゴジラ』でデビュー。 2001年から甲府市在住。 (『山梨日日新聞』) | 『ザ・ハンマー』(エニックス、2002) 『パッド・チューニング』(早川書房、2007) 『ゾンビ・アパート』(河出書房新社、2015) ほか | 『山梨日日新聞』(2015.10.18、12面、写真あり) 『SFマガジン』2007年10月号(早川書房、p6～7、249～252) | 2018/11/28 | 県立 |
| イムロ ハツエ 飯室 はつえ | 女 | 不詳 | 甲府市 | 甲府市 | 『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』 | 芸術・スポーツ | セーラーズバレンタインアーティスト。「日本セーラーズバレンタイン協会」を設立。教室を開催し、講師育成と同時にアメリカのシェルショー出展を目指し本格的に制作開始。 2012年、フロリダのシェルショーに出展し、日本人初のブルーリボン賞受賞。2016年度フロリダ大会、ケーブゴッド大会にて連続「大会最優秀賞」を受賞。(『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』) | 『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』(成山堂書店、2016) | 『魅惑の貝がらアートセーラーズバレンタイン』 | 2020/10/25 | 韭崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|----------|-----|---------------|--|-----------------|---|---|--|------------|------|
| ガラシ ツム 五十嵐 勉 | 男 | 1949 | 甲府市 | 甲府市 | 『鉄の光』 『山梨県人物・人材情報リスト 2009』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 編集者・作家。 本名：渡辺政義。 甲府一高卒。早稲田大卒。 『文芸思潮』編集長。 1979年『流謫の島』で第2回群像新人長編小説賞受賞。 (『鉄の光』) 作家集団「塊」メンバー(『山梨県人物・人材情報リスト2009』) 2001年「鉄の光」で第8回健友館文学賞受賞。 作家集団「塊」代表。(『作家集団塊』(HP)) | 『微笑みの国タイ』(アジア文化社、1995) 『鉄の光』(健友館、2002) 『緑の手紙』(アジア文化社、1999) 『ノンチャン、NONGCHAN聖丘寺院(ワット・ブノム)へ』(アジア文化社文芸思潮出版部、2013) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2009』(日外アソシエーツ、2008、p28～29) 『山梨日日新聞』(1993.4.20、11面) 『山梨日日新聞』(2017.11.25、15面 顔写真あり) 『作家集団』 http://www.asiawave.co.jp/bungeishichoo/f-kai.htm (2022.8.5確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| かり ソコ 猪狩 そよ子 | 女 | 1985 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 漫画家。 2004年、「触れたい心」でデビュー。 (『山梨日日新聞』) | 『触れたい心』『ザ花とゆめ』(2004/8/1号、白泉社) 『和菓子のアン』(白泉社、2014～2015) 『クチュリエールと赤い糸』(白泉社、2017) | 『山梨日日新聞』(2004.7.10、28面) | 2018/11/28 | 県立 |
| イダ トオ 池田 敏雄 | 男 | 1937 | 都留市 | 都留市 | 『広報ふじよした』 | 歴史・地理 文学 | 東洋大学法学部卒。 本業の高校教師のかたわら、山梨県の近世史を研究。 1975年、東京大学文学部考古学研究室に派遣される。30年にわたって、江戸の国学者・歌人賀茂季鷹と『富士日記』について研究する。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『賀茂季鷹富士日記の研究』(富士山大社小御岳神社、1979) 『平成「富士日記」の旅』(山梨ふるさと文庫、1996) 『国学者歌人賀茂季鷹「富士日記」の研究』(武蔵野書院、1997) 『風樹の嘆き』(朱宮義長、1997) 『富士北麓と母』(池田敏雄、2001) 『教師』(池田敏雄、2003) ほか | 『広報ふじよした』(2004.4、p18) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p29) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| イシ メグミ 石井 めぐみ | 女 | 1958 | 東京都 | 東京都 | 『笑ってよ、ゆっぴい』 『山梨市ホームページ』 石井めぐみ公式サイト | 芸術・スポーツ 社会科学 | 『山梨市名誉市民 女優/国立市議会議員 母の実家が山梨県』 (『山梨市ホームページ』 https://www.city.nirasaki.lg.jp/) 1979年：松竹映画「夜又ヶ池」で芸能界デビュー1996年：障害を抱えて生まれた長男の成長を綴った『笑ってよ、ゆっぴい』を執筆。全国の講演会は1,000件を超え、コメンテーターなどで活躍。また、重度障害児の親の会「てんしのわ」を発足し障害者と健常者が共に生きるまちづくりをめざした啓発活動を行っている。2015年：国立市議会議員初当選、現在：市議会議員二期目(石井めぐみ公式サイト http://www.megumiishii.com/) | 『笑ってよ、ゆっぴい』石井めぐみ// 著フジテレビ出版扶桑社1996.7 | 『山梨市ホームページ』 (https://www.city.nirasaki.lg.jp/) 2020.10.22確認 『山梨ムーブ2020』(山梨市、2020) 『ゴールデンライフ』2019.3輝く人103 石井めぐみさん 『広報にらさき』2012年8月号 石井めぐみ公式サイト (http://www.megumiishii.com/) 2020.10.22確認 石井めぐみオフィシャルブログ (https://ameblo.jp/megumiishii/) 2020.10.22確認 | 2020/10/25 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|--------|---------------|--|---------|---|--|--|--------------------------|-----|
| イカワ シゲト 石川 重人 | 男 | 1955 | 塩山市 | 甲州市 | 『21世紀山梨の100人』 | 技術 | 建築士 伝匠舎・石川工務店3代目社長 (『21世紀山梨の100人』) | | 『21世紀山梨の100人』(山梨新報社、2003、p68) 「山梨日日新聞」(1994.8.84面)「伝匠舎HP」http://www.densho-sha.co.jp/(2023.2.21確認) | 2023/2/21 | 塩山 |
| イカワ ヒロシ 石川 博 | 男 | 1957 2020 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 『イメージネーション』 『南総里見八犬伝』 『石川博の仕事』 | 歴史・地理 | 駿台甲府小学校校長。 駿台甲府学園理事。 日本近世文学会、山梨郷土研究会等に所属。 (『イメージネーション』第9号) 慶応義塾大学卒業。専門は近世文学。(『南総里見八犬伝』) 私立学校教育功労者として表彰される。 | 『南総里見八犬伝』(編者、角川書店、2007) 「山梨大武をどう捉えるか」(「山梨学院生涯学習センター研究報告」第25輯、山梨学院大学生涯学習センター、2011) 「魯文「甲府地名くらべ」の翻刻・解題」(『甲斐』第125号、山梨郷土研究会、2011) 「義理か人情か正義か愛か」(『イメージネーション』第9号、山梨文芸協会、2012)ほか 『石川博の仕事』(山梨日日新聞社、2022) | 『山梨日日新聞』(2010.2.2、9面、顔写真あり) 「イメージネーション」第9号、山梨文芸協会、2012 『南総里見八犬伝』(角川書店、2007、奥付) 『山梨新報』(2019.12.21)〈わたしのこの1冊〉で松岡正剛編雑誌「遊」を紹介顔写真あり 「山梨日日新聞」(2020.1.318面石川博さんを悼む)2020.1.1962歳での逝去による追悼記事在りし日の写真あり 『石川博の仕事』(山梨日日新聞社、2022) | 2020/10/28 2022/11/07 | 竜王 |
| イグロ ケンキチ 石黒 建吉 | 男 | 1946 | 愛知県名古屋 | 愛知県名古屋市 | 『ホースマン』 | 芸術・スポーツ | (財)キープ協会を経て、(公財)山梨県馬事振興センター専務理事、日本馬術連盟理事及び総合馬術本部長、山梨県馬術連盟理事長、同副会長を歴任。 選手として数々の国体や全日本大会等で優勝。 モントリオールオリンピックをはじめとする国際大会に出場、コーチとしてもソウル、バルセロナオリンピック等の国際大会を経験し、2002年の釜山アジア大会では監督として総合馬術団体金メダルを獲得。 野口賞、日本スポーツ大賞、ミズノメンツール賞、やまなしスポーツ賞、山梨県体育協会体育功労者賞、JOCスポーツ功労者賞、文部科学大臣功労者賞を受賞。 (『ホースマン』) | 『ホースマン』 (山梨日日新聞社、2017) | 『ホースマン』(山梨日日新聞、2017) 「NHKテレビテキストチャレンジ！ホビー馬で大地を駆け抜けたい！」(NHK出版、2011) 「山梨スピリッツ」2015年夏号(山梨放送、2015、p72～72) 『馬とともに山梨県馬術連盟20周年記念誌』(山梨県馬術連盟、1995)(寄稿あり) | 2018/11/12 | 小淵沢 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------|---------------|--|---|---|-----------|------|
| インダ けん 石田 高 | 男 | 1937 | 大和村 | 甲州市 | 『山梨の奇岩と奇石』 | 自然科学・医学 | 地質学者 (『山梨の奇岩と奇石』) | 『山梨の奇岩と奇石』(山梨日日新聞、2002) 『山梨の自然をめぐって』(築地書館、1984) | 『山梨の奇岩と奇石』(奥付) | 2012/8/21 | 大和 |
| インバシ タンザン 石橋 湛山 | 男 | 1884 1973 | 東京府 | 東京都 | 『石橋湛山』 | 社会科学 | 言論人・政治家・思想家。戦前では植民地放棄論、小国主義を唱えた経済ジャーナリスト。戦後、政界に転身して第1次吉田内閣の大蔵大臣を務め、独立後、鳩山内閣の通産大臣(3回)を経験。自由民主党第2代目総裁。第55代内閣総理大臣。(『石橋湛山』)幼児期から高校生までの間を山梨県で過ごす。 | 『石橋湛山全集』全16巻(東洋経済新報社、1988-2011)『石橋湛山評論集』(岩波書店、1991)『石橋湛山』(ミネルヴァ書房、2017)『平和の港』(山梨平和ミュージアム石橋湛山記念館、2017)『石橋湛山の慈悲精神と世界平和』(コールサック社、2018)ほか | 『コンサイス日本人名事典第4版』(三省堂、2001、p104)『日本史人物辞典』(山川出版社、2000、p75,76)『政治的良心に従います』(江宮隆之、河出書房新社、1999、表紙に顔写真あり)『石橋湛山』(姜克貴、吉川弘文館、2014(顔写真あり)) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p2、p92、p369) 『山梨日日新聞』(2018.4.11、18面) | 2023/3/9 | わかくさ |
| インハラ ナオタロウ 石原 直太郎 | 男 | 1861 1916 | 南部町 | 南部町 | 『南部町誌』 『南部地区における明治の群像』 | 歴史・地理 | 蒙軒学舎に学ぶ。同志社大学卒業。軍役につく。睦合村長、県議会委員、県参事会員、南部銀行頭首を歴任。(『南部地区における明治の群像』) | | 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p15) | 2012/8/14 | 南部 |
| インハラ ハツタロウ 石原 初太郎 | 男 | 1870 1931 | 松島村 | 甲斐市 | 『山梨百科事典』 | 産業 自然科学・医学 | 地質学者。東京帝国大学卒業後、山口、鳥根、山形で中学校校長を歴任。1921年山梨県嘱託となり県内一帯の地質および動植物の調査研究ならびに景勝地開発事業に従事して山梨県の観光開発に大きな功績を残した。嗣子石原明は数学者、理博東大教授。娘美知子は太宰治夫人。(『山梨百科事典』) | 『御嶽昇仙峡と其奥』(上田泰文堂、1930) 『富士の研究5』(古今書院、1928) 『普通教育実験地理学通論』(宝文館、1923、県立図書館所蔵)『実験を主としたる自然地理学概論』(宝文館、1929、県立図書館所蔵)ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p58) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p39)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ2014、p242) 『郷土史にかがやく人々』第13集(青少年のための山梨県民会議、1982、p1~23、p11に顔写真、p7に家系図あり) 『ランデブー』16号(コミヤマ工業、2003年10月号、p36~47) 『甲斐路』35号(山梨郷土研究会、1979、p16~17)ほか | 2016/11/4 | 敷島 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----------|---------------|---|------|--|--|---|------------|------|
| イシハラ フミオ 石原 文雄 | 男 | 1900 1971 | 市川大門 町 | 市川三郷町 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 小説家。 代表作「断崖の村」は第13回芥川賞 候補作品。 (『山梨百科事典』) | 『断崖の村』(高須書房、1946) 『太陽樹』(文昭社、1941) 『影と影』(甲陽書房、1960) 『石原文雄作品集』(石原しの、 1996) | 『山梨百科事典』 (山梨日日新聞、1989、p58) 『山梨の文学』 (山梨日日新聞社、2001、p212) 『山梨の作家2』 (山梨ふるさと文庫、1995、p9) 『忘れ得ぬ人びと』(甲陽書房、 1986、P121～129) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| イシハラ ヤツカ 石原 八束 | 男 | 1919 1998 | 錦生村 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 『石原八束花神コレクション< 俳句>』 | 文学 | 俳人。 1937年飯田蛇笏に師事、戦後飯田 龍太と「雲母」を編集、1960年主催 誌「秋」創刊。 1975年『黒凍みの道』が第26回芸術 選奨文部大臣賞(文学評論部門) を、1988年『駱駝の瘤にまたがって』 が第2回中村星湖文学賞を、1996 年第9回現代俳句協会大賞、1998 年に『飯田蛇笏』で第12回俳人協会 評論賞を受賞。 1984年紫綬褒章、1992年勲四等旭 日小綬賞授賞。 本名：石原登 | 『黒凍みの道』(牧羊社、1975) 『駱駝の瘤にまたがって三好達治 伝』(新潮社、1987)ほか | 『俳文学大辞典』(角川書店、1995、 p42)、 『山梨日日新聞』(1989.8.26、11面、 1998.7.19、23面、1998.7.22、15面、 1999.11.10、9面、全て写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p320) | 2023/2/23 | 県立 |
| イヅリ カズオ 井尻 千男 | 男 | 1938 2015 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2004』 | 社会科学 | 評論家、コラムニスト。 拓殖大学日本文化研究所所長。 元・日本経済新聞編集局文化部編 集委員。 2008年山梨市根津記念館館長に任 命される。 『劇的なる精神・福田恒存』で第8回 中村星湖賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』) | 『産業知識人の時代』(PHP研究所 1982) 『文章表現の研究』(日本エディター スクール出版部、1992) 『自画像としての都市』(東洋経済新 報社、1994) 『劇的なる精神・福田恒存』(日本教 文社、1994徳間書店、1998) 『言葉を玩んで国を喪う』(新潮社、 1995) 『書に依りて世を論ず』(新潮社、 1996) 『漫録おやじ日本を叱る』(新潮社、 2000) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p37～ 38) | 2022/11/27 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------------|-------------|--|--|--|------------|-----|
| イソガイ マサヨシ 磯貝 正義 | 男 | 1912 2008 | 岐阜県 | 岐阜県 瑞浪市 | 『甲斐源氏と武田信玄』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 武田氏研究の第一人者。 2002年、『甲斐源氏と武田信玄』で 野口賞受賞。 『山梨県史』編さん委員会副会長・ 古代部会長をつとめた。 (『山梨日日新聞』) 山梨大学教授、山梨県立考古博物 館館長などを歴任。 1984年、勲三等旭日中綬章。 (『甲斐源氏と武田信玄』) 武田史研究会会長、山梨大学名誉 教授。山梨県文化財保護審議会会 長、甲府市史編さん委員会会長や 他自治体史編纂委員会でも委員長 などを務めた。(『山梨県人物・人材 情報リスト2021』) | 『甲斐源氏と武田信玄』(岩田書院、 2002) 『定本武田信玄』(新人物往来社、 1978) 『山梨県の歴史』(飯田文弥と共著、 山川出版社、1977) 『武田信玄のすべて』(磯貝正義 編、新人物往来社、1978) ほか | 『甲斐源氏と武田信玄』(奥付) 『山梨日日新聞』(2008.4.5、16面、 2008.7.26、31面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p189) ほか | 2022/9/30 | 甲府 |
| イサカ ウシヤク 市川 右若 | 男 | 1981 □ | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 『かぶき手帖2019年度版』 | 芸術・ス ポーツ | 富竹中学校卒業。 1997年、7月市川右近に入門し、歌 舞伎座「夏祭浪花鑑」の仲居で初舞 台。 1998年2月、国立劇場「春秋公演」 『摂州合邦辻』の腰元ほかで市川喜 昇を名のる。 2013年1月、大阪松竹座『毛抜』の腰 元若菜で名題昇進。 2017年1月、新橋演舞場『黒塚』の後 見で二代目市川右若を名のる。 (『かぶき手帖2019年度版』) 2016年より、甲府大使。 (『山梨日日新聞』) | | 『山梨日日新聞』(2005.3.26、15面、 顔写真あり、2012.10.30、9面、顔写 真あり、2016.5.19、19面、顔写真あ り) 『かぶき手帖2019年度版』(日本俳 優協会、2019.1.2、P48) ほか | 2022/9/30 | 甲府 |
| イサカ フンゾウ 市川 文蔵 (保貴) | 男 | 1864 1935 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家、企業家。 県会議員、衆議院議員などに当 選。 市川銀行、峡西電力会社社長、山 梨貯蓄銀行取締役などを歴任。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p67) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p3、p95) | 2020/10/28 | 甲西 |
| イチジョウ ノブシ 一條 宣好 | 男 | 不詳 | 敷島町 | 甲斐市 | 『山梨日日新聞』 | 歴史・地 理 | 甲斐市在住。敷島書房店主。山梨 郷土研究会会員。 | 『南方熊楠と『甲斐昔話集』』 (一條宣好、2016) | 『山梨日日新聞』 (2019.1.6、20面、2020.7.2、18面写 真あり) | 2022/11/30 | 敷島 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------|-------------------|---|--|---|------------|-------|
| イデ ワジユウ 井出 和重 | 男 | 1882 1949 | 清春村 | 北杜市 | 『清春村誌』 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 郷土産業の振興に尽くす。 清春村村長。 県会議員。 (『山梨百科事典』) | | 『清春村誌』(井出藤太郎、1964、 p364~366) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p 1037,1039) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p78) | 2013/1/30 | ながさか |
| イトウ ウタ 伊藤 うた | 女 | 1868 1934 | 穴山村 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』 | 社会科学 | 1900年、甲府に山梨裁縫学校を開 いた。 1918年、同校を山梨女子実科高等 女学校に改組。さらに1925年には 甲府湯田高等女学校に昇格した。 1927年、財団法人伊藤学園を設立 して同校の経営を移管し、その理事 長として引き続き教育活動に当た った。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』) | | 『伊藤うた先生とその生涯』(伊藤学 園校友会、1938) 『伊藤うたと学びの里穴山』(伊藤う た顕彰碑建設委員会、2015) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p445) 『学びの襷、次世代へ』(韮崎ふるさ と偉人研究会、2022)ほか | 2022/11/30 | 韮崎 |
| イトウ ケンキチ 伊藤 堅吉 | 男 | 1908 1987 | 伊勢 | 三重県 | 『富士の性典』 「広報かわぐちこ」 | 歴史・地 理 社会科学 | 民俗学者。 昭和19年(1944)より、富士吉田市・ 大石村をへて船津村へ移住。 | 『河口湖畔船津今昔物語』(井出公 濟、1952) 『道志七里』(道志七里編纂資料募 集委員会、1953) 『富士講のおうた考』(富士高原開 発、1963) 『富士の性典』(富士博物館、1964) 『性の石神』(山と溪谷社、1965) 『甲州性的伝説』(緑星社、1980) 『河口湖周辺の伝説と民俗』(緑星 社、1980) 『甲斐性的民話』(緑星社、1983) 『河口湖の民話と伝説』(河口湖町 文化財審議会、年代不詳) ほか | 『富士河口湖町古の小径集成版』 『富士の性典』 「広報かわぐちこ」(1988年2月号) | 2023/2/24 | 富士河口湖 |
| イトウ ショウケイ 伊藤 松逕 | 男 | 1833 1905 | 穴山村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 | 文学 | 俳人。 堀秀成の門下に学び、国学を修め る。 勝山亭梧齋に俳諧を学んで知遇を 受け、その真髓を究める。 各地の俳人と交わり頭角を顕し、近 郷多数の弟子を教導する。 1899年、小田川の金毘羅神社境内 に句碑が建てられる。 (『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委 員会編、韮崎市、1979、p425) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------|----|-------------------|-------|---------------|---|------------|--|--|---|------------|-----|
| 伊藤 生更 イノウ セイコウ | 男 | 1884 1972 | 穴山村 | 韮崎市 | 『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 文学 | 本名基胤(もとたね)。山梨県師範学校を経て母校の教師となり、国語、国文学を講じる。歌はアララギ短歌を通じ、齋藤茂吉の指導を受け、後に同人となる。1935年、短歌結社美知思波を設立。1963年、門弟たちによって愛宕山中腹に歌碑が建立される。『山梨百科事典』山梨県の短歌会をリードした。また山を歩き、山芋掘りが好きだったことから“山芋先生”の異名をとる。『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 『作家道』(美知思波発行所、1949)『茂吉秀歌の鑑賞』(日本文芸社、1959)『甲斐之國』(美知思波発行所、1965) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p79)『山梨の歌人たち』(中沢玉恵、山梨日日新聞社、2006、p41-62)『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p301) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| 伊藤 洋 イノウ ヒロシ | 男 | 1940 | 市川大門町 | 市川三郷町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 技術 文学 | 山梨大学名誉教授。元山梨県立大学理事長・学長。『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 『最新コンピュータネットワークがわかる』(技術評論社、2002)『河川文化21巻』(川と芭蕉、2006)『えんびつで奥の細道』(ポプラ社、2006)『松尾芭蕉(コミック版世界の伝記14)』(ポプラ社、2012)『えんびつで奥の細道簡易版』(ポプラ社、2012) | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p246) | 2022/8/18 | 玉穂 |
| 稲葉 清右衛門 イナハ セイウエモン | 男 | 1925 2020 | 茨城県 | 茨城県 | 『現代日本人名録2002』『忍野村史増補版第1巻』『現代物故者事典2018-2020』 | 技術 社会科学 | (株)ファナック(本社所在地:忍野村)創業者、相談役名誉会長。工学博士。紫綬褒章、勲二等瑞宝章。『現代日本人名録2002』忍野村名誉村民第4号・ルクセンブルククロン・ド・シェーヌ勲章受章・エンゲルバーガー賞受賞・ルクセンブルク勲二等メリット章受章・藍綬褒章受章・勲二等瑞宝章受章・『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021) | 『黄色いロボット』(日本工業新聞社、1991)『やさしいNC読本』(日本能率協会、1986)『ロボット時代を拓く』(PHP研究所、1982)ほか | 『現代日本朝日人物事典』(朝日新聞社、1990、p188)『現代日本人名録2002-1』(日外アソシエーツ、2002、p782)『日刊工業新聞』(2020.10.7、1面)『稲葉清右衛門の生涯厳密と透明』(ファナック、2011)『日本のものづくりを支えたファナックとインテルの戦略』(光文社、2019)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1134) | 2022/7/31 | おしの |
| 稲葉 善治 イナハ ヨシハル | 男 | 1948 | 茨城県 | 茨城県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2017』 | 技術 社会科学 | (株)ファナック(本社所在地:忍野村)会長。工学博士。藍綬褒章受章『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日外アソシエーツ、2016)日本工作機械工業会会長(日刊工業新聞HP2021.5.28) | 『電動サーボ式射出成型機と精密成型』(日刊工業新聞社、1999)『私の履歴書』(日本経済新聞、2022、1月1日～1月31日) | 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日外アソシエーツ、2016)『日本にしかできない技術がある』(PHP研究所、2004、p227) | 2022/7/31 | おしの |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-----------|---------------|---------------------|------------------|---|--|--|-----------|-----|
| イナムラ ハンシロウ 稲村 半四郎 | 男 | 1906 2005 | 旧富士見 村 | 笛吹市 | 『山梨興信録』 | 産業 | 農業研究家 生活改善運動の活動 元富士見村村長 (『山梨興信録』) | 『年寄りのくらしを考える』(農文協、1971) 『むらに生きる先人の知恵』(農文協、1979) 『富士見よもやま話』(石和町立富士見小学校、1983) 『稲村せいわが母の思い出』(1980) | 『山梨興信録』(1979、山梨日日新聞社、p124) | 2020/10/6 | 石和 |
| イノウエ タケヒロ 井上 武寛 | 男 | 1921 2018 | 六郷町 | 市川三郷町 | 『峠路』(星雲社) | 文学 | 満州国立中央師道学院卒業 山梨県下小中学校の教諭・教頭・校長・上野原町教育長 | 『峠路』(星雲社、2011)『聲明』(創栄出版、2011) | 『峠路』(星雲社) | 2023/3/7 | 上野原 |
| イノウエ マコト 井上 真 | 男 | 1960 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 | 産業 技術 社会科学 | 農水省森林総合研究所を経て、東京大学大学院農学生命科学研究科教授。 この間、1987年から約3年間国際協力事業団の熱帯降雨研究プロジェクトに参加。 専攻分野は林業経済学、インドネシア地域研究。農学博士。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)、『山梨県人物・人材情報リスト2015』) | 『commonsの思想を求めて』(岩波書店、2004、県立図書館所蔵) 『熱帯雨林の生活』(築地書館、1991、県立図書館所蔵) 『焼畑と熱帯林』(弘文堂、1995、県立図書館所蔵) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p50)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、p178)『破壊から再生へアジアの森から』(依光良三編、日本経済評論社、2003、奥付) | 2016/11/4 | 敷島 |
| イノウエ ヤスアキ 井上 康明 | 男 | 1952 | 韮崎 | 韮崎市 | 『峡谷』 『四方』 | 文学 | 俳人。 2012年度まで山梨県立文学館に勤務。(『山梨県立文学館年報平成24年度』) 1970年代に俳句誌「雲母」入会、1992年「雲母」終刊。 1993年創刊の俳句誌「白露」創刊同人、副主宰。(『峡谷』) 2012年「白露」が終刊した後、2013年1月に創刊された「白露」の流れをくむ「郭公」を主宰。(「郭公」) 2006年より山日文芸俳句選者を務める。甲府市在住。 (「山梨日日新聞」) | 『四方』(花神社2000) 『峡谷』(角川書店2012) | 『峡谷』(角川書店、2012、P222) 『山梨県立文学館年報平成24年度』(山梨県立文学館、2013、P67) 『郭公』(郭公社、2013年1月創刊号、後記) 『山梨日日新聞、2022.7.12.24面』 | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------------------|---------|---|--|--|------------|------|
| マイヨシマ 今井 栄文 | 男 | 1911 1984 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 社会科学 | 海上保安庁長官、新東京国際空港公団総裁。俳人。俳号は今井湖峯子。逓信省に入り、1954年海上保安庁に移る。1956年第5管区保安部長、1958年航空局監理部長、1960年航空局長、1963年運輸省官房長、1964年海上保安庁長官を歴任して、1965年退官。以後、新東京国際空港公団総裁、日本空港ビル取締役相談役を務めた。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p325) 「山梨日日新聞」(1999.6.22、13面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| イマカワ トクゾウ 今川 徳三 | 男 | 1919 2020 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 「山梨日日新聞」 | 文学 | 小説家。 本名、今川徳蔵。 日本文芸家協会、日本ペンクラブ、大衆文学研究会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 大衆文学研究会の山梨支部を立ち上げ、県内の同人らと「文学と歴史」を創刊。(「山梨日日新聞」) | 『隠密同心』(叢文社、2002) 『紅蓮の翼』(叢文社、2007) 『実録・山本勘助』(河出書房新社、2006) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p302) 「山梨日日新聞」(2005.1.23、12面 顔写真あり) 『武田の軍略』(教育社、1987、奥付) 「山梨日日新聞」(2011.5.5、9面 顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.11.27、8面、 顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| イマニシ カンイチ 今西 幹一 | 男 | 1936 2009 | 大阪府 | 大阪府 | 『佐藤佐太郎短歌の諸相』 『二松学舎の学芸』 | 文学 | 専門は近代詩歌を中心に近代文学。 中高教員のかたわら、関西学院大学大学院文学科日本文学線香修士課程、博士課程を修了。 山梨英和短期大学助教授、教授を経て二松学舎大学文学部教授、後に大学院教授、二松学舎大学学長。 日本文芸家協会会員、現代歌人協会会員。 (『佐藤佐太郎短歌の研究』) 『佐藤佐太郎短歌の研究—佐藤佐太郎と昭和期の短歌』で、第6回日本歌人クラブ評論賞を受賞。 (『二松学舎の学芸』) | 『佐藤佐太郎の短歌の世界』(桜楓社、1985) 『正岡子規の短歌の世界』(有精堂出版、1990) 『文人短歌』1,2(朝文社、1992) 『佐藤佐太郎短歌の研究』(おうふう、2007) 『佐藤佐太郎短歌の諸相』(おうふう、2010) ほか | 『佐藤佐太郎短歌の研究』(今西幹一、おうふう、2007) 『二松学舎の学芸』(今西幹一・山口直孝編、翰林書房、2010) 『佐藤佐太郎短歌の諸相』(おうふう、2015) | 2018/11/27 | 韭崎 |
| イマムラ テルヒロ 今村 照廣 | 男 | 1944 | 田富町 | 中央市 | 『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』 | 芸術・スポーツ | 山梨県の公立小・中学校の美術教師、校長として38年間勤務 (『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』) | 『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』(日本文教出版、2005) 『高学年の美術教育』(百合出版、共著、1982) 『つっぱりたちの抵抗』(民衆社、共著、1987) | 『ピカソ“ゲルニカ”からのメッセージ』(奥付) | 2012/8/10 | 田富 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|-------------|---|---|---|------------|-------|
| イマムラ トシオ 今村 俊雄 | 男 | 1979 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 芸術・スポーツ | 元重量挙げ選手 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | | 山梨日日新聞 2004.6.1011面 2004.6.1117面 2004.6.1219面 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p.54)朝 日新聞2004.06.04 | 2016/11/30 | 塩山 |
| イマムラ フミヒ コ 今村 文彦 | 男 | 1961 | 敷島町 | 甲斐市 | 『逆流する津波』 『河北新報』 『津波詳細地図にみる東日本 大震災の10年』 | 自然科学 ・医学 | 工学博士、津波工学者。 東北大学大学院工学研究科博士課 程修了。 自然災害学会会長、内閣府中央防 災会議専門調査委員会などを歴 任。 東北大学教授。 2014年東北大学災害科学国際研究 所所長。 2019年一般財団法人3.11伝承ロー ド推進機構代表理事。 | 『逆流する津波』 (成山堂書店、2020) 『津波詳細地図にみる東日本大震 災の10年』 (古今書院、2022) | 「山梨日日新聞」 (2012.5.30、26面顔写真あり) 「河北新報」 (2016.3.16、13面顔写真あり) 『逆流する津波』 (成山堂書店、2020奥付に顔写真 あり) 『津波詳細地図にみる東日本大震 災の10年』 (古今書院、2022奥付に顔写真あ り) | 2022/11/30 | 敷島 |
| イワカ ダイイチ 色川 大吉 | 男 | 1925 2021 | 千葉県 | 千葉県 | 『現代日本人名録2002-1』 『20世紀日本人名事典-1』 『猫の手くらぶ物語』 | 歴史・地 理 | 歴史家。 東京大学文学部国史学科卒業。東 京経済大学名誉教授。北州市在 住。 『民衆史』、『自分史』提唱者、自由 民権百年全国実行委員会代表委 員、不知火海総合学術調査団団長 などを歴任。『ある昭和史』で昭和 50年毎日出版文化賞。 (『現代日本人名録2002-1』 『猫の手くらぶ物語』『20世紀日本人 名事典』) | 『明治精神史』(講談社、1978) 『ある昭和史』(中央公論、1978) 『色川大吉著作集全5巻』(筑摩書 房、1995) 『猫の手くらぶ物語』(山梨日日新聞 社、2008) 『昭和へのレクイエム』(岩波書店、 2010) 『戦後七十年史1945-2015』 (講談社、2015) 『不知火海民衆史上・下』(摇篮社、 2020)ほか | 『現代日本人名録2002-1』(日外ア ソシエーツ、2002、p910) 『山梨日日新聞』(2011.11.02、10 面、顔写真あり) 『猫の手くらぶ物語』(山梨日日新聞 社、2008) 『20世紀日本人名事典-1』(日外ア ソシエーツ、2004、p331) 『山梨日日新聞』(2021.9.8、1面19 面21面顔写真あり) 『民衆史の狼火を追悼色川大吉』 (不二出版、2022) | 2022/10/1 | 金田一 |
| イワクラ ヒロシ 岩倉 博 | 男 | 1947 | 宮城県 | 宮城県 | 『ある戦時下の抵抗』 | 文学 | 1947年、宮城県角田市生まれ。 1970年、福島大学経済学部卒業。 1995年、東京地方労働組合総連合 (東京労連)事務局に入局。2003年 まで事務局長。08年まで東京地方 労働組合評議会(東京地評)書記。 山梨県北州市在住。 (『ある戦時下の抵抗』) | 『異評司馬遼太郎』(草の根出版 会、2006) 『ある哲学者の軌跡』(家伝社、 2012) 『ある戦時下の抵抗』(花伝社、 2015) 『吉野源三郎の生涯』(花伝社、 2022) | 『ある戦時下の抵抗』(奥付) 『山梨日日新聞』 2022.8.139面 | 2022/11/17 | はくしゅう |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|------------------------------------|-------------|---|--|---|------------|-----|
| イワコウ ミツアキ 岩合 光昭 | 男 | 1950 | 東京都 | 東京都 | 『スノーモンキー』 | 芸術・スポーツ | 1970年、ガラパゴス諸島を訪れたのが契機となり、大学卒業後動物写真家として活動を始める。 『海からの手紙』で木村伊兵衛賞受賞。 『セレンゲティ』で日本写真協会年度賞受賞。 『サバンナからの手紙』で講談社出版文化賞受賞。 ほか、『ナショナル・ジオグラフィック』等海外のメディアでも特集される。テレビ番組等でも活躍している。 (『スノーモンキー』) 1992年より小淵沢町に在住。 『岩合光昭デジカメ日記』P258に記載。 | 『海からの手紙』(朝日新聞社、1981) 『セレンゲティ』(朝日新聞社、1984) 『サバンナからの手紙』(朝日新聞社、1985) 『おきて』(小学館、1996) 『ニッポンの犬』(平凡社、1998) 『ニッポンの猫』(新潮社、2000) 『ホッキョクグマ』(新潮社、2003) 『スノーモンキー』(新潮社、2005) 『パンダ』(新潮社、2007) 『地球動物記』(福音館書店、2007) 『岩合光昭の世界ネコさがし』(クレヴィス、2018) 『岩合光昭の日本犬図鑑』(文溪堂、2018)ほか 『PANTANAL』(クレヴィス、2020) | 『スノーモンキー』(新潮社、2005、表紙裏) 『パンダ』(新潮社、2007、奥付) 「岩合光昭」ホームページ http://www.digitaliwago.com/ (2012.8.10確認) | 2023/2/21 | 小淵沢 |
| イワサキ セイゴ 岩崎 正吾 | 男 | 1944 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | ミステリー作家。 本名、岩崎征吾。 山梨ふるさと文庫代表取締役、山梨学院大学講師。日本文芸家協会所属。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『横溝正史殺人事件あるいは悪魔の子守歌』(山梨ふるさと文庫、1987) 『風よ、緑よ、故郷よ』(東京創元社、1988) 『遥かな武田騎馬隊真田幸村と十人の勇士たち』(山梨ふるさと文庫、2016) 『信長殺すべし異説本能寺』(山梨ふるさと文庫、2018)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p305) 『山梨日日新聞』(2006.09.20、12面 顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2016.06.15、15面) | 2022/9/30 | 甲府 |
| イワマ マコヘエ 岩間 孫兵衛 | 男 | 1803 1870 | 御代咲村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 自然科学・医学 | 算法の免許を取得 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞、1989、p90) 『東八代メモリーズこんなひとがいた』(東八代広域行政事務組合、2002、p61) 『一宮町誌』(一宮町、1967、p1128) 『御代咲村誌』(御代咲村立農業青年学校青窓会、1938、p551) | 2012/8/20 | 一宮 |
| ウエダ ホンショウ 上田 本昌 | 男 | 1930 2022 | 身延町 | 身延町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 『日蓮聖人と法華仏教』 | 哲学・宗教 文学 | 立正大学仏教学部・宗学科卒業。同大学院修了。 身延山大学名誉教授。文学博士。日本仏教学会理事、日蓮宗勸学院副院長、身延山執事、身延町文化協会会長などを歴任。 ホトギス同人。排号は正久日(まさくに)。 身延町山上上沢寺住職。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』) | 『日蓮聖人の救済観』(国際情報社、1982) 『身延の日蓮聖人』(銀杏堂、1999) 『日蓮聖人における「智者」と「行者」』(『日蓮聖人と法華仏教』、大東出版社、2007) 句集『句道仏心』(ホトギス社、1968) 句集『身延路』(東京美術、1983)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p52) 『日蓮聖人と法華仏教』(巻頭に略年譜、写真あり) 『山梨日日新聞』(1991.6.22/7面、1996.7.13/29面、1997.12.17/10面1999.7.29/12面、2005.11.29/15面、2011.4.10/16面、2018.10.3/24面) | 2022/11/30 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-----------|---------------|--|-------------------|--|---|---|------------|-----|
| ウエダ ミエ 上田 美枝 | 女 | 1908 2002 | 市川大門 町 | 市川三郷町 | 『きものひとすじ九十余年』 『山梨県人物・人材情報リスト 2004・2011』 | 技術 | 1959年、裁ち目のない産着にて特 許取得、女性初の「注目発明賞」受 賞。 1962年、全国発明婦人協会副会長 に就任。 1964年、東京都知事賞。 1965年、ニューヨークで展示会。 1966年紫綬、1973年紺綬褒章受 章。 1969年、パリで展示会。 1978年、下部町(現身延町)に「美 枝きもの資料館」設立。 1993年、東京にて展覧会開催。の ちドイツJLC国際文化交流使節団 として渡航。 下部町名誉町民。 (『きものひとすじ九十余年』『山梨 県人物・人材情報リスト2004・ 2011』) | 『新しい仕立方のきもの』(マコー 社、1963) 『新和裁全書』(マコー社、1966) 『工夫仕立のきもの』(マコー社、 1974) 『きもの百科5やさしく縫えるきもの』 (マコー社、1975) 『わたしの歩んだ道』(上田美枝、 1991) 『きものひとすじ九十余年』(婦人画 報社、1999、年譜、写真あり) | 『きものひとすじ九十余年』(巻末に 年譜あり) 『山梨のおんな』(山梨女性史の会、 1986、p263) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2004、p56) 『同2011』(2011、p58) 『山梨日日新聞』 (1991.1.24/11面、2002.12.30/4面 2007.10.16/32面、2009.10.6/15面) 『美枝きもの資料館公式サイト』 (https://mie-kimonomuseum.or.jp) | 2022/11/30 | 身延 |
| ウエノ イワオ 上野 巖 | 男 | 1933 2021 | 明野村 | 北杜市 | 『山梨の滝』 | 芸術・ス ポーツ | 写真家。 山梨県とその周辺の山岳及び自然 景観を撮るフリーカメラマン。日本山 岳写真協会会員。 (『山梨の滝』) | 『雲の地図上野巖詩集』(甲陽書房、 1960) 『南アルプス四季の彩り』(山梨日日 新聞社、1983) 『山梨のハイイクコース』(山梨日日新 聞社、1991) 『山梨の滝』(山梨日日新聞社、 1999) 『やまなしの富士名峰からの眺望』 (山梨日日新聞社、2006) ほか | 『やまなしの富士名峰からの眺望』 (山梨日日新聞社、2006、巻末) | 2023/3/1 | 明野 |
| ウエノ ハルオ 上野 晴朗 | 男 | 1923 2011 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2004』 | 歴史・地 理 社会科学 | 歴史研究家。 司書学芸員として図書館・博物館に 勤務。 1967年より文筆活動に入る。 山梨県文化財審議会委員、山梨県 環境保全審議会委員等を歴任。 NHK大河ドラマ「武田信玄」の時代 考証担当。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』) | 『甲斐武田氏』(新人物往来社、 1972) 『やまなしの民俗上・下巻』(光風社 書店、1972) 『落日の武将武田勝頼』(山梨日日 新聞社、1982) 『武田信玄城と兵法』(新人物往来 社、1986) 『武田信玄上・下巻』(潮出版社、 1987) 『山本勘助のすべて』(新人物往来 社、2006) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p57) | 2022/11/27 | 山梨 |
| ウエノ ヒサオ 上野 久雄 | 男 | 1927 2008 | 御坂町 | 笛吹市 | 『現代短歌大事典』 『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 歌人。 短歌郷土誌「みぎわ」を創刊、主 宰。 (『現代短歌大事典』) 1950年、歌誌「アララギ」に入会し、 1951年、「未来」創刊に参加。1986 年～2008年、山梨日日新聞の山日 文芸短歌選者を務めた。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『上野久雄歌集』(砂子屋書房、 2003) 『炎涼の星』(不識書院、1984) 『夢名人』(山梨日日新聞社、2002) ほか | 『現代短歌大事典』(三省堂、2000、 p63) 『山梨日日新聞』(2008.9.18、23面) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p306) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------|---------------|---|---|--|------------|------|
| ウエハラ アキラ 植原 彰 | 男 | 1962 | 牧丘町 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 自然科学・医学 | ナチュラリスト、小学校教師、ノラやまなし事務局長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『ぼくらの自然観察会』(地人書館、1992) 『学校で自然かんさつ』(地人書館、1993) 『先生からはじめようわくわく環境教育』(国土社、1997) 『いつでもどこでも自然観察』(地人館、2000) 『乙女高原案内人』(乙女高原ファンクラブ、2006) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p58) | 2009/1/22 | 山梨 |
| ウエマツ クニオ 植松 國雄 | 男 | 1941 2021 | 長坂町 | 北杜市 | 『野菜の花写真館』 | 産業 芸術・スポーツ | 1963年、日本大学芸術学部写真学科卒業後、小学館に入社。 1981年、女性セブン編集長を経て、1997年、小学館取締役。 ふたつの子会社の代表取締役を経て、2007年退職。退職後「野菜の花」の撮影を開始。13年間の作品集となる。(『野菜の花写真館』) | 『野菜の花写真館』(敬文舎、2021) 『野の花昆虫写真館(ポストカードブック)』(小学館、2007) | 『野菜の花写真館』(敬文舎、2021、奥付) | 2022/9/27 | ながさか |
| ウエマツ ナミオ 植松 波雄 | 男 | 1913 2011 | 安都玉村 | 北杜市 | 『植松波雄の全仕事』 | 芸術・スポーツ | 写真店経営のかたわらハヶ岳の山岳写真、農村風景を撮り続ける。 山梨県芸術祭賞(1951年) 山梨県文化功労賞(1982年) 山梨県芸術祭賞写真家部門優秀賞(1983年) 長坂町町制45周年記念有功賞(1998年) すべてのネガ・カメラ等を長坂町に寄贈 (2004年) (『植松波雄の全仕事』) | 『南ハヶ岳と山麓の四季』(うえまつ写真、1981) 『甲斐国海岸寺うつし霊場百体観世音』(野牛嶋豊二、1987) 『ありし日のハヶ岳南麓』(うえまつ写真、2000) 『植松波雄の全仕事』(植松国雄、2005) | 『植松波雄の全仕事』(植松波雄、2005、p126~127) | 2013/1/30 | ながさか |
| ウエマツ ハルオ 植松 春雄 | 男 | 1922 1996 | 長坂町 | 北杜市 | 『山梨の植物誌』 | 自然科学・医学 | 山梨師範学校を卒業後、県内小中学校教諭等を経て、山梨県庁学校教育課勤務。 山梨生物同好会長・山梨県小・中理科研究会長・山梨県自然環境保全審議会委員・山梨県文化財審議会委員等をつとめる。 須玉町江草小学校・長坂小学校で校長をつとめる。 | 『山梨の植物』(地方書院1958) 『南アルプスの植物』(井上書店1967) 『山梨の草木』(山梨日日新聞社1974) 『山梨県の植物誌』(井上書店1981) | 『山梨の植物誌』(井上書店1981) P547~549、 | 2016/11/25 | ながさか |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------------------|----|-------------------|------|---------------|-------------------------|------------------|---|--|---|------------|----------|
| ウエマツ ミツヒロ 植松 光宏 | 男 | 1937 | 甲府市 | 甲府市 | 『視聴草』 | 歴史・地理 | 郷土研究者。 山梨文芸協会会員、山梨郷土史研究会会員。 奈麻余美文庫主宰。 (『視聴草』) 甲府市民文化奨励賞受賞、教育功労者に選ばれる。(「山梨日日新聞」) | 『視聴草』(山梨ふるさと文庫、2004) 山梨の洋風建築』(甲陽書房、1977) 『山梨本のある風景』(山梨ふるさと文庫、1989) 『らい・ぶらり』(奈麻余美文庫、1991) ほか | 『視聴草』(p185) 山梨日日新聞(2005.3.15、6面、2011.11.3、3面) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ウエマツ ミル 植松 稔 | 男 | 1956 | 甲府市 | 甲府市 | 『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』 | 自然科学・医学 | 医学博士。 放射線科専門医・乳癌学会専門医・放射線腫瘍学会認定医。 米国放射線腫瘍学会正会員。 四次元ピンポイント放射線治療を開発。それが種々のがんに対して実行可能となった世界初の病院「UMSオンコロジークリニック」のセンター長を務める。 (『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』) | 『明るいがん治療—一切らずにピンポイント照射』(三省堂、2003) 『明るいがん治療2—身体に優しいピンポイント照射』(三省堂、2009) 『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』(三省堂、2009) 『抗がん剤治療のうそ』(ワニ・プラス、2012) 『世界初からだに優しい高精度がん治療』(方丈社、2020) | 『明るいがん治療3—「明るいがん講座」30話』(三省堂、2009、奥付) 「UMSオンコロジークリニック」 http://www.ums-oc.com/ (2022.8.10確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ウォルター ウェストン Walter Weston | 男 | 1861 1940 | イギリス | イギリス | 『山梨百科事典』 | 哲学・宗教 芸術・スポーツ | 牧師・登山家。 日本における近代登山の父と言われる。 1888年から1915年まで3回にわたり来日、15年間滞在した。南アルプスの山々を登山。 1904年、鳳凰三山の地蔵岳岩塔を初登攀。 日本アルプスを南、北に区分して命名。 (『山梨百科事典』) | 『日本アルプス・登山と探検』(梓書房、1933) 『極東の遊歩場』(山と溪谷社、1970) 『ウェストンの明治見聞記』(新人物往来社、1987) 『ウェストンの北岳』(日本山書の会、1988) 『日本アルプス再訪』(平凡社、1996) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p92) 『知られざるW・ウェストン』(田畑真一、2001) 『ウェストンと歩く日本アルプス』(上田剛、2015) 『はじめの日本アルプス』(山村基毅、2008) 『ウォルター・ウェストンと上條嘉門次』(求龍堂、2018)ほか | 2018/11/28 | 楡形 韮崎 |
| ウシダ タカヨシ 牛田 喬修 | 男 | 1900 1961 | 武川村 | 北杜市 | 『武川村誌下巻』 | 芸術・スポーツ | 教員(小中学校)。1957年退職。 「卓上静物」の作品が第8回春陽会に入賞(1930年) 「峡北美術協会」創立(1948年) (『武川村誌下巻』) | 『赤蓼牛田喬修画集』(吉沢真・中山嘉明・林立平編集、依田印刷社、1977) | 『武川村誌下巻』(武川村、1986、p541~542) 『赤蓼牛田喬修画集』(p50) 『文協むかわ創立20周年記念誌』(武川村文化協会、1992、p99) | 2012/7/30 | むかわ |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------|----|-------------------|------|---------------|------------------|---------------|--|--|-------------------------------|------------|-----|
| ウシヤマ トシオ 牛山 俊男 | 男 | 1961 | 長野県 | 長野県 | 『天体写真の教科書』 | 芸術・スポーツ | 自然写真家・環境カウンセラー。 1999年から自然写真家として活動を開始。星空風景を中心としたネイチャーフォトによる講演会や映像ライブなどを開催。 八ヶ岳、南アルプス、奥秩父、富士山周辺がおもな撮影フィールド。 (『天体写真の教科書』) | 『デジタルカメラによる星空の撮り方』(誠文堂新光社、2012) 『写真でつづる四季の星空』(誠文堂新光社、2014) 『天体写真の教科書』(誠文堂新光社、2017) | 『天体写真の教科書』(誠文堂新光社、2017) | 2018/11/27 | 萠崎 |
| ウタタ ミルユキオ 歌田 稔(鞠雄) | 男 | 1854 1902 | 下田井村 | 萠崎市 | 『萠崎市誌』 | 哲学・宗教 社会科学 | 諏訪神社の神主、丹後守昌之の嫡男として生まれた。 幼児から水上貞道の門に入り、学問・武芸をきびしく仕込まれた。 1867年「報国岩窪の盟」に加わり、1869年の除隊まで活躍は目ざましい。 のち水戸弘道館に学び、稔と改名。初代円野小学校長、武田八幡宮宮司、円野・清哲・神山三村戸長を歴任。 (『萠崎市誌』) | | 『萠崎市誌下巻』(萠崎市誌編纂委員会、1979、p426) | 2022/11/30 | 萠崎 |
| ウチダ ヨシヒロ 内田 義広 | 男 | 1906 1988 | 旧岡部村 | 笛吹市 | 『山梨興信録』 | 文学 芸術・スポーツ | 『中央山脈』(詩の同人誌)創始者。作詞家として、塩山南小・甲府北西中・浅川中・上野原高校など校歌の作詞をする。 石和町文化協会の初代会長。 (『山梨興信録』) | 『花の群落』(日本未来派の会、1976) 『笛吹川の水辺にて』(サンリオ、1980) 『百羽の雁』(日本未来派発行所、1954) | 『山梨興信録』(山梨日日新聞社、1979、p152) | 2012/8/20 | 石和 |
| エグチ ヒデオ 江口 英雄 | 男 | 1943 | 甲府市 | 甲府市 | 『上野原町立病院物語』(悠飛社) | 自然科学・医学 文学 | 横浜市立大学医学部卒業 山梨医科大学助手・講師・教授、上野原町立病院院長前上野原市長 | 『上野原町立病院物語』(悠飛社、2003) | 『上野原町立病院物語』(悠飛社) | 2021/3/20 | 上野原 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|--------------|----------------|---------------------------------|---------|---|---|--|------------|-----|
| エジマ ヒロシ 江島 寛 | 男 | 1933 1954 | 朝鮮全羅 北道郡山 | 大韓民国 全羅北道郡山 | 『中富町誌』 「イマジネーション」 「現代思想」 | 文学 | 本名星野秀樹。 終戦後、中富町古長谷に引き揚げる。旧制身延中学校在学時「峡南文芸」に創作や詩、「美知思波」に短歌を発表。 1949年上京後、下丸子文化集団に参加、「詩集・下丸子」「石つぶて」を発行したが、1954年8月、21歳で病没する。 翌年『江島寛詩集』が出版された。 (『中富町誌』「イマジネーション」) | 『鋼鉄の火花は散らないか』(井之川巨編・社会評論社、1975) 『江島寛詩集』(江島寛詩集刊行委員会、1955) 『コレクション戦争と文学 I 朝鮮戦争』(浅田次郎他編、集英社、2012) 随筆「断片」詩「バンク」「エアブレン星座」創作「太極旗」(『峡南文芸第3号』山梨県立身延中学校文芸部、1947、p12、19、32、41) 「不幸な象徴(マチネ・ポエティック)に就て」(『峡南文芸第4号』身延第一高等学校文芸部、1948、p13) | 『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p1033) 『身延わが青春』(身延高等学校、1982、p211、p218) 『下丸子文化集団とその時代』(道場親信著、みすず書房、2016) 『イマジネーション』2号(山梨文芸協会、2004.6、p156～) 『現代思想』臨時増刊号(青土社、2007.12、p38、162、230、312) 「山梨日日新聞」(1975.5.3、6面“江島寛遺稿集を出版”、2015.8.631面) | 2022/11/30 | 身延 |
| エハラ ナイト 江原 騎士 | 男 | 1993 □ | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | 新田小から富竹中、山梨学院高、山梨学院大を経て、自衛隊体育学校。 2016年2月、400メートル自由形で短水路日本新記録を樹立。 2016年8月、リオデジャネイロ五輪では、第2泳者を務めた4×200メートルリレーで、同種目で52年ぶりとなる銅メダルを獲得。 2016年10月、県イメージアップ大賞。 市長特別賞。甲府大使。 2017年7月野口賞スポーツ部門受賞 2017年9月、2018年9月、2019年9月山梨県体育功労者特別選手受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) (「山梨日日新聞」) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p535) 「山梨日日新聞」(2016.10.19、21面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2016.10.28、24面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2017.7.1、56面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.1.1、45面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.2.16、15面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.3.26、27面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2020.12.5、14面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.2.7、18面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.4.6、19面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.4.7、17、27面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.6.4、14面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2021.7.24、26面顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2022.3.1、17面顔写真あり) 甲府市HP(甲府大使プロフィール)のプロフィール詳細あり(2022.5.1更新顔写真あり)(2022.9.9確認) 江原騎士Twitter https://twitter.com/71knight10 (2022.9.9確認) | 2022/9/30 | 甲府 | |
| エミヤ タユキ 江宮 隆之 | 男 | 1948 | 増穂町 | 富士川町 | 『江宮隆之の文学世界』 | 文学 | 小説家。 本名：中村高志 1989年「経清記」が第13回歴史文学賞受賞。 1994年『白磁の人』が第8回中村星湖文学賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) | 『経清記』(新人物往来社、1993) 『白磁の人』(河出書房新社、1994) 『風のささやき』(河出書房新社、2004) 『山本勘助とは何者か』(祥伝社、2006) 『二人の銀河鉄道嘉内と賢治』(河出書房新社、2008) 『満州ラブソディ』(河出書房新社、2018) ほか | 『江宮隆之の文学世界』(甲府市立図書館編甲府市教育委員会、2007、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p323,396) | 2023/2/23 | 県立 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------|---------|---|---|---|------------|-----|
| オクホ マツヨ 大久保 松代 | 女 | 1898 1996 | 境川村 | 笛吹市 | 『東八メモリーズこんなひとがいた。』 | 自然科学・医学 | 医師 日本初の耳鼻咽喉科女医 (『東八メモリーズ』) | | 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p77~86) 『大久保松代の野割り人生』(井上こみち著、PHP研究所、1993) 『山梨の20世紀』(山梨日日新聞社、2000、p25) | 2022/11/5 | 石和 |
| オサワ トシコ 大澤 俊彦 | 男 | 1951 | 山梨県 | 山梨県 | 『道楽の歴史学』 | 歴史・地理 | 甲斐市在住。電気管理技術者。全国歴史研究会会員。 山梨県郷土研究会会員。 | 『道楽の歴史学』 (全国歴史研究会、2022) | 『道楽の歴史学』(奥付) | 2022/11/30 | 敷島 |
| オシマ マサタケ 大島 正健 | 男 | 1859 1938 | 神奈川県 | 神奈川県 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 甲府中学(現甲府一高)6代校長。 文学博士の学位授与。 (『山梨百科事典』) 札幌農学校(現在の北海道大学)の第一期卒業生で、クラーク先生の教えを受けた。 (『甲一物語』) | 『クラーク先生とその弟子たち』(新地書房、1991) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p139) 『郷土史にかがやく人々集合編1』(青少年のための山梨県民会議、1974、p87~104) 『甲一物語』(山梨時事新聞社、1965、p71~74) | 2022/9/30 | 甲府 |
| オタクロ カツヒコ 太田黒 克彦 | 男 | 1895 1968 | 熊本県 | 熊本県 | 『日本児童文学大事典』 | 文学 | 随筆家、児童文学作家。 30歳より文筆活動に入り、自然を求め下利根水郷や八ヶ岳にも居を移す。 (『日本児童文学大事典』) 疎開をきっかけに韮崎市に移住。 (「ふれあい」vol.57) | 『川魚ものがたり』(竹村書房、1941) 『小ぶなものがたり』(講談社、1947) 『マスの大旅行』(講談社、1956) 『山ばとクル』(講談社、1962) ほか | 『日本児童文学大事典第一巻』(大阪国際児童文学館、大日本図書、1993、p139) 「ふれあい」vol.57(山梨県広聴広報課、2018、p23) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------|--------------------|--|---|--|------------|------|
| オトモ タケシ 大友 剛 | 男 | 1977 | 東京都 | 東京都 | 「山梨日日新聞」 | 社会科学 | ミュージシャン、マジシャン。2010年、株式会社Music&Magicを設立。2011春、NHK教育「すくすく子育て」にマジシャンとして準レギュラー出演。(大友剛Otomo Takeshi Official website) 南アルプス市在住。 | 『鈴木翼&大友剛の0・1・2歳児ちよこっと手あそび大集合!』(ひかりのくに、2015)『さわってごらん!よるの星』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2016)『ふしぎなふしぎなまほうの木』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2014)『ねこのピートだいすきなしろいくつ』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2013)『えがないえほん』(大友剛訳、早川書房、2017)『ねこのピートクリスマスをとどけよう』(大友剛訳、ひさかたチャイルド、2018)ほか | 「山梨日日新聞」(2015.11.15、12面、顔写真あり)「山梨日日新聞」(2016.3.22、16面、10.6、19面)イベント参加記事「山梨日日新聞」(2017.12.9、14面、)「山梨日日新聞」(2018.9.23、21面) | 2023/3/9 | わかかき |
| オムラ カスエ 大村 主計 | 男 | 1904 1980 | 諏訪村 | 山梨市 | 『山梨の作家1』 『山梨百科事典』 | 文学 | 童謡詩人 1929年童謡『花かげ』発表(作詞) 1946年東京タイムズ社設立 (『山梨の作家1』) スポーツタイムズ社長 (『山梨百科事典』) | 『麦笛』(児童芸術社、1932) ほか | 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p143~) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p150) ほか | 2012/8/21 | 塩山 |
| オムラ サシ 大村 智 | 男 | 1935 | 神山村 | 韮崎市 | 『山梨県人物人材情報リスト2021』 | 自然科学・医学 芸術・スポーツ | 薬学者。 理学博士、薬学博士。 北里研究所顧問、北里大学特別荣誉教授・名誉教授。山梨総合理工学研究機構総長。米国科学アカデミー会員、日本学士院会員、フランス科学アカデミー会員。 東京都立墨田工業高校教諭、山梨大学助手を経て、1965年北里研究所へ。 抗生物質や微生物の研究に取り組み、オンコセルカ症(河川盲目症)の代表的な予防・治療薬である寄生虫駆除薬イベルメクチンなどを開発した。 1985年、米国微生物学会ヘキストルセル賞を日本で初めて受賞したのをはじめ、国内外の賞を多数受賞。 2007年、郷里の韮崎市にコレクションを展示する韮崎大村美術館を開館した。 2012年文化功労者、2015年文化勲章受章。 2015年、ノーベル生理学・医学賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2012年、韮崎市民荣誉賞受賞。 (「韮崎市ホームページ」) | 『微生物とその応用』(共立出版1979) 『微生物薬品化学』(南江堂1986) 『抗生物質研究の最先端』(東京化学同人1987) 『私の芝白金三光町』(北里研究所2000) 『ロードデンドロンの咲く街』(教育広報社1995) 『夕暮れ』(北里研究所2005) 『植林』(北里生命科学研究所2011) 『自然が答えを持っている』(潮出版社2016) 『人間の匂』(毎日新聞出版2016) 『ストックホルムへの廻り道』(日本経済新聞出版社、2017) 『イベルメクチン』(河出書房新社2021)ほか | 『21世紀山梨の100人』(毎日新聞社甲府支局山梨新報社2002p180) 『大村智』(馬場錬成著、中央公論社2012) 『大村智物語』(馬場錬成著、中央公論新社2015) 『大村智ものがたり』(馬場錬成著、毎日新聞出版2015) 『山梨県人物人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ2020p254)ほか | 2022/11/30 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------|------------|--|--|---|------------|-----|
| オオモリ ケイジロウ 大森 慶次郎 | 男 | 1871 1962 | 南八代村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 産業 社会科学 | 大森銀行創始者 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2004』) 貴族院議員 東西アジア史の権威 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p151) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2004) | 2012/8/20 | 石和 |
| オオモリ ヨシノリ 大森 義憲 | 男 | 1907 1982 | 忍野村 | 忍野村 | 『山梨百科事典』『忍野村史増補版第1巻』 | 社会科学 | 民俗学者、文人、忍野郵便局長 (『山梨百科事典』)山梨郷土研究会 会員・勲八等瑞宝章・従軍記章授与 (『忍野村史増補版第1巻』) | 『甲州年中行事』(山梨民俗の会、1952) 『山村のおこなひ』(赤堤社、1991) 『日本の民族19』(第一法規、1977) 『大森資料1・2』(成城大学民俗学研究所、1978) 『日本の民俗』(第一法規出版、1974)『南中部の民間信仰』(明玄書房、1973) 『大森義憲遺歌集』(短歌新聞社、1983) | 『広報忍野』147号(忍野村、1993.5、p8) 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄、ぎょうせい、1986、p342) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p287) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p152)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1144) | 2022/7/31 | おしの |
| オオモリ マサオ 大森 正男 | 男 | 1907 1994 | 忍野村 | 忍野村 | 『大森正男追想録』 『忍野村史増補版第1巻』 | 社会科学 産業 | 経営者(『大森正男追想録』) 忍野村名誉村民第2号(『忍野村史増補版第1巻』) | | 『大森正男追想録』(大森正男翁追想録編集委員会、1995)『広報忍野』138号(忍野村、1992、p3)『忍野物語』(忍野村役場、2001、p122)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1124) | 2022/7/31 | おしの |
| オカ ケイスケ 岡 啓介 | 男 | 1986 | 塩山市 | 甲州市 | 山梨日日新聞 2014.8.4 2版1面 | 芸術・スポーツ | 漫画家小学館週刊少年サンデーにて『銀白のパラディン-聖騎士-』連載(山梨日日新聞2014.8.4版1面) | 少年サンデーコミックス『銀白のパラディン-聖騎士-』全五巻(小学館、2014-2015) | 山梨日日新聞2014.08.041面 | 2016/11/30 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-----|---------------|--------------------------|---------------|---|--|---|------------|-----|
| オガサワラ カンザン 小笠原 環山 | 男 | 1925 2000 | 楡形町 | 南アルプス市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 書家・水墨画家 (『書画同源による水墨画描法集成』) | 『小笠原環山書画集』(秀作社出版、1990) 『書画同源による水墨画描法集成』(秀作社出版、1992) 『環山書と画』(1995) 『秘境武陵源』(秀作社出版、1997) | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p396) | 2020/10/28 | 楡形 |
| オガタ キヨシ 岡田 清 | 男 | 1960 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『親子で楽しむスキー、スノーボード』 | 社会科学 | 山梨県内の公立小学校に三十数年勤務。専門は国語課教育。『親子で楽しむスキー、スノーボード』 | 『山梨の被曝アオギリ二世』(岡田清、2005)『親子で楽しむスキー、スノーボード』(教育同人社、2016) | 『親子で楽しむスキー、スノーボード』(岡田清、教育同人社、2016) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| オガタ コウヨウ 岡田 紅陽 | 男 | 1895 1972 | 新潟県 | 新潟県 | 『山梨百科事典』 『忍野村史増補版第1巻』 | 芸術・スポーツ | 写真家 (『山梨百科事典』、『現代日本朝日人物事典』生存者叙勲・勲三等瑞宝章受章・従五位(『忍野村史増補版第1巻』)) | 『富士山』(社会思想研究会出版部、1961)『富士こそわがいのち』(忍野村役場、1997)『富士百影作品集第1～10輯』(審美書院、1932)『岡田紅陽・田淵行男の世界』(田淵行男記念館、1997) | 『富士こそわがいのち』 『広報忍野』160～163号(忍野村、1994.6～9特集) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p155) 『現代日本朝日人物事典』(朝日新聞社、1990、p361)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1186) | 2022/7/31 | おしの |
| オカバヤシ ハルオ 岡林 春雄 | 男 | 1952 | 高知県 | 高知県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 | 文学 自然科学・医学 | 神戸市教育委員会心身障害児教育委託、藤戸病院心理相談員、山梨大学講師、助教授を経て、山梨大学教育人間科学部教授となる。 (『山梨県人物・人材情報リスト2015』) 2017年3月山梨大学を退職 2017年4月徳島文理心理学科教授 (『徳島文理大学HP』 https://www.bunri-u.ac.jp/) | 『米国教育事情』(『山梨日日新聞』1996.2.12、15面、2.14、11面、2.15、13面) 『現代社会と人間認知的社会臨床心理学』(北樹出版、1997) 『心理教育』(金子書房、1997) 『介護・看護の臨床に生かす知っておきたい心のしくみ』(金子書房、2010) 『最新知覚・認知心理学』(金子書房、2019) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、p183) 『山梨日日新聞』(1998.3.1、7面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2017.1.27、15面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|--|---------------|--|--|---|------------|------|
| オカワ ソウタ 小川 壮太 | 男 | 1977 | 塩山市 | 甲州市 | 『トレイルランニング』 | 芸術・スポーツ | トレイルランナー 山岳スキーヤー (『トレイルランニング』) | 『トレイルランニング』(山と溪谷社、2016) | 『トレイルランニング』(山と溪谷社、2016) 『甲州市市勢要覧2015(甲州市)山梨日日新聞 2009.1.1611面 2007.4.2316面 2007.3.3125面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| オカワ マサコ 小川 正子 | 女 | 1902 1943 | 春日居村 | 笛吹市 | 『春日居町誌』 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 自然科学・医学 文学 | 医師(ハンセン病患者救済活動)。東京女子医専卒業後、東京市立大久保病院で細菌学、内科を、東京貧育会で小児科を修め、1932年国立癩療養所・長島愛生園に赴任した。患者治療のかたわら、当時世間から隠されていたハンセン病患者を療養所へ収容すべく活動。その体験記『小島の春』はベストセラーとなり、1940年に映画化され、評判となった。 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『小島の春』(長崎出版、1992) 『夕富士の』(春日居町、1986) | 『春日居町誌』(春日居町、1988、p1354~1361) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p156) 『甲州人物風土記』(雨宮要七著、昭和書院、1973、p236~244) 『小川正子の生涯』(神田甲陽著、春日居町教育委員会、2000) 『小川正子と小島の春』(清水威著、長崎出版、1986) 『日本女性人名辞典』(日本図書センター、1998、p230) 『女の一生8』(瀬戸内晴美ほか著、講談社、1981、p139~174) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p458~459) | 2022/11/10 | 春日居 |
| オキノ シンカイ 荻野 慎諧 | 男 | 1978 | 若草町 | 南アルプス市 | 『古生物学者、妖怪を掘る』 | 社会科学 | 鹿児島大学大学院理工学研究科終了、理学博士(地質・古生物学)。各地の大学、研究所の研究者を経て、株式会社ActoWを設立。現在は兵庫県丹波市で自然を生かした地域づくりを行う。 (『古生物学者、妖怪を掘る』) | 『荒俣宏妖怪探偵団ニッポン見聞録東北編』(学研プラス、2017) 『古生物学者、妖怪を掘る』(NHK出版2018) 『怪異古生物学』(技術評論社、2018) | 『山梨日日新聞』(2015.7.24、14面、顔写真あり、2017.12.22、11面、2018.11.24、10面、顔写真あり、2020.7.17、11面、顔写真あり) | 2020/10/28 | わかくさ |
| オクヤマ マサミチ 奥山 正典 | 男 | 1916 | 山梨市 | 山梨市 | 『続・わたしの文学散歩』 『小さい自分史』 | 文学 | 元教員。 短歌誌「美知思波」運営委員会委員長、山人会、山梨文化協会会員。 (『続・わたしの文学散歩』『小さい自分史』) | 『峠路』(美知思波発行所、1956) 『わたしの文学散歩』(美知思波発行所、1972) 『甲州の文学碑』(美知思波発行所、1985) 『甲州の文学碑続』(美知思波発行所、1994) 『わたしの文学散歩続』(美知思波発行所、1995) 『小さい自分史』(2006) ほか | | 2009/1/22 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------|-------------|--|--|---|------------|-------|
| オサノ ジュン 小佐野 淳 | 男 | 1959 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 芸術・スポーツ | 武術家、古武道指南所水月塾塾長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『富士北麓幕末偉人伝』(山梨日日新聞社、1995) 『富士北麓の草相撲と力士たち』(『富士北麓の草相撲と力士たち』刊行委員会、2000) 『図説武術事典』(新紀元社、2003) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p85) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| オサノ ツネオ 小佐野 常夫 | 男 | 1940 | 船津村 | 富士河口湖町 | 『五感観光奮闘記』 | 社会科学 | 1981年から河口湖町議を2期、以後旧河口湖町長を4期、富士河口湖町長を1期歴任。在職中は国交省の観光カリスマに選定されるなど町全体を観光の町として確立した。 (『広報富士河口湖』) | 『五感観光奮闘記』(山梨ふるさと文庫、2002) | 『山梨日日新聞』(2002.9.5、19面、2003.7.17、9面、12.1、16面、12.3、23面、12.8、16面) 『広報富士河口湖』(2008年12月号) 『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002、p208) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| オザワ コウミン 小澤 幸民 | 男 | 1850 1934 | 秋田村 | 北杜市 | 『秋田村誌』 『山梨百科事典』 | 文学 歴史・地理 | 「生読新聞」「峡中新報」編集長。自由民権運動に参加。俳人、俳号「如意庵眠石」。 (『山梨百科事典』) | 『秋田村誌』(秋田村、1955、p203～205) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p678～679) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p161) | 2013/1/30 | ながさか | |
| オザワ センペイ 小沢 善兵衛 | 男 | 1840 1904 | 綿塚 | 甲州市 | 『ぶどうの国文化館』 | 産業 | 葡萄酒醸造家。明治初期のぶどう園育成に貢献、育種商として外国種の導入に力をいれた。慶応3年(明治元年とも)アメリカに渡り、ワイン原料としての栽培、醸造方法を学ぶ。 (『古書が伝えた甲州葡萄の歴史』) | 『葡萄培養法摘要』(小沢善兵衛、1877) 『葡萄培養法』上・下(小沢善兵衛、1879) 『葡萄培養法続編』(小沢善兵衛、1880) | 『ぶどうの国文化館』(上野晴朗1995、p48) 『ぶどう酒物語』(山梨日日新聞社、1978、p74) 『古書が伝えた甲州葡萄の歴史』(勝沼図書館、2007) 『日本醸造協会雑誌63巻10号』『日本のポートワイン』(宮崎光太郎・1968) https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/63/10/63_10_1013/_pdf/-char/ja (2023.2.21) | 2023/2/21 | 勝沼 |
| オザワ ヤマ 小沢 やま | 男 | 1951 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『ゆうぐれ』 | 芸術・スポーツ | 高校卒業後、漫画家永島慎二に師事して上京、アシスタントを経験。地元で3回の作品展を開催、2019年生家のアトリエを改築し「小沢やままんが館」を開設(『ゆうぐれ』) | 『ゆうぐれ』(文芸社、2020) 『ふたりのけしき』(文芸社、2021) | 『ゆうぐれ』(文芸社、2020) 韮崎ジャーナル第39号2面 | 2022/11/30 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---|----|-------------------|------|---------------|---|------|--|---|---|------------|-----|
| オタキリ ケンメイ 小田切 謙明 | 男 | 1846 1893 | 西青沼村 | 甲府市 | 『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々集合 編1』 『山梨「人物」博物館』 | 社会科学 | 1872年、山梨郡第一区副戸長。 (『山梨「人物」博物館』) 1876年、貸付会社補融社設立。 1877年、「観風新聞」創刊。 1881年、山梨県会議員、山梨県初 の自由党员。 (『山梨百科事典』) | | 『郷土史にかがやく人々集合編1』 (青少年のための山梨県民会議、 1974、p355～369) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p114～115) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p165) | 2022/9/30 | 甲府 |
| オツジ ノコ 尾辻 紀子 | 女 | 1935 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 作家。 甲府第一高校卒業。 日本ペンクラブ、日本文藝家協会、 日本児童文学者協会会員。 1989年、第20回埼玉文芸賞準賞 受賞。 (『山梨日日新聞』) | 『キャブラからこんにちは』(教育出 版センター、1988) 『近代看護への道大関和の生涯』 (新人物往来社、1996) 『雲水街道をわたる』(講談社出版 サービスセンター、2001) 『幕末外国奉行田辺太一』(新人物 往来社、2006) 『ガンガーまで』(銀の鈴社、2008) | 『山梨日日新聞』(2008.4.20、4面、 顔写真あり) 『幕末外国奉行田辺太一』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p308) | 2022/9/30 | 甲府 |
| オトグロ ハクドウ 乙黒 麦童 | 男 | 1925 | 玉穂町 | 中央市 | 『鍛始』 『玉穂町誌』 | 文学 | 1948年雲母入会、俳人「白露」同 人。 (『鍛始』) | 『句集鍛始』(有泉堂、1985) 『玉穂』(卯辰山文庫、1998) 『春の雪』(サンニチ印刷、2009) | 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、p1299 ～1300、p1304) | 2022/8/18 | 玉穂 |
| オニマル トモヒコ 鬼丸 智彦 カウ マサヒコ (加藤 雅彦 か ら改名) | 男 | 1947 | 若草町 | 南アルプス市 | 『海山越えて』 『山梨の人と文化6』 | 文学 | 1971年山梨県入庁、山梨県立文学 館副館長を最後に退職。 郷土を題材とした執筆活動を行う。 『桑の村』で第9回やまなし文学賞受 賞、『富士川』で第7回坊ちゃん文学 賞受賞。 (『山梨の人と文化6』) | 『幻の「重慶日報」』(山梨ふるさと文 庫、1995) 『鳴弦物語』(山梨ふるさと文庫、 1998) 『城将』(山梨日日新聞社、2005) 『桑の村』(山梨日日新聞社、2005) 『富士川』(山梨日日新聞社、2006) 『京都時習堂』(アーカイブス出版、 2008) 『猿楽を舞う如く』(ブイツーソリュー ション、2009) 『三橋会所』(雑誌「imagination8号」 61～114) 『大地鳴動』(「imagination9号」p73 ～124)『甲斐源氏姫物語』(鬼丸智 彦、2014)『甲州坂本竜馬室』(銀河 書籍、2015)『散りにし花は』(銀河 書籍、2017) | 『海山越えて』(山梨日日新聞社、 1997、奥付) 『山梨の人と文化6』(山梨ふるさと 文庫、2008、p29、p31顔写真あり) | 2018/11/28 | わかさ |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|------------------------------------|-----------|---------------|--------------------------------------|-----------------------------|---|----|---|------------|-----|
| オノ イシミ 小野 泉 | 男 | 1830 1884 | 浅尾新田 村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 歴史・地理 自然科学 医学 | 蘭方医者。小野通仙の子。 種痘館を建て牛種痘法を村人に行ったり、北巨摩郡医会改善に尽力。明治維新後、県立病院の設立を主唱。1872年、山梨県庁学務課に奉職。「甲斐国志」を校訂出版。「山梨県地史略」「甲斐地史略」などの校訂編集。国内最初の婦人新聞「をとめ新聞」を発行。1879年、甲府に私塾「三同社」を開設。浅尾新田に記念碑あり。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p170) 『郷土史にかがやくひとびと集合編2』(青少年のための山梨県民会議、1980、p.82) 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』(浅川伯教・巧兄弟資料館、2017) | 2018/11/16 | 明野 |
| オノ キンロウ 小野 金六 | 男 | 1852 1923 | 河原部村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 産業 | 自宅に桑園を開き、蚕室を設け、製紙工業を興し、韮崎市の後年の製糸業の草分となった。 北巨摩において小武川電力を創立。 最も力を入れたのは鉄道事業であって、両毛鉄道会社の設立、台湾縦貫鉄道計画、朝鮮の京釜鉄道、小倉鉄道などに関係し、東京市街鉄道株式会社の創立も行った。 1912年、富士身延鉄道会社を創立し自ら社長となった。 1925年、韮崎小学校講堂寄附。 (『韮崎市誌』) 1880年、第十国立銀行東京支配人、1893年東京割引銀行を創設、頭取となった。 また静岡県富士市に富士製紙を創立。 甲州財閥の一人として重きをなした。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p426) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、p104) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| オノ ツウセン 小野 通仙 | 男 | 1804 (または 1802) 1888 | 浅尾新田 村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』 | 自然科学 医学 | 蘭方医。 1854年、長男・小野泉とともに大豆生田村(現須玉町)に「種痘館」を建設。 (『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』) 県立病院開設直後、医師団の1人として尽力。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p171) 『郷土史にかがやくひとびと集合編2』(青少年のための山梨県民会議、1980、p.79-82) 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子たち』(浅川伯教・巧兄弟資料館、2017) | 2018/11/16 | 明野 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------|-------------|--|---|--|------------|------|
| オノ テツ 小野 徹 | 男 | 1875 1971 | 鏡中条村 | 南アルプス市 | 『若草町誌』 『山梨百科事典』 | 自然科学 ・医学 | 医師。 日本住血吸虫病(地方病)の撲滅事業。保健衛生。 山梨県医師会会長を勤める。第3回山日生活文化賞受賞。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p132) 『父・祖父を語る』(小野修著、小野修発、1970、山梨県立図書館蔵) 『若草町誌』(若草町誌編纂委員会、若草町、1990、p601~602) 『地方病とのたたかい』(地方病撲滅協会、1977、p122、顔写真あり) | 2012/8/21 | わかかき |
| オノ ヤスオ 小野 泰央 | 男 | 1965 1965 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『創造するための文章』 | 文学 | 文学博士。 日本漢文学、日本表現史専攻。 近年は現代における表現のあり方にも取り組む。 (『創造するための文章』) | 『平安朝天曆期の文壇』(風間書房、2008) 『中世漢文学の形象』(勉誠出版、2011) 『創造するための文章』(真珠書院、2013) | 『創造するための文章』(小野泰央、真珠書院、2013、奥付) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| オノ ヨウサブロウ 小野 要三郎 | 男 | 1854 1941 | 西野村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | 果実栽培の先駆者、 西野村ほか2カ村組合議員。 (『山梨百科事典』) (『白根町誌』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p172) 『白根町誌』(白根町誌編纂委員会、白根町、1969、p587~591) 『南アルプス市ふるさと歴史めぐり第1集』(南アルプス市郷土研究部、2008、p22) 『愛と信念の人郷土に尽くした小野要三郎』(樋川美奈子、2017) | 2018/11/28 | 白根 |
| オヒ コウセツ 小尾 香雪 | 女 | 1877 1957 | 宮川村 | 長野県 | 『清春村誌』 | 芸術・スポーツ | 本名:にほ 明治生まれの女性南画家(『長坂町誌』) | | 『清春村誌』(井出藤太郎、1964、p362~364) 『長坂町誌(下)』(長坂長、1990、p698) | 2014/11/14 | ながさか |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|------------------------------------|------------|---|---|--|------------|------|
| オビ カウ 小尾 嘉郎 | 男 | 1898 1972 | 高根町 | 北杜市 | 『建築家・小尾嘉郎の経歴と建築活動に関する研究』 | 技術 | 1921年名古屋高等工業学校建築科 卒東京市電気局工務課入社 1926年自身の神奈川県庁舎建築設計 図案が選ばれる。神奈川県庁勤務。 (建築技手) 1929年小尾建築公房開設 1931年軍人開館設計競技佳作入選 1972年享年76歳 戦後、小尾嘉郎の設計で残っている 建築は1953年に完成した甲府市舞鶴 城公園内にある「恩賜林記念館」のみ。 | | 『建築家・小尾嘉郎の経歴と建築活動 に関する研究』 (佐藤嘉明2005) | 2018/11/19 | たかね |
| オビ ジュウゾウ 小尾 十三 | 男 | 1909 1979 | 稲穂村 | 北杜市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『甲府市史研究第9号』 | 文学 | 小説家。 教職など多くの職種を歴任し、1944 年、『登攀』で第19回芥川賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『新世界』(学研、1965) 『雑巾先生』(満州文藝春秋社、康 徳12年刊) 『ひとりっ子の父』(第三文明社、 1981) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p309) 『山梨日日新聞』(2021.1.19、17面、 顔写真あり) 『甲府市史研究第9号』(甲府市編さん 委員会、1991、p29～43) | 2022/9/30 | 甲府 |
| オビ ホシウ 小尾 保彰 | 男 | 1877 1949 | 清春村 | 北杜市 | 『清春村誌』 | 文学 社会科学 | 歌人。 県会議員。 佐佐木信綱主宰「心の花」に投稿、 交流。 (『長坂町誌』) | 『天目山』(観光社、1935) | 『清春村誌』(井出藤太郎、1964、 p360～362) 『長坂町誌』(長坂町、1990、p672～ 674、p1037、p1039) | 2013/1/30 | ながさか |
| オマタ ナガトシ 小俣 長利 | 男 | 1938 | 上野原町 | 上野原市 | 『山梨東部姓氏温故録』 | 歴史・地理 | 東京消防庁勤務 会社役員 (『山梨東部姓氏温故録』) | 『山梨東部姓氏温故録』(1986) 『東寺学頭頼賢と小俣氏の研究』 (1997) | 『山梨東部姓氏温故録』(小俣長利、 1986、奥付) | 2009/1/28 | 上野原 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------------|-----------|--|---|---|------------|------|
| オマタ ヒコタロウ 小侯 彦太郎 | 男 | 1920 2007 | 八丈島 | 東京都 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 | 歴史・地 理 | 登山ガイド。1936年強力となる。 1974年より吉田口案内人)組合長。 1994年73歳の時にカーター元米国 大統領夫妻のガイドを担当し、同年 引退。引退までの富士山への登頂 は800回以上にのぼる。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』、『21世紀-山梨の100人』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p564) 『21世紀-山梨の100人』(毎日新聞 社甲府支局編、山梨新報社、2002、 p40~41) 『富士の強力-小侯彦太郎伝-』(寺 林峻著、東京新聞出版局、1998) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| オマタ マサコ 小侯 雅子 | 女 | 1952 | 都留市 | 都留市 | 『気分のいい日を「ことば」が つくる』 | 文学 | 文化放送アナウンサーを経てフリー に。ラジオ番組出演のかたわら執筆 活動、話し方講座の講師等をつとめ る。2008年春より東京学芸大学客 員教授。 (『気分のいい日を「ことば」がつく る』) | 『下心いっぱいのおムレツ』(講談 社、1991) 『言葉ひとつで女があがる』(日東書 院、1994) 『ことばで美人になる話し方聞き方 講座:大人のマナー』(青春出版社、 2005) 『おまたまさこの満腹物語』(講談 社、2006) 『気分のいい日を「ことば」がつくる』 (東京書籍、2008) 『たった1分で愛される人の話し方8 0のスイッチ』(集英社、2011) 『話題のつぼみ』(山梨日日新聞社、 2021) | 『話題のつぼみ』(著者紹介) | 2022/11/3 | 都留 |
| カミ シロク 加賀美 子麓 | 男 | 1912 1992 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 俳人。 本名、加賀美一三男。 高浜虚子に師事。「万緑」に参加。 俳誌「麓」を主宰。 1989年、勲五等瑞宝章。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『雪は空から降ってくる』(牧羊社、 1978) 『火度』(牧羊社、1987) 『目鼻口』(牧羊社、1993) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p108、 309) 『山梨日日新聞』(1999.12.18、11 面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| カワ フミノ 佳川 文乃緒 | 女 | 1940 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『ドキュメント離婚』 | 文学 | 作家 本名:小澤嘉子 全国妻のSOS会会長 日本文芸家協会、日本ペンクラブ会 員 (『山梨県人物・人材情報リスト 2011』) 「わたしの落穂たちよ」で小学館「教 師の記録」最優秀賞。 (『おんなたちの戦国史』) | 『魯山人と影の名工』(オスカーア ート、1990) 『ドキュメント離婚』(光書房、1992) | 『山梨県人物・人材リスト2013』(日 外アソシエーツ、2012、p329) 『ドキュメント離婚』(光書房、1992、 奥付) 『おんなたちの戦国史』(ぶんか社 2006、P254) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------|-------------------|---|---|--|------------|-----|
| かわか 覚 和歌子 | 女 | 1961 | 山梨市 | 山梨市 | 『青天白日』 『山梨日日新聞』 | 芸術・ス ポーツ | 作詞家。 映画「千と千尋の神隠し」主題歌「い つも何度でも」作詞、2001年日本レ コード大賞金賞受賞。 (『青天白日』) 『星つむぎの歌』プロジェクト監修 (『山梨日日新聞』) 本名：細田博子、別名蓮田ひろか (『山梨県人物・人材情報リスト 2023』) | 『ゼロになるからだ』(徳間書店スタ ジオジブリ事業本部、2002) 『青天白日』(晶文社、2004) 『海のような大人になる』(理論社、 2007) 『ねえ』(谷川俊太郎・覚和歌子文、 さとうあきら写真、フレーベル館、 2008) 『はじまりはひとつのことば』(港の 人、2016) 『2馬力』(ナナロク社、2017) 下山小学校校歌作詞 身延清稜小学校校歌作詞 身延小学校校歌「羽と緑と光る呼 吸」作詞 伊藤学園甲斐清和高校校歌「太陽 の旅路」作詞 ほか | 「山梨日日新聞」(2001.8.10、9面、 2003.5.28、12面、2005.3.20、5面、 2007.5.16、16面、2010.12.2、20面、 2012.4.14、22面、2018.4.6、22面い ずれも顔写真有り) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2023、p326) | 2023/2/23 | 県立 |
| かさい じゅウジ 笠井 重治 | 男 | 1886 1985 | 西島村 | 身延町 | 『山梨百科事典』 『笠井重治追悼録』 | 社会科学 | 甲府中学卒業後、1903年渡米、シ カゴ大、ハーバード大大学院に学 ぶ。 1913年6月、シカゴ大学学内弁論大 会に優勝。 1936年から衆議院議員当選3回。 戦前から国際労働会議、列国議会 同盟会議等の国際会議に出席、終 生日米文化振興会会長を務める。 1960年マイアミ、1963年サンフラン シスコ名誉市民賞。1966年、正五位 勲二等瑞宝章叙勲。逝去後、従四 位に叙さる。 (『山梨百科事典』『笠井重治追悼 録』) | 『満州国皇帝陛下を奉迎して』(日 満中央協会、1935) 『アブラハム・リンカン略伝』(日米文 化振興会、1948) 『TheNewUs—JapanEra(日米新時 代)』(日米文化振興会、1976) 『笠井重治弁論集』(日米文化振興 会、1980) 『太平洋の支配』(日米文化振興 会、1987) 「甲州倶楽部」1955年9月1日号(謙 光社山梨協会、1955、p9～) 「ニキソン米副大統領訪ソの影響」 (「政界往来」、政界往来社、1959年 10月号) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1972、p205) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p99) 『笠井重治追悼録』(笠井盛男、 1987、巻頭に写真・年譜あり) 『検証・憲法第九条の誕生』(岩田行 雄、2004、p85～) 『西嶋が生んだ偉人笠井重治』(望 月國男著、国際文献社、2020) 『天皇を救った男笠井重治』七尾和 晃著、東洋経済新報社、2019) 「ある日本人に届いた周恩来からの 『礼状』を追う」(「週刊朝日」、朝日 新聞社、2007.10.12号、p33) 「山梨日日新聞」(1916.11.28/1面、 1966.4.29/1面、1995.9.30/3面、 2019.6.5/12面) 「世論新聞」(1985.5.21、1面、追悼 記事) | 2022/11/30 | 身延 |
| かさい たつみ 笠井 忠文 | 男 | 1928 2021 | 甲府市 | 甲府市 | 『銀色の蝶』 『川治いの道を』 | 文学 自然科 学・医学 | 詩人、医師。 日本現代詩人会会員、山梨詩人懇 話会理事長。 詩誌「乾季」主宰。 (『銀色の蝶』) 日本現代詩人会・日本ペンクラブ会 員 詩誌「人間」「乾季」同人 (『川治いの道を』) 1993～95年と、2006～07年に 県詩人会会長を務めた。山人会副 会長、山日文芸・月間詩壇選者を 歴任した。 (『山梨県日日新聞』) | 『銀色の蝶』(宇宙社、1989) 『寒い春』(乾季詩社、2007) 『川治いの道を』(乾季詩社、2011) | 『銀色の蝶』(宇宙社、1989) 「山梨日日新聞」 (2007.11.16、13面) (2021.1.5、21面) 『川治いの道を』(乾季詩社、2011) 『追悼笠井忠文』(南アルプス笠井 忠文追悼誌編集委員会、2021.) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----------|---------------|--|---------|---|--|--|------------|-----|
| カサイ トウタ 笠井 東太 | 男 | 1905 1969 | 西島村 | 身延町 | 『西島の今昔』 『中富町誌』 | 技術 | 身延高校教諭を退職後、家業の和紙販売業のかたわら公民館長、文化財審議委員を務める。郷土の特産西島和紙の歴史を研究し、村方文献を整理保存し、実証的研究をまとめた。 (『中富町誌』) | 『西島和紙の研究』(西島手漉紙工業共同組合、1957) 『西島紙の歴史』(西島手漉紙工業共同組合、1957) 「紙すき日限」(「峡南の郷土」第1集、峡南郷土研究会、1967、p15～) | 『西島の今昔』(深沢喜一、1970、p113) 『中富町誌』(中富町誌編纂委員会、1971、p1036) | 2014/12/12 | 身延 |
| カサイ トヨタロウ 河西 豊太郎 | 男 | 1874 1959 | 十日市場 村 | 南アルプス市 | 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』 『山梨百科事典』 『図説萑崎・巨摩の歴史』 | 社会科学 | 電力と鉄道事業を中心に多数会社の社長・重役として活躍。根津美術館の理事長・館長。詩文や絵を発表。 (『山梨百科事典』) 収集した美術品は、屋敷地の嘯月美術館において公開。 (『図説萑崎・巨摩の歴史』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p159) 『若草町誌』(若草町誌編纂委員会、若草町、1990、p469、顔写真あり) 『河西豊太郎』(村松志孝共編、河西俊夫、1960) 『甲州財閥物語下』(斉藤芳弘著、テレビ山梨、1976、p214～227) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p207～223) 「ランデブー」12号(コミヤマ工業、2002、p4～13) 『図説萑崎・巨摩の歴史』(郷土出版社、2000、p209、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p6、p106) 『山梨日日新聞』(2018.10.24、18面) | 2020/10/28 | わかさ |
| カサイ ナンソウ 笠井 南村 | 男 | 1911 1982 | 西島村 | 身延町 | 『山梨漢詩』 『山梨漢詩人列伝』 『中富町誌』 | 芸術・スポーツ | 本名、笠井輝男。 上京後、土屋竹雨に師事。漢詩誌『東華』に参加。母校で中国文学科教授を勤める。 1951年、長野・山梨で教職に就く。地元書道会や高校書道の指導を行う。 1958年、新漢詩誌『言永』創刊。 1971年、山梨学院大学教授。 2005年、山梨漢詩会に南村賞が設立される。 (『山梨漢詩』) | 『漢詩の味』(新星書房、1975) 『抱樸集』(新星書房、1982) 『滑樹江雲』(漢詩人社、1982) 『笠井南村詩鈔』(1996) | 『中富町誌』(中富町誌編纂委員会、1971、p1032、p1038) 『西島の今昔』(深沢喜一著、1970、p137) 「山梨の漢詩人その1」(『山梨漢詩』第4号、内藤利信、2003、p245) 「山梨漢詩」(内藤利信、2004、第5号、p271) 『山梨県史通史編6近現代2』(山梨県、2006、p940) 『山梨漢詩人列伝』(山梨漢詩会、2008、p291) 「山梨日日新聞」(2000.7.5/14面) | 2022/11/30 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|------|---------------|---|---------|--|--|---|------------|-----|
| カサイ ヒロシ 河西 秀吏 | 男 | 1947 | 昭和町 | 昭和町 | 『昭和物語河西秀吏写真集』 | 芸術・スポーツ | 写真家。 会社役員。 | 『故郷河西秀吏写真集』(河西秀吏、1998) 『昭和物語河西秀吏写真集』(河西秀吏、2010) | 『故郷河西秀吏写真集』(河西秀吏、1998) 『昭和物語河西秀吏写真集』(河西秀吏、2010) | 2022/8/31 | 昭和 |
| カサイ マサエ 河西 昌枝 | 女 | 1933 2013 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『甲西町新聞』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | スポーツ選手(日紡貝塚)。 東京オリンピック女子バレーボール金メダリスト(主将)。(「甲西町新聞」) 世界バレーボール殿堂入り。(「山梨日日新聞」) | | 「甲西町新聞」(1964.2.20、第44号) 「山梨日日新聞」(2008.10.26、22面、顔写真あり) 「山梨日日新聞」(2013.10.4、22面、顔写真あり) | 2014/11/21 | 甲西 |
| カザマ シンジ 風間 深志 | 男 | 1950 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 芸術・スポーツ | 冒険ライダー。 風魔プラス1オーナー。 地球元気村事務局長。 全日本そり連盟会長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『風のように、少年のように』(OBS・ソニー出版、1988) 『地平線への旅』(文芸春秋、1989) 『2DKと大自然』(大和出版、1991) 『キャンプ術』(旬報社、2001) 『10万回のキャスティング』(インフォレスト、2002) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p100～101) | 2009/1/22 | 山梨 |
| カシタ ノリ 梶田 典代 | 女 | 1924 | 富士見村 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『十四歳・旅立ちのとき』 『嵐吹きすさぶとき』 | 文学 | 児童文学作家。 日本児童文学者協会会員。 富士見中学校・小学校教諭を経て、 東京大学に国内留学し、教育学を専攻。 のち大月東小学校教諭、東京都公立小学校の『教師を務め、1983年に教員を退職。』 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『十四歳・旅立ちのとき』(けやき書房、2000) 『嵐吹きすさぶとき』(けやき書房、2003) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p330) 『十四歳・旅立ちのとき』(けやき書房、2000、奥付) 『嵐吹きすさぶとき』(けやき書房、2003、奥付) | 2014/10/16 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|----------|------|---------------|------------------------------|-------|--|---|---|------------|-------|
| カシワラ ヒトシ 梶原 等 | 男 | 1948 | 河口湖町 | 富士河口湖町 | 『梶原景時知られざる鎌倉本體の武士』 | 社会科学 | 1970年司法試験合格。 1971年中央大学法学部法律学科卒業。 1973年～弁護士登録。 弁護士業務のかたわら、梶原景時に関連する中世史を調査研究。 (『梶原景時知られざる鎌倉本體の武士』) | 『梶原景時知られざる鎌倉本體の武士』(新人物往来社、2000) | 『梶原景時知られざる鎌倉本體の武士』(新人物往来社、2000、奥付) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| カスノ カズオ 數野 和夫 | 男 | 1930 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『石の華』 | 文学 | 小説家。 昭和44年、『驟雨』で山梨県芸術祭脚本部門芸術祭賞を受賞。 平成11年、『舞扇』で中村星湖賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) 1974年、「山梨日日新聞」に長編小説「治承ノ賦」を連載。 「中部文学」「亜朱花」同人。 (『石の華』) | 『石の華』(甲陽書房、1985) 『舞扇』(甲陽書房、1998) 『武士の鬘』(叢文社、2002) 『風狂の人』(文芸社、2008) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p330) 『石の華』(奥付に著者略歴、顔写真あり) | 2014/9/17 | 甲府 |
| カタカ ミサホ 片岡 みさほ | 女 | 1934 | 山梨県 | 山梨県 | 『みさほのふれあい散歩』 | 歴史・地理 | 元小学校教諭 (『みさほのふれあい散歩』) | 『みさほのふれあい散歩』(片岡みさほ、2001) 『合歡の花』(片岡弥一、2004) | 山梨日日新聞(1999.4.16、16面) 山梨日日新聞(2000.4.24、9面) 山梨日日新聞(2001.5.25、20面) 山梨日日新聞(2003.4.7、9面) | 2018/11/18 | 双葉 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|---------------|---|---|---|------------|-----|
| カタ ヨシミツ 片田 義光 | 男 | 1926 2014 | 身延町 | 身延町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『竹炭をやく生かす伸ばす』 『山梨日日新聞』 | 社会科学 技術 | 1975年より5期山梨県会議員を勤める。 1990年、竹炭研究会発足。 1999年、身延竹炭企業組合設立。同理事長を務める。 1998年、駐日大使訪問を契機にラオスと交流。 1999年、勲四等瑞宝章。 2010年、県中小企業団体中央会会長特別表彰。 2014年、従五位旭日単光賞。 (『竹炭をやく生かす伸ばす』、 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『山梨日日新聞』/2010.11.11・ 2014.1.13・1.21・2.8号)) | 『竹炭をやく生かす伸ばす』(創森社、2002) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p108) 『竹炭をやく生かす伸ばす』(創森社、2002、奥付) 『国民生活白書平成16年版』(内閣府、2004、p48) 『山梨日日新聞』(1999.4.9/31面、6.18/11面、2000.2.26/20面、11.9/1面、2002.11.12/17面、.12.11/18面、2003.1.29/7面、.3.4/16面、2004.4.16/19面、6.8/15面、6.29/6面9.29/21面、2005.6.28/20面、9.16/23面、2006.1.4/16面、9.30/25面、2008.9.4/19面、9.27/21面、11.12/18面2009.5.30/22面、7.7/18面、9.1/1面2010.1.13/16面、2.5/17面4.1/21面、4.16/22面、11.11/6、2011.5.11/16、10.28/22面、2012.6.18/17面、6.27/2面、<ジモトロジー>連載記事、2013.1.28/15面、1.30/1面、2.1/1面、2.3/1・4面、2014.1.13/13・17面、1.21/14面『この道・追悼』、2.8/24面) 『朝日新聞』(1998.10.15、「地域おこしの知恵貨しますタイで事例報告」) 『毎日新聞』(2001.9.422面) | 2022/11/30 | 身延 |
| カツ カキヤ 勝 格弥 | 男 | 1851 1907 | 桃園村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 自然科学 ・医学 | 民権運動家 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p165) | 2012/8/21 | 楡形 |
| カウ タメ 加藤 為夫 | 男 | 1923 2008 | 身延町 | 身延町 | 『富士川谷物語』 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』 『兵営記』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 社会科学 | 1943年、立正大学専門部・地理歴史科卒業。 身延高等学校ほか高校教諭を勤める。 『身延町誌』『郷土史指導資料』(県教育委員会編)執筆。 身延町文化財審議委員。郷土史研究者。詩同人「流域」に参加。中部文学同人。 (『富士川谷物語』、『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』) | 『身延町誌』(身延町、1970、p158～) 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p359～) 『大工彫刻』(共著、INAX、1986、p73～) 『富士川谷物語』(山梨日日新聞社、1987) 『下山大工史資料』(加藤美代子、2004) 『兵営記』(遠藤摩木夫、2012) 『下山大工』(「甲斐路」80号、1994、p112～) | 『富士川谷物語』(奥付) 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p374) 『山梨日日新聞』(2004.4.20/18面、2008.3.7/24面、2011.2.26/11面、2011.6.8/18面、2012.6.8/18面) | 2014/12/12 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-----------------------------|------|---------------|--|------|---|--|---|------------|-----|
| カネコ ミチオ 金森 三千雄 | 男 | 1947 | 大月市 | 大月市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 | 文学 | 詩人、児童文学作家。 大学卒業後、児童図書の編集に携 わる。 1985年詩「あの日」で現代少年詩集 新人賞(奨励賞、第2回)受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2011』) | 『少年』(金の星社、1972) 『森の小さな家』(金の星社、1987) 『くまのおいし屋さん』(岩崎書店、 1990) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p113) 『タヌキが教えた立て札』(星雲社、 2000、著者紹介欄) | 2016/11/18 | 大月 |
| カネコ フミコ 金子 文子 | 女 | 1905 (1904) 1926 | 横浜市 | 横浜市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 少女時代、山梨市(旧牧丘町袖口) や丹波山村、朝鮮などを転々とし る。 アナキズム系雑誌「不逞鮮人」「現 社会」などを発行。 1925年大逆罪で起訴、死刑を宣告 されるも証拠不十分で無期に減刑。 1926年服役中の栃木刑務所で自 殺。 (『山梨百科事典』) | 『金子ふみ子獄中手記何がわたし をかうさせたか』(黒色戦線社、 1972・1975筑摩書房、1984春秋社、 1998・2005) 『金子文子歌集』(黒色戦線社、 1976) 『赤いつつじの花』(黒色戦線社、 1984) 『獄窓に想う』(黒色戦線社、1987) 『金子文子わたしはわたし自身を生 きる』(梨の木舎、2006) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p227) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p211) 『金子文子』(山田昭次、影書房、 1996) 『山梨の女性作家たち』(ふじざくら の会、1997、p86) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立 文学館、1999、p29) | 2009/1/22 | 山梨 |
| カネマル シン 金丸 信 | 男 | 1914 1996 | 今諏訪村 | 南アルプス市 | 『わが体験的防衛論』 『金丸信・全人像』 『立ち技寝技』 『山梨日日新聞』 | 社会科学 | 太平醸造社長、甲府コンクリート社 長、日東工業社長、テレビ山梨代表 取締役、山梨県消防協会副会長、 白根町消防団長、衆議院議員(自由 民主党副総裁・副総理) ほか (『山梨県人物・人材情報リスト 2011』) | 『わが体験的防衛論』(エール出 版、1979) 『人は城・人は人垣・人は堀』(エー ル出版、1983) 『立ち技・寝技』(日本経済新聞社、 1988) | 『金丸信・全人像』(鷲尾彰、行政問 題研究所、1984) 『行き過ぎれば刺し違える』(末木幸 一郎、ユニバース出版、1985) 『立ち技・寝技』(金丸信、日本経済 新聞社、1988) 『金丸信寝技師の研究』(仲衛、東 洋経済新報社、1990) 『捨身の首領(ドン)金丸信』(大下 英治、徳間書店、1991)(山梨県立 図書館所蔵) 『金竹小の金と権力』(伊藤博敏、日 本社会党機関紙局、1993) 『山梨県人物・人材情報リスト2019 (日外アソシエーツ、2018、p6) 『山梨日日新聞』(1996.3.29、14面) ほか | 2020/10/28 | 白根 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------|----|-------------------|------|---------------|----------------------|---------|---|--|--|------------|------|
| カネマル トクシゲ 金丸 徳重 | 男 | 1990 1997 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『南米の旅から』 『山梨日日新聞』 | 社会科学 | 政治家。 昭和26年山梨県副知事。 同33年以来衆議院議員に当選(4回)。 (『南米の旅から』) | 『南米の旅から』(甲陽書房、1972) 『欧州ひとり旅』(生活の友社、1962) 『欧州ひとり旅続』(生活の友社、1969) 『欧米ひとり旅』(生活の友社、1962) 『山と谷のある道』(生活の友社、1957) 『私の国会報告』(生活の友社、1966) 『私の国会報告第2集』(生活の友社、1969) | 『南米の旅から』(p209) 『山梨日日新聞』(1997. 8. 20、1面) | 2012/8/21 | 甲西 |
| カネマル ヘイスケ 金丸 平甫 | 男 | 1900 1993 | 白根町 | 南アルプス市 | 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 山梨県バス協会専務理事、山梨県陸運事務所長。 (『山梨日日新聞』) | 『上今諏訪神社考』(金丸平甫、1978)(山梨県立図書館所蔵) 『探訪・白髭神社』(金丸平甫、1985)(山梨県立図書館所蔵) | 『山梨日日新聞』(1993.5.2221面) | 2012/7/12 | 白根 |
| カブト コロウ 甲 吾郎 | 男 | 1849 1925 | 藤田村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 郷土幕内力士 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p178) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p542) | 2020/10/28 | わかくさ |
| カミジョウ ジンノスケ 上條 甚之甫 | 男 | 1904 2004 | 上野原町 | 上野原市 | 『山梨県北都留郡上野原町方言集』 | 言語 | 歴史言語研究者 (『山梨県北都留郡上野原町方言集』) | 『山梨県北都留郡上野原町方言集』(稲垣正幸、2000) | 『山梨県北都留郡上野原町方言集』(上條甚之甫、稲垣正幸、2000、p94) | 2020/10/20 | 上野原 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|----------|-------|---------------|-------------------------------------|---------|--|---|---|------------|------|
| カミジョウ ハルオ 上條 晴夫 | 男 | 1957 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 社会科学 | 教育ライター、ディベートトレーナー。 山梨大学教育学部卒業。 小学校教師、児童ノンフィクション作家を経て、教育ライターとなる。東北福祉大学子ども科学部子ども教育学科教授 所属団体：日本言語技術教育学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会、全国教育ディベート連盟(常任理事) (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『見たこと作文でふしぎ発見』(学事出版、1990) 『中高生のためのやさしいディベート』(学事出版、1996) 『スラスラ書ける読書感想文』(永岡書店、2021) 『叱る技術』(学陽書房、2008) 『実践・教育技術リフレクションあすの授業が上手いく(ふりかえり)の技術1身体スキル』(合同出版、2017) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p447) 「東北福祉大学」HP https://www.tfu.ac.jp/ (2022.8.14確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| カミナカ マナブ 神永 学 | 男 | 1974 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 神永学オフィシャルサイト | 文学 | 1974年生まれ。 サラリーマンの傍ら書き上げたミステリー小説『赤い隻眼』で小説家デビュー。 『心霊探偵八雲』で注目を集める。以後、人気シリーズとなりテレビドラマ化、漫画化される。劇団ユニット・シン×クロを主催。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2020年6月に『心霊探偵八雲』シリーズ完結。 (『心霊探偵八雲 COMPLETEFILES』) | 『赤い隻眼』(文芸社、2003) 『心霊探偵八雲赤い瞳は知っている』(文芸社、2004) 『山猫』(文芸社、2006) 『殺生伝疾風の少年』(幻冬舎、2013) 『心霊探偵八雲 COMPLETEFILES』(KADOKAWA、2020) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p311) 「神永学オフィシャルサイト」 http://www.kaminagamanabu.com/ (2022.8.14確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| カヤマ シゲコ 亀山 繁子 | 女 | 1934 | 三重県 | 三重県 | 『薫風』 | 文学 | 1980年家庭児童相談員任命 2006年山梨県社会福祉協議会より表彰 (『薫風』) | 『双葉』(亀山繁子、1990) 『薫風』(亀山繁子、2008) | 『薫風』(2008、奥付) | 2009/1/16 | 上野原 |
| カヤマ アヤコ 萱沼 文子 | 女 | 1958 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 芸術・スポーツ | 体操インストラクター。 スタジオJAC代表取締役。 1981年、筑波大学体育専門群運動生理学専攻卒。 1985年、スタジオJAC設立。 1995年よりダンベル体操指導協会(DELA)会長、1996年よりフィットネスリラクゼーション指導協会(FRA)会長を務める。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『即効！1週間「部分やせ」エクササイズ』(PHP研究所、2004) 『寝たきりにならないシニアの基本ストレッチ』(PHP研究所、2006) 『「ハミ肉」ストレッチ』(PHP研究所、2006) 『しっかり伸びる！基本ストレッチ』(長野茂監修、日本文芸社、2008) 『かんたんストレッチ百科140』(長野茂監修、PHP研究所、2009) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p112～113) | 2014/11/25 | 富士吉田 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----------|---------------|-------------|-------------------|--|--|---|------------|------|
| カヤマ テイセキ 萱沼 貞石 | 男 | 1901 1962 | 富士吉田 市 | 富士吉田市 | 『富士北麓と文人たち』 | 芸術・ス ポーツ | 書道家。 本名貞治。 1932年、旧東方書道会展に「竹取 物語」を出品、かな部最高賞受賞。 1951年、「日本日本武尊望岳古跡 の碑」「明見町水道碑」を書く。1957 年、日経新聞に「左からみぎへ」と 題し、左タテ書き論を発表。同年山 之神社道祖神碑識。 (『富士北麓と文人たち』) | | 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄 著、ぎょうせい、1986、p80～91) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| カワイ シンスイ 川合 信水 | 男 | 1867 1962 | 小沼村 | 富士吉田市 | 『富士北麓と文人たち』 | 哲学・宗 教 社会科学 | 宗教家、教育家。1890年キリスト教 に入信して上京し、女学雑誌社に入 社する。1895年、東北学院神学部 卒。函館毎日新聞記者、前橋市共 愛女学校長、郡是製糸教育総理等 を歴任。1936年、山梨県不二山荘 に移り、伝道生活をする。1960年、 富士吉田市名誉市民となる。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』、『富士北麓と文人たち』) | 『耶穌基督論』(尚文堂、1927) 『神の誠と吾が体験』(基督心宗教 団本部出版部、1956) 『論語講義』(兄弟学舎、1964) 『ガラテヤ書玄義』(基督心宗教団 事務局出版部、1965) 『山月川合信水先生論語教話』(基 督心宗教団事務局出版部、1970) 『大人と小人』(基督心宗教団事務 局出版部、1979) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p445、 466) 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄 著、ぎょうせい、1986、p250～266) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p240) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| カワミ ケンイチ 川上 健一 | 男 | 1949 | 青森県 | 青森県 | 『あのフェアウェイへ』 | 文学 | 1977年『跳べ、ジョー！B・Bの魂が 見てるぞ』で第28回小説現代新人 賞を受賞し、作家デビュー。 2001年『翼はいつまでも』で『本の雑 誌』ベスト1に選ばれ、2002年第17 回坪田譲治文学賞を受賞。 (『あのフェアウェイへ』) 1990年代に北杜市に移住『朝ごは ん』奥付に記載。 | 『跳べ、ジョー！B・Bの魂が見てる ぞ』(集英社、1977) 『雨鱒の川』(集英社、1990) 『翼はいつまでも』(集英社、2001) 『4月になれば彼女は』(実業之日本 社、2005) 『渾身』(集英社、2007) 『祭り囃子がきこえる』(集英社、 2010) 『あのフェアウェイへ』(講談社、 2011) ほか | 『あのフェアウェイへ』 | 2023/2/21 | 小淵沢 |
| カワミ センペイ 川上 善兵衛 | 男 | 1868 1944 | 新潟県 | 新潟県 | 『川上善兵衛伝』 | 産業 | 園芸、醸造家。 ワイン酒造に最適なぶどう品種を開 発した。 小沢善平に教えを受け、明治24年 に洋種ぶどう苗木9種127株を栽培 した。また明治25年秋には土屋龍 憲の家に3カ月間滞在し、葡萄酒醸 造を学んだ。高野積成、高野正誠と も交流をもった。 (『古書が伝えた甲州葡萄の歴史』) | 『葡萄提要』(実業之日本社、1908) 『実験葡萄栽培書』(博文館、1899) 『実験葡萄全書上・中・下編』(西ケ 原刊行会、1932～1933) 『明治農書全集』第7巻(農山漁村文 化協会、1983)ほか | 『日本のワイン』(早川書房、2003、 p55・p197) 『川上善兵衛伝』(サントリー、1991) 『古書が伝えた甲州葡萄の歴史』 (勝沼図書館、2007) 『伝えたいふるさとの100話』(地域 活性化センター、2004、p74)『越後 えびかずら維新：日本ワイン葡萄の 父』(小学館、2010) 『岩の原葡萄園ホームページ』 https://www.iwanohara.sgn.ne.jp/ab out/index.html (2023.2.19確認) 『上越市歴史博物館』 https://www.city.joetsu.niigata.jp/si te/museum/kawakamizenbe.html (20 23.2.19確認) | 2023/2/19 | 勝沼 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------|---------|---|--|--|------------|-----|
| カワグチ ヒサヒコ 川口 久彦 | 男 | 1933 2014 | 甲府市 | 甲府市 | 『学び直しの日常漢字』 | 言語 | 大学卒業後、編集者として出版社に勤務。 『学研漢和大字典』『漢字源』『学研古語辞典』『中国の古典全集』などの編集長。 退職後、郷土文化同人誌「中央線」の編集長。 (『学び直しの日常漢字』) | 『学び直しの日常漢字』(出窓社、2014) | 『学び直しの日常漢字』(出窓社、2014) 「中央線」(中央線社) | 2018/11/27 | 葦崎 |
| カワサキ ショウコ 川崎 小虎 | 男 | 1886 1977 | 岐阜県 | 岐阜県 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 大正・昭和期の日本画家。祖父・川崎千虎に大和絵を学ぶ。文展特選(大正3年)日本芸術院恩寵賞(昭和36年)勲四等旭日小綬賞(昭和40年)。1944年12月から1949年6月まで落合村(南アルプス市)に疎開している。山梨県立美術館には小虎の作品160点余りが所蔵される。 (『20世紀日本人名事典[1]あ～せ』) (『山梨百科事典』) | 『森の梟』(明治書房、1973) 『川崎小虎と東山魁夷展』(山梨県立美術館、2009) 『川崎小虎展』(山梨県立美術館、1980) | 『20世紀日本人名事典[1]あ～せ』(日外アソシエーツ、2004、p775) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p245、顔写真あり) | 2016/11/1 | 甲西 |
| カワチ ガクイ 河内 雅溪 | 男 | 1872 1943 | 明野村 | 北杜市 | 『新装明野村誌』 | 芸術・スポーツ | 画家。 日本美術院で活躍。明治37年渡米、セントルイス万国博覧会に「天女舞楽之図」を出品し、銀牌を受賞。帰国後は二葉会・美術研精会にも出品し、皇室のお買上にもなった。 (『新装明野村誌』) | | 『新装明野村誌』(明野村、1996、p.896-897) | 2018/11/16 | 明野 |
| カワチ セイコウ 河内 成幸 | 男 | 1948 | 上野原町 | 上野原市 | 『日本美術家事典』 | 芸術・スポーツ | 版画家 「何かが起こったら」で第38回日本版画協会展新人賞受賞 「Produce(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)」で第6回ノルウェー国際版画ビエンナーレ展最高賞受賞 (『日本美術家事典』)2011年、紫綬章受章 | 『河内成幸作品集』(求龍堂、1977) 『河内成幸全版画1968-1987』(阿部出版、1987) 『河内成幸1988』(ARTムー、1988) 『河内成幸全版画1988-1991』(ARTムー、1991) ほか | 『日本美術家事典』(オーアンドエムリミテッド、1995、p285～286) | 2020/10/20 | 上野原 |
| カワニシ カズノリ 河西 万文 | 男 | 1936 | 中富町 | 身延町 | 『版画教育の構成』 『中富町誌』 | 芸術・スポーツ | 都留文科大学名誉教授。 東京芸術大学卒業後、旺元会、秀作美術展などで受賞。 1965年、山梨県版画協会設立、会長就任。 美学会、教育学会員として、多くの論文や版画技法の文献を出版する。 (『中富町誌』『版画教育の構成』) | 『画人司馬江漢の研究』(岩森書店、1982) 『版画教育の構成』(岩森書店、1985) 『山梨の版画』(山梨版画協会、1990) | 『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p1037) 『版画教育の構成』(奥付) 『山梨日日新聞』 (1990.9.4./16面、1995.7.25/11面) | 2022/11/30 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|-------|---|--|---|------------|-----|
| カワムラ ヒデアキ 河村 秀明 | 男 | 1912 1999 | 藤井村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 | 文学 | 1952年、「自由像文学会」を創立し、同人誌『自由像』を刊行。評論と創作に情熱を燃やす。(『韮崎市誌』) | 『質屋日記』(自由像文学会、1966) 『狂死行』(自由像文学会、1968) 『虚構の家』(自由像文学会、1968) 『甲州と文学』(東都山梨新聞社、1970) 『小説富岡敬明』(甲陽書房、1979) 『生と性』(自由像文学会、1982) | 『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p711) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| カンザワ キヨシ 神沢 浄 | 男 | 1915 2007 | 竜王町 | 甲斐市 | 『落穂拾い』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 歴史・地理 | 参議院議員、衆議院議員、竜王町長。(『落穂拾い』) 1998年、勲三等旭日中綬章受章。(『山梨日日新聞』) | 『落穂拾い』(青山書房、1986) | 『落穂拾い』(奥付) 『山梨日日新聞』(2007.3.3、31面) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (『日外アソシエーツ、2010、p121]) | 2014/11/27 | 竜王 |
| カンベ キョイチ 神戸 拳一 | 男 | 1862 1926 | 東桂村 | 都留市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『郡内研究第12号』 | 産業 | 東京馬車鉄道会社支配人 日本鉄道会社専務取締役 東京電燈会社社長 (『山梨百科事典』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p121) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1979、p256～257) 『郡内研究』第12号(郡内研究編集部、2002、p43～52) 『都留のいしぶみ』(小林貞夫、1986、p98～104) 『草露山房覚書』(棚本安男、2004、p321～365) | 2012/8/9 | 都留 |
| キウチ サブロウ 木内 三朗 | 男 | 1851 1917 | 南部町 | 南部町 | 『南部地区における明治の群像』 『改定南部町誌』 | 社会科学 | 『落穂拾遺』を記録。 後年南部に伝染病が流行した際、薬種商を開業、治療に尽くす。晩年は南部郵便局長。現在は、大八氏がこれを継いでいる。(『南部地区における明治の群像』) | 『落穂拾遺』木内家蔵書(『南部町誌』、1964、南部町、P911収録) | 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p5) | 2012/8/14 | 南部 |
| キウチ ノブハル 木内 信春 | 男 | 1844 1914 | 南部町 | 南部町 | 『改定南部町誌』 | 社会科学 | 私塾蒙軒学舎に学ぶ。 初代睦合村村長。 南部新道の開発。 1877年より区長議員2期に渡り県議長をつとめる。 1896年、藍綬褒章を受ける。号は椿山。 (『改訂南部町誌』) | | 『改訂南部町誌上巻』(南部町、1999、p396～540顔写真あり) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p253) | 2012/8/14 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|------------------|---|---|---|------------|-----|
| キウチ マサル 木内 勝 | 男 | 1938 1938 | 南部町 | 南部町 | 『残照ふるさと南部恋歌』 『故郷は今』 『子供たちに未来を』 | 文学 | 東京都内で教職に就き、以後38年間従事する。 退職後、著述業に入る。号は、如月岳。 (『残照ふるさと南部恋歌』) | 『残照ふるさと南部恋歌』(文芸社、1975) 『故郷は今』(私家版、1994) 『子供たちに未来を』(文芸社、1998) | 『残照ふるさと南部恋歌』(プロフィール) | 2012/8/14 | 南部 |
| キキ 効タロウ 木々 高太郎 | 男 | 1897 1969 | 山城市 | 甲府市 | 『山梨百科事典』 『山梨「人物」博物館』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 文学 自然科学 医学 | 本名：林諫(ハヤシカシ) 1937年、『人生の阿呆』で第4回直木賞受賞。 (『山梨百科事典』) 1946年、『新月』で第1回探偵作家クラブ賞受賞。 (『山梨「人物」博物館』) 江戸川乱歩賞の選者。 1951年、福沢賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『頭のよくなる本』(光文社カッパブックス、1960) 『頭のよい子に育てる本』(金剛出版、1967) 『人生の阿呆』(東京創元社、1988) 『網膜脈視症他4編』(春陽堂書店、1997) 『木々高太郎全集1～6巻』(朝日新聞社、1971) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p762(林諫)) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p190～191) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p187～191) 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p67～74) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p279,338(林諫)) | 2020/9/30 | 甲府 |
| キシマ エキセン 菊島 奕仙 | 男 | 1899 1978 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨日日新聞』 『読売新聞』 | 社会科学 | 第一生命広島支社長 法幢院(ほうどういん)住職 広島に原爆が投下された直後から 保険会社の広島支社長として、遺族らへの保険金の支払いに奔走した 1927年第一生命入社 1940年広島支社長就任 (『読売新聞』2015.08.07) | 『山梨日日新聞』 2016.8.157面 2015.8.527面 2015.8.723面 『読売新聞』 2015.08.0735面 | 『山梨日日新聞』 2016.8.157面 2015.8.527面 2015.8.723面 『読売新聞』 2015.08.0735面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| キシマ リウゾウ 菊島 隆三 | 男 | 1914 1989 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 脚本家、映画プロデューサー。 日本大学芸術学部教授。 本名、菊嶋隆蔵。 ブルーリボン賞、芸術祭文部大臣賞、サンケイ国民映画脚本賞など多数受賞。 『用心棒』『椿三十郎』『天国と地獄』『赤ひげ』など黒澤明監督とのコンビによる名作が多数ある。 日本ペンクラブ、シナリオ作家協会などに所属。 1998年、菊島隆三賞創設。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『木曾街道いそぎ旅』(オリエント書房、1973) 『ペンとカチンコと計算器』(サンリオ、1982) 『菊島隆三シナリオ選集1～3』(サンレニティ、1984) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p312.P513) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|---------------|--|---|---|------------|-----|
| キシ ユキ 岸 ユキ | 女 | 1948 | 兵庫県 | 兵庫県 | 『らっきよの汗が輝くとき』 | 芸術・スポーツ | 菫崎市名誉市民 女優、タレント、画家、B&G財団理事 1964(昭和39)年西野バレエ団に入団。1969(昭和44)年TBSドラマ『サインはV』でデビュー。NHK「明るい農村」、テレビ東京「岸ユキのふるさとホットライン」で300以上の農村を取材。同時期に東京の自宅とは別に山梨県菫崎市に居を構え、自ら畑を耕すようになる。菫崎市文化ホールの館長務める。(『らっきよの汗が輝くとき』) | 『無言の教育』『親父バンザイ』婦人画報社、1986 『らっきよの汗が輝くとき』岸ユキ // 絵と文家の光協会2003.4 | 菫崎市ホームページ (https://www.city.nirasaki.lg.jp/) 2020.10.22確認 『菫崎ムーブ2020』(菫崎市、2020) | 2020/10/25 | 菫崎 |
| キタノ タカハル 北野 隆春 | 男 | 1891 1981 | 境川村 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』 | 産業 社会科学 | 北野商会創業者 スタンレー電気創業者 北野生涯教育振興会設立 (『山梨百科事典』) | 『私の選んだ格言集』(北野生涯教育振興会、1993) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p267~268) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p111~112) 『北野隆春その人』(北野隆興、1982) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p105~114) | 2022/10/13 | 石和 |
| キタノ ヤスシ 北野 康 | 男 | 1923 2018 | 中道町 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 自然科学・医学 文学 | 名古屋大学・相山女子学園大学名誉教授。 名古屋大学理学部教授を経て、名古屋大学水圏科学研究所所長、名古屋大学名誉教授、相山女子学園大学学長を歴任。勲三等旭日中綬章。 日本地球化学会・日本化学会・日本海洋学会・日本分析化学会所属。 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 『水の科学』(日本放送出版協会、1978) 『水と地球の歴史』(日本放送出版協会、1980) 『地球温暖化がわかる本』(マクミラン・リサーチ研究所、1990) 『化学の目でみる地球の環境』(裳華房、1992) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p259) 『化学の目でみる地球の環境』(裳華房、1992、奥付) | 2022/9/30 | 甲府 |
| キタハラ ハクシュウ 北原 白秋 | 男 | 1885 1942 | 福岡県 | 福岡県 | 『現代詩大事典』『中央線第7号』 | 文学 | 詩人・歌人。『明星』に参加。「赤い鳥」創刊後は童謡詩人としての地位を確立。(『現代詩大事典』)1909年菫崎駅にて「菫崎の白きベンキの駅標に薄日のしみて光るさみしき」の歌を詠む(『中央線第7号』) | 『北原白秋歌集』(角川書店、1959) 『思ひ出』(日本近代文学館、1972) 『からたちの花が咲いたよ』(岩波書店、1979)ほか | 『現代詩大事典』(三省堂、2008、p342)『中央線第7号』(中央線社、1971) | 2020/10/25 | 菫崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------|-------------|--|--|--|------------|-------|
| キタムラ ユウジ 北村 雄治 | 男 | 1871 1903 | 鏡中条村 | 南アルプス市 | 『若草町誌』 | 歴史・地理 産業 | 北海道開拓 (『若草町誌』) | | 『若草町誌』(若草町誌編纂委員会、若草町、1990、p447~454顔写真あり) 『絆ー若草町合併45周年記念町勢要覧』(若草町、1999、p9~14) 「ランデブー」12号(コミヤマ工業、2002、p11~12) | 2016/10/1 | わかくさ |
| キッタ カツコ 橋田 活子 | 女 | 1942 | 東京 | 東京都 | 『神ドノのおヒルネ』 | 文学 | 元保育士 元山梨県育精福祉センター職員 山梨市詩人懇話会会員 県詩人会副会長 (『神オドのおヒルネ』) | 『花粉』(山梨はたらく文学の会、1969)『神ドノのおヒルネ』(甲陽書房、1981)『にぎやかな悲しみ』(橋田活子、2001) 『のこれことばに』(土曜美術社、2013) 『茶碗の欠片』(百年書房、2019) | 山梨日日新聞(1998.2.8、28面) 山梨日日新聞(2000.7.24、17面) 山梨日日新聞(2013.9.26、11面) 山梨日日新聞(2015.7.8、15面) 山梨日日新聞(2019.7.5、25面) 「山梨県詩人会ホームページ」 URL:http://www7a.biglobe.ne.jp/~yamanashishijinkai/(2023/2/17確認) | 2020/10/27 | 双葉 |
| キムラ トウキチ 木村 東吉 | 男 | 1958 | 大阪府 | 大阪府 | 『こんな暮らしが良かった』 | 芸術・スポーツ | ファッションモデル。 アウトドアスクールや専門学校の講師。 (『アウトドアで素敵な週末』) 1995年河口湖町へ移住。 (『こんな暮らしが良かった』) | 『木村東吉のパパはシェフ』(双葉社、1994) 『木村東吉のカントリーダイアリー』(ベネッセコーポレーション、1997) 『親子で楽しむアウトドア・クッキング』(日本放送出版協会、2000) 『こんな暮らしが良かった』(山と溪谷社、2001) 『森と湖の生活』(光文社、2001) ほか | 『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002、p28) 木村東吉オフィシャルサイト http://www.greatoutdoors.jp/profile.html(2023.2.24確認) | 2023/2/23 | 富士河口湖 |
| キヨクモ エイジュン 清雲 栄純 | 男 | 1950 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 芸術・スポーツ | 塩山福蔵院長男 元サッカー日本代表 元ジェフ千葉監督 元日本代表コーチ 元U-18日本代表監督 大宮アルディージャのトータルマネージャー法政大学教授 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p128)読売新聞2010.7.633面 毎日新聞2006.05.18夕刊1面 2005.02.17朝刊16面2004.11.28朝刊2面 1999.05.016面 1994.02.0520面 山梨日日新聞2002.11.104面 埼玉新聞2002.04.281面 朝日新聞2000.09.24 | 2016/11/30 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------------|----|-------------------|-----|---------------|--------------------------------------|---------------|--|--|--|------------|-----|
| キヨモ シュンゲン 清雲 俊元 | 男 | 1935 | 塩山市 | 甲州市 | 『甲斐源氏安田義定』 『木食白道知られざるもう一人の木食』 | 歴史・地理 | 国学院大学文学部史学科卒。 専攻は中世史・宗教史。 放光寺住職、山梨大学非常勤講師。 山梨郷土研究会常任理事、 山梨県文化財審議委員 (『甲斐源氏安田義定』) 山梨県文化財保護審議会会長 富士山世界文化遺産山梨県学術委員長。 山梨郷土研究会理事長。 (『木食白道知られざるもう一人の木食』) | 『真言宗智山派大善寺』(山梨歴史美術研究会、2008) 『木食白道知られざるもう一人の木食』(山梨ふるさと文庫、2008) 『峡東今昔写真帖』(郷土出版社、2004) 『笛吹川特集号』(山梨法人会、1991) 『放光寺』(山梨歴史美術研究会、2005) 『甲斐源氏安田義定』(放光寺甲斐創八百年記念事業奉賛会、1984) 他 | 『甲斐源氏安田義定』(清雲俊元、1984、奥付) 『木食白道知られざるもう一人の木食』(山梨ふるさと文庫、2008、奥付) 読売新聞2013.6.2633面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| キンダイチ ハルヒコ 金田一 春彦 | 男 | 1913 2004 | 東京都 | 東京都 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『大泉村130周年記念誌』 | 言語 芸術・スポーツ | 国語学者・邦楽研究家 東京大学文学部国文科卒 東京外国語大学、名古屋大学、上智大学教授を歴任。 日本語アクセント、平曲研究の第一人者。大泉村名誉村民。 「金田一春彦ことばの資料館」(北社市金田一春彦記念図書館内)有り。『十五夜お月さん一本居長世人と人生』で昭和58年芸術選奨文部大臣賞受賞。昭和52年紫綬褒章、平成9年文化功労者。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『日本語』(岩波書店、1975) 『十五夜お月さん』(三省堂、1982) 『日本の方言』(教育出版、1995) 『平曲考』(三省堂、1997) 『白いボート』(如月社、1998) 『金田一春彦著作集全13巻』(玉川大学出版部、2003-06) 『ケヤキ横丁の住人』(東京書籍、1983) 『ホンモノの日本語』(KADOKAWA、2016)ほか | 『現代日本人名録2002-2』(日外アソシエーツ、2002、p501) 『山梨日日新聞』(2004.5.20、23面) 『郷土ゆかりの人物総覧』(日外アソシエーツ、2011、p240) 『金田一春彦著作集別巻』(玉川大学出版部、2006、p103~142) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p489~490) | 2022/10/1 | 金田一 |
| クスモ キミエ 楠本 君恵 (沢登 君恵) | 女 | 1943 | 楯形町 | 南アルプス市 | 『日本児童文学大事典』 | 文学 | 法政大学教授 翻訳者 (『日本児童文学大事典』) | 『翻訳の国の「アリス」』(未知谷、2001) 『出会いの国の「アリス」』(未知谷、2007) 『まごあ・ぐらすマザー・グース』(未知谷、2010) | 『日本児童文学大事典第1巻』(大日本図書株式会社、1993、p353) | 2012/8/21 | 楯形 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|----------|---------------|------------------------------------|---------|--|---|--|------------|-------|
| クスキ キナイ 功刀 亀内 | 男 | 1889 1957 | 豊村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 歴史・地理 | 甲州文庫の収集者 (『山梨百科事典』) | | 『続・甲州庶民伝』(NHK甲府放送局、1977、p20～26) 『図書館活用百科』(新潮社、1981、p182) 『山梨・本のある風景』(山梨ふるさと文庫、1989、p105) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、293) 『山梨の20世紀』(山梨日日新聞社、2000、p87) 『山梨県史資料編19』(山梨県、2002、p885～890) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p199) 『月刊山梨』(1950.2月号、p3、5月号、p6、6月号、p11、1951.10月号、p12) | 2020/10/28 | 楯形 |
| クスキ キンシロウ 功刀 金二郎 | 男 | 1903 1975 | 神山村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 自然科学・医学 | 数学者、大阪大学名誉教授。 1914年、フランスへ留学して抽象空間論の創始者であるフレシエに師事。 我が国に抽象空間論を紹介するとともにポレル集合や解析集合の理論に関する研究を発表。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) パリ大学留学後、北海道大学理学部数学科初代主任教授。 その後大阪大学、京都産業大学、東京理科大学教授を歴任。 1929年、「抽象空間の研究」により帝国学士院賞。 (『韮崎市誌』) | 『解析学要論』(弘文堂、1951) | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p437) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p257) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| クボタ アラタ 窪田 新 | 男 | 1981 □ | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | アートディレクター。 2006年、電通入社。 2015年、「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」金賞、銀賞。 「ニューヨークADC賞」金賞。 グッドデザイン賞。 (「山梨日日新聞」) | | 「山梨日日新聞」(2015.9.19、14面 顔写真あり) 「ARATAKUBOTA」 https://www.aratakubota.net/ (2022.8.14確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| クボタ イチク 久保田 一竹 | 男 | 1919 2003 | 東京都神田三河町 | 東京都千代田区 | 『命を染めし一竹辻が花』 『山梨日日新聞』 『読売新聞』 | 芸術・スポーツ | 1978年(財)民族衣装文化普及協会より「民族衣装文化の普及啓蒙」に対し表彰される。 1983年織研新聞社より「第5回織研賞」受賞。 富士河口湖町特別町民。 (『命を染めし一竹辻が花』) | 『命を染めし一竹辻が花』(シーズ、1986) 『一竹辻が花展』(一竹辻が花、1991) 『河口湖縁起』(一竹辻が花、2005) 『一竹辻が花・光・風』(読売新聞社、1984) 『一竹辻が花光の輝き』(小学館、1994) | 『一竹辻が花の妻』(久保田不二子、文園社、1994) 『命を染めし一竹辻が花』(シーズ、1986) 『山梨日日新聞』(2003.4.20) 『読売新聞』(2003.4.20) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|--|---------|---|--|---|------------|-----|
| クボタ カズ 久保田 佳寿 | 女 | 1904 1990 | 高知県 | 高知県 | 『女医久保田佳寿伝』 『富士吉田医師会報』 『忍野村史増補版第1巻』 | 自然科学・医学 | 内科医・昭和10年に忍野村に診療所を開院 (『女医久保田佳寿伝』、『忍野村誌』) 忍野村名誉村民第1号 (『忍野物語』『忍野村史増補版第1巻』) | | 『女医久保田佳寿伝』(小林富貴夫他著、鴨居通信、1988) 『広報忍野』90号(忍野村、1989.8、p4) 『忍野村誌』(忍野村役場、1989、p772) 『富士吉田医師会報』28号(富士吉田医師会、1990、p30) 『忍野物語』(忍野村役場、2001、p121)『忍野村史増補版第1巻』忍野村、2021、p1114) | 2022/7/31 | おしの |
| クボタ ジョウエン 窪田 成円 | 女 | 1940 | 東京都 | 東京都 | 『梵字による平和の祈り』 | 言語哲学・宗教 | サンスクリット大学名誉文学博士。国際梵字仏協会(甲斐市)会長、梵字スリランカ文化財団日本事務局長、NHK学園オープンスクール梵字講師など。 (『梵字による平和の祈り』) | 『やさしい梵字』(知道出版、1995) 『梵字による平和の祈り』(知道出版、2007) | 『梵字による平和の祈り』(知道出版、2007、奥付) 『山梨日日新聞』(2007.12.12、18面) | 2014/11/27 | 竜王 |
| クボタ セイ 窪田 精 | 男 | 1921 2004 | 安都那村 | 北杜市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『郷土高根第20号』 『フィンカム』 | 文学 | 東京高等工科学校中退。 浪曲劇女剣劇を経て、松竹劇団に加入するが、1940年検挙され以後終戦時まで拘留される。 戦後、日本共産党に入党し、新日本文学会に入会、書記の一人として作家活動を開始。 1965年日本民主主義文学同盟を創立。事務局長、議長などを務める。 1978年『海霧のある原野』、1992年三部作『夜明けの時』『鉄格子の彼方で』『流人島にて』で多喜二・小百合賞を2回受賞。 2004年胃ガンのため死去。 | 『海と起重機』 『海霧のある原野』 『夜明けの時』 『鉄格子の彼方』 『流人島にて』 『廃墟燃ゆ』 『石楠花村日記』 『ある党員の告白』 『白い歩道橋』 『霧の南アルプス』 『フィンカム』 『私の戦後文学史』 『工場のなかの橋』 『死者たちの島』 ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ2003.P130) 『郷土高根第20号』(高根郷土研究会2003) 『フィンカム』(本の泉社2004) | 2016/11/20 | たかね |
| クマオウ トクヘイ 熊王 徳平 | 男 | 1906 1991 | 増穂町 | 富士川町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『「作家」に関わった山梨の文人たち』 | 文学 | 小説家。 1931年、日本プロレタリア作家同盟山梨支部結成。 1940年、芥川賞候補となった『いろは歌留多』で作家デビュー。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 1948年、『作家』を創刊、『甲府盆地』を執筆。 1954年、『甲州べいと牛の糞』が『文芸春秋』実話に入選。 1957年、『山梨町議選誌』が直木賞候補となる。 (『「作家」に関わった山梨の文人たち』) | 『甲府盆地』(中部文学社、1950) 『赤い地図』(東邦出版社、1971) 『河鹿川』(五月書房、1969) 『小説竹久夢二』(光風社書店、1978) 『あんぼんたん』(東邦出版社、1974) 『狐と狸』(東邦出版社、1978) 『虎と狼』(日本経済新聞社、1975) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p313) 『「作家」に関わった山梨の文人たち』(原田重三著、季刊作家社、2005、p55~91) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--|----|-------------------|------|---------------|---|------------|---|--|---|------------|-----|
| クマツトム 組谷 勉 | 男 | 1911 1998 | 春日居村 | 笛吹市 | 『思い出、絆』 | 社会科学 | 元小・中学校教員。 山梨市上神内川に住む。 (『思い出、絆』) | 『一筋道』(1972) 『山梨県へき地教育の百年』(山梨 日日新聞社、1978) 『さあさい教育』(ぎょうせい、1982・ 1984) 『流れるままに』(1990) 『生涯学習の中で』(1991) 『教室を飛び出して』(1993) 『自学自習を目指して』(1994) 『独り暮らしの生き方十二章』 (1996) 『思い出、絆』(1997) ほか | | 2009/1/22 | 山梨 |
| クハラ ノブチカ 栗原 信近 | 男 | 1844 1924 | 穴山村 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』『韮崎市誌』 | 社会科学 産業 | 実業家、農村指導者。 第十国立銀行頭取から農村指導者 に転向。 富士川の新水路開拓、ぶどう栽培 などに力を注いだ。 また二宮尊徳の報徳思想を説きな がら、わらじがけで山梨県内をまわ り、明治の二宮尊徳と呼ばれた。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』) 1880年、山梨商法会議所を設立し 初代会頭。 1888年から甲州葡萄栽培組合長、 1899年から山梨県農会幹事長とし て農業指導に当たる。 彼の尽力した社会的仕事には神葬 祭の許可(1869年)、武田神社発起、 中央線開通などがある。 (『韮崎市誌』) | | 『栗原信近の生涯』(佐藤森三、栗原 信近翁胸像建設委員会、1970) 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委 員会、韮崎市、1979、p427) 『創業百年史』(山梨中央銀行、 1981、p143) 『栗原信近の生涯復刻版』(佐藤森 三、栗原信近翁胸像建設委員会、 2015) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p110) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| グリーンバンク キャサ リン キャサリン・マー サ・グリーンバンク | 女 | 1891 1983 | カナダ | カナダ | 『山梨英和学院120年史』 『山梨百科事典』 『ミス・グリーンバンク』 | 社会科学 | 1926年第10代校長として着任。 制服の制定、校友会の組織化に取り 組む。 (『山梨英和学院120年史』) 山梨英和女学校最後の外国人校 長。 1957年、甲府市名誉市民。 山梨県教育功労者。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p179～180) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p302) 『山梨英和100年』(山梨英和学院、 1989、p49～64、151(年表)) 『山梨英和学院120年史』(校法人 山梨英和学院、2009、p26～3037～ 38) 山梨英和中学校・高等学校 ホームページ https://www.yamanashi- eiwa.ac.jp/jsh/about/history (2022.8.18確認) 『ミス・グリーンバンク』(山梨英和学院 山梨英和学院同窓会、1959、p1～ 296) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|---------|---|---|--|------------|------|
| クワカ ヨシ 黒川 良人 | 男 | 1943 | 山梨県 | 山梨県 | 『犬の詩猫の詩』 | 文学 | 日本作詩家協会員 山梨県作詞家作曲家連盟副理事長 (『犬の詩猫の詩』) | 『犬の詩猫の詩』(東洋出版、2000) 『創作動物童話』(日本文学館、2004) | 『犬の詩猫の詩』(東洋出版、2000、奥付) | 2009/1/28 | 上野原 |
| クワサ シュシ 黒澤 珠々 | 女 | 1982 | 甲府市 | 甲府市 | 『楽園に間借り』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 第3回野生時代青春文学賞受賞しデビュー。 (『楽園に間借り』) | 『楽園に間借り』(角川書店、2007) 「椅子」(『野生時代』角川書店、2008年6月号、p103~132) 『あふれるこぼれるRomanticflu』(角川書店、2013) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p314) 『山梨日日新聞』(2007.11.21、11面、顔写真あり) 『楽園に間借り』(角川書店、2007、奥付に著者紹介あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| クワハラ ケンタ 桑原 玄達 | 男 | 1810 1901 | 明見村 | 富士吉田市 | 『富士北麓と文人たち』 | 自然科学・医学 | | | 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、ぎょうせい、1986、p42~52) 『富士北麓幕末偉人伝』(小佐野淳著、山梨日日新聞社、1995、p79~84) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p307) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| クワハラ フカス (フホ) 桑原 福保 | 男 | 1907 1963 | 境川村 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 洋画家1936年文展に入選 1942年「緑陰」、「黄色い傘」、「少女像」で東光賞を受賞 1954年、岡田賞を受賞 1958~1960年欧州留学(『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p379) 『桑原福保(フホ)展図録』(山梨県立美術館、2002) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p307) | 2022/10/13 | 石和 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------|---------|---|--|--|------------|------|
| クワハラ ミキネ 桑原 幹根 | 男 | 1895 1991 | 明見村 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 | 社会科学 | 愛知県知事。東京帝国大学法学部卒。1946年、愛知県知事に任官、東海北陸地方行政事務局長を兼務する。1951年より愛知県知事に6回当選。その間、愛知用水、豊川用水を実現。また東海製鉄を誘致し中京工業圏をつくりあげた。1976年引退。愛知県名誉県民(1987年)、富士吉田市名誉市民(1988年)。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』、『山梨「人物」博物館』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p58) 『山梨日日新聞』(2004.11.23、17面) 『山梨日日新聞』(2000.7.23、20面) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1993、p191) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ゲンマ コウイチ 弦間 耕一 | 男 | 1931 | 御坂町 | 笛吹市 | 『御坂百話』 『和算家物語』 | 歴史・地理 | 1992年中学校校長退職 山梨郷土研究会理事 山梨県史特別調査員 笛吹市文化財審議委員 日本数学史学会委員 (『和算家物語』) | 『寛政太枿事件』(甲斐郷土史教育研究会、1983) 『御坂百話』(矢野出版、2007) 『和算家物語』(叢文社、2008) 『改訂>甲陽一徳斎藤原助則甲州巨匠』(田村弘正、2018) | 『御坂百話』(矢野出版、2007、奥付) 『和算家物語』(叢文社、2008、奥付) | 2018/11/9 | 石和 |
| コイケ サオリ 小池 沙織 | 女 | 1983 | 塩山市 | 甲州市 | 山梨日日新聞 | 芸術・スポーツ | バレエダンサー | | 山梨日日新聞 2016.8.1411面 2013.9.522面 2013.9.725面 2008.6.1820面 1995.12.1216面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| コイケ タツル 小池 唯則 | 男 | 1903 1982 | 相興村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 歴史家。 1973年、一宮町に青楓美術館を設立を企図。 1974年10月青楓美術館開館。(その後、美術館は遺族により一宮町に寄贈) (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞、1989、p322) 『東八メモリーズこんなひとがいた』(東八代広域行政事務組合、2002、p115) 『笛吹市ふるさとの偉人』(笛吹市教育委員会・笛吹市ふるさとの偉人選考委員会、2017) | 2020/9/29 | 一宮 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------------------|----|---|--|---|------------|------|
| コイケ トウゴロウ 小池 藤五郎 | 男 | 1895 1982 | 更科村 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『山梨百科事典』 | 文学 | 国文学者。 東京高等学校教授、国士館大学教授、東洋大学教授、都留文化大学教授を経て、1965年立正大学文学部教授。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 母校韮崎小や韮崎中、高根西小学校などの校歌を作詞。 (『山梨百科事典』) | 『新資料による西鶴の研究』(風間書房、1966) 『興(狂)歌の味わい方作り方』(学芸図書、1967) 『山東京伝』(吉川弘文館、1989) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p322) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p200) 『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編纂委員会、1978、p706) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| コウノ ドウコウ 河野道工 | 男 | 1909 1972 | 市川大門町 | 市川三郷町 | 『道路工夫の歌』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 道路工夫として勤務する傍ら短歌を作り「山時歌壇」「樹海」「国民文学」に投稿。 映画「二人で歩いた幾春秋」は氏をモデルとした木下恵介監督の作品。 | 『道路工夫の歌』(甲陽書房、1960) 『雑草の歌—続道路工夫の歌』(甲陽書房、1969) | 『忘れ得ぬ人びと』(甲陽書房、1986、p140~148) 『蛾眉』第4号(市川大門文化協会、1975) 『蛾眉』第20号(市川大門文化協会、1991) 『山梨日日新聞』(1972.11.1711面) 『いらか』3号(山梨県庁関係職員総合機関誌発行委員会、1961、p14) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| コウノ ヨシヒロ 河野 義博 | 男 | 1890 1985 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 文学 | 劇作家。 1917年、「中央公論」に戯曲「サラセンの王宮」を発表。 芸術座の舞台監督を経て病気により帰郷。 雑誌「演劇研究」の編集同人となり、戯曲の創作、評論、翻訳にあたる。 山梨市へ合併直前の加納岩町長をつとめ、地方自治に貢献。 (『山梨百科事典』『山梨人物・人材情報リスト2004』) | 『近代演劇史論』(中村吉蔵共著、日本評論者出版部、1921) 『早稲田文学戯曲選』(中村吉蔵編、高陽社、1926) 『無天の人々』(三武書房、1973) 『遠い風景』(新星書房、1978) 『石庭記』(1983) 『桃山物語』(1988) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p346) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p141) | 2009/1/30 | 山梨 |
| コシシ カナメ 奥石 要 | 男 | 1931 1996 | 武川村 | 北杜市 | 『やまびこ村の少年』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 山梨県教職員32年勤務 社会教育主事 (『やまびこ村の少年』) | 『やまびこ村の少年』 (山梨日日新聞社、1993) | 『やまびこ村の少年』(p64) 『山梨日日新聞縮刷版1996年10月号』(山梨日日新聞社、1996、p556) | 2012/7/30 | むかわ |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|---------------|--|----|--|------------|------|
| コシシ モリサト 興石 守郷 | 男 | 1837 1911 | 秋田村 | 北杜市 | 『秋田村誌』 『長坂町誌(下)』 | 文学 哲学・宗教 | 建岡神社・浅間神社神官。 山梨神道局長。 甲府湯田女学校校長。 歌誌「えびかづら」を刊行し、山梨の 文学、国文学の振興に努める。 (『長坂町誌(下)』) | | 『秋田村誌』(秋田村、1955、p198～ 200) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、 p670～672) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p377) | 2013/1/30 | ながさか |
| コシカ エツオウ 越賀 越翁 | 男 | 1867 1947 | 三重県 | 三重県 | 『韮崎市誌』 | 哲学・宗教 | 1891年、慶応義塾を卒業。 曹洞宗僧侶としての修業を積み、 1893年、南巨摩郡西島村広禅院住 職に迎えられる。 青年たちを紙漉・農耕の余暇に寺 へ集め英語・国漢・万国史・経済学 初歩等を教えた。 1903年、旭村大公寺住職に転じる。 6年前の伽藍全焼を受け、その再建 に堪える人物としての選出であっ た。 弟子の笠井重治とはかり、1907年 から1922年まで米国留学。超人的 努力により年額1000円を目標に送 金を実行し大公寺再興の悲願を果 たした。 (『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委 員会、韮崎市、1979、p433) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p377) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| コシジ フブキ 越路 吹雪 | 女 | 1924 1980 | 東京 | 東京都 | 『山梨百科事典』 | 芸術・ス ポーツ | 両親が山梨県出身 宝塚音楽歌劇学校卒 ミュージカル女優 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p377) | 2012/8/21 | 塩山 |
| コシマキ トヨマル 腰巻 豊丸 | 男 | 1860 1949 | 韮崎町 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 | 哲学・宗教 社会科学 | 第3代韮崎町他二ヶ村組合長。 若宮八幡宮社掌。 怪我人の治療に尽くし「河原部さ ん」とも呼称される。 (『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委 員会、韮崎市、1979、p433) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--|----|-------------------|-----|---------------|---|---------------|--|---|---|------------|-----|
| ゴツチョコカ ^{ツッパ} エタ 五緒川 津平太 | 男 | 1958 | 八田村 | 南アルプス市 | 『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』 | 言語 | 本名、大堀卓。 「月刊マイタウン」誌上で「甲州弁でGO!!」を1998年より10年間連載する。 (『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』) | 『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』(樹上の家出版、2009)『キャンユー・スピーク甲州弁?2』(樹上の家出版、2013)『山梨の逆襲』五緒川津平太編(言視社、2014)『なんちよにかかんちよにか』(樹上の家出版、2016) 『キャン・ユー・スピーク甲州?3』(樹上の家出版、2020) | 『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』(カバーの袖に説明) 「山梨日日新聞」(2009.5.14、5面、顔写真あり、2010.1.4、11面、写真あり、2010.5.14、11面、2010.6.4、22面、写真あり、2012.1.4、17面、2017.7.1、特集45面、顔写真あり、2018.10.29、5面、顔写真あり、2019.5.24、22面、顔写真あり、2020.8.16、17面、顔写真あり) | 2020/10/28 | 八田 |
| ゴトウ ヒトン 後藤 斎 | 男 | 1957 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 社会科学 産業 | 23年、内閣府副大臣。26年、山梨県知事。 甲府一高(昭和51年)卒、東北大学経済学部(昭和55年)卒。同年、経済産業省に入省。12年民主党から衆院比例区に当選。17年、21年、24年、通算4期当選。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『ダイナミックやまなしの挑戦』(内外情勢調査会、2015) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p9、p60) 後藤ひとし公式サイト https://go510.jp/ (2022.9.9確認) 「山梨日日新聞」(2014.9.27、1面、2015.1.6、4面、2015.1.10、7面、2015.1.26、17面) | 2022.9.30 | 甲府 |
| ゴトウ ヨシタカ 後藤 義隆 | 男 | 1912 1995 | 忍野村 | 忍野村 | 『中部地方の石の民俗』 「山梨日日新聞」 『忍野村史増補版第1巻』 | 歴史・地理 社会科学 | 山梨郷土研究会理事、日本民俗学会理事、忍野村文化財審議会会長。 (『山梨日日新聞』)『忍野村史増補版第1巻』 | 『南中部の葬送墓制』(明玄書房、1973)『鳴沢の太々神楽』(鳴沢村教育委員会、1982)『雪の民俗とところどころ』明玄書房、1987)『中部地方の石の民俗』(明玄書房、1987)『富士北麓・忍野の民話と民謡』(郷土出版社、1995) | 『富士北麓・忍野の民話と民謡』(郷土出版社、1995) 『中部地方の石の民俗』(明玄書房、1987) 「山梨日日新聞」(1995.12.13、17面)『忍野村史増補版第1巻』(忍野村、2021、p1158) | 2022/7/31 | おしの |
| コナカザワ サヨコ 小中沢 小夜子 | 女 | 1933 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨のおんな』 | 文学 | 1941年、一家で満州開拓団に参加。1945年、末の妹美代子さんを現地の中国人に預ける。1946年、一家は日本へ帰国。1972年以降、生き別れの妹を探す活動を開始。早乙女勝元氏のすすめにより『妹』を執筆。1986年妹と再会を果たす。 (『山梨のおんな』)再開の部分を加えた『妹増補改訂版』を執筆。 (『妹』) | 『妹』(金の星社、1989) | 『山梨のおんな』(山梨女性史の会編、東洋インターフェイス、1986、p307-330) | 2020/10/25 | 韭崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|-------------------------------------|-------------|--|---|---|------------|-----|
| コバヤシ アタル 小林 中 | 男 | 1899 1981 | 源村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 産業 | 日本財界の重鎮 (『山梨百科事典』) 実業家、財界人 アラビア石油相談役 日本開発銀行初代総裁 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) 日本の戦後復興を牽引した「財界 四天王」のひとり (『東八メモリーズこんなひとがい た。』) 石和町市部の屋敷跡を小林公園と して開放、銅像がある(『山梨百科 事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p385) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p115) 『東八メモリーズこんなひとがい た。』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p125~138) 『寡黙の巨星』(阪口昭著、日本経 済新聞社、1985) ほか | 2022/11/5 | 石和 |
| コバヤシ イチゾウ 小林 一三 | 男 | 1873 1957 | 河原部村 | 韮崎市 | 『山梨県人物人材情報リスト 2019』 『山梨百科事典』 | 社会科学 産業 | 実業家、政治家。 阪急グループ創始者、東宝社長、 商工相。 1893年、三井銀行入社、1907年退 行。 1912年、宝塚唱歌隊を結成、1914 年、宝塚少女歌劇団に発展。発足 当初の脚本の多数を手がける。 1927年、阪神急行電鉄社長に就 任。 1943年、東宝を設立。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』) 1890年、山梨日日新聞に連載小説 『練糸痕』両毛新聞に『お花団子』を 書いた。 阪神急行電鉄の経営に乗り出し、 今太閤と呼ばれた。 生家小林家は宝塚に記念館として 移築され、跡地は韮崎市に寄付さ れた。 (『韮崎市誌』) | 『小林一三全集』(ダイヤモンド社、 1961) 『逸翁自叙伝』(産業経済新聞社、 1953) 『私の行き方』(阪急電鉄、2000) 『奈良のはたごや』(岡倉書房、 1933) 『新茶道』(文芸春秋新社、1951) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p9) 『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編纂委 員会、1978、p713) 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編纂委 員会、1979、p428) 『小林一三世界の伝記NEXT』(集英 社、2013) 『小林一三』(岩崎書店、2018) ほか | 2018/11/27 | 韮崎 |
| コバヤシ カズエ 小林 一枝 | 女 | 1933 2011 | 千葉県 | 千葉県 | 『美し、やまなし、パワー！』 | 芸術・ス ポーツ | 山梨大学で洋画を学び、卒業後は 教員を務めながら、峡北美術協会 に出品を始め、1955年に会員とな る。 1959年、山梨美術協会会員に推挙 される。 1959年、二科展で初入選。 その後創元展に出品を始め、1979 年初入選、1981年船岡賞受賞、 1994年会員推挙。 1992年、山梨美術協会永年会員。 晩年は副会長も務めた。 (『美し、やまなし、パワー！』) | 『小林一枝』(芸術出版社、2014) 『美し、やまなし、パワー！』(山梨県 立美術館、2016) | 2018/11/27 | 韮崎 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------------------|------|--|---|---|------------|-----|
| コバヤシ コウジ 小林 宏治 | 男 | 1907 1996 | 初狩村 | 大月市 | 『自助・小林宏治追想録』 | 産業 | 元日本電気株式会社名誉会長相談役。 1929年、東京帝国大学(現東京大学)工学部電気工学科卒業後、日本電気株式会社入社。 1982年大月市名誉市民。 1983年山梨県県政特別功績者表彰。 1987年勲一等旭日大綬章受章。 1990年日本電気株式会社名誉会長相談役。 1996年叙正三位(追贈)。 (『自助・小林宏治追想録』) | 『コンピュータ時代への挑戦』(実業之日本社、1968) 『70年代の経営課題』(ダイヤモンド社、1971) 『C&Cは人間性を目指す』(ダイヤモンド社、1992) ほか | 『自助・小林宏治追想録』(日本電気株式会社小林宏治追想録編集委員会、1997、顔写真あり) 『小林宏治私の履歴書』(日本経済新聞社、1988) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p100～105、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p154～156) | 2016/11/18 | 大月 |
| コバヤシ シゲヨシ 小林 茂義 | 男 | 1903 1984 | 賑岡村 | 大月市 | 『鳩人・小林茂義八十年の事跡』 | 産業 | 東鳩東京製菓(現・東ハト)創業者。 1937年大月町会議員就任。 1947～1951年大月町長に就任。 1952年東鳩東京製菓株式会社設立、取締役社長就任。 1963年全日菓連理事長就任。 1978年大月市名誉市民。 1984年従四位叙位。 (『鳩人・小林茂義八十年の事跡』) | | 『鳩人・小林茂義八十年の事跡』(東鳩東京製菓、1985、顔写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p106～109、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p157) | 2016/11/18 | 大月 |
| コバヤシ シンイチ 小林 信一 | 男 | 1908 1983 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 『小林信一の生涯』 | 社会科学 | 教育家・政治家 1948年山梨県教職員組合執行委員長 1949年衆議院議員当選 (『小林信一の生涯』) | | 『小林信一の生涯』(小林信一先生追悼集出版実行委員会、1984) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p387) | 2012/8/21 | 塩山 |
| コバヤシ ハル 小林 波留 | 男 | 1929 2011 | 下部町 | 身延町 | 『山住雑記』 『波留先生を偲びて』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 俳人。本名、春利。 東京繊維専門学校卒業後、山口青邨に師事、「夏草」に入会。 1957年、雑誌「幹」主催。 1962年、毎日新聞俳壇賞、1972年、俳人協会賞など受賞。 1973年より甲府刑務所篤志面接委員俳句指導担当。 2005年、『続山住雑記』で第6回私の物語・山梨自分史大賞最優秀賞を受賞。 (『山住雑記』『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『山家三戸』(小林波留、1979) 『山住雑記』(幹の会、1982) 『小林波留集』(俳人協会、2003) 『平民』(小林波留、2007) 『鑑賞俳句山居雑筆』(幹の会、1984) 『微笑仏』(幹の会、1986) 『天上』(角川書店、1999) 『続山住雑記』(山梨日日新聞社、2005) | 『山住雑記』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p159) 『波留先生を偲びて』(波留先生句碑建立・追悼句文集実行委員会、2011、本文) 『山梨日日新聞』(2005.9.23./11面、2011.5.25/11面、2011.8.10/10面、2011.12.11/16面、2012.1.13/10面) | 2022/11/30 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|------------|--|--|--|------------|-----|
| コバヤシ ハルオ 小林 治雄 | 男 | 1925 2010 | 田富町 | 中央市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2007』 『毎日新聞』 | 芸術・スポーツ | 漫画家。 文芸春秋漫画賞、紫綬褒章受章。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』) 毎日新聞(1954～1990年)に「ヒトク子漫画」を連載。 | 『ヘイユウ!さらばG!グラフィティ』(まほろば書房、1998) | 『山梨日日新聞』(1998.10.18、8面) 『山梨県人物・人材情報リスト2007』(日外アソシエーツ、2007、p121) 『毎日新聞』(2010.1.26) | 2012/8/10 | 田富 |
| コバヤシ ヒサシ 小林 久 | 男 | 1962 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『こうして店は潰れた』 | 産業 | 株式会社やまと元代表取締役社長。1912年創業の「スーパーやまと」三代目社長として育ち、39歳で代表取締役社長に就任。民生分野では県の教育委員長も務め、学校等で講演会は300回を超える。(『こうして店は潰れた』) | 『こうして店は潰れた』(商業界、2018)『続・こうして店は潰れた』(同文館出版、2020) | 『いつだってこんなリーダーが組織を蘇らせる』(日経BP社、2014、p79-87)『こうして店は潰れた』(小林久、商業界、2018) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| コバヤシ ヒビキ 小林 響 | 女 | 1969 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | バイオリニスト。 カナダ・モンクトン大学教授。 A・リュブラン弦楽四重奏団に参加(1997年にCD発売)。 第21回野口賞芸術・文化部門受賞。 (『山梨日日新聞』) ラーバル大学の客員教授。第21回野口賞(H9)ジュネス・ミュージカル賞(H10)、ルーヴィン音楽コンクール第1位。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | | 『山梨日日新聞』(1995.5.30、12面、1997.7.5、27面、2007.9.27、11面、2022.8.6、13面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p472) | 2022/9/30 | 甲府 |
| コバヤシ フミコ 小林 ふみ子 | 女 | 1973 | 楯形町 | 南アルプス市 | 『山梨日日新聞』 | 社会科学 文学 | 山梨県生まれ 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程終了。法政大学文学部教授。 狂歌を中心に江戸の文芸・文化を研究。 『大田南畝』(岩波書店、2014) | 『江戸見立本の研究』(汲古書院、2006) 『富士山と日本人の心性』(岩田書院、2007) 『天明狂歌研究』(汲古書院、2009) 『大田南畝』(岩波書店、2014) 『日本人は日本をどうみてきたか江戸から見る自意識の変遷』(笠間書院、2015) 『書物学9』(勉誠出版、2016) | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p202) 『山梨日日新聞』(2014.9.12、14面) | 2020/10/28 | 楯形 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|---------|---|---|---|------------|-----|
| コバヤシ フミコ 小林 史子 | 女 | 1917 2011 | 甲府市 | 甲府市 | 『やまなし・女性の文学』 | 文学 | 詩人。 1973～1990年までの17年間山梨日日新聞の「読者文芸欄」で詩の選者をつとめる。 1990年、詩誌「交響」を創刊、編集・発行人となる。 (『やまなし・女性の文学』) | 『交響』(地方書院、1959) 『薔薇色の誅歌』(三雅房、1987) 『風の中の遁走曲』(三雅房、1988) | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p44) 「山梨日日新聞」(2011.11.11、25面) 「山梨日日新聞」(2011.12.10、14面 顔写真あり) | 2016/8/26 | 甲府 |
| コバヤシ マサヒデ 小林 雅英 | 男 | 1974 | 大月市 | 大月市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 エイジェック硬式野球部ホームページ | 芸術・スポーツ | 元プロ野球(大リーグ)選手投手。都留高校-日本体育大-東京ガス。千葉ロッテマリーンズ(ドラフト1位)-米国大リーグクリーブランド・インディアンス-読売ジャイアンツ-オリックス・バファローズ。 2002年33試合連続セーブの日本新記録を樹立。 2004年アテネ五輪野球代表。 2006年史上3人目の200セーブ達成。 2011年現役引退。 2012～14年オリックス・バファローズ2軍育成担当コーチ。 2015～18年千葉ロッテマリーンズ1軍投手コーチ。 2019女子プロ野球リーグ投手総合コーチ。 2021～エイジェック硬式野球部投手総合コーチ (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p161～162) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p131～134、顔写真あり) エイジェック硬式野球ホームページ https://baseball.agekke-group.com/ (2022/10/19確認) | 2023/2/1 | 大月 |
| コバヤシ ヨシツ 小林 喜光 | 男 | 1946 | 楯形町 | 南アルプス市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 産業 | 東京大学大学院理学系研究科(昭和46年)修士課程修了、イスラエルの大学、ピサ大学(イタリア)に留学。昭和59年三菱化成工業(現・三菱化学)に入社。平成17年三菱化成常務執行役員。18年三菱ケミカルホールディングス取締役となり19年三菱ケミカルホールディングスとグループの中核・三菱化学の社長に就任。24年三菱化学会長、27年三菱ケミカルホールディングス会長。経済同友会副代表幹事を経て、27年～31年代表幹事。30年日本銀行参与。 理学博士。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『KAITEKI化学』8阪急コミュニケーションズ、2010) 『地球と共存する経営』(日本経済新聞出版社、2011) 『危機に立ち向かう覚悟』(化学工業日報社、2013) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p120) 「山梨日日新聞」 (2007.2.25、9面、2007.6.12、7面、2012.5.15、8面、2015.4.27、2面、2016.3.9、7面、2018.1.8、3面、2018.3.5、6面、2018.4.13、7面、2018.11.2、9面、2018.11.17、6面、2018.11.20、2面、2019.4.17、8面、2019.5.2、4面、2020.7.1、特集35面、2020.8.9、1面、すべて顔写真あり) | 2020/10/28 | 楯形 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------------|-------------|--|---|---|------------|-----|
| コマキ ヤスノブ 小牧 康伸 | 男 | 1954 | 甲府市 | 甲府市 | 『ホテル・レストランのサービスとマナー』 | 技術 産業 | 1975年帝国ホテル入社。日本ソムリエ協会の第1回ソムリエ認定試験、同シニアソムリエ認定試験に合格。在職中飲料サービス士1級、西洋料理テーブルマナー講師、ならびに唎酒師の資格を取得。 現在は、北中市小淵沢町にある小牧ヴィンヤードオーナー。 (『ホテル・レストランのサービスとマナー』、『甲州・信州のちいさなワイナリーめぐりプレミアム』) | 『ホテル・レストランのサービスとマナー』 (キクロス出版、2004) | 「時標」 (山梨日日新聞、2007.6.30,p2) 『ホテル・レストランのサービスとマナー』 (キクロス出版、2004) 『甲州・信州のちいさなワイナリーめぐりプレミアム』 (G.B.,2018,P84-85) 小牧ヴィンヤードHP (https://komaki-vineyard.com/) | 2020/10/19 | 小淵沢 |
| コマツ トウヘイ 小松 導平 | 男 | 1878 1938 | 御代咲村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | 笛吹川廃河川跡の開拓者 1907年の大洪水後、旧笛吹川廃河川跡の開墾を進め、その後の石和果樹地帯形成の基となる。 (『山梨百科事典』『石和町誌2』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p395) 『石和町誌2』(石和町、1991、p352~357) 『小松導平開拓伝』(加々美謹著、小松安則、1972) | 2022/11/5 | 石和 |
| ゴミ シヤチョウ 五味 酒蝶 | 男 | 1901 1962 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 俳人。 本名、五味英之助。 飯田蛇笏に師事。俳句誌「雲母」に所属。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『酒蝶句集』(雲母社、1964) | 「山梨日日新聞」(2020.10.5、12面顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p315) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ゴミ タイヘイ 五味 泰平 | 男 | 1935 | 山梨県 | 甲斐市 | 『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』 | 芸術・ス ポーツ | 元北巨摩郡双葉町教育委員長 元峡北美術協会会長 日展に「鉄工場・残影」で初入展(2006) 山梨県文化賞奨励賞を受賞(2008) 秋の叙勲にて瑞宝双光章を受賞(2014) 日展に「旧道の町」が入展(2017) (『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』) | 『五味泰平画集 ふるさと峡北の山里を描く』(株式会社グラフィック、2021) | 山梨日日新聞(2001.11.1、11面) | 2022/11/27 | 双葉 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|--------------------|--|--|---|-------------------------|-----|
| ゴミ フミコ 五味 文彦 | 男 | 1946 | 甲府市 | 甲府市 | 『中世の身体』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 放送大学教養学部教授。東京大学名誉教授。 日本中世史専攻。文学博士。 1991年『中世のことばと絵』が第5回中村星湖文学賞、サントリー学芸賞(芸術・文学部門)受賞。 2004年『書物の中世史』が第26回角川源義賞(歴史研究部門)受賞。 2016年『現代語訳吾妻鏡』が第70回毎日出版文化賞(企画部門)受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) | 『院政期社会の研究』(山川出版社、1984) 『吾妻鏡の方法』(吉川弘文館、2000) 『中世のことばと絵』(中央公論社、1990) 『書物の中世史』(みすず書房、2003) 『源義経』(岩波書店、2004) 『中世の身体』(角川学芸出版、2006) 『現代語訳吾妻鏡』(吉川弘文館、2007-2016) 『鎌倉時代論』(吉川弘文館、2020) 『疫病の社会史』(KADOKAWA、2022) ほか | 『山梨日日新聞』(2004.12.12、5面、顔写真あり、2005.7.1、50面、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p219) | 2023/2/23 | 県立 |
| コムラ アキコ 小村 明子 | 女 | 1971 | 東京都 | 東京都 | 『山梨日日新聞』 『日本とイスラームが会おうとき』 | 哲学・宗教 | 甲府西高校卒業。 都留文科大学卒業。 上智大学グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻博士後期課程学位取得満期退学、博士(地域研究)。 上智大学アジア文化研究所客員所員。 | 『日本とイスラームが会おうとき』(現代書館、2015) 『日本のイスラーム』(朝日新聞出版、2019) | 『日本とイスラームが会おうとき』(現代書館、2015、奥付) 『山梨日日新聞』(2015.11.6、15面顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2017.3.4、9面) (https://komuraakiko.wixsite.com/salam 、2018.11.29確認) | 2018/12/1 2022.11/07 | 竜王 |
| コモリ トヨスケ 古守 豊甫 | 男 | 1920 2008 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2000』 『山梨日日新聞』 | 自然科学・医学 | 医師 日本医師会最高優功賞受賞 長寿研究者 (『山梨日日新聞』) | 『長寿村桐原』(三瀧社、1975) 『長寿村・短命化の教訓』(樹心社、1986) 『長寿村回診記』(社会保険出版社、1994) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p156) 『山梨日日新聞』(2008.1.26、17面顔写真あり)(2008.12.23、13面顔写真あり) | 2009/1/28 | 上野原 |
| コヤ チュウシ 小屋 忠子 | 男 | 1888 1949 | 双葉町 | 甲斐市 | 『山梨百科事典』 | 自然科学・医学 芸術・スポーツ | 1919年、韮崎市に歯科医院開業。 早くから山岳の開発に志し、1924年白鳳会を創立して初代会長となる。 1928年、名付け親となった「甲州縁故節」を平賀文男らと初放送。 県水産業会を創設、初代会長に推され淡水魚の振興を図った。 (『山梨百科事典』) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p400) 『郷土史にかがやく人びと第20集』(青少年山梨県民会議、1995、p73) | 2018/11/27 | 韮崎 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------------|---------|--|----|--|-----------|-----|
| ゴンド タジン 権太 政 | 男 | 1849 1910 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々第4集』 | 社会科学 | 教育家。 1874～1882年長崎県に赴任。 1882年に甲府小学校長、1906年病により辞職。墓所は仏国寺。 甲府市立富士川小学校校庭に遺徳碑がある。(『山梨百科事典』) 旧琢美小の校長時代に私費を投じて学校図書館「権太文庫」を開設。のちに甲府通俗図書館に収められた。 「山梨日日新聞」(1995.9.10、16面) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p403～404) 『郷土史にかがやく人々第4集』(青少年のための山梨県民会議、1971、p27～54) 「山梨日日新聞」(1995.9.10、16面) 『権太先生追悼詞集』(山梨県甲府市小学校男子女子同窓会、国立国会図書館デジタルコレクション、永続的識別子「info:ndljp/pid/910161」インターネット公開、保護期間満了) | 2022/9/30 | 甲府 |
| コトウ カンジ 近藤 寛治 | 男 | 1859 1931 | 南部町 | 南部町 | 『南部地区における明治の群像』 | 社会科学 | 私塾「蒙軒学舎」に学ぶ。 1883年、東京帝国大学医学部卒業。 1891年、公立睦合病院院長として24年間勤務。 1915年、県会議員となる。県政の立場から医療行政を推進。 (『南部地区における明治の群像』) | | 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、顔写真あり、p422) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p1～) 『南部町誌』(南部町、1964、p867) | 2012/8/14 | 南部 |
| コトウ コウイチロ 近藤 浩一路 | 男 | 1884 1962 | 南部町 | 南部町 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 東京美術学校西洋学科卒業。和田栄作に師事。 1907年、白馬会展に入選。 1910年、第4回文展入選。1919年第6回院展に「朝の日」「夕の日」「霧」の3点が入選。代表的日本画家となる。 (『近藤浩一路作品集』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p404) 『近藤浩一路作品集』(近藤浩一路記念南部町立美術館、2000、顔写真あり) 『コンサイス日本人名事典』(三省堂2004、p565) 「趣味の水墨画」(日本美術教育センター、2006年9月号、p1) 『光の水墨画近藤浩一路の全貌』(山梨県立美術館、2006) ほか | 2012/8/14 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------|---------|--|--------------------|--|------------|-----|
| ゴンドウ チハル 近藤 ちはる | 女 | 1978 | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」 「デザインノート」 | 芸術・スポーツ | 2005年JAGDA新人賞最年少受賞。 2007年甲府市民文化奨励賞最年少受賞。 広告等商業デザインから映画・演劇等ポスターを製作。 映画「大奥」のデザイナースタッフとして活躍。 (「山梨日日新聞」) 2002年ウルトラグラフィックスに入社。LAWSON「週刊ローソン」「おにぎり屋」「からあげくん」、NTT東日本「0036」キャンペーンなどの商業・広告デザインをはじめ、ドラマ、映画、劇団関連のポスター・パンフレット、パッケージデザインなど幅広く手掛けている。 (デザインノートNo.33) | | 「山梨日日新聞」(2006.3.12、16面、顔写真あり) 「MUH」vol.38(早野グループ「MHU」編集室、2008年4月、p1~3) 『デザインノートNo.6』(誠文堂新光社、2006、p118~119) 『デザインノートNo.33』(誠文堂新光社、2010、p74~81) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ゴンドウ ハナヨ 権藤 はなよ | 女 | 1899 1961 | 穴山村 | 韮崎市 | 『韮崎の礎を築いた偉人たち』 | 文学 | 童謡詩人。 山梨師範学校を卒業後、2年間母校で教師を務める。 児童文学に触れ上京、野口雨情の指導を受ける。 1933年、女性初の童謡詩集『雪こんこお馬』を出版。 1940年、文部省から国民学校教科書の作詞を依頼され、翌年発行『うたのえほん下』(2年生用)に「たなばたさま」と「はねつき」が掲載。伊藤生更の妹。 (『韮崎の礎を築いた偉人たち』) 穴山町では、公民館など全9箇所に権藤はなよが作詞した童謡を刻んだ詩碑を建立。 (『韮崎市観光協会』ホームページ) | 『雪こんこお馬』(大空社、1996) | 「穴山町だより」第158号(穴山町公民館編集委員会、2013) 『古里・穴山を詩う』(伊藤まなみ、権藤はなよ詩碑建設委員会、2013) 『権藤はなよの世界』(穴山公民館、2014) 『韮崎の礎を築いた偉人たち第2巻』(韮崎ふるさと偉人研究会、2018、p20) 「韮崎市観光協会」ホームページ http://www.nirasaki-kankou.jp/?cat=23 (2018.11.22確認) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ゴンドウ ヨシノリ 近藤 喜則 | 男 | 1832 1902 | 南部町 | 南部町 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 義立南部病院設立。 私塾「蒙軒学舎」の設立。 山梨県の区長総代理。 山梨県初代県議会議長。 物産会社殖産社設立。 1891年、緑綬褒賞を受ける。山梨県へのキリスト教伝道のきっかけをつくる。 (『山梨百科事典』) | | 『郷土史にかがやく人々』集合編青少年のための山梨県民会議、1974、p123顔写真あり) 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396~540顔写真あり) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p404) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p8)ほか | 2012/8/14 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------------|------|--|---|---|------------|-----|
| サイキ イツウ 齋木 逸造 | 男 | 1871 1957 | 武里村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家。 1899(明治32)年、甲斐新聞をおこして社長となり、そののち甲府市会議員と県会議員を歴任。 1927(昭和2)年県会議長、1935(昭和10)年甲府市長となった。 1955(昭和30)年甲府市名誉市民。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』 (山梨日日新聞社、p327) 『郷土史にかがやく人々第15集』 (青少年のための山梨県民会議、p117~148) 『武川村誌上巻』 (武川村、p397~398) 『武川村誌下巻』 (武川村、P544) | 2016/11/16 | むかわ |
| サイグサ サエコ 三枝 佐枝子 | 女 | 1920 | 甲府市 | 甲府市 | 『やまなし・女性の文学』 「山梨日日新聞」 | 文学 | 編集者・評論家。 1946年中央公論社入社。 1973年商品学科研究所所長。 1984年山梨県立総合婦人会館館長、県教育委員を兼務。 (『やまなし・女性の文学』) 生家は甲州財閥の若尾家。日本女子大卒。「婦人公論」編集長、同社編集局長を務め退職。評論家として活躍する傍ら、山梨県立総合婦人会館の初代館長、商品科学研究所長なども務めた。東京都在住。(「山梨日日新聞」) | 『日本の母たち』(中央公論社、1973) 『共働きの人間学』(阪急コミュニケーションズ、1980) 『これから女性はどう生きるか』(講談社、1984) 『女が一生、仕事を上手に続けていく法』(三笠書房、1991) ほか | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p14~17) 「山梨日日新聞」(2015.7.29、1面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| サイグサ タユキ 三枝 昂之 | 男 | 1944 | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 歌人。 歌会始選者、短歌誌「りとむ」発行人。山梨県立文学館館長。日本歌人クラブ会長。 『昭和短歌の精神史』でやまなし文学賞、齊藤茂吉短歌文学賞、野口賞などを受賞。 他作品でも様々な賞を多数受賞。 2011年紫綬褒章授与。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 2020年4月歌集「遅速あり」で第54回遼空賞を受賞。 2020年5月日本歌人クラブ名誉会長となる。 2021年旭日小綬章授賞 2022年『聲音を聴く近代短歌の水脈』日本歌人クラブ大賞受賞 (山梨日日新聞) | 『昭和短歌の精神史』(本阿弥書店、2005) 『甲州百目』(砂子屋書房、1997) 『歌人の原風景』(本阿弥書店、2005) 『こころの歳時記』(山梨日日新聞社、2006) 『それぞれの桜』(現代短歌社、2016) 『遅速あり』(砂子屋書房、2019) 『聲音を聴く近代短歌の水脈』(六花書林開発社、2021) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p315) 『シリーズ牧水賞の歌人たちVol.8三枝昂之』(青磁社、2017) 「山梨日日新聞」(2008.1.1、特集105面、顔写真あり、2016.6.10、15面、顔写真あり、2019.6.21、13面、顔写真あり、2020.4.16、20面、顔写真あり、2021.10.28、16面、顔写真あり、2021.11.3、6面、顔写真あり、2022.4.21、11面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|----------|-----|---------------|---------------------------------|---------|--|---|--|-----------|-----|
| サイグサ ヒロキ 三枝 浩樹 | 男 | 1946 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 歌人。 本名、三枝亨。 植松寿樹、植田多喜子に師事。 兄・昂之とともに短歌誌「りとむ」を創刊。 短歌結社「沃野」代表。県歌人協会会長。 2016年第52回短歌研究賞受賞。 2018年歌集「時禱集」で第22回若山牧水賞、第52回空賞を相次いで受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2018年11月県文化賞・特別賞受賞(山梨日日新聞) | 『朝の歌』(反措定出版局、1975) 『三枝浩樹歌集』(砂子屋書房、1987) 『歩行者』(砂子屋書房、2000) 『八木重吉たましひのスケッチ』(ながらみ書房、2011) 『時禱集』(KADOKAWA、2017) 『黄昏(クレブスキュール)』(現代短歌社、2020) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p316) 『山梨日日新聞』(2016.6.8、15面、顔写真あり、 2018.7.1、51面 2020.9.4、9面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| サイトウ ソウマ 斉藤 壮馬 | 男 | 1991 | 山梨県 | 山梨県 | 『声優さんになりたいっ!』 | 芸術・スポーツ | 声優。 2008年、第2回81オーディションで優秀賞を受賞。 2010年、ゲーム『剣と魔法と学園モノ。2G』で声優デビュー。 2015年、第9回声優アワード新人男優賞を受賞。 (『声優さんになりたいっ!』) (『山梨日日新聞』) | 『健康で文化的な最低限度の生活』(KADOKAWA、2018) 『本にまつわるエトセトラPHOTOBOOK』(双葉社、2019) | 『声優さんになりたいっ!』(講談社、2014、p7~11) 『日経エンタテインメント』2018年3月号(日経BP社、p93~94) 『アニメージュ』2018年8月号(徳間書店、p50~53) 『山梨日日新聞』(2016.1.3、31面、2019.1.15、9面写真あり) 『cut』2022年5月号(ロッキングオン、p8~29) | 2023/2/23 | 県立 |
| サイトウ タイゾウ さいとう 大三 | 男 | 1949 | 八田村 | 南アルプス市 | 『八田村村制施行40周年記念村政要覧』 | 芸術・スポーツ | 「てんとう虫のサンバ」、「傷だらけのローラ」などの作詞。 日本作詞家協会常務理事。 (『八田村村制施行40周年記念村政要覧』) | | 『八田村村政施行40周年記念村政要覧』(八田村役場、1996、p20、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(1998.10.18、14面、1991.2.2、19面) | 2012/8/17 | 八田 |
| サイトウ タケン 齊藤 武士 | 男 | 1943 | 増穂町 | 富士川町 | 『甲州魚風土記』 『山梨日日新聞』 『斎藤武士展』 | 芸術・スポーツ | 版画家。 2014年文化功労者、2016年地域文化功労者に選ばれる。 山梨美術協会、副会長、会長などを歴任。 1984年クラクフ国際版画ビエンナーレポポーランド)で最高賞を受賞 1977年~県出身・在住の芸術家グループ「ルイユ」で活動。 やまなし県民文化祭美術部門専門委員長など県内美術文化への新興、発展に尽力した。 (『山梨日日新聞』) | 『甲州魚風土記』(寺田重雄著、芸文社、1980)の装画・装幀を担当 『山梨美術協会創立60周年記念展』(山梨美術協会、1997、p107MEMORY-97-III) 『山梨美術協会創立70周年記念展』(山梨美術協会、2007、p115MemoryofWall-07-I) | 『甲州魚風土記』(寺田重雄著、芸文社、1980、奥付) 『山梨日日新聞』(2008.1.11、9面、顔写真あり、2007.7.22、19面、顔写真あり、2014.11.13、24面、顔写真あり、2014.12.12、15面、顔写真あり、2016.12.8、24面) 山梨県立美術館収蔵品データベース作者データ&資料一覧 https://jmapps.ne.jp/yamanashimuse/sakka_det.html?list_count=10&person_id=325 (2022.8.18確認) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|----------|---------------|---|---|--|------------|-----|
| サイトウ ヨシヒロ 斎藤 芳弘 | 男 | 1926 1988 | 白根町 | 南アルプス市 | 『新甲斐風土記』 | 歴史・地理 | 山梨時事新聞編集局次長、山梨新報社社長ほか。 (『新甲斐風土記』) | 『甲府城物語』(テレビ山梨、1973) 『甲州財閥物語』上下(テレビ山梨、1988) 『新・甲斐国誌』全5巻(テレビ山梨、1988) 『新編甲州財閥物語』(山梨新報社、2000) 『新甲斐風土記』(斎藤芳弘、2010) 『湖水伝説、「なまよみ」など』(斎藤芳弘、2012) ほか | 『新甲斐風土記』(斎藤芳弘、2010、p337) | 2016/11/1 | 白根 |
| サエグサ ウンタイ 三枝 雲岱 | 男 | 1811 1901 | 蔵原村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 南宋画家。 本姓は小野。14歳の時、蔵原村三光山宝原寺の三枝氏の養子となる。 甲府の画家竹村三陽に師事。 1880年明治天皇巡幸の際、2図を献納、賞を賜る。 1900年皇太子嘉仁親王のご成婚には図を献納、賞詞を賜る。 八幡神社、比志神社の祠官となる。 「甲州文庫」に「習字手本」がある。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p411、顔写真あり) 『郷土史にかがやく人々11集』(青少年のための山梨県民会議、1981、p77~103) | 2012/8/3 | たかね |
| サエグサ シチナイ 三枝 七内 | 男 | 1837 1912 | 野牛島村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 初代中巨摩郡長を務める。 私立勸業試験場を設立、農業の改良、森林の培養など、殖産事業に尽力。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p331) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p60、p173) 『郷土に尽した人々』(清水小太郎、1976、p7) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(斎藤俊章、青少年のための山梨県民会議、1980、p275~288顔写真あり) 『八田村誌』(八田村、1972、p330~332) 『中巨摩郡誌』(山梨県中巨摩郡聯合教育会、東京名著出版、1977、第十三編人物・褒章誌p50) | 2020/10/28 | 八田 |
| サエグサ センエイ 三枝 善衛 | 男 | 1890 1971 | 穂坂村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 | 歴史・地理 社会科学 | 1912年~1919年、穂坂・穴山・韮崎・塩崎各小学校で教鞭をとった後、家業を継ぐために教職を退く。 穂坂地内に20か所の埋蔵文化財包蔵地を確認・研究。 朝穂堰・穂坂堰・楯無堰・徳島堰の研究。 (『韮崎市誌』) | 『徳嶋堰』(徳島堰組合、1959) | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p438) 『水の大切さを伝え遺した三枝善衛』(韮崎市ふるさと偉人研究会、韮崎市ふるさと偉人資料館、2018) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|------|---------------|---|-----------------|--|--|--|--------------------------|----------|
| サエグサ ヨサブろう 三枝 与三郎 | 男 | 1843 1911 | 岡部村 | 笛吹市 | 『石和町誌』 | 産業 | 実業家 「ギンザのサエグサ」創業者 (『石和町誌2』) | | 『石和町誌2』(石和町、1991、p357 ~360) | 2022/10/13 | 石和 |
| サカモト キヨタネ 坂本 清胤 | 男 | 1901 1993 | 日野春村 | 北杜市 | 『遠い空』(坂本清胤1986) | 社会科学 | 日野春村(現北杜市長坂町)向井家 に生まれる。 1925年、甲府中学を卒業後、日野 春小学校の代用教員となる。 教え子たちと児童雑誌「赤い鳥」に 積極的に投稿。 その後、山梨大学、韮崎高校、峡北 高校等で教え、高校教諭退職後、 駒沢大学、英和短大等で古典を講 じる。 1942年、坂本増次郎の養子になり、 坂本姓となる。 (『遠い空』) | 『遠い空』(坂本清胤1986) | 『坂本清胤(1907-1993)『赤い鳥』 と北杜の人びと』 (浅川伯教・巧兄弟資料館、2016、 p50) 『遠い空』 (坂本清胤、1986、P218~228) 『柳南の本』 (長坂町郷土資料館、2002.p20) 『「赤い鳥」における山梨県児童詩 教育』(溝口克己、1989、P46~48) 『「赤い鳥」と山梨の作文教育』(溝 口克己、1999、P91~97) | 2018/11/16 | ながさか |
| サカモト タカオ 坂本 高雄 | 男 | 1933 | 若草町 | 南アルプス市 | 『山梨の草葺民家』 「山梨日日新聞」 | 技術 歴史・地 理 | 山梨郷土研究会員 山梨県文化保護指導委員(建造物) 2008年、教育功労者表彰 (『山梨の草葺民家』「山梨日日新 聞」) | 『山梨の草葺民家』(山梨日日新聞 社出版局、1994) | 『山梨の草葺民家』(山梨日日新聞 社出版局、1994) 「山梨日日新聞」2008.11.5、4面顔 写真あり」 | 2009/1/28 | 上野原 |
| サカモト タシ 坂本 孝 | 男 | 1940 2022 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『俺のイタリアン、俺のフレン チ』 | 産業 社会科学 | 慶應義塾大学卒業。 精麦会社・坂本産業に入社。 いくつかの自営業を経て 1990年ブックオフコーポレーションを 創業。 2006年会長に就任。 2007年退任。 2011年新橋に「俺のイタリアン」を オープン。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2015』) 「俺の株式会社」名誉会長 (「俺の株式会社」 http://www.oreno.co.jp) | 『ブックオフの真実』(日経BP社、 2003) 『俺のイタリアン、俺のフレンチ』(商 業界、2013) 『俺のフィロソフィ』(商業界、2014) | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 (日外アソシエーツ、2014、p112) 『俺のイタリアン、俺のフレンチ』(坂 本孝、商業界、2013、奥付) 『山梨日日新聞』(2013.6.17、1面、 顔写真あり) 「俺の株式会社」 (http://www.oreno.co.jp 、2020.9.10 確認) 「山梨日日新聞」(2022.1.28、27面) | 2020/9/30 2022.11./07 | 甲府 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------------|---------------|---------------------------------|---------|--|---|--|------------|-----|
| サカモト チエコ 坂元 千恵子 | 女 | 1932 | 高根町 | 北杜市 | 『山梨文芸の研究』 | 文学 | 韮崎高校卒、歌人。『山梨文芸の研究』) | | 『山梨文芸の研究』(山梨ふるさと文庫、2009、p37) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| サカモト チャン 坂本 ちゃん | 男 | 1966 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | タレント (「山梨日日新聞」) | 『カミングアウト』(日本テレビ放送網、2001) | 『山梨日日新聞』(2002.5.13、4面) | 2012/8/21 | 塩山 |
| サカモト トクイチ 坂本 徳一 | 男 | 1926 2008 | 宮城県 仙台市 | 宮城県 仙台市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 歴史評論家、郷土史家。 日本文芸家協会、山梨郷土研究会などの会員。 山梨日日新聞社文化部長、編集局次長、論説委員を歴任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『甲府の歴史』(東洋書院、1982) 『天の試練に生きる』(西山巖、1990) 『武田信玄100話』(坂本徳一編、立風書房、1987) 『武田二十四将伝』(新人物往来社、1980) 『武田信玄合戦記』(新人物往来社、1975) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p209、317) 『山梨日日新聞』(2008.4.18、23面) | 2022/9/30 | 甲府 |
| サカモト マサシ 坂本 政史 | 男 | 1982 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『社長がボケた。事業承継はどうする?』 | 社会科学 | 税理士・公認会計士外岡会計事務所副所長。早稲田大学社会学部卒業。大手監査法人、税理士法人勤務を経て、義父が創業した税理士事務所の後継者となる。事業承継にクラウドファンディングを活用する等、様々な角度から同じ境遇に立つ後継者を支援。「近代セールス」に多数寄稿。全国紙新聞社主催セミナー、大学主催のマネジメントスクール他にて、税務の枠を超えたセミナーを多数行う。(『社長がボケた。事業承継はどうする?』) | 『社長がボケた。事業承継はどうする?』(中央経済社、2020) | 『社長がボケた。事業承継はどうする?』(中央経済社、2020) | 2020/10/25 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------|------------|---|---|--|------------|------|
| サカト マスジロウ 坂本 増次郎 | 男 | 1876 1943 | 高根町 | 北杜市 | 『坂本増次郎先生顕彰記念誌』 | 社会科学 | ハヶ岳開発の先望者。 1908年、平等尋常高等小学校長 1915年、七里尋常高等小学校長 1921年、甲府市春日尋常高等小学校長 1929年、琢美尋常高等小学校長 1931年、世界教育会議に日本代表として出席。甲斐ハヶ岳会創設、会長就任。 1943年、67歳で腸がんにて死去。 1944年、日本教育会、日本青年協会、甲斐ハヶ岳会協同主催にて記念碑建立。 | 『追憶花衣』 児童誌『活児童』(編集) 『女教員論』 | 『坂本増次郎先生顕彰記念誌』 (坂本増次郎先生遺徳顕彰会1965) | 2018/11/19 | たかね |
| サクマ ジロウ 佐久間 二郎 | 男 | 1972 | 甲府市 | 甲府市 | 佐久間二郎能の会「三曜会」 | 芸術・スポーツ | 1998年9月、観世宗家より観世能楽師としての認定を受ける。 1999年、「能楽入門講座花のみちしるべ」を開講。 2005年4月、甲府「武田神社」にて、同神社史上初の「新能」を開催、上演。地元・山梨に於いて、能楽の普及に努める。山梨県立大学非常勤講師。 社団法人・「観世九草会」所属。能楽協会会員。謡曲・仕舞「観世流富士の会」主宰。 (佐久間二郎能の会「三曜会」) | | 「花のみちしるべ観世流能楽師佐久間二郎」ホームページ http://www.5e.biglobe.ne.jp/~hanamiti/ (2022.8.18確認) 佐久間二郎能の会「三曜会」のホームページ https://www.sanyokai.com/ (2022.8.18確認) 三曜会:twitter https://twitter.com/sanyokai_noh (2022.8.18確認) 佐久間二郎能の会三曜会YouTube https://www.youtube.com/channel/UCToSsJiQpH97hpWPpn0XshQ (2022.8.18確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| サクライ ヌヨシ 櫻井 孝美 | 男 | 1944 | 埼玉県 | 埼玉県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 芸術・スポーツ | 洋画家、了徳寺大学芸術学部教授。1972～1982年自由美術展に出品。その他、山梨美術協会展協会賞(1984年)、東京セントラル美術館油絵大賞展大賞(1985年)、昭和会展昭和会賞(1987年)など受賞歴多数。1988年、富士吉田市文化功労賞受賞。2000年フランスのシャモニー、パリで海外初個展を開催。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p415～416) 「山梨日日新聞」(2006.8.9、16面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ササキ マリコ 佐々木 満里子 | 女 | 1933 | 満州大連市 | 中国 | 『平成伊呂波歌留多道子2』 | 社会科学 文学 | 1999年～国際建設会長。 山梨社会保険協会理事。 (『ポストモーテム』) 2010年旭日双光章受章。 (「山梨日日新聞」) 2013年日本エッセイ・クラブ会員。 (『平成伊呂波歌留多道子2』) | 『ポストモーテム』(中央公論事業出版、2003) 『道子』(中央公論事業出版、2006) 『平成伊呂波歌留多道子2』(中央公論事業出版、2016) | 山梨日日新聞(2016.5.27、12面、顔写真あり) 『平成伊呂波歌留多道子2』(中央公論事業出版、2016、奥付に著者略歴あり) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------------------|-------|---|---|---|-----------|-------|
| ササモ ケンジ 笹本 健次 | 男 | 1949 | 甲府市 | 甲府市 | 『昭和40年頃の山梨の鉄道追想』 | 産業 | 常盤ホテル社長 (「山梨日日新聞」) | 『6×6で撮影した都電の面影』 (2020、ACJマガジンス) 『昭和40年頃の山梨の鉄道追想』 (2020、ACJマガジンス) 『私が撮影したC56七尾線・飯山線・ 小海線・越後線を中心として』 (2020、ACJマガジンス) 『昭和40年代の直流電気機関車の 活躍』(2021、ACJマガジンス) ほか | 『山梨日日新聞』(2020.9.4、18面、 写真あり、2021.1.4、21面写真有) | 2023/2/23 | 県立 |
| ササモ ショウジ 笹本 正治 | 男 | 1951 | 敷島町 | 甲斐市 | 『実録・戦国時代の民衆たち』 『武田信玄と松本平』 | 歴史・地理 | 信州大学人文学部教授。 日本中世史、日本近世史専攻。 歴史学博士。 1991年野口賞(郷土研究部門)受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』) | 『戦国大名武田氏の信濃支配』(名 著出版、1990) 『山梨県の武田氏伝説』(山梨日日 新聞社、1996) 『武田信玄』(ミネルヴァ書房、2005) 『実録・戦国時代の民衆たち』(一草 舎出版、2006) 『軍師山本勘助語られた英雄像』 (新人物往来社、2006) 『武田信玄と松本平』(一草舎、 2008) 『鳴動する中世怪音と地鳴りの日本 史読みなおす日本史』(吉川弘文 館、2020) 『土石流と水害伝承・地名・防災』 (高志書院、2022) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 (日外アソシエーツ、2022、p221) 『山梨日日新聞』(2001.8.29、12面、 2005.2.25、10面、2007.1.5、13面、 2007.1.6、17面、2022.11.25、11面) 『信州大学研究者総覧』 http://soar-rd.shinshu- u.ac.jp/profile/ja.WUnmgUAU.html (2023.2.23確認) | 2023/2/23 | 県立 |
| サスカ ホウ 流石 奉 | 男 | 1913 1994 | 勝山村 | 富士河口湖町 | 『勝山村史下巻』 | 歴史・地理 | 郷里に伝わる「勝山記」の考証に、 晩年をかけて調査。元本を正写して 「勝山記」の真価を高めた。 (『勝山村史下巻』) | 『妙本寺縁起考』(1976、流石奉) 『小湖拾遺記』(1979、流石奉) 『勝山記と原本の考証』(国書刊行 会、1985) 『甲斐源氏と源平合戦』(1980、流石 奉) | 『勝山村史下巻』(勝山村役場、 1999、p630) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| サウ セイイチ 佐藤 精一 | 男 | 1922 2004 | 山梨市 | 山梨市 | 『詩集目隠し』 | 文学 | 元教員。 1953年から「時間」同人。 1970年第五回北川冬彦賞受賞。 (『詩集目隠し』) | 『詩集目隠し』(時間社、1972) | | 2009/1/22 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------|---------|---|---|--|------------|------|
| サウ トシアキ 佐藤 俊明 | 男 | 1948 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 技術 | エコプロデューサー。 日本ナチュロック(株)代表取締役社長。 コンクリートと天然石を複合させた“ナチュロック”を開発。溶岩を使った製品の開発や研究なども多数手がける。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『川は生まれ変わるか』(プレジデント社、2001) 『癒しの溶岩園芸』(日本放送出版協会、2002) 『溶岩革命』(プレジデント社、2011) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p175) 『日本ナチュロック株式会社ホームページ』 http://www.naturorock.co.jp/ (2014.11.25確認) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| サウ ハチロウ 佐藤 八郎 | 男 | 1909 2004 | 韮崎町 | 韮崎市 | 「甲斐」第110号 | 歴史・地理 | 郷土史家。 甲府中学校から山梨師範学校専攻科を卒業、猿橋小学校などで教鞭をとる。 1965年に双葉西小学校校長を最後に退職後、山梨県立図書館郷土資料室に勤務し、「甲州文庫」の整理など郷土史研究に専念。17年かけ「甲斐国史」の校訂を行う。 1978年、野口賞、勲五等双光旭日章、山梨県文化功労賞等を受賞。 (「甲斐」第110号) | 『甲斐地名考』(山梨郷土研究会、1977) 『韮崎市誌』(韮崎市役所、1978) 『武田信玄とその周辺』(新人物往来社、1979) 『山梨県の漢字碑』(佐藤八郎、1998) ほか | 「甲斐」第110号(山梨郷土研究会、2006) 『山梨県人物・人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p173) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| サウ マサアキ 佐藤 正明 | 男 | 1941 | 甲府市 | 甲府市 | 『佐藤正明展』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 美術家。ニューヨーク在住。 甲府・芸術の森公園にザ・「ビック・アップルNo.45」がある。 第25回野口賞受賞。 2017年、ポストン・プリントメーカーズの名誉会員に日本人では初選出。 作品に「サブウェイ」「ニュースタンド」シリーズがある。 (『山梨日日新聞』) (『佐藤正明展』) | 『佐藤正明展』(山梨県立美術館、1990) 『山梨日日新聞』(2007.7.27、11面、顔写真あり、2013.11.28、12面、顔写真あり、2007.7.27、11面、顔写真あり、2013.11.28、12面、顔写真あり、2017.4.14、11面、顔写真あり、2017.11.17、22面、顔写真あり、2018.3.17、13面、顔写真あり、2018.11.10、14面、顔写真あり、2020.10.10、14面、顔写真あり) 『佐藤正明研究』(筑波大学大学院日本美術研究室、2015) 山梨県立美術館収蔵品データベース作者データ&資料一覧 https://jmapps.ne.jp/yamanashimuse/sakka_det.html?list_count=10&person_id=413 (2022.8.18確認) MasaakiSatoプロフィール https://www.masaakisato.com/profile (2022.8.18確認) | 2022/9/30 | 甲府 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------------|---------------|----------------------|---------|---|---|---|------------|------|
| サウ マサキ 佐藤 真樹 | 男 | 1936 | 大和村 | 甲州市 | 『ぶどう園の詩季』 | 芸術・スポーツ | カメラマン 佐藤真樹写真スタジオ経営 (『ぶどう園の詩季』 「JPS・日本写真家協会ホームページ」) | 『ぶどう園の詩季』(山梨日日新聞、1993) 『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983) 『わがむら』(大和村役場、1995)『わがむらの記録』(著者出版、2014) 『わがむらの記録Ⅱ 笹子トンネル3000m物語』(著者出版、2014)『上条・昭和の記録』(著者出版、2015) ほか | 『ぶどう園の詩季』(p120、顔写真あり) 『ぶどうの四季』(奥付2p前、顔写真あり) 『わがむら』(奥付) 「JPS・日本写真家協会ホームページ」(http://www.jps.gr.jp/) (2023.2.21確認) | 2023/2/21 | 大和 |
| サウ マサミ 佐藤 真佐美 | 男 | 1939 2009 | 北海道 | 北海道 | 『栄光ふたたび』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 児童文学者。 1973年『マンガの世界』で北川千代賞受賞。 山梨学院短期大学講師、山梨文芸家協会、やまなし県民文化祭文学部門専門委員、日本児童文学者協会監事、山日文芸児童文学選者。 2008年山梨県文化奨励賞受賞。 (『栄光ふたたび』、『山梨日日新聞』) | 『ぼくらは地底王国探検隊』(ポプラ社、1982) 『シレットクのシルバー』(草炎社、1995) 『甲斐むかし話の世界』(山梨ふるさと文庫、1997) 『山梨学院大学箱根駅伝物語』(山梨ふるさと文庫、1993) 『栄光ふたたび』(山梨ふるさと文庫、1994) ほか | 『栄光ふたたび』(山梨ふるさと文庫、1994) 『山梨日日新聞』(2008.11.1621面) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| サノ シロウ 佐野 四郎 | 男 | 1898 1988 | 万沢村 | 南部町 | 『富沢町誌』 | 文学 | 歌人 歌集『コスモスの歌』選者 勲六等瑞宝章(『富沢町誌下巻』) | 『杉の花粉』(朝日書房、1934) 『峡嵐集』(白玉書房、1964) 『白雲集』(柏葉書院、1972) 『湖畔の薄』(伊麻書房、1978) 『富士と暁』(伊麻書房、1984) 『蠟梅』(伊麻書房、1987) | 『コスモスの歌コスモス叢書第559編』(椋書房、1998、短歌30首収録) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p192~194) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、2002、p414) | 2014/8/14 | 南部 |
| サノ タツミ 佐野 辰巳 | 男 | 不詳 | 南部町 | 南部町 | 『改定南部町誌』 『南部町誌』 | 歴史・地理 | | 湖底に沈んだ村『天子湖』 | | 2021/1/21 | 南部 |
| サラシナ イツオ 更級 乙男 | 男 | 1925 | 長野県更級郡川中島村 | 長野県長野市 | 『ふるさと双葉町の地名・歴史』 | 歴史・地理 | 元山梨県職員 1982年～財団法人山梨県産業情報センター常務理事 1987年～昭和産業(株)常務取締役 1983年～1989年、双葉町民生児童委員 1991年～双葉町文化財審議会委員 (『ふるさと双葉町の地名・歴史』) | 『ふるさと双葉町の地名・歴史』(更級乙男、1991) 『江戸時代の道尾山林場をめぐる山論』(更級乙男、1992) 『大笠堰』(更級乙男、1996) 『ふるさと双葉町の地名・歴史』(更級乙男、1997) | 山梨日日新聞(1991.11.17、16面) | 2018/11/18 | 双葉 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------------|----|----------|--------|---------------|--|-------------|--|--|---|------------|------|
| サンユウテイ コウ ザ 三遊亭 小遊三 | 男 | 1947 | 大月市 | 大月市 | 落語芸術協会ホームページ 『大月人物伝』 | 芸術・ス ポーツ | 落語家。 落語芸術協会参事。 本名天野幸夫。 出生地横浜市 都留高校出身。 1968年三代目三遊亭遊三に入門。 1983年真打昇進。 1980年、2001年芸術祭優秀賞。 (落語芸術協会ホームページ、『大月人物伝』) | 『落語をもっとたのしもう』(日本放送出版協会、2006) | 落語芸術協会ホームページ http://www.geikyo.com (2022/10/19確認) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p148~151、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p196~197) | 2022/10/19 | 大月 |
| シジョウ タカ 四條 たか子 | 女 | 1959 | 南部町 | 南部町 | 『天璋院篤姫と幕末を旅する』 『世界が愛した日本』 『武豊・武幸四郎徹底分節天才機種 の系譜』 | 文学 | 武蔵野大学人文学部日本語日本文学専攻修士課程終了。学芸員資格取得(美術)。 競馬週刊誌、骨董店勤務、歴史小説家アシスタントを経て、フリーライター。 (『天璋院篤姫と幕末を旅する』) | 『天璋院篤姫と幕末を旅する』(一水社、2008) 『世界が愛した日本』(竹書房、2008) 『武豊・武幸四郎徹底分節天才機種 の系譜』(アリアドネ企画、1996) 『クラブ馬主入門ガイドどうせ競馬をやるからには』(三恵書房、1990) | 『天璋院篤姫と幕末を旅する』(プロフィール) 『武豊・武幸四郎徹底分節天才機種 の系譜』(プロフィール) ほか | 2012/8/14 | 南部 |
| シハラ カツキ 篠原 勝之 | 男 | 1942 | 北海道札幌市 | 北海道札幌市 | 『カミサマ』 『Aアンベア』 『骨風』 | 芸術・ス ポーツ | 絵本、舞台美術、小説、エッセイなどで活躍し注目を集める。 1986年より”鉄のゲージツ家”としてダイナミックな造形を国内外で創り続けている。 『走れUMI』第58回小学館児童出版文化賞受賞。 『骨風』第43回泉鏡花文学賞受賞。(『カミサマ』『Aアンベア』) 1994年オブジェ「風弦」の建立(武川町) (『広報むかわ縮刷版』) | 『天外天空ゲージツ無頼帖』 (1994マガジンハウス) 『クマさんおゲージツ日誌』 (1994、毎日新聞社) 『鉄のおもいで』(1997、講談社) 『Kuma's』(2000、平凡社) 『葦草の Cockpit』 (2001、文藝春秋) 『走れUMI』(2008、講談社) 『もちおもり』(2010、講談社) 『Aアンベア』(2011、小学館) 『カミサマ』(2012、講談社) 『骨風』(2015、文藝春秋) 『戯れの魔王』(文藝春秋2018) ほか | 『広報むかわ縮刷版Vol2』 (武川村役場、p248) 『KUMA'S』(平凡社2000) | 2016/11/16 | むかわ |
| シパタフミエ 柴田 文江 | 女 | 1965 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 | 産業 | 工業デザイナー、DesignStudioS代表。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒。東芝に入社し、家電小型チームでドライバーやシェーバー等を手がける。1994年 DesignStudioS設立。カラフルでポップなデザインに定評があり、様々な企業の商品を手がける。エイボン芸術賞(2006年)等受賞。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『デザイナーへの道を知る-30人の言葉-』(石田純子著、美術出版社、2009) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2013年、p433) 『山梨日日新聞』(2006.12.27、11面) 『山梨日日新聞』(2012.7.1、40面) DesignStudioSホームページ: http://www.design-ss.com/ (2013.11.25確認) | 2014/11/25 | 富士吉田 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|-----------|---|--|--|------------|-----|
| シバツジ シュロウ 柴辻 俊六 | 男 | 1941 2022 | 竜王村 | 甲斐市 | 山梨日日新聞2022.9.30 | 歴史・地理 | 早稲田大学卒業 早稲田大学大学院博士課程修了 元日本大学大学院非常勤講師 1992年、「戦国大名領の研究」で「水音」で第16回野口賞受賞 NHK大河ドラマ「風林火山」の時代考証を担当 | 『戦国大名領の研究』(名著出版、1981) 『戦国大名武田氏領の支配構造』(名著出版、1991) 『戦国期武田氏領の展開』(岩田書院、2001) 『武田信玄合戦録』(角川学芸出版、2006) 『戦国期武田氏領の形成』(校倉書房、2007) 『戦国期武田氏領の地域支配』(岩田書院、2013) 『戦国期武田氏領の研究―軍役・諸役・文書』(勉誠出版、2019) 『戦国期武田氏領研究の再検討』(岩田書院、2021) | 『戦国期武田氏領研究の再検討』(岩田書院、2021、奥付) 『山梨日日新聞』(2022.9.30、27面) | 2022.11.07 | 竜王 |
| シマズ コウキ 嶋津 幸樹 | 男 | 1989 ? | 敷島町 | 甲斐市 | 『山梨日日新聞』 | 言語 | 1989年敷島町生まれ。 2006年山梨学院高校在学中に自宅に英語塾を立ち上げる。 青山学院大学在学中に山梨・神奈川県で3校の英語塾を開く。 ロンドン大教育研究所応用言語学修士課程修了。 グローバル教育事業を手掛けるタクトピア(東京)所属。 2017年ピアソン英語教育ティーチャー・アワード受賞。 2020年度山梨県立大学非常勤講師。 | 『PASSPORT150の英語語源単語帳』(市田印刷出版、2010) 『アジアNO.1英語教師の超勉強法』(DHC、2020) | 『山梨日日新聞』(2017.4.7、13面、2020.7.15、10面顔写真あり) | 2022/11/30 | 敷島 |
| シマダ タケシ 嶋田 武 | 男 | 1905 ? | 甲府市 | 甲府市 | 『甲府盆地の四季』 | 自然科学・医学文学 | 甲府中学、甲府一高・甲府二高の教諭として生物学を教える。 1963年、甲府二高の教頭を最後に定年退職。 (『甲府盆地の四季』) | 『甲府盆地の四季』(山梨日日新聞社、1982) 『旅ゆけば』(山梨ふるさと文庫、1987) 『甲州歳時記』(柳正堂出版、1977) 『追想山岡伊作』(山岡正夫、1988) 『盆地礼讃』(朋文堂、1955) 『甲府空襲の記録』(甲府市、1983、P203～206、「暁の寒さ」掲載) | 『甲府盆地の四季』(山梨日日新聞社、1982、奥付) 『旅ゆけば』(山梨ふるさと文庫、1987、奥付) | 2018/11/28 | 甲府 |
| シミス キンイチ 清水 金一 | 男 | 1912 1966 | 白木町 | 甲府市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 喜劇王。 エノケン、ロッパに肩を並べ「シミキン」の愛称で呼ばれる。 1942年、「新生喜劇座」を結成。 『シミキンの拳闘王』『シミキンの無敵競輪王』など主演映画多数。 (『山梨百科事典』) 本名、清水武雄。浅草の人気俳優。浅草オペラ末期に劇界に入り、新興の小劇場レビューで水を得た。 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p221) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p462) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p498～499) | 2022/9/30 | 甲府 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|------------------|---|--|---|-----------|-------|
| シミス クニアキ 清水 国明 | 男 | 1950 | 福井県 | 福井県 | 『森のチカラ、生きるチカラ』 | 歴史・地理 芸術・スポーツ | 京都産業大学法学部卒業。 テレビ・ラジオの司会やコメンテーター、アウトドアライフネットワーク「自然暮らしの会」代表、「河口湖自然学校」取締役。 富士河口湖町特別町民。 (『森のチカラ、生きるチカラ』) 山梨学院大学客員教授 (『山梨日日新聞』) | 『野ばなしのスズメ』(扶桑社、1995) 『清水国明の自然遊び日記』(読売新聞社、1997) 『遊YOUキッズアドベンチャー』(ベースボールマガジン社、1999) 『直覚死』(日東書院、2005) 『森のチカラ、生きるチカラ』(日東書院、2005) 『知識ゼロからの絵手紙入門』(幻冬舎、2006) ほか | 「朝日新聞」(2004.5.9) 「産経新聞」(2004.5.9) 「毎日新聞」(2004.5.9) 「産経新聞」(2004.5.23) 「山梨日日新聞」(2004.6.18、1面) 「山梨日日新聞」2012.4.17、20面、 顔写真あり) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| シミス サンゾウ 清水 三三 | 男 | 1880 1956 | 秋田村 | 北杜市 | 「山梨日日新聞」 | 言語 | ハルビン学院教授 (『甲州人物風土記』) 満州国北満学院院長 (『山梨日日新聞』) | | 『甲州人物風土記』(雨宮要七、1973、p290～296) 「山梨日日新聞」(2001.12.5、11面、 写真あり) | 2013/1/30 | ながさか |
| シミス シゲオ 清水 茂夫 | 男 | 1913 1999 | 白根町 | 南アルプス市 | 『武田史料集』 「山梨日日新聞」 | 歴史・地理 | 山梨大学名誉教授。 山梨県文化財調査委員ほか。 (『山梨日日新聞』) | 『武田史料集』(校注新人物往来社、1967) 『奈良田の方言・甲斐民俗叢書3』(共編山梨民俗の会、1957) 「甲陽軍鑑の周辺」(『甲斐史学』特集号、甲斐史学会、1965、p49～p59)(山梨県立図書館所蔵) ほか | 『武田史料集』(清水茂夫校注、新人物往来社、1967、奥付) 「山梨日日新聞」 (1999.5.3019面) | 2012/7/13 | 白根 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------|---|--|---|------------|-----|
| シミス ショウゾウ 清水 昭三 | 男 | 1930 | 韮崎町 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 文学 | 小説家、文芸評論家。 1997年、発起人として山梨文芸協会の発足に携わり、2003年まで会長を務めた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『大サンショウウオ物語』(新読書社、1986) 『俳風韮崎宿の哀歓』(新読書社、1992) 『千代女の生涯』(山梨ふるさと文庫、2002) 『戦争始まり候とき』(彩流社、2007) 『芥川龍之介の夢』(原書房、2007) 『かへるべき夜ぞ』(山梨日日新聞社、2008) 『生死と無明』(鳥影社、2009) 『椎名麟三の神と太宰治の神』(原書房、2011) 『散り損じた若桜の独語(ひとりごと)』(原書房、2012) 『男の友情』(原書房、2014) 『米糠三合説異聞』(原書房、2016) 『花の俳人加賀の千代女』(アルファベータブックス、2017) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p316) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| シミス トシキ 清水 利生 | 男 | 1985 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『スポーツの本番に強くなる！子どもメントレ』 | 芸術・スポーツ | 韮崎高校卒業。山梨学院大学を中退しプロフットサル選手としてプレー。引退後メンタルトレーナーに転身。スポーツ心理学。 | 『スポーツの本番に強くなる！子どもメントレ』 (東洋館出版社、2021) | 『スポーツの本番に強くなる！子どもメントレ』 | 2022/11/30 | 韮崎 |
| シミス リンモ 清水 倫茂 | 男 | 1864 1936 | 高根町 | 北杜市 | 『清水倫茂(1864-1936)～日本で初めての公害裁判信玄公旗掛松事件に勝訴した人～』 (浅川伯孝・巧兄弟資料館2016) 『旗かけ松の本』 (長坂町郷土資料館2001) | 社会科学 | 日本初の公害裁判に勝訴した人物。 甲村村長(現北杜市高根町下黒沢)(株)甲銀行取締役。 北巨摩郡会議員。 合資会社甲斐銀行取締役。 日野春駅までの道を整備し、桜を植えたりアズマヤを設置。 熱血の人と称されていた。 | 『清水倫茂(1864-1936)～日本で初めての公害裁判信玄公旗掛松事件に勝訴した人～』 (浅川伯孝・巧兄弟資料館2016) 『旗かけ松の本』 (長坂町郷土資料館2001) | 2018/11/19 | たかね | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------------|----|-------------------|-------|---------------|--------------------------------|---------|--|---|---|------------|------|
| シムラ タキゾウ 志村 滝三 | 男 | 1903 1971 | 藤井町 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』『山梨「人物」博物館』 | 歴史・地理 | 考古学研究者。 農業の傍ら、畑などから出土する石鏃、石器、土器を蒐集した。 古代文化への興味を持つようになり、自分の畑から大量の遺物を発見、東京帝大の鳥居龍蔵の指導を受け、その発掘地を“坂井遺跡”と名付けた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 北巨摩郡教育委員会の郷土研究部の一員として『先史原始時代調査』発行にあたっている。 (『山梨「人物」博物館』) | 『坂井』(地方書院、1965) | 『山梨「人物」博物館』(江宮隆之、丸山学芸図書、1992、p205) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p174) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| シムラ マサヒコ 志村 正彦 | 男 | 1980 2009 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 芸術・スポーツ | ミュージシャン。2000年高校の同級生たちとフジファブリックを結成、ボーカルとギターを担当。バンド名は初期メンバーの実家が経営する企業名に由来する。2003年キーボードの金沢ダイスケ、ベースの加藤慎一、2004年ギターの山内総一郎、ドラムスの足立房文が加入。同年アルバム「春盤桜の季節」でメジャーデビュー。2006年足立が脱退し、以後4人で活躍する。2009年12月、29歳で急逝した。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『東京、音楽、ロックンロール完全版』(ロッキング・オン、2011) 『志村正彦全詩集』(パルコエンタテインメント、2011) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012年、p496~497) 『山梨日日新聞』(2005.6.21、11面) (2008.6.11、11面)(2013.1.8、11面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| シュンフウテイ ベンキョウ 春風亭 弁橋 | 男 | 1996 | 韮崎市 | 韮崎市 | 落語芸術協会ホームページ | 芸術・スポーツ | 2015年春風亭柳橋に入門、前座名「べん橋」2019年ニツ目昇進べん橋改め「弁橋」。武田の里サッカーのまちにらさき親善大使。(落語芸術協会ホームページ) | | 『広報にらさき』2019年12月号落語芸術協会ホームページ https://www.geikyo.com/profile/profile_detail.php?id=3092020.10.21 確認 | 2020/10/25 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------|---|---|---|------------|-----|
| シラハタ シロウ 白旗 史朗 | 男 | 1933 2019 | 廣里村 | 大月市 | 一般社団法人白旗史朗保存会ホームページ 『圏谷のシンフォニー』 『大月人物伝』 | 芸術・スポーツ | 国際的山岳写真家。 1951年富士山の写真家・岡田紅陽氏に師事。 1977年日本写真協会賞。 1987年山梨県文化功労者。前田晁文化賞。 1989年「白旗史朗賞・日本山岳写真コンテスト」を創設、続行中。 1990年野口賞受賞。 1992年「大月市秀麗富嶽十二景」コンテスト審査、続行中。 2000年キング・アルバート I 世功労勲章(スイス)。 2002年山梨県政特別功労者表彰 山岳写真の会「白い峰」会長、日本高山植物保護協会会長ほか (一般社団法人白旗史朗保存会ホームページ、『圏谷のシンフォニー』、『大月人物伝』) | 『山と写真わが青春』(岩波書店、1980) 『白旗史朗の山岳写真テクニック』(山と溪谷社、1980) 『山の花抒情—白旗史朗写真集』(日本カメラ社、1986) 『世界の名峰・花巡礼—白旗史朗写真集』(新日本出版社、1995) 『日本百名山』(朝日新聞社、1998) 『白旗史朗日本と世界の名峰を讀う』(日本カメラ社、2003) 『白旗史朗の甲斐山歌』(新日本出版社、2008) 『圏谷のシンフォニー』(山と溪谷社、2010) 『白旗史朗喰いしん坊日記』(新日本出版社、2016) ほか | 一般社団法人白旗史朗保存会ホームページ https://www.shiro-shirahata.net/ (2022/10/19確認) 『圏谷のシンフォニー』(山と溪谷社、2010、著者紹介欄) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p167~172、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p216~217) 『白嶺の金剛夜叉』(井ノ部康之、山と溪谷社、2020、p326、表紙裏) | 2022/10/19 | 大月 |
| ジングウジ オサム 神宮司 治 | 男 | 1980 | 御坂町 | 笛吹市 | 「レミオロメン公式サイト」 | 芸術・スポーツ | 2000年に結成したバンド、「レミオロメン」のドラム・コーラス。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でインディーズデビュー。レコード店のインディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデビュー。2005年にリリースされた8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐市)にて史上初の滑走路ライブを開催し、3万人を動員。 2012年2月活動休止 (レミオロメン公式サイト) 活動休止後はドラムクリニック、ライブサポート、更にはドラマーのみならず、オーブオイルソムリエの資格を取得するなど、様々な活動をしている。 | Single 「粉雪」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2005) 「蕎麦」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2007) 「夢の蕾」 (OORONGRECORDS2009)ほか Album 「HORIZON」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2006) 「風のクロマ」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2008) 「レミオベスト」 (OORONGRECORDS2009年)ほか | 「レミオロメン公式サイト」 http://www.remioromen.jp/ (2022.10.8確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版 (日外アソシエーツ、2004、p1032) 「H」(「ロッキング・オン」2006年9月号、p12~29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二著、汐文社、2007) 神宮司治OFFICIALSITE http://www.jingujiosamu.jp/ (2022.10.8確認) | 2022/10/8 | 御坂 |
| シドウキオン 進藤 義遠 | 男 | 1947 | 甲府市 | 甲府市 | 『ATD』 | 哲学・宗教 | 1975年甲斐市の日蓮宗妙法山忠安寺へ入寺。 (『ATD』) | 『フンタリカ』(山梨ふるさと文庫、1987) 『法華経に生かされて』(進藤義遠、2001) 『ATD』(進藤義遠、2005) | 『ATD』(進藤義遠、2005、奥付) | 2014/11/27 | 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------------------|---------------------------------------|--|---|--|------------|------|
| シトウ ブザエモン 進藤 武左衛門 | 男 | 1896 1981 | 小淵沢村 | 北杜市 | 『山梨百科辞典』 | 産業 | 水エネルギーの父。東京電灯取締役、関東配電、日本発送電を経て、戦災復興院業務局長、建築局長。その後、日本科学技術連盟理事長、中国電力会長、日本国土開発社長、水資源開発公団総裁を歴任。又、水に関する国際会議の日本代表、海外電力調査会長なども務めた。(『山梨百科辞典』) | 『随意随作』(朝日書院、1965) 『南船北馬』(政経社、1973) | 『私の履歴書第25集』 (日本経済新聞社、1965,p121~179) 『山梨百科辞典』 (山梨日日新聞社、1989、p508) 『山梨県人物・人材情報リスト』 (日外アソシエーツ、2003,p204) 『新編甲州財閥物語』 (山梨新報社、2000,p57,219) | 2018/11/12 | 小淵沢 |
| エトシツ 末 利光 | 男 | 1932 | 東京都 | 東京都 | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 | 図書館・情報 社会科学 芸術・スポーツ 言語 文学 | 元・笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館館長。ジャーナリスト、講師(講師名:神田甲陽)。元・NHKアナウンサー。(『山梨県人物・人材情報リスト2002』) | 『ことばのおへそ』(三省堂、1982) 『「クリーン選挙」わたしの闘い』(講談社、1992、県立図書館所蔵) 『小川正子の生涯』(神田甲陽著、春日居町教育委員会、2000) 『ハンセン病報道は真実を伝え得たか』(JLM、2004) 『コロナに翻弄された家』(毎日新聞出版、2021、石和図書館所蔵)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 (日外アソシエーツ、2002、p191) 『21世紀—山梨の100人』(山梨新報社、2002、p70~71) | 2022/10/21 | 春日居 |
| スガタシュン 菅田 俊 | 男 | 1955 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 俳優。東京経済大学卒業後、1982年「制覇」などに端役で出演。同年劇団状況劇場に入り、その後唐十郎と唐組を結成。2003年トム・クルーズ製作・主演のハリウッド映画「ラスト・サムライ」で好演し、注目を集める。2005年日米合作時代劇「SAKURA-BlueEyedSamurai」で主人公の浪人に抜擢されるなど国際派俳優として活躍。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p525~526) 『山梨日日新聞』(2004.2.29、5面) (2008.3.18、12面)(2009.7.1、39面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------|-------------|--|----|--|-----------|-----|
| スキウラ ケンゾウ 杉浦 健造 | 男 | 1866 1933 | 西条村 | 昭和町 | 『山梨百科事典』 | 自然科学 ・医学 | 地方病(日本住血吸虫病)研究の先駆者 山梨における地方病予防撲滅計画樹立の基礎を作った。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典増補改訂版』(山梨日日新聞社、1989、p418) 『杉浦健造先生頌徳誌』(杉浦先生形像建設委員会、1934) 『地方病とのたたかい』(山梨地方病撲滅協会、1977、p120) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p480) 『わたしたちのまちしょうわ』(昭和町社会科副読本編集委員会著、昭和町教育委員会、2012、p87) 『ランデブー13』(株式会社コミヤマ工業、2002、p14~23) 『郷土史にかがやく人々第7集』(青少年のための山梨県民会議、1974、P53~75、顔写真あり) 『昭和いきいきガイドブック昭和町昭和 水源と地方病コース編』(昭和町教育委員会生涯学習課、2008、p10、p14~p19) 『角川日本姓氏歴史人物大辞典19山梨県』(山梨県姓氏歴史人物大辞典編集委員会著、角川書店、1990、p307) 『地方病を語り継ごう流行終息宣言から25年』(昭和町風土伝承館杉浦醫院、2022) 山梨県昭和町風土伝承館杉浦醫院のホームページ http://www.sugiura-iin.com/ (2014/11/12確認) | 2022/8/31 | 昭和 |
| スキウラ サブロー 杉浦 三郎 | 男 | 1895 1977 | 西条村 | 昭和町 | 『山梨百科事典』 | 自然科学 ・医学 | 地方病(日本住血吸虫病)を研究、 医学博士の学位を得て地方病の 予防撲滅の研究を重ね、20種類以上 に上る成果を発表し学界に貢献 した。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典増補改訂版』(山梨日日新聞社、1989、p418) 『地方病とのたたかい』(山梨地方病撲滅協会、1977、p121) 『地方病とのたたかい』(山梨地方病撲滅協会、2003、p79p80) 『わたしたちのまちしょうわ』(昭和町社会科副読本編集委員会著、昭和町教育委員会、2012年、p87) 『ランデブー13』(株式会社コミヤマ工業、2002、p14~23) 『昭和いきいきガイドブック昭和町昭和 水源と地方病コース編』(昭和町教育委員会生涯学習課、2008年、p10、p20~p23) 『地方病を語り継ごう流行終息宣言から25年』(昭和町風土伝承館杉浦醫院、2022) 山梨県昭和町風土伝承館杉浦醫院のホームページ http://www.sugiura-iin.com/ (2014/11/12確認) | 2022/8/31 | 昭和 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|-----------------|------------|--|--|--|------------|-----|
| スギヤマ アキラ 杉山 亮 | 男 | 1954 | 東京都 | 東京都 | 『子どもにもらった愉快的時間』 | 文学 | 1976年、都の公立保育園の第一号男性保育者として、83年まで各地の保育園・幼稚園に勤務。その後、おもちゃ作家として「おもちゃいろいろ・なぞなぞ工房」を主宰し、現在は山梨県北杜市の高原で児童書の執筆およびストーリーテラーとして活動中。 『子どもにもらった愉快的時間』 『空を飛んだポチ杉山亮のものがたりライブ』(講談社)第56回産経児童出版文化賞(ニッポン放送賞) 『かっぱ』 『のっぺらぼう』(ポプラ社、2011)第16回日本絵本賞、日本絵本賞読者賞受賞 | 『もしかしたら名探偵』(偕成社、1992) 『青空晴之助』(フレーベル館、1998) 『怪盗シヨコラ』(あかね書房、2001) 『朝の連続小説2』(仮説社、2007) 『ひるもよも名探偵』(偕成社、2008) 『空を飛んだポチ』(講談社、2008) 『うみぼうず』(ポプラ社、2011) 『かっぱ』(ポプラ社、2011) 『子どもにもらった愉快的時間(新版)』(晶文社、2012) ほか多数 | 『子どもにもらった愉快的時間』(表紙裏、顔写真あり) 杉山亮のホームページ 「なぞなぞ工房ONTHEWEB」 https://sugiyama-akira.jp/ 『児童作家の思いつき』2022年11月25日発行に記載あり | 2012/8/10 | 小淵沢 |
| スギヤマ ユキオ 杉山 幸男 | 男 | 1888 1949 | 小笠原町 | 南アルプス市 | 『韮崎市誌』 | 社会科学 産業 | 1898年、韮崎杉山家の養子となる。横浜に行きドイツ薬学を研究中、先代の死去に会い、家督を相続。杉山家は舟山河岸にあつて、富士川水運による物資の運搬を業としていた。韮崎町商工会を創立、会長に推された。のち韮崎町長に就任、韮崎市建設への基礎を作った。塩川橋・船山橋の架橋に尽力した。 (『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p429) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ススキ セインヨ 鈴木 青処 | 男 | 1908 1983 | 大草村 | 韮崎市 | 『山梨の作家2』 | 文学 | 山梨県と長野県在住の「ホトギス」系俳人による、高浜虚子の指導を仰ぐ「笛吹会」結成(1945年)当初からの一員。山口青邨の主宰する「夏草」「俳句研究」へも投句を行う。1948年、「俳句研究」17・8号の青邨選の雑詠欄には2句が巻頭に選ばれる。1931年、私家版の句集『笛譜』を刊行。1960年、「山椿会」に参加。「夏草」山梨支部長も勤める。 (『山梨の作家2』) | | 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p265-270) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|---------------|--|--|--|------------|-----|
| ススキ タシ 鈴木 孝 | 男 | 1897 1980 | 金生村 | 笛吹市 | 『鈴木孝歌集』 『山梨の作家2』 | 文学 | 歌人。 1925年甲府中で英語教師。 1948年国民文学第一同人となる。 1949年第二回山梨県文学賞受賞。 1954年短歌雑誌「樹海」主宰。 (『鈴木孝歌集』『山梨の作家2』) | 『寒燈』(国民文学者、1949) 『丘のある街』(甲陽書房、1966) 『鈴木孝歌集』(新星書房、1981) 『現代短歌』(樹海社、1987) | 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p181～p186) | 2009/1/23 | 山梨 |
| ススキ トミハル 鈴木 富治 | 男 | 1906 1988 | 身延町 | 身延町 | 『芽吹き』 『峡南の郷土』 | 歴史・地理 社会科学 | 1926年、山梨県師範学校卒業。 小学校教員。校長職16年。 民俗資料館館長、身延町誌編集委員などを歴任。 1979年、勲五等叙勲。 峡南郷土研究会理事、日本民俗学会会員。1981年、ことぶきマスター認定。1982年、身延町に630冊の蔵書を寄贈。 俳号は牛久保耕子。 (『芽吹き』『峡南の郷土』) | 『身延町誌』(身延町役場、1970、p577～) 句集『芽吹き』(牛久保耕子、1983) 「民話・小僧泣かせの鬼婆」(『峡南の郷土』第6集、峡南郷土研究会) 「甲州漆について」(『峡南の郷土』第6集～第28集、峡南郷土研究会、1971年1月号～1988年3月号まで毎号論文掲載) | 句集『芽吹き』(あとがき) 『峡南の郷土』第29号(峡南郷土研究会、1989年3月号、追悼記事p32、33、51、52) | 2014/12/12 | 身延 |
| ススキ マサミ 鈴木 正文 | 男 | 1899 1978 | 旭町 | 韮崎市 | 『韮崎の礎を築いた偉人たち』 | 社会科学 | 1925年、朝日新聞大阪本社社会部の記者になり、その後名古屋支局で新聞記者として活躍。 大阪の本社に戻った後、1936年、海外特派員として中国京城支局長に就任。 1940年、帰国後論説委員となり『天声人語』を執筆。戦後は衆議院議員も務め、労働大臣も務める。 (『韮崎の礎を築いた偉人たち』) | 『平成・昭和に活躍する山梨県人』(かいじしんぶん、1998、p39) 『韮崎の礎を築いた偉人たち第2巻』(韮崎ふるさと偉人研究会、2018、p22) 『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p14) | 2018/11/27 | 韮崎 | |
| スズノキ ユウ 鈴木 ユウ | 男 | 1973 □ | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 本名・鈴木裕樹。現在中野区に在住。 2010年にデビュー。 2007年、第52回ちばてつや賞準入賞。 2010年、第57回ちばてつや賞入賞。 2012年より、「モーニング」(講談社)にて、「コウノドリ」連載開始。 2015年、「コウノドリ」テレビドラマ化。 2016年、第40回講談社漫画賞。 2016年3月より甲府大使。 (『山梨日日新聞』) 2020年9月「コウノドリ」完結。 週刊モーニングで「コウノドリ～新型コロナウイルス編」週刊文春で司馬遼太郎原作「竜馬がゆく」を連載(Twitter) | 『コウノドリ』(講談社) 『コウノドリ命がうまれる現場から』(鴻鳥サクラ//ナビゲーター、鈴木ユウ//原作・イラスト、日本産科婦人科学会//監修、講談社、2017) | 『山梨日日新聞』(2013.10.31、1面顔写真あり、2014.7.31、35面顔写真あり、2016.3.31、25面顔写真あり、2015.10.21、18面顔写真あり) 『鈴木ユウTwitter』 https://twitter.com/suzunokiyou (2022.9.1確認) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p399) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------------|----|-------------------|------|---------------|---|---------------|---|--|---|--------------------------|-----|
| スミザー ポール ポール・スミ ザー | 男 | 1970 1970 | イギリス | イギリス | 『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』 『ポール・スミザーの剪定読本』 | 産業 | ランドスケープデザイナー、ホーティカルチャリスト(園芸家)。イギリス・パークシャー州生まれ。1997年、有限会社ガーデンルームスを設立。2000年、第1回東京ガーデニングショーのプレゼンテーションガーデン部門で「RHSプレミアアワード(最優秀賞)」を受賞。2009年よりハケ岳南麓に拠点を移す。2009年軽井沢本の森美術館内に「ピクチャーレスク・ガーデン」を設計、2012年清里高原「萌木の村」の庭づくりを始める。北杜市大泉町在住。 (『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』 『ポール・スミザーの剪定読本』) | 『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』(宝島社、2016) 『ポール・スミザーの剪定読本』(講談社、2016) 『気持ちのスーツとラクになる生きるヒント』(主婦と生活社、2014) 『ポール・スミザーの「これからの庭」』(主婦の友社、2021) 『ジェムくん故郷にカエル』(ガーデンルームス、2022)ほか | 『ポール・スミザーのハケ岳の庭12カ月』(宝島社、2016) 「自然にきく庭づくり」(婦人之友、2016.9p63~77) 「ポール・スミザーのTimeForaRamble」(山梨日日新聞、2016.4.9~2018.3.10) https://www.gardenrooms.jp/ (2022.10.1確認) https://naturalgardens-moegi.jp/ (2022.10.1確認) | 2022/10/1 | 金田一 |
| ソネザキ ヤスタロウ 曾根崎 保太郎 | 男 | 1914 1997 | 祝村 | 甲州市 | 『山梨の文学』 | 文学 | 農業。 本名、鈴木保。 1914年勝沼町下岩崎に生まれる。 1931年県立日川中学校卒業。 日本現代詩人会会員。 (『山梨の文学』『ぶどうの四季』) | 『戦場通信』(鈴木保、1940) 『灰色の体質』(甲府派発行所、1954) 『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983) 『曾根崎保太郎詩集』(宝文館出版、1977) | 『ぶどうの四季』(甲陽書房、1983) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p269~271) | 2012/8/21 | 勝沼 |
| ソリタ ミツル 返田 満 | 男 | 1928 2008 | 黒駒村 | 笛吹市 | 『シュンランの咲く日まで』 『返田満詩集』 | 文学 | 石和高校卒業。 旧竜王町議会議員。 日本現代詩人会会員。 (『シュンランの咲く日まで』) | 『返田満詩集』(宝文館出版、1976) 『シュンランの咲く日まで』(詩人会出版、1998) | 『返田満詩集』(p148~p153、奥付) 『シュンランの咲く日まで』(詩人会出版、1998、奥付) 「山梨日日新聞」(2008.6.25、17面) | 2014/11/27 2022/11/07 | 竜王 |
| タカシマサ 高添 藤政 | 男 | 1922 1922 | 韮崎町 | 韮崎市 | 『伝えておきたい語り草』 | 歴史・地理 社会科学 | 果樹栽培に専従するかたわら、韮崎市教育委員・同農業委員を務める。 韮崎市農協理事、新府土地改良区副理事長、新府共選場初代場長・韮崎市郷土研究会初代会長などを務める。 (『伝えておきたい語り草』) | 『伝えておきたい語り草』(山梨ふるさと文庫、2001) 『武田勝頼と新府韮崎城』(山梨ふるさと文庫、2007) | 『伝えておきたい語り草』(高添藤政、山梨ふるさと文庫、2001、奥付) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|------|---------------|------------------------------------|------------------|---|---|---|-----------|-----|
| 効ノ ハチロウ 鷹野 八郎 | 男 | 1900 1994 | 甲府市 | 甲府市 | 『鍛冶屋語録』 | 社会科学 技術 産業 | 1944年山梨県養豚組合設立、初代会長となる。 1949年日本種類豚登録協会山梨支部初代支部長に指名され、山梨県豚の会長増殖に専念。 1955年山梨県畜産会が設立。専任理事に就任。 1970年「黄綬褒章」を授与される。 1971年山梨県家畜改良協会、初代会長に選任。 1974年「勲五等瑞宝章」を授与される。 1981年「紺綬褒章」を授与される。 養豚を始め畜産の振興発展に尽力するとともに、山梨県内の農業および地方自治関係などの役員並びに各委員会の要職を歴任し、広い分野で活躍した。 | 『鍛冶屋語録』(1985) | 『鍛冶屋語録』(鷹野八郎、1985) | 2023/3/7 | 甲府 |
| 効ノ マサナリ 高野 正誠 | 男 | 1852 1923 | 上岩崎村 | 甲州市 | 『わたしたちの勝沼町』 『ぶどうの国文化館』 | 産業 | 園芸、醸造家。 大日本山梨葡萄酒会社から、1877年10月フランス・トロワ市に土屋竜憲とともに派遣された。 二人は帰国後、日本で最初のワインを醸造。これを機に醸造等を学ぶ人々が勝沼を訪れ、二人の研究成果は日本のぶどう・ワイン産業の伸展に大きく反映された。 勝沼町のシンボルマークは、二人のトロワ市での姿を採用している。 (『わたしたちの勝沼町』『ぶどうの国文化館歴史読本』) | 『葡萄三説』(秀英舎、1890) | 『わたしたちの勝沼町』(勝沼町教育委員会、2002、p99~103) 『ぶどうの国文化館』(勝沼町、1995、p49) 『えびかずら』(勝沼町文化協会、1982、p242) 『勝沼町誌』(勝沼町、p754~758) 『山梨のワイン発達史』(上野晴朗、1977、p52~)『明治事物起源事典』(柏書房、1996、p298~299) 『山梨近代人物館』 http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3rd_jinbutsu/jinbutsu01_takano_masanari.html (2023.2.19確認) 『ワインの国山梨 山梨のワインの沿革史』 https://wine.or.jp/wine/enkakushi.html (2023.2.21確認) | 2023/2/21 | 勝沼 |
| 効ノ ヨシヒコ 高野 賢彦 | 男 | 1935 | 御坂町 | 笛吹市 | 『安芸・若狭武田一族』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 歴史・地理 文学 | 1935年、御坂町下黒駒生まれ。 1958年、東北大学法学部卒業。 1992年、筑波大学大学院修士課程修了。 1958年、日本興業銀行入行。以後、中央信託銀行、興銀カードサービス、ゆりかもめ、阪神清和土地、東洋シャッターに勤務。(『甲州・武田一族衰亡史』『安芸・若狭武田一族』) | 『甲州・武田一族衰亡史』(新人物往来社、2003) 『甲州・武田家の人々』(高野賢彦、2005) 『安芸・若狭武田一族』(新人物往来社、2006) 『武田信玄その死因と卒去地を探る』(高野賢彦、2006) 『武田勝頼の外祖母その生涯を探る』(「歴史読本」、新人物往来社、2008年8月号、p228~232) ほか | 『甲州・武田一族衰亡史』(人物往来社、2003、奥付) 『安芸・若狭武田一族』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、P235) | 2012/8/20 | 御坂 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------------|---------------|---|--|--|------------|-------|
| 幼ムロ コリユウ 高室 呉龍 | 男 | 1899 1983 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 俳人。 本名、高室五郎。 「雲母」同人。飯田蛇笏に師事。 1960年雲母賞、1971年山盧賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『惜春』(雲母社、1966) 『鳥影』(三雅房、1978) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p321) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p203~205) 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p227~237) | 2022/9/30 | 甲府 |
| 幼ヤマ カスユキ 高山 一行 | 男 | 1929 2003 | 身延町 | 身延町 | 『身延町誌』 「峡南の郷土」 | 歴史・地理 社会科学 | 身延南小学校清子分校、富沢町立万沢中学校などの教諭を勤める。 峡南郷土研究会理事。郷土研究に功績を残す。 (『身延町誌』「峡南の郷土」) | 『身延町誌』(身延町役場・1970、p1046~) 『身延参詣記拾遺』(高山一行編、1976) 「峡南地方の古記録に現われた『里程考』」 (「峡南の郷土」第20集、峡南郷土研究会、1980、p49) 「身延町の樽ヶ沢考」 (「峡南の郷土」第42集、峡南郷土研究会、2002年3月号) ほか | 『身延町誌』(p1258) 「峡南の郷土」第43号(峡南郷土研究会、2002、p43) | 2014/12/12 | 身延 |
| タケイ ミキ たけい みき | 女 | 1983 | 北杜市 | 北杜市 | 『お姫様になれる本』 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | 日本大学芸術学部放送学科卒業。 「かわいい」プロデューサー。 イラストレーター。 | 『お姫様になれる本』(サンマーク出版、2015) 『かわいいの魔法にかかる夢色ファンタジー塗り絵』 (河出書房新社、2016) 『かわいいの魔法にかかる夢色プリンセス塗り絵』 (河出書房新社、2016) | 『お姫様になれる本』(サンマーク出版、奥付) 「山梨日日新聞」(2017.4.9、13面顔写真あり) (http://ameblo.jp/mikitttt 、2018.12.1確認) | 2018/12/1 | 竜王 |
| タケウチ セイイチ 竹内 精一 | 男 | 1928 | 上九一色村 | 富士河口湖町 | 『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』 | 社会科学 | 上九一色村富士ヶ嶺地区オウム真理教対策委員会元副委員長、元上九一色村議会議員。 (『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』) | 『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』(KKベストセラーズ、1995) | 『上九一色村発オウム2000日戦争富士山麓の戦い』(KKベストセラーズ、1995、奥付) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------|---------|---|--|---|------------|----------|
| タウチ テルヨ 竹内 てるよ | 女 | 1904 2001 | 札幌市 | 北海道札幌市 | 『静かなる夜明け』 『大月人物伝』 | 文学 | 詩人、児童文学者。 本名、照代。 1929年処女出版詩集『叛く』を、草野心平による謄写版で銅鑼社より発行。 以後、詩集、随筆集、自伝的小説、童話などを発表。 1954年に大月市猿橋町に移住。 以後、療養生活を転々としながら詩作に励む。 新潟市にて死去。 (『静かなる夜明け竹内てるよ詩文集』、『大月人物伝』) | 『花とメノコと』(第二書房、1958) 『海のオルゴール』(家の光協会、1977) 『わが子の頬に』(たま出版、2002) 『静かなる夜明け竹内てるよ詩文集』(月曜社、2003) 『美しき時』(オフィスエム、2008) ほか | 『静かなる夜明け竹内てるよ詩文集』(月曜社、2003、著者紹介欄、顔写真あり) 『現代女性文学辞典』(東京堂出版、1990、p198~200) 『山梨日日新聞』(2002.10.10、22面) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p183~186、顔写真あり) | 2016/11/18 | 大月 |
| タウチ ナホ 武内 直子 | 女 | 1967 □ | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 漫画家。 甲府一高、共立薬科大学(現・慶應義塾大学)薬学部卒業。 母方の曾祖父に長野で活躍した画家・木下紫水を持つ。 1986年、「なかよし」(講談社)でデビュー。 1992年に連載を開始した、「美少女戦士セーラームーン」が大ヒットする。 同作品で、第17回講談社漫画賞少女部門受賞。 2022年「美少女戦士セーラームーン」の連載開始30周年をむかえる。 (『山梨日日新聞』) (『小説美少女戦士セーラームーン1 青い鳥文庫版』) | 『美少女戦士セーラームーン』(講談社、連載終了) 『コードネームはセーラーV』(講談社、連載終了) | 『山梨日日新聞』(1992.3.7、17面顔写真あり、1993.5.18、9面、顔写真あり、2022.7.22.16面) 『おおぼーぬーとちいぼーぬー』(講談社、2005) 『小説美少女戦士セーラームーン1 青い鳥文庫版』(講談社、2018) | 2022/9/30 | 甲府 |
| タウチ ユウタロウ 竹内 勇太郎 | 男 | 1919 1993 | 七里村 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 文学 | 劇作家、脚本家、小説家。 中学教師を2年、地元新聞記者を5年つとめ、その間演劇専門誌にシナリオを投稿、のちにプロの劇作家となる。この他、テレビドラマの脚本や歴史小説も手がける。 日本脚本家連盟、山文協所属。 日本放送作家協会会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『甲府勤番』(東邦出版社、1975) 『小説樋口一葉』(光風社書店、1977) 『伊達政宗』(成美堂出版、1977) 『女侠まんたら』(東出版社、1977) 『山本勘助1~7巻』(学研、1985) 『魔界の忍者』(光風社書店、1989) 『織田信長』(光風社書店、1991) 『甲府勤番帖』(光風社出版、1992) 『千利休』(成美文庫、1996) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、319) 『山梨日日新聞』(1990.7.1、35面、1993.2.15、19面、2000.3.11、15面、顔写真あり) | 2020/9/30 | 甲府 塩山 |
| タタ ケンゴ 武田 邦信 | 男 | 1948 | 東京都 | 東京都 | 韮崎市ホームページ | 歴史・地理 | 韮崎市名誉市民 高家武田家第16代当主、山梨県甲斐の国大使、武田家旧温泉、武田神社崇敬会総裁務める。(韮崎市ホームページ https://www.city.nirasaki.lg.jp/) | | 韮崎市ホームページ (https://www.city.nirasaki.lg.jp/)2020.10.22確認 『韮崎ムーブ2020』(韮崎市、2020) 『週刊朝日』2013年8月30日号 AERAdot. (https://dot.asahi.com/wa/) 2020.10.22確認 | 2020/10/25 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|--------|---------------|--------------------------|-----------------|--|---|---|------------|-----|
| タダ サゼン 竹田 左膳 | 男 | 1860 1923 | 竜岡村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 | 文学 | 幼少より塾で勉強し長じて徹典館に入り、漢学を専攻。 1877年、小学師範学校を卒業、県下小学校長を歴任。 後上京して埼玉師範学校、岐阜師範学校等を歴任。 東京府が小学校教員の習字講習を開いた時講師を委嘱される。 (『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(『韮崎市誌編集委員会、1979、p439) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| タダ チヨサブロウ 武田 千代三郎 | 男 | 1867 1932 | 福岡県 | 福岡県 | 『山梨百科事典』 『明治四十年代水害実記』 | 社会科学 | 山梨県知事。在任期間1905年9月11日～1908年6月12日。 (『山梨百科事典』) 佛陀寺(石和町)に武田千代三郎撰文の「大災害慰霊碑」がある。 (『明治四十年代水害実記』) | 『理論実験競技運動』(博文館、1904) 『明治四十年大水害実記』(丸山太一・熊谷喜孝編、長田組土木、2001) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p589) 『山梨県政五十年誌』(山梨県、1942、p418～419、巻頭口絵に顔写真あり) 『山梨の百年』(佐藤森三ほか著、NHKサービスセンター甲府支所、1968、p228～229、顔写真あり) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p41.72,592) | 2023/2/23 | 県立 |
| タナカ イタロウ 竹中 英太郎 | 男 | 1906 1988 | 福岡県福岡市 | 福岡県福岡市 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 画家。 「青少年」を中心に江戸川乱歩、横溝正史、甲賀三郎、夢野久作、大下宇陀児ら当時流行の怪奇小説に挿画を描いた。 1942年に甲府市へ疎開。山梨日日新聞に入社。 (『山梨百科事典』) | 『竹中英太郎1怪奇』皓星社2016 『竹中英太郎2推理』皓星社2016 『竹中英太郎3エロ・グロ・ナンセンス』推理』皓星社2016 | 『夢を吐く絵師～竹内英太郎～』(鈴木義昭著、弦書房、2007) 『山梨日日新聞』(2006.9.15、13面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2013.5.313面、顔写真と作品画像あり) 『湯村の杜竹中英太郎記念館』 https://takenaka-kinenkan.jp/ (2022.9.2確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| タナカ ツム 竹中 芳 | 男 | 1930 1991 | 東京都 | 東京都 | 『ルポライター事始』 | 社会科学 芸術・スポーツ | フリールポライター。 竹中英太郎の息子。 (『ルポライター事始』) 12歳で疎開のため家族とともに甲府に移り住む。 | 『ルポライター事始』(筑摩書房、1999) 『芸能人別帳』(筑摩書房、2001) 『鞍馬天狗のおじさんは』(筑摩書房、1992) 『無頼の点鬼簿』(筑摩書房、2007) | 『ルポライター事始』(カバー) 『山梨日日新聞』(2013.5.313面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2017.9.1318面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2022.5.15、5面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|----------------------|---|---|---|------------|-----|
| ダザイ オサム 太宰 治 | 男 | 1909 1948 | 青森県 | 青森県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』 | 文学 | 小説家。 本名、津島修治。 井伏鱒二に師事。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 1938年3～9月にかけて御坂峠の天下茶屋に滞在。 1939年、『富嶽百景』を発表。 1941年、甲府市の石原美和子と結婚し、御崎町(美咲1丁目付近)に住居。 (『山梨百科事典』) | 『太宰治全集全13巻』(筑摩書房、1999) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p588) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p322) 『永遠の太宰治生誕110年記念総特集』(河出書房新社) | 2022/9/30 | 甲府 |
| タシロ タシ 田代 孝 | 男 | 1943 | 東京都 | 東京都 | 『山梨の経塚と廻国納経の研究』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。1965年から山梨県立高校教諭を14年間勤め、79年から文化財専門職員として県立考古博物館学芸課長、県埋蔵文化財センター一次長などを歴任した。山梨県考古学協会名誉会長。2022.6月、郷土研究部門で第46回野口賞受賞。(『山梨の経塚と廻国納経の研究』) 『山梨日日新聞』 | 『日本城郭大系8長野&山梨』(共著 新人物往来社1980) 『古代甲斐国の謎』(共著 新人物往来社1985) 『おはなし歴史風土記19』(共著 岩崎書店1985) 『図説山梨県の歴史』(共著 河出書房新社1990) 『山梨の経塚信仰』(山梨日日新聞社出版局、1995) 『山梨の経塚と廻国納経の研究』(田代孝、2022) | 『山梨の経塚信仰』(山梨日日新聞社出版局、1995) 『山梨の経塚と廻国納経の研究』(田代孝2022) 山梨日日新聞2022.6.29(水) | 2022/8/31 | 昭和 |
| タナカ ショウコ 田中 昭子 | 女 | 1943 | 春日居町 | 笛吹市 | 『四方津はるなつあきふゆ』 『物語と子どもの発達』 | 図書館・情報 社会科学 文学 | 元・教員。 「たなかしょうこ」名義で絵本執筆。 山梨子どもの本研究会会員。 (『四方津はるなつあきふゆ』) 一般社団法人日本子どもの本研究会会員。 NPO法人山梨子ども図書館理事。 第一回日本子どもの本研究会実践・研究賞特別賞受賞。 (『物語と子どもの発達』) | 『くすのき』(近代文芸社、1995、石和図書館所蔵) 『四方津春夏秋冬』(たなかしょうこ、2000) 『四方津はるなつあきふゆ』(文芸社、2003) 『物語と子どもの発達』(文芸社、2020) | 『山梨日日新聞』(2003.11.6、15面) | 2022/10/14 | 春日居 |
| タナカ マサヒト 田中 正仁 | 男 | 1955 | 田富町 | 中央市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 漫画家。 永井豪に師事。「少年サンデー増刊号」でボクシング漫画「ファイト」(やまさき十三原作)で漫画家デビュー。主な作品に「マニアックス21」、「メタルボーイ」(滝沢解原作)などがある。 | 『ラジコン教室』(講談社、1982、まんが)『堀内恒夫』(永島直樹/作、ぎょうせい、1992、画)『トム・ソーヤの冒険』(マーク・トウエイン/作、ほるぶ出版、1996、画)『NHKその時歴史が動いた危機突破編』(ホーム社、2006)『ピルマの竖琴』(竹山道雄/原作、ホーム社、2010、漫画)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p400) 『山梨日日新聞』(2009.9.6、p4) | 2020/10/23 | 田富 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------|---------|---|---|---|------------|-------|
| タナカ シ 田中 泯 | 男 | 1945 | 東京都 | 東京都 | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 | 芸術・スポーツ | 舞踊家。学生時代モダンバレエを学び1973年頃から独自の舞踊へ踏み出しソロ活動に入る。東京、パリはじめ内外に身体気象研究所を開設。 1997年甲斐市敷島に舞踊資源研究所を設立、2000年から舞踊団および農業組合法人・桃花村を主宰。2002年山田洋次監督の時代劇「たそがれ清兵衛」で映画初出演し第26回日本アカデミー賞助演男優賞を受賞。俳優としても活躍。映画「隠し剣鬼の爪」、テレビ「龍馬伝」などにも出演。(『山梨県人物・人材情報リスト2011』)(『山梨県人物・人材情報リスト1015』) | 『僕はずっと裸だった』(工作舎、2011) 『田中泯海やまのあひだ』(工作舎、2007)『意身伝心』(春秋社、2013) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p253~254)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ2014、p474) 『メゾン・ド・ヒミコ』officialPhotoBook』(平間至撮影、角川書店、2005) 『田中泯海やまのあひだ』(巻末にプロフィールあり) 『ウミヒコヤマヒコマイヒコ田中泯ダンスロードインドネシア写真集』(デザインジム、2007) 「田中泯公式サイト」 http://www.min-tanaka.com/ (2022.11.24確認) | 2022/11/30 | 敷島 |
| タナハシ アサコ 棚橋 亜左子 | 女 | 1961 | 東京都 | 東京都 | 『たまごにわとり』(かがくのとも2018年6月号) | 文学 | 多摩美術大学大学院絵画専攻科修了、広告代理店に入社。 以後、フリーイラストレーター 1994年頃より童話、絵本の創作。 1997年白州町に移住。 2001、08年ホロニャ国際絵本原画展入選。 (『たまごにわとり』(かがくのとも2018年6月号)添付資料) | 『たまごにわとり』(かがくのとも2018年6月号) 『トマト』(かがくのとも2012年5月号) 『あったよ！野山のごちそう』たくさんのふしぎ2009年6月号) | 『たまごにわとり』(かがくのとも2018年6月号)添付資料 | 2020/10/23 | はくしゅう |
| タナベ クニオ 田辺 国男 | 男 | 1913 2005 | 塩山市 | 甲州市 | 『緑陰閑話』 | 社会科学 | 政治家 1936年(株)後樂園スタジアム創立 1944年田邊酒造(株)代表取締役就任 1958年衆院選初当選 1967年山梨県知事 1997年勲一等旭日大綬章授章 (『緑陰閑話』) | 『緑陰閑話』(田邊国男『緑陰閑話』刊行会、2001) | 『緑陰閑話』 | 2012/8/21 | 塩山 |
| タナベ シ子 田辺 七六 | 男 | 1879 1952 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 『田辺七六』 | 社会科学 | 1921年富士水電株式会社常務取締役就任 1924年衆議院議員当選 1939年日本軽金属創立 (『田辺七六』) | | 『田辺七六』(田辺七六翁頌徳碑建設委員会、1954) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p594) 『郷土史に輝く人々・集合編』(青少年のための山梨県民会議、1974、p389~) | 2012/8/21 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-------|---------------|--|---------|--|-------------------------|---|------------|------|
| タナヘ 効アキ 田辺 孝明 | 男 | 1919 2016 | 山梨県 | 山梨県 | 『戦場を駆けた私の青春』 | 文学 | 軍隊入隊 (『戦場を駆けた私の青春』) 元双葉町農業委員 元双葉町議会議長 (『広報ふたば』) | 『戦場を駆けた私の青春』(田辺孝明、1987) | | 2018/11/18 | 双葉 |
| タナヘ ノリオ 田辺 徳雄 | 男 | 1966 - | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | プロ野球コーチ(西武)。吉田高卒業後、1985年ドラフト2位で西武に入団。1989年打率3割を達成、ゴールデングラブ賞受賞。2000年、巨人に移籍し、シーズン終了後引退。2002年西武コーチ。その後、編成部プロ担当を経て、2010年7月二軍打撃コーチ就任。通算成績は1229試合出場、打率.268、87本塁打、442打点、60盗塁。ベストナイン2回、ゴールデングラブ賞2回。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2013、p583~584) 『山梨日日新聞』(2006.1.6、20面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| タナヘ ハルミチ 田辺 治道 | 男 | 1878 1950 | 神金村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家 1927年大阪府知事 1932年満州国参議 1939年逓信大臣 1941年内務大臣 (『山梨百科事典』) 大日本飛行協会会長 (『政治家人名事典』) | | 『政治家人名事典』(日外アソシエーツ、1990、p327) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p594) | 2012/8/21 | 塩山 |
| タナヘ ユウエイ 田辺 有栄 | 男 | 1845 1911 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『山梨近代人物館』 | 社会科学 | 日本の政治家・実業家 山梨の民権運動の指導者 1890年山梨県初の衆議院議員殖産事業に貢献1900年開業の山梨銀行頭取 | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p595) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『山梨近代人物館』 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(p103) | 2016/11/30 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------------------|---------------|--|---|---|-----------|-----|
| タニグチ ユミコ 谷口 由美子 | 女 | 1949 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 翻訳家。 本名、玉田由美子。 上智大学外国語学部英語学科卒業。在学中、米国セント・メアリーズに留学。卒業後、文部省に勤務する。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『大草原の小さな町』(ローラインガルスワイルダー、谷口由美子訳、岩波書店、2000) 『若草物語』(ウィリアムT.アンダーソン、谷口由美子構成・訳、求竜堂、1992) 『秘密の花園1』(バーネット、谷口由美子訳、講談社2013) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』。 (日外アソシエーツ、2020、p324) | 2022/9/30 | 甲府 |
| タハラ トシヒコ 田原 俊彦 | 男 | 1961 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 歌手・俳優。 甲府工業高校1年のときからジャニーズ事務所のレッスンに通い、上京後ドラマ「3年B組金八先生」(TBS系)でデビュー。'たのきんトリオ'と呼ばれ一躍人気アイドルとなる。1994年独立し、個人事務所を設立。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『君だけマイラブ』(ワニブックス、1981) 『とびっきり危険(デンジャー)』(集英社、1986) 『職業＝田原俊彦』(ロングセラーズ、2009) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p477～479、p502～504) 『山梨日日新聞』(2009.1.12～3.30 毎週月曜(全11回)連載「トシちゃんの足跡」に掲載、2016.9.17、15面、顔写真あり) 『田原俊彦論』(青弓社、2018) 『田原俊彦オフィシャルサイト』 https://toshihikotahara.com/ (2022.9.6確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| タマキ エミ 玉木 えみ | 女 | 1990 | 上野原町 | 上野原市 | 『少女系きのご図鑑』(DUBOOKS) | 自然科学・医学 文学 | 東京工芸大学芸術学部マンガ学科卒業 | 『少女系きのご図鑑』(DUBOOKS、2012)『増殖・少女系きのご図鑑イラスト集2』(DUBOOKS、2014)『きのご文学ワンダーランド』(DUBOOKS、2013) | 『少女系きのご図鑑』(DUBOOKS) | 2014/12/1 | 上野原 |
| タムラ イソウ 田村 恰与造 | 男 | 1854 1903 | 中尾村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物人材情報リスト2011』 | 歴史・地理 | 軍人(陸軍参謀次長)。 (『山梨百科事典』) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞、1989、p601) 『智謀の人田村恰与造』(篠原昌人著、光人社、1977) 『日露戦争陰の主役田村恰与造伝』(相沢邦衛著、山梨ふるさと文庫、2004) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p152) 『山梨県人物人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、P261) 『図説明治の群像296決定版』(学研、2003、P52) 『田村恰与造と森鷗外－対露戦を巡る参謀と軍医のコラボ－』(相沢邦衛著、文芸社、2020)『幕末・明治初期の国際環境』(相沢邦衛、猫町文庫、2010、P59)『消された名参謀』田村將軍の事実(石井邦男、水曜社2022) | 2022/8/24 | 一宮 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------------|--|--|--|------------|------|
| タシワ ショウサク 丹沢 正作 | 男 | 1876 1926 | 上野村 | 市川三郷町 | 『山の先生・丹沢正作』 『郷土史にかがやく人々』第10集 『山梨百科事典』 | 哲学・宗教 文学 | 1898年、市川教会で洗礼を受ける。 1902年、東京専門学校(早稲田大学)を卒業後帰郷。 1906年、平民学校を設立。 1907年、伝道師となり、静岡等で布教する。 1918年、市川教会日曜学校長となる。 「山の家」を設立、徳富蘆花などが訪れた。町内に「山の家」(復元)と「山の先生の碑」がある。 (『山の先生・丹沢正作』、『郷土史にかがやく人々』第10集) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p604) 『郷土史にかがやく人々』第10集(青少年のための県民会議、1978、p95~131) 『山の先生・丹沢正作』(清水威著、山梨ふるさと文庫、1985) 『遺徳顕彰建立記念誌山の先生』(山の先生遺徳顕彰会、1978) 『甲斐路』30~33号(山梨郷土研究会、1977~1978) 『晴耕雨読』(サンニチ印刷、2008年Spring6号、p59~61) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| タシワ タケ 丹治 匠 | 男 | 1974 | 福島県 | 福島県 | 『かあかあもうもう』 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ 文学 | 絵本作家。映画美術監督。 2013年北杜市明野町に移住 東京藝術大学美術学部絵画科卒業。新海誠監督のアニメーション映画作品にて美術監督を務めるほか、さまざまな映像美術にたずさわる。参加作品に、『秒速5センチメートル』『るろうに剣心』『八重の桜』『ギャラクシー街道』『真田丸』『精霊の守り人』他多数。絵本作品に、『はなちゃんのぼうし』、『かあかあもうもう』 映画「君の名は。」の美術監督。アニメーション映画の美術や実写映画のイメージボード製作を担当。絵本作家としても活動。(『山梨日日新聞』) | 『はなちゃんのぼうし』(こぐま社、2014) 『かあかあもうもう』(こぐま社、2016) ほか | 『かあかあもうもう』(こぐま社、2016) 『山梨日日新聞』(2016.10.3、21面、顔写真あり) | 2023/3/1 | 明野 |
| チノ ハジメ 千野 一 | 男 | 1924 2013 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『甲州百人の顔』 (株式会社豆州かわら版、1983) | 自然科学・医学 | 千野眼科2代目院長、日本眼科医会代議員、山梨県眼科医会理事 (『甲州百人の顔』) | | 『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p104-105) | 2023/3/1 | 韮崎 |
| チノ リンゾウ 千野 林蔵 | 男 | 1830 1899 | 竜岡村 | 韮崎市 | 『峡北地方物故文化人物集』 | 社会科学 | 1869年、郡中惣代。 1878年、北巨摩郡長。 (『峡北地方物故文化人物集』) | | 『峡北地方物故文化人物集』(堀内【リュウ】一郎、1961、p25) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------------|------------|--|--|---|------------|-------|
| チハ チョウサク 千葉 長作 | 男 | 1861 1935 | 大須成村 | 身延町 | 『日本人名大事典』 『山梨県剣道史』 | 芸術・スポーツ | 山岡鉄舟の道場にて7年学ぶ。 1907年、矢吹中将と共に日本武道会を創立。 1913年、千葉周作の武門を継ぐ。 靖国神社の奉納試合を創始し、出場77回。 (『日本人名大事典』) 中富町大塩生まれ。本名、地場長作。防弾チョッキの発明者。 (『山梨県剣道史』) | 『日本武道教範』(博文堂、1908) 『武道教訓』(日高有倫堂、1911) 『国民剣道教範』(富田文陽堂、1916) 『武道教範』(『明治武道史史料』収録、新人物往来社、1971) 『国民剣道教範』(『近代剣道名著大系』第3巻収録、堂朋社出版、1986) (『山梨県剣道史』) | 『日本人名大事典4』(平凡社、1979、p255) 『山梨県剣道史』(山梨県剣道連盟、1977、p71) 『山梨の剣道』(山梨県剣道連盟、2004、p71) 『西島の今昔』(深沢喜一、1970、p107) 『山梨日日新聞』(2010.6.25/26面) | 2022/11/30 | 身延 |
| チュウ ヒロユキ 忠 裕之 | 男 | 1954 | 東京 | 東京 | 『もう一度、ハッピーになった車いす犬たちの物語』 | 産業 | 1954年東京生まれ。犬用車いすを年間300台以上作成。 2012年会社を早期退職し、車いす作りに専念。 2013年テレビで紹介され、反響を呼ぶ。 2015年から白州町在住 (『もう一度、ハッピーになった車いす犬たちの物語』) | 『もう一度、ハッピーになった車いす犬たちの物語』(光文社、2014) | 『もう一度、ハッピーになった車いす犬たちの物語』(奥付) 『山梨日日新聞』週刊こぴっと 2020.12.104面 『犬の車椅子・犬用車椅子(歩行者)製作・販売』 https://adworks.com/ (2022.11.15確認) | 2022/11/17 | はくしゅう |
| ツカハラ ヒトシ 塚原 等 | 男 | 1856 1922 | 西条村 | 昭和町 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 文学 | 「甲府新聞」に入り「峡中新報」の編集者となりその後、「初音新聞」「山梨民報」の創立など山梨県内の新聞界で活躍が知られた。号を梅の家馨といい、のちに三菊と改め、俳諧、和歌をよくし「峡中俳家十句集」「岡酒舎歌集」などを編んだ。また1919年9月創立された私立山梨訓盲院の創立者で、その後身である私立山梨盲啞学校長ともなった。 (『山梨百科事典』) | 『山梨県教育百年史第2巻一大正昭和前期編』(山梨県教育委員会、1978、P462～465) 『手話・言語・コミュニケーション No.7』(日本手話研究所、2019、p44～45) 『特殊教育百年記念誌』(特殊教育百年記念山梨県協賛会、1978、p39) 『山梨県立ろう学校創立80周年記念誌』(山梨県立ろう学校、2002、p47、49) 『昭和村誌』(1958、p732～734) 『昭和町誌』(1990、p396) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p620) | 2022/8/31 | 昭和 | |
| ツカハラ ヨウウン 塚原 羊雲 | 男 | 1931 | 竜王町 | 甲斐市 | 『古希の駅』 | 文学 | 山梨大学卒業。 山梨県公立中学校教諭。 旧竜王町南部公民館長、山梨県公民館連絡協議会副会長。 (『古希の駅』) | 『青雲』(塚原羊雲、1989) 『校長366日』(近代文芸社、1992) 『もぐらのたわごと』(山梨新報社、1994) 『古希の駅』(塚原羊雲、2001) 『喜寿の坂』(塚原羊雲、2008) 『野良の道』(塚原羊雲、2012) | 『古希の駅』(塚原羊雲、2001、奥付) 『山梨日日新聞』(2012.4.25、18面) | 2014/11/27 | 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|--------------|---------------|--|----|--|---|--|------------|------|
| ツカハラ ヨシムラ 塚原 美村 | 男 | 1916 2009 | 高根町 | 北杜市 | 『山梨日日新聞縮刷版』 | 文学 | 元教員。 南アルプス市寺部在住。 中部文学、山人会、日本歴史学会、 日本ペンクラブなどに所属 (『山梨日日新聞縮刷版』) | 『行商人の生活』(雄山閣、1970) 『金印惑伝』(創樹社、1997) 『半俘虜』(甲陽書房、1989) 『金銀細工師の生活』(雄山閣、 1973) 『未解放部落』(雄山閣、1967) | 『山梨日日新聞縮刷版』 (1996.12.22、8面、顔写真あり。 2009.2.6、22面、追悼記事) | 2012/8/21 | わかくさ |
| ツジ けいお 辻 邦生 | 男 | 1925 1999 | 東京都 (東京市) | 東京都 | 『作家・小説家人名事典』 『昭和文学全集第24巻』 『辻邦生全集全20巻』 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 小説家。 春日居村国府で代々医者を営む家 柄で、明治40年(1907年)笛吹川の 大洪水により一家で上京したため、 東京で生まれる。 原籍地は山梨県東山梨郡春日居村 国府三七四。 1944年に旧制松本高校に入学、在 学中に北杜夫と知り合う。1949年東 京大学仏文科に進み、渡辺一夫に 師事する。1956年に学習院大学講 師となり、1957年に渡仏。帰国後、 『近代文学』に長編『廻廊にて』を執 筆し、文壇デビュー。同作品で第4 回近代文学賞を受賞。1966年立教 大学助教授に就任し、東京農工大 教授を経て、1975年学習院大学教 授に就任。 1968年『安土往還記』で芸術選奨新 人賞を、1972年『背教者ユリアヌス』 で毎日芸術賞を受賞。小説、戯曲、 評論と幅広く活躍した。 (『作家・小説家人名事典』、『昭和 文学全集第24巻』、『日本近代文学 大事典』、『明治・大正・昭和作家研 究大事典』、『山梨県人物・人材情 報リスト2021』) | 『国境の白い山』(中央公論社、 1984) 『銀杏散りやまず』(新潮社、1989) 『西行花伝』(新潮社、1995) 『若き日の友情』(新潮社、2010) 『十二の肖像画による十二の物語』 (PHPエディターズ・グループ、 2015) 『夏の砦』(小学館、2016) 『物語の海へ』(中央公論新社、 2019) 『辻邦生全集全20巻』(新潮社、 2004~2006) 『時の扉上・下』(小学館、2020) ほか | 『作家・小説家人名事典』(日外アソ シエーツ、2002、p484) 『昭和文学全集第24巻』(小学館、 1988、p1143~1146) 『日本近代文学大事典』(講談社、 1984、p945~946) 『明治・大正・昭和作家研究大事典』 (桜楓社、1992、p358~359) 『辻邦生永遠のアルカディアへ』(中 央公論新社、2019) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p326~ 327) | 2022/11/10 | 春日居 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|------------------|--|--|--|------------|-----|
| ツジ シンタロウ 辻 信太郎 | 男 | 1927 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 社会科学 産業 文学 | 作家。サンリオ創業者。サンリオ代表取締役会長。甲府中(現甲府一高)を卒業後、1947年に桐生工専化学工業科(現群馬大学工学部)を卒業。1949年、山梨県庁に入る。1960年、山梨シルクセンターを株式会社として独立。1969年、サンリオグリーティングを設立。1973年、サンリオと改称し、同年サンリオグリーティングと合併。映画製作や、出版も手掛け、サンリオピューロランド(東京)やハーモニーランドなどのテーマパーク事業も展開する。1976年に出資・協力したドキュメンタリー映画「愛のファミリー」がアカデミー賞ドキュメンタリー賞を受賞している。(『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 第2回野口賞(芸術・文化)受賞 2020年6月、社長職を退任 2022年3月、サンリオ代表取締役会長を退任、同社名誉会長に就任(『山梨日日新聞』) | 『くるみわり人形』(サンリオ、1979) 『メルヘン集』(サンリオ、1990) 『これがサンリオの秘密です。』(扶桑社、2003) 『森のメルヘン』(サンリオ、2005) 『湖のメルヘン』(サンリオ、2008) 『シリウスの伝説』(サンリオ、2009) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p137~138、p328~329) 『YAMANASHI IWA130thThehistory of2009-2019』(山梨英和学院、2019) 『山梨日日新聞』(1992.3.31、12面、顔写真あり、2020.6.13、26面、顔写真あり、2022.3.16、6面、顔写真あり) 「Sanrio」 (https://www.sanrio.co.jp/ 、2020.9.25確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ツシマ ミチコ 津島 美知子 | 女 | 1912 1997 | 島根県 | 島根県 | 『山梨日日新聞』 『太宰治展』 | 文学 | 島根県那賀郡浜田町生まれ。旧姓石原美知子、石原初太郎の四女。甲府高等女学校(現甲府西高等学校)、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大)卒業。1933年県立都留高等学校(現都留高等学校)に勤務。1939年太宰治と結婚。 | 『回想の太宰治』 (人文書院、1978) | 『山梨日日新聞』 (1997.2.223面、1997.2.12、8面、写真あり) 『太宰治展』 (山梨県立文学館、2005) | 2022/11/30 | 敷島 |
| ツジムラ ミツキ 辻村 深月 | 女 | 1980 | 石和町 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2023』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 小説家。 2004年『冷たい校舎の時は止まる』が第31回メフィスト賞受賞。 2011年『ツナグ』が第32回吉川英治文学新人賞受賞。 2012年『鍵のない夢をみる』が第147回直木賞受賞。 2018年『かがみの孤城』が第15回本屋大賞受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』) (『山梨日日新聞』) | 『冷たい校舎の時は止まる』(講談社、2004) 『子どもたちは夜と遊ぶ』(講談社、2005) 『ぼくのメジャースプーン』(講談社、2006) 『スロウハイツの神様』(講談社、2007) 『ツナグ』(新潮社、2010) 『鍵のない夢をみる』(文芸春秋、2012) 『かがみの孤城』(ポプラ社、2017) 『嘘つきジェンガ』(文芸春秋、2022) ほか | 『山梨日日新聞』(2006.5.17、11面、顔写真あり、2009.1.8、11面、顔写真あり、2012.7.19、17面、顔写真あり、2018.4.18、20面、2018.10.17、28面、写真あり、2019.4.28、10面、写真あり、2019.12.19.13面、写真あり、2020.1.1、65面、写真あり、2021.12.4、12面写真あり、2022.11.15、22面写真あり) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2020、p349~350) | 2023/2/23 | 県立 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------------|----|-------------------|-----------|---------------|--|-------|---|---|---|-----------|-----|
| ツチハシ リキ 土橋 里木 | 男 | 1905 1998 | 上九一色 村 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『東八メモリーズこんな人がいた。』 | 社会科学 | 郷土研究家。 1977年第1回野口二郎賞受賞。 峡南郷土研究会会長、日本民俗学会名誉会員、山梨郷土研究会名誉会員。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『甲斐昔話集』(郷土研究社、1930) 『富士北麓昔話集』(山梨民俗の会、1957) 『甲斐伝説集』(山梨民俗の会、1953) 『わらべ唄研究ノート』(山梨ふるさと文庫、1987) 『山村夜譚』(近代文芸社、1993) 『桶屋の敗走譚』(『峡南郷土史集』1集、峡南郷土研究会、p6~9) 『芦川のカラサンについて』(『民俗手帖』1号、山梨民俗の会、p9~11)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p245) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p161~172) 『峡南の郷土』第39集(峡南郷土研究会、1999、p40~41) 『甲斐路』94号(山梨郷土研究会、1999、p61~62) 『山梨日日新聞』(1998.11.26、23面、顔写真あり、1998.12.1、9面、写真あり、1999.11.30、12面、2000.1.28、10面、写真あり) | 2023/2/23 | 県立 |
| ツチャ タツリ 土屋 竜憲 (リュウケン) | 男 | 1859 1940 | 勝沼町 | 甲州市 | 『わたしたちの勝沼町』 『ぶどうの国文化館』 | 産業 | 園芸、醸造家。 大日本山梨葡萄酒会社から、1877年10月フランス・トロワ市に高野正誠とともに派遣された。 二人は帰国後、日本で最初のワインを醸造した。竜憲(助次郎)の作った葡萄酒貯蔵庫「竜憲セラー」は現在、国登録文化財。 勝沼町のシンボルマークは、二人のトロワ市での姿を採用している。 (『わたしたちの勝沼町』『ぶどうの国文化館』) | 『わたしたちの勝沼町』(勝沼町教育委員会、2002、p99~103) 『ぶどうの国文化館』(勝沼町、1995、p49) 『えびかずら』(勝沼町文化協会、1982、p242) 『勝沼町誌』(勝沼町、p754~758) 『山梨のワイン発達史』(上野晴朗、1977、p52~、p106~)『明治事物起源事典』(柏書房、1996、p298~299)『郷土史にかがやく人びとと集合編』(社団法人青少年育成山梨県民会議、1999、p313~334) 『山梨近代人物館』 http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3rd_jinbutsu/jinbutsu01_takano_masanari.html (2023.2.19確認) 『ワインの国山梨 山梨のワインの沿革史』 https://wine.or.jp/wine/enkakushi.html (2023.2.21確認) | 2023/2/21 | 勝沼 | |
| ツチャ ヤスマロ 土屋 靖麿 | 男 | 1924 2009 | 玉穂町 | 中央市 | 『ふるさとたまほ』 『私の人生旅日記』 | 歴史・地理 | 1971年~1979年、玉穂村議会議員 (『玉穂町誌』) | 『ふるさとたまほ地名篇附地図』(土屋靖麿、1992) 『ふる里歳時記』(土屋靖麿、1999) 『アゼ道をゆく』(土屋靖麿、2004) 『私の人生旅日記』(土屋靖麿、2006) 『ふるさと四方山話』(土屋靖麿、2008) | 『ふるさとたまほ』 『私の人生旅日記』 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、p1317~1318) 『山梨日日新聞』(2000.4.7、17面) | 2022/8/18 | 玉穂 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|--------|---------------|----------------------------------|---------------|--|---|--|------------|-----|
| ツチャ ヨシオ 土屋 嘉男 | 男 | 1948 2017 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『実施報告書』 | 芸術・スポーツ | 太宰治の勤めで俳優となる。 黒沢明作品に数多く出演。 2011年山梨文学シネマアワード受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『クロサワさん!黒沢明との素晴らしき日々』(新潮社1999)『魚はゆらゆらと空を見る』(新潮社2002)『思い出株式会社』(清水書院1993) 『思い出株式会社続』(清水書院2009) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p275) 『実施報告書』(塩山市制施行四十周年記念事業塩山市企画課、1995) 『山梨文学シネマアワード』 山梨日日新聞2011.10.26 2003.07.275面 2011.10.26 中日新聞2009.08.1531面 | 2020/10/18 | 塩山 |
| ツナワキ リュウミョウ 綱脇 龍妙 | 男 | 1876 1970 | 福岡県宗像郡 | 福岡県宗像市 | 『山梨百科事典』 『身延町誌』 『我深く汝等を敬ふ』 | 哲学・宗教 社会科学 | 福岡県法性寺にて得度。 1906年、身延山参詣し、多くのハンセン病患者に会う。同年10月、日本初の民間ハンセン病療養所「身延深敬園」を創立。 1951年、山梨県社会福祉協議会の初代会長を務める。 65年に亘る活動に、皇室などから恩賞殊遇を受ける。 山梨県県政功労、文化功労者。藍綬褒章、正五位勲3等瑞宝章など褒章多数。 身延町最初の名誉町民。 (『山梨百科事典』『身延町誌』『我深く汝等を敬ふ』) | 『綱脇龍妙遺稿集』(綱脇美智、1976) 『我深く汝等を敬ふ綱脇龍妙自伝』(綱脇直美、2008) | 『身延町誌』(身延町誌編纂委員会編、身延町役場、1970、p1180) 『山梨県史資料編16』(山梨県、1998、p954~963) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞、1989、p626) 『もう一つのハンセン病史』(医療文化社、2005) 『ハンセン病の療養所をつくったお坊さん』(ルック、2006) 「読売新聞」(2000.8.3/32面) 「山梨新報」(2000.11.17/8面) 「山梨日日新聞」(1999.4.4/23面、2004.2.2/11面、2018.1.24/18面) 「日蓮宗ポータルサイト内、法華経に支えられた人々」 http://www.nichiren.or.jp/ (2022.11.30確認) | 2022/11/30 | 身延 |
| ツルタ ヤシ 鶴田 泰 | 男 | 1970 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 芸術・スポーツ | 元プロ野球選手 中日ドラゴンズ 広島東洋カープ 中日ドラゴンズ打撃投手 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p277-278)『プロ野球ドラフト全史2012』(ベースボール・マガジン社、2012、p61)『週刊ベースボール54(45)』(ベースボールマガジン社、1999、p56)『スポーツグラフィックナンバー14』(Number編集部、文藝春秋、1993、p52-53)スポーツニッポン新聞1999.04.093面朝日新聞1999.04.0919面日刊スポーツ1993.05.092面ほか | 2016/11/30 | 塩山 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------|------------|--|---|--|------------|-----|
| テヅカ コウ 手塚 豪 | 男 | 1905 2004 | 白根町 | 南アルプス市 | 『西郡史談』 「山梨日日新聞」 | 歴史・地理 | 教員。 『白根町誌』(1969) 『増穂町誌』(1977) 編纂 1978年勲四等瑞宝賞受賞。 (『西郡史談』) | 『中巨摩郡地名誌』(中巨摩郡文化協会連絡協議会、1988) 『西郡史談』(手塚豪、1993) ほか | 『西郡史談』(手塚豪1993) 「山梨日日新聞」(2004.11.29、16面) | 2012/8/2 | 白根 |
| テヅカ トシオ 手塚 寿男 | 男 | 1917 | 大和村 | 甲州市 | 『近世甲斐の史的研究』 | 歴史・地理 | 山梨郷土会常任理事 (『近世甲斐の史的研究』) | 『郡内機業の起源に関する殖産興業説の再確認』(著者出版、1957、山梨県立図書館所蔵)『近世甲斐の史的研究』(山梨日日新聞、1984) 『郷土史事典山梨県』(昌平社、1978) 『大和村誌』(大和村役場、1996) ほか | 『近世甲斐の史的研究』(奥付) 『郷土史事典山梨県』(奥付) | 2016/10/30 | 大和 |
| テヅカ ノブオ 手塚 信夫 | 男 | 1940 | 大和村 | 甲州市 | 『中日恩讐の盟友』 | 歴史・地理 | 新明和工業(株)取締役大阪事業部長 大和村青年婦人友好訪中視察団団長 (『中日恩讐の盟友』) | 『中日恩讐の盟友』(文芸社、2002) | 『中日恩讐の盟友』(奥付) | 2012/8/21 | 大和 |
| テラダ シゲオ 寺田 重雄 | 男 | 1901 1992 | 甲府市 | 甲府市 | 『甲州魚風土記』 「山梨日日新聞」 | 社会科学 文学 | 郷土研究者。 元山梨日日新聞社編集局長、元山梨文芸会会長。 (『甲州魚風土記』) | 『甲州魚風土記』(芸文社、1980) 『甲斐の魚』(山梨県水産研究会、1955) 『山梨文芸、代表作品集昭和24年度版』(山梨県芸術祭事務局、1949) | 『甲州魚風土記』(奥付) 「山梨日日新聞」(1998.9.5、17面、顔写真あり、1999.12.2、10面、顔写真あり) | 2018/11/28 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-------|---------------|-------------------------------|---------|---|--|--|------------|-------|
| デンガリユウ 田我流 | 男 | 1982 | 一宮町 | 笛吹市 | 「MaryjoyRecordings」ホームページ | 芸術・スポーツ | 山梨を中心に全国的に活躍するラッパー。2011年に公開された富田克也監督の映画「サウダーチ」で主演を務めたことをきっかけに名前が広がり、2012年4月に発表したアルバム「B級映画のように2」でその評価を確固たるものにする。 (「MaryjoyRecordings」HP)2022年6月個人新レーベル「BACKCITYBLUES」立ち上げ | CDアルバム『B級映画のように2』(2012MaryJoyRecordings) 作品集「JUST」(2008桃源響RECORDS) CDアルバム『RideOnTime』(2019.4) DVDB級TOUR-日本編-(2013MaryJoyRecordings) 配信『VIBEfeat.MILESWORD.、丸、SHEEFTHE3RD、DJBUNTA』(2022.6.16) | 「MaryjoyRecordings」ホームページ http://www.maryjoy.net/artists/dengaryu.html (2020.10.8確認) 朝日新聞2013年4月6日朝刊オピニオン面・朝日新聞デジタル 新潮社2013年1月31日刊都築響一著「ヒップホップの詩人たち」 山梨日日新聞2012年6月4日朝刊「ときめきゾーン」 | 2022/8/23 | 一宮 |
| トヤマ セイエイ 遠山 正瑛 | 男 | 1906 2004 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 産業 | 農学博士、鳥取大学名誉教授、日本沙漠緑化実践協会会長。京都帝大農学部卒。1979年以来、度々中国西域・シルクロードを訪れ、砂地農法による緑化の技術指導に尽力。1985年、沙漠開発研究所を、1991年日本沙漠化実践協会を設立。2003年、マグサイサイ賞(平和・国際理解部門)受賞。富士吉田市名誉市民(1997年)。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『よみがえれ地球の緑』(佼成出版社、1989) 『沙漠緑化に命をかけて』(TBSブリタニカ、1992) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2013、p292～293) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| トガミ ヒロコ 戸上 寛子 | 女 | 1935 | 大和村 | 甲州市 | 『白いノスタルジア』 | 文学 | 日本詩人クラブ (『箱根慕情』) | 『白いノスタルジア』(VAN書房、1979) 『箱根慕情』(朝日アートコミュニケーション、2002) 『美術画報』No.34(朝日アートコミュニケーション、2002) 『御所車』(VAN書房、1984)ほか | 『白いノスタルジア』(奥付) 『箱根慕情』(奥付) 『美術画報』No.34(p234～243) | 2012/8/21 | 大和 |
| トガワ リイチ 外川 理一 | 男 | 1900 1989 | 小立村 | 富士河口湖町 | 『富士山麓近世農民生活史』 「河口湖町広報ふるさと」 | 歴史・地理 | 豊島師範(現東京学芸大)卒。八王子尋常小学校教諭、会計検査院判任官、小立村助役、県古文書審査員、妙法寺文書調査員、河口湖町文化財審議委員、山梨郷土研究会会員。 (『富士山麓近世農民生活史』) | 『富士山麓近世農民生活史』(地人社、1987) 『妙法寺史録抄』(じべた書房、1982) 雑誌「富士を守る」、「二十一日会」に論文多数 | 「河口湖町広報ふるさと」(1989年6月号) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|--------------------|--|---|---|-----------|------|
| トクナカ スミコ 徳永 寿美子 | 女 | 1888 1970 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 童話作家。 本名、前田ひさの。 1967年、勲五等瑞宝賞受賞。 1935年創刊の「児童文学」で活躍。 (『山梨百科事典』) 6歳の時に一家で東京に移り住み、 結婚後童話を執筆したり、日本の昔 話や外国の物語をわかりやすく書き 改めて紹介することにつとめた。 (山梨日日新聞) | 『おかあさんのおひさ』(三十書房、 1953) 『うさぎのたねまき』(むさし書房、 1950) 『うさぎのせんたくや』(金の星社、 1966) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p662) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p173~174) 『開館十周年記念展 I やまなし・女 性の文学』(山梨県立文学館、 1999、p18~20) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p332) 『山梨日日新聞』(2002.10.1、30面顔 写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| トハシ ジジユウ 土橋 治重 | 男 | 1909 1993 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2004』 『山梨の作家1』 | 文学 | 詩人、歴史作家。 1992年『根』で日本詩人クラブ賞受 賞。 1924年、旧制日川中学3年のとき、 父親のいるサンフランシスコに渡 る。 1939年朝日新聞社入社。 1949年「日本未来派」に詩を発表し 詩人としてスタート。 1961年詩誌「風」を創刊。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』『山梨の作家1』) | 『甲斐路』(宝文館、1959) 『武田武士の系譜』(新人物往来 社、1972) 『武田信玄』(新人物往来社、1978) 『日本の愛の詩』(理論社、1979) 『甲陽軍艦』(矢立出版、1981) 『小説武田信玄』(青樹社、1982) 『土橋治重詩全集』(土曜美術社出 版販売、1982) ほか | 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文 庫、1994、p135~141) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、 2001、p321~323) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p255) | 2009/1/31 | 山梨 |
| トミカ ケイメイ 富岡 敬明 | 男 | 1822 1909 | 佐賀県 | 佐賀県 | 『郷土史にかがやく人々第11 集』 『山梨百科事典』 | 社会科学 文学 | 山梨県権参事。 明治初年の県令土肥実匡、藤村紫 朗を実質的に補佐。 日野春開拓により、北杜市長坂町 に富岡の地名を残す。 山梨県の漢詩壇の嚆矢。 (『山梨百科事典』) | 『双松山房詩史』(富岡春雄、1899) | 『郷土史にかがやく人々第11集』 (青少年のための山梨県民会議、 1981、p27~50) 『小説富岡敬明』(甲陽書房、1979) 『長坂町誌(下)』(長坂町、1990、p 157~159) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p667) | 2013/1/30 | ながさか |
| ナイトウ イヅミ 内藤 いづみ | 女 | 1956 | 六郷町 | 市川三郷町 | 『死ぬときに後悔しない生き 方』 『山梨のちいさな緩和ケア診 察所ふじ内科クリニック』 | 社会科学 自然科学 医学 | 医師。 1995年、甲府市に「ふじ内科クリ ニック」を設立、院長となる。 (『死ぬときに後悔しない生き方』) NPO日本ホスピス・在宅ケア研究会 元理事。 ホスピス在宅ケア研究会やまなし代 表。 内閣府はばたく女性人材バンクメン バー登録。 やまなし大使任命。 2017年度大正大学客員教授。 (『山梨のちいさな緩和ケア診察所 ふじ内科クリニック』HP) | 『最高の一日最良の最期やっぱり! それとも在宅?』(柏木哲夫共著、佼 成出版社、2011) 『いい医者いい患者言い老後』(永 六輔共著、佼成出版社、2010) 『いのちのレッスン』(米沢慧共著、 雲母書房、2009) 『いのちの不思議な物語』(佼成出 版社、2014) 『死ぬときに後悔しない生き方』(総 合法令出版、2019) 『人間が生きているってこういうこと かしら?』(ポプラ社、2022) | 『山梨のちいさな緩和ケア診察所ふ じ内科クリニック』 https://www.naito- izumi.net/ (2022.9.6確認) 『死ぬときに後悔しない生き方』(総 合法令出版、2019、奥付) 『山梨日日新聞』(2014.4.20、3面顔 写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|------------|---|--|---|--------------------------|-----|
| ナノウ ススム 内藤 進 | 男 | 1933 | 田富町 | 中央市 | 『千枝子闘病の記』 「山梨日日新聞」 | 文学 | 山梨県民文化祭写真部門専門委員。 甲斐市ボランティア協議会会長。 山梨県詩人会会員。 柳蛙書道会師範会会員。 山梨読売写真クラブ会員。 2018年、山梨自分史大賞優秀賞受賞。 | 『振り返る七十年』(内藤進、2003) 『季の聲』(内藤進、2010) 『千枝子闘病の記』(内藤進、2017) 『千枝子と赤いトマト』(内藤進、2021) | 『山梨日日新聞』(2018.4.5、27面顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2018.9.8、14面) 『千枝子闘病の記』(内藤進、2017、奥付) | 2018/12/1 2022/11/07 | 竜王 |
| ナノウ タチウ 内藤 多仲 | 男 | 1886 1970 | 榑村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 技術 | 早大教授・工学博士。 東京タワーなどの設計 (『山梨百科事典』) | 『日本の耐震建築とともに』(雪華社、1965) 『建築と人生』(鹿島研究所出版会、1967) 『内藤多仲作品譜』(城南書院、1944) | 『内藤多仲博士の業績』(内藤多仲博士の業績刊行委員会実行委員会、1967) 『内藤多仲先生の御生誕百年を記念して』(内藤多仲先生の御生誕百年を記念して刊行委員会、1986) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989) 『内藤多仲博士に学ぶ』(内藤多仲博士生誕120年記念事業実行委員会、2006) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p272、p391) 『山梨日日新聞』(2016.10.1、18面、2018.3.28、21面、顔写真あり) | 2020/10/28 | 榑形 |
| ナノウ タツコ 内藤 タ津子 | 女 | 1957 | 登美村 | 甲斐市 | 『甲斐が嶺の空』 | 文学 | 1951年、山梨県職員となる。 1951年、「美知思波」入会。 1998年、「新アララギ」入会。 2000年、「美知思波」退会。 2001年、「山梨歌人」入会。 | 『花霞』(不識書院、1995) 『楸の林に』(短歌新聞社、2009) 『甲斐が嶺の空』(ながらみ書房、2018) | 『甲斐が嶺の空』(ながらみ書房、2018、奥付) | 2018/12/1 | 竜王 |
| ナノウ トモシ 内藤 朋芳 | 男 | 1936 | 山梨県 | 山梨県 | 『句集草の実』 『山梨の県民性(改訂増補版)』 『草萌ゆる-ひたすらな道-』 | 社会科学 文学 | 俳句のペンネームは内藤芳生 1990年、「雲母」入会。 1993年、「白露」入会。 1999年、「天為」入会。 東京大学教養学科卒業。 元NHK職員。 竜王町(現甲斐市)在住。 (『山梨の県民性(改訂増補版)』) | 『山梨の県民性』(中央線社、1985) 『山梨の県民性(改訂版)』(芙蓉書房、1998) 『山梨の県民性(改訂増補版)』(芙蓉書房、2002) 『句集稜線』(内藤朋芳、2007) 『句集草の実』(内藤朋芳、2011) 『星霜移り人は去り』(内藤朋芳、2013) 『草萌ゆる-ひたすらな道-』(内藤朋芳、2021) | 『句集草の実』(内藤朋芳、2011、奥付) 『山梨の県民性(改訂増補版)』(芙蓉書房、2002、奥付) | 2014/11/27 2022/11/07 | 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-----------|---------------|-------------------------------------|-------------------|---|--|--|------------|------|
| ナノウ ヒサツ 内藤 久嗣 | 男 | 1933 | 玉穂町 | 中央市 | 『山は雪』 『玉穂町誌』 | 文学 | 山梨日日新聞社元記者。 画廊喫茶「窓」店主。 (『山は雪』) | 『山は雪』(内藤久嗣、かんざし美容 院、1986) | 『山は雪』 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、p1312 ~1313) | 2012/7/25 | 玉穂 |
| ナノウ ミカ 内藤 みか | 女 | 1971 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 小説家。 携帯電子書店に掲載した「ラブリン ク」が、有料携帯小説としては空前 の150万アクセスを記録。 “ケータイ小説の女王”としての地位 を確立し、人気作家となる。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『ラブリング』(新潮社、2006) 『きみの名も知らない』(マガジンハ ウス、2007) 『イケメンバンク』(角川学芸出版、 2008) 『イケメンと恋ができる38のルール』 (ベストセラーズ、2009) 『たたかえ!てんぱりママ』(亜紀書 房、2012) 『誰も教えてくれない Facebook&Twitter100のルール』(技 術評論社、2013) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p336) 『山梨日日新聞』(2009.7.15、11面) 『朝日新聞』(2007.2.24、2面) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ナノウ ミチオ 内藤 成雄 | 男 | 1920 2008 | 富士吉田 市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『山梨日日新聞』 | 自然科 学・医学 文学 | 医師、著述業。内藤医院長。富士吉 田文化振興協会理事長、富士こぶ しの会会長などを歴任。雑誌「雪解 流」主宰。1987年山梨県出身の文 化人の組織・山人会により設定され た第1回中村星湖文学賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』『21世紀-山梨の100人-』) | 『富士北麓と文人たち』(ぎょうせ い、1986) 『こぶしの花-新田次郎物語-』 (ぎょうせい、1989) 『新田次郎の聲音(あしおと)』(叢文 社、2003) | 『21世紀-山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p64~65) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p359、 481) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ナノウ リン 内藤 利信 | 男 | 1938 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県漢詩列伝2』 | 文学 | 山梨県立高等学校、同支援学校 等、数校の教諭・管理職を務める。 1999年、やまなし館司会結成主宰、 年刊機関誌「山梨漢詩」を刊行。 都留文科大学非常勤講師、山梨県 漢詩会主宰、山梨郷土研究会・山 梨文芸協会・全日本漢詩連盟等の 会員。 (『山梨県漢詩列伝2』) | 『住んでみた成都』(サイマル出版 会、1991) 『四川盆地を行く』(ぎょうせい、1995) 『中学・高校で教材にできる中国民 話』 | 『山梨県漢詩列伝2』(内藤利信、山 梨漢詩会、2018、奥付) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|---------|--|---|---|------------|------|
| ナカガワ ナオミ 中川 なをみ | 女 | 1946 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 文学 | 児童文学作家。日本児童文学学校の1期生。1978年『夜汽車の見える坂道』で北川千代賞佳作、2003年『水底の棺』で日本児童文学者協会賞を受賞。(『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『まぼろしのストライカー』(国土社、1987) 『水底の棺』(くもん出版、2002) 『茶畑のジャヤ』(鈴木出版、2015) 『かけはし』(新日本出版社、2020) 『ノトン』(くもん出版、2021) 『マグノリアの森』(あかね書房、2022)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2019、p334)「山梨日日新聞2020.9.2411面」 | 2022/11/30 | 韮崎 |
| ナカガワ ユウウ 中川 雄三 | 男 | 1956 2021 | 山口県 | 山口県 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 芸術・スポーツ | 動物写真家。 1980年、富士吉田市の養鱒場に勤務。 1987年、「ヒメネズミ」で第4回アニメ賞を受賞。 1991年、独立。 富士山を世界遺産にする会議の山梨県側事務局長。 現在、山梨県環境アドバイザー、日本野鳥の会富士山麓支部副支部長、などを務める。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』、『21世紀-山梨の100人-』) | 『富士山麓の仲間たち』(ぎょうせい、1988) 『カワセミの四季』(平凡社、1996) 『富士のすそ野のメダカの学校』(大日本図書、1998) 『ヤマネはねぼすけ?』(湊秋作文・写真、中川雄三写真、福音館書店、2000) 『まちのコウモリ』(ポプラ社、2007) | 『21世紀-山梨の百年』(山梨新報社、2002、p38~39) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p262) 「中川雄三ホームページ」 http://www.fujigoko.tv/nakagawa/ (2014.11.25確認) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ナカゴミ シロウ 中込 四郎 | 男 | 1951 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 筑波大学教授。同大学保健管理センター学生相談室スポーツクリニック・カウンセラー、JOCスポーツカウンセラーも務める。(『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『よくわかるスポーツ心理学』(ミネルヴァ書房、2012) 『アスリートのこころの悩みと支援』(誠信書房、2017) 『スポーツパフォーマンス臨床心理学』(岩崎学術出版社、2021)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、276p) | 2022/11/30 | 韮崎 |
| ナカゴミ セロ 中込 成子 | 女 | 1913 2008 | 竜王町 | 甲斐市 | 『いのち生く』 「山梨日日新聞」 | 文学 | 教員(小学校)1968年退職 武川婦人会長、武川村教育委員など務める (『いのち生く』) | 『いのち生く』(峡南堂印刷、2001) | 『いのち生く』(p217) 「山梨日日新聞」(2008.5.30、24面) | 2012/7/30 | むかわ |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|-------|--|---|---|------------|-----|
| ナカゴミ マツヤ 中込 松弥 | 男 | 1909 1966 | 白根町 | 南アルプス市 | 『西郡史話』 | 歴史・地理 | 教員。 (『西郡史話』) | 『西郡史話』(西郡史話刊行会、1967) | 『西郡史話』(西郡史話刊行会、1967) | 2012/8/2 | 白根 |
| ナカサカ アキラ 長坂 彰 | 男 | 1856 1929 | 石和町 | 笛吹市 | 『韮崎市誌』 | 社会科学 | 武田家の重臣内藤修理亮昌豊の末裔。 幼時石和由学館に入学。 後甲府徹典館・東京同志社・司法省直轄法律学校に学び、静岡裁判所管下浜松区裁判所及び甲府支庁に職を奉じ、1876年、穴山村戸長長坂與一の養子となる。 同年穴山小学校教頭。 1881年、中巨摩郡書記に任じ総課長を命ぜられる。 傍ら有志と勸業試験所を営し、1890年、郡制実施にあたりこれを郡有財産に移管。 1896年2月、東八代郡長、さらに教育会長に挙げられ郡立蚕業学校を創設。東山梨郡長時代は中央線鉄道用地を買収し鉄道を敷設。北巨摩郡長に転じ、1898年の大水害を被った郡内の処置を収める。(『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p430) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ナカザワ アツシ 中沢 厚 | 男 | 1914 1982 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 社会科学 | 民俗学者。石の研究家。 故武田久吉氏に師事し、農山村の民俗調査を続け、石神の研究にたずさわる。 中沢新一氏の父。 (山梨県人物・人材情報リスト2004) | 『山梨県の道祖神』(有峰書店、1973) 『丸石神』(木耳社、1980) 『つぶて』(法政大学出版局、1981) 『日本の石仏6』(中沢厚編、池田三四郎編、図書刊行会、1983) 『石にやどるもの』(平凡社、1988) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p266) | 2009/1/23 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|----------|-----|---------------|-----------------------------------|-------------------|---|--|---|------------|-----|
| ナカザワ シンイチ 中沢 新一 | 男 | 1950 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2004』 『鳥の仏教』 | 哲学・宗 教 社会科学 | 宗教学者、思想家、人類学者。 1950年から中央大学総合政策学部 教授。 多摩美術大学美術学部芸術学科教 授、芸術人類学研究所所長。 1984年『チベットのモーツァルト』で サントリー学芸賞。 1992年『森のパロック』で第44回読 売文学賞。 1996年『哲学の東北』で第4回斎藤 縁雨賞。 2001年『フィロソフィア・ヤポニカ』で 第12回伊藤整文学賞。 2004年『対称性人類学』で第3回小 林秀雄賞。 2006年『アースダイバー』で第9回桑 原武夫学芸賞。 その他受賞あり。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』『鳥の仏教』) | 『チベットのモーツァルト』(せりか書 房、1983) 『野ウサギの走り』(思潮社、1986) 『悪党的思考』(平凡社、1988) 『森のパロック』(せりか書房、1992) 『哲学の東北』(青土社、1995) 『ゲーテの耳』(河出書房新社、 1995) 『フィロソフィア・ヤポニカ』(集英社、 2001) 『精霊の王』(講談社、2003) 『対称性人類学』(講談社、2004) 『アースダイバー』(講談社、2005) 『芸術人類学』(みすず書房、2006) 『マイクロコスモス』(四季社、2007) 『鳥の仏教』(新潮社、2008) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p266) | 2009/1/23 | 山梨 |
| ナカザワ ヤヨイ 中沢 弥生 | 男 | 1908 | 双葉町 | 甲斐市 | 『多話古吐』 | 文学 | 本名 中沢作男(ナカザワサケオ) 農夫 軍隊入隊 (『多話古吐』) | 『多話郡吐』(中沢弥生、1976) | | 2018/11/18 | 双葉 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|----------|-----|---------------|-----------------------|-------------|--|---|--|------------|-----|
| ナカジマケイ 中島 恵 | 女 | 1967 | 都留市 | 都留市 | 『「爆買い」後、彼らはどこに向かうのか?』 | 図書館・ 情報 | 北京大学、香港中文大学に留学。新聞記者を経て、96年よりフリージャーナリスト。主に東アジアのビジネス事情、社会情勢等を新聞、雑誌、インターネット上に執筆。 | 『香港を旅する会話』(三修社、2004) 『ポシャギ韓国の包む文化』(白水社、2009) 『中国人エリートは日本人をこう見る』(日本経済新聞出版社、2012) 『中国人の誤解日本人の誤解』(日本経済新聞出版社、2013) 『「爆買い」後、彼らはどこに向かうのか?』(プレジデント社、2015) 『なぜ中国人は日本のトイレの虜になるのか?』(中央公論新社、2015) 『中国人エリートは日本をめざす』(中央公論新社、2016) 『なぜ中国人は財布を持たないのか?』(日本経済新聞出版社、2017) 『中国人富裕層はなぜ「日本の老舗」が好きなのか?』(プレジデント社、2018)『日本の「中国人」社会』(日本経済新聞出版社、2018)『中国人は見ている。』(日本経済新聞出版社、2019)『中国人のお金の使い道』(PHP研究所、2021)『いま中国人は中国をこう見る』(日経BP、2022) | 『中国人は見ている。』(日本経済新聞出版社、2019) | 2022/11/3 | 都留 |
| ナガセキ ヨシシゲ 永関 慶重 | 男 | 1951 | 高根町 | 北杜市 | 『ストレスが人を育てる』 | 自然科学・ 医学 | 1977年群馬大学医学部医学科卒業、同大学脳神経外科入局。1984年山梨医科大学医学部付属病院勤務。1998年沼田脳神経外科循環器科病院院長。2003年甲斐市に「ながせき頭痛クリニック」開院。 | 『ストレスが人を育てる』(天理教道友社、2003) 『頭痛クリニック開院!』(悠飛社、2011) 『依存から自立そして自活へ』(22世紀アート、2020) | 『山梨日日新聞』(2011.3.28、11面顔写真あり) 『ストレスが人を育てる』 | 2022/11/30 | 敷島 |
| ナカタ ヒデトシ 中田 英寿 | 男 | 1977 | 甲府市 | 甲府市 | 『中田英寿』 | 芸術・ スポーツ | 元サッカー選手 1997年日本プロスポーツ大賞受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2017』) 韮崎高校在からJリーグ「ベルマーレ平塚」に入団。 その後セリエA「ペルージャ」「ローマ」「パルマ」「ポロニア」「フィオレンティーナ」、イングランドプレミアリーグ「ボルトン」へ移籍。 日本代表としてワールドユース、オリンピック、ワールドカップに出場。 2006年現役を引退。 2020年4月立教大学経営学部客員教授就任、10月東京国立近代美術館工芸館名誉館長就任。 (『中田英寿』) (『山梨日日新聞』) | 『文体とパスの精度』(村上龍共著、集英社、2002)、 『nakata.net98-99』(新潮社、2000) 『nakata.net06-08』(新潮社、2008) ほか | 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p596~598) 『中田英寿軌跡』(鹿砦社、2004) 『ナカタノナカミ』(マガジンハウス、2005) 『中田英寿』(文芸春秋、2006) 『中田英寿日本代表全試合』(幻冬舎、2007) 『中田英寿誇り』(幻冬舎、2007) 『nakata.net-HidetoshiNakataofficialsite-』 http://nakata.net/ (2023/2/23確認) 『山梨日日新聞』(2018.9.13、28面、写真あり) ほか | 2023/2/23 | 県立 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------|---|---|---|------------|-------|
| ナガミネ ヒデキ 永峯 秀樹 | 男 | 1848 1927 | 浅尾新田 村 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 言語 文学 | 英学者。小野通仙の四男。 「アラビアンナイト」を日本で始めて 翻訳(「暴夜物語」)。その他「富国 論」「欧羅巴文明史」等の翻訳にも 取り組む。西欧文化移入の第一人 者。 (『郷土史にかがやくひとびと集合編 2』) | 『思出のまゝ』(永峰春樹、1928、国 立国会図書館所蔵) 『暴夜物語』(永峯秀樹訳、奎章閣、 1875、国立国会図書館所蔵) 『官民議場必携』(ロベルト著、永峰 秀樹訳、内藤伝右衛門、1880、山梨 県立図書館所蔵) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p691) 『郷土史にかがやくひとびと集合編 2』(青少年のための山梨県民会 議、1980、p.67-85) 『新装明野村誌』(明野村、1996、 p.895-896) 『小野通仙(1804-1888)の弟と息子 たち』(浅川伯教・巧兄弟資料館、 2017) 『評伝永峯秀樹』(リーベル出版、 1990年、山梨県立図書館所蔵) | 2018/11/16 | 明野 |
| ナカムラ アキヒロ 中村 章彦 | 男 | 1941 | 東京都 | 東京都 | 『山梨近代史論集』 | 歴史・地 理 | 元山梨県立高等学校教諭 山梨県史編纂室出向 山梨郷土研究会会員 富士河口湖町文化財審議委員 富士河口湖町古文書調査会代表 富士河口湖町ふるさとガイドの会会 長 | 『山梨近代史論集』(岩田書店、 2004)「湖上の工房/河口湖渡船を めぐって」(p255~p281) 『甲斐路71号』「峠を越えて一文化 年間の主法替始末記」(山梨郷土研 究会、1991年、p12~p18) 『甲斐路73号』「船津村年貢の研究」 (山梨郷土研究会、1992年p8~p25) 『甲斐路82号』「河口御師出羽勸化 旅行の子細」(山梨郷土研究会、 1995年p12~p27)ほか | 『富士河口湖町古文書目録第3集』 (富士河口湖町教育委員会、2011、 奥付) | 2012/12/14 | 富士河口湖 |
| ナカムラ オサム 中村 修 | 男 | 1949 | 富士吉田 市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 | 芸術・ス ポーツ | 1979年、第27回二科展に初入選以 来連続11回入選。1989年、二科会 写真部会友推挙、3年後に日本写 真家協会会員となる。長年撮り続け てきた富士山を3部作シリーズとし て世界文化社より刊行。富士吉田 市でプロフォトショップを経営。富士 山七合目山小屋・日の出館の7代 目。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』) | 『四季富士山の撮影-必ず撮れるテ クニック&撮影スポット-』(世界文化 社、1997) 『四季富士山の撮影名作を撮る入 門編』(世界文化社、1999) 『富士山の四季を撮る』(白旗史郎 等著、日本カメラ社、1999) 『富士山四季の撮影入門』(大泉書 店、2003) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p439) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ナカムラ カツロウ 中村 克郎 | 男 | 1926 2012 | 塩山市 | 甲州市 | 「山梨日日新聞」 | 歴史・地 理 | 『きけわだつみのこえ』の編者。産 婦人科医。 | 『きけわだつみのこえ』(東大協同組 合出版部1949) 『兄の影を追って託された「わだつ みのこえ」』(岩波書店) | 『はるかなるわだつみ』(山梨ふるさ と文庫2008) 山梨日日新聞1998.8.2019面 2007.4.3019面2012.2.1913面 | 2020/10/18 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|---------------|---|--|---|------------|-------|
| ナカムラ カン 中村 幹 | 男 | 1951 | 立川市 | 立川市 | 『車椅子の犬訓練士ものがたり』 | 産業 | 公認警察犬1等訓練士 山梨セラピックドッグクラブ代表 (『車椅子の犬訓練士ものがたり』) | 『車椅子の犬訓練士ものがたり』 (本の泉社、2004) 『犬たちからの贈りもの』(本の泉社、2008) | 山梨日日新聞(2004.5.17、11面) 山梨日日新聞(2006.10.24、22面) 山梨日日新聞(2011.1.20、18面) 山梨日日新聞(2016.4.27、14面) 山梨日日新聞(2017.10.31、11面) 『幸せのきずな』(山川智、リーブル出版、2010、p35) 「YTDC～山梨セラピードッグクラブ～ホームページ」 URL:http://www.yamanashitdc.info/ (2022/11/11確認) | 2018/11/18 | 双葉 |
| ナカムラ キジユウロウ 中村 鬼十郎 | 男 | 1912 1990 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 文学 | 小説家。 本名中村喜十郎。 日本ペンクラブ会員。 農村の生活や農民の姿を描く。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『蒼白いヒロイズム』(郷土社、1936) 『部落の群像』(甲陽書房、1965) 『ぼたんきょう』(作家社、1969) 『風の音』(作家社、1972) 『あだ波』(作家社、1974) 『慟哭の川』(甲陽書房、1976) 『女の暦』(作家社、1982) | 『山梨の作家2』(ふるさと文庫、1995、p93～114) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p340～342) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p274) 『作家に関わった山梨の文人たち』(原田重三、季刊作家社、2005、p93～114) | 2009/1/23 | 山梨 |
| ナカムラ セイコ 中村 星湖 | 男 | 1884 1974 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『富士北麓と文人たち』 | 文学 | 早稲田大学文学部英文科卒。 「富士五湖文化協会」設立。 山梨学院短大教授。 河口湖町耕地整理組合長、河口村教育委員長を歴任。山梨県文化功労賞受賞。「山人会」結成。 (『富士北麓と文人たち』) | 『少年行』(文遊社、1974) 『ボヴァリー夫人』(中村星湖翻訳、大泉書店、1946) 『残雪抄中村星湖・まさじ和歌集』(文遊社、1988) 「五湖文化」復刻版(富士五湖地方文化協会編、1940) ほか | 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄、ぎょうせい、p5～23) 『中村星湖展』(山梨県立文学館、1994) 『郷土史にかがやく人びと』第9集(青少年のための山梨県民会議編、1977、p1～23) 『河口湖町文化のあゆみ』(河口湖町文化協会編、河口湖町教育委員会、1978、96p～100p)、 『山梨の文学』(山梨日日新聞社編、2001、100p～104p) 『はまなし第5号山梨文化総合誌』(はまなし文化の会編、1995、39p～50p) ほか | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| ナカムラ ハルネ 中村 はるね | 女 | 1954 | 塩山市 | 甲州市 | 『21世紀山梨の100人』 | 自然科学・医学 文学 | 産婦人科医「はるねクリニック銀座」院長 (『21世紀山梨の100人』) 甲州平和文庫 (『山梨日日新聞』) | | 『21世紀山梨の100人』(山梨新報社、2003、p88) 『山梨日日新聞』(2002.3.24、4面、2008.7.12、13面、8.13、14面、8.31、28面、10.26、21面、12.29、22面、2010.5.14、23面、5.24、5面、6.15、18面、11.19、21面、2011.8.6、22面、2012.1.23、19面、4.25、23面、4.27、18面、5.1、16面) | 2012/8/21 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------|--|--|---|------------|-------|
| ナカムラ ヒスイ 中村 美穂 | 男 | 1895 1941 | 松里村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 歌人 1920年全山梨歌会開設 (『山梨百科事典』) 1927年甲府に盲啞学校を開設 1928年歌誌「みづがき」創刊 (『山梨の作家2』) | 『東歌私解』(みづがき社、1934) 『空明』(謙光社、1976) ほか | 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p147～) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p692) | 2012/8/21 | 塩山 |
| ナカムラ ヒロコ 中村 紘子 | 女 | 1944 2016 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨日日新聞』(2015.05.25) 『山梨日日新聞』(2016.7.3030面) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 芸術・スポーツ | ピアニスト ブラハの春音楽祭参加など海外で活躍。多くの国際コンクールの審査員も務めた。 1960年東京フィルハーモニー交響楽団第54回定期演奏会でデビュー 1965年シヨパン国際ピアノコンクール4位入賞 2008年紫綬褒章を受章 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『ピアニストという蛮族がいる』(文藝春秋、1992) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010) 『山梨日日新聞』(2016.7.3031面) 『毎日新聞』(2010.04.05夕刊3面) 『産経新聞』(2009.10.247面) 『産経新聞』(2008.11.0223面) 『産経新聞』(2009.12.01～03) 『朝日新聞』(2004.11.0922面) 『朝日新聞』(2007.10.241面) 『朝日新聞』(2008.04.109面) 『朝日新聞』(2008.10.0312面) 『朝日新聞』(2009.03.2138面) 『朝日新聞』(2009.09.114面) 『日本経済新聞』2006.02.2724面 『日刊スポーツ』(2005.01.2023面) 『報知新聞』(2003.11.2624面) 『読売新聞』(2003.11.0915面) 『ピアニストという蛮族がいる』(文藝春秋、1992) | 2016/11/30 | 塩山 |
| ナカムラ ユキオ 中村 幸雄 | 男 | 1890 1974 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『郷土史にかがやく人びと』 | 自然科学・医学 | 河口村河口農業補習学校(夜学)卒。 農林省鳥獣調査員、文部省委託科学試験研究員、山梨県恩賜林記念館保護員。 「県政功労者」受賞。山梨県観光連盟より表彰。厚生大臣より表彰。県文化功労賞。叙勲勲五等双光旭日章。常陸宮より鳥類研究の功績により表彰される。 愛称「小鳥のおじさん」 (『郷土史にかがやく人びと第18集』) | 『甲斐の鳥たち』(山梨日日新聞社、1969) 「鳥や獣の世界から見た甲斐の野と山」(『郷土総合研究』) | 『郷土史にかがやく人びと』第18集(青少年のための山梨県民会議、1991、p55～80) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| ナカヤ カズヤ 長屋 和哉 | 男 | 1962 | 岐阜県 | 岐阜県 | 『すべての美しい闇のために』 | 文学 | 音楽家。マルチプレーヤー。 2012年北社市明野町に移住(その後高根町に転居) (『すべての美しい闇のために』) | 『すべての美しい闇のために』(春秋社、2007) | 「長屋和哉ホームページ」 http://www.ame-ambient.com/ (2012.8.11確認) | 2023/3/1 | 明野 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------|---|---|---|------------|-----|
| ナカヤマ ケンエ 中山 堅恵 | 男 | 1918 | 越後柏崎 町 | 新潟県柏崎市 | 『二度の鉄拳』 | 文学 | 作家。 文芸誌「群」同人。 1950年、甲府に転住。 1992年、中村星湖文学賞受賞。 (『二度の鉄拳』) | 『小説甲府空襲』(文芸誌群、1994) 『ビルマ戦線』(文芸誌群、1991) 『ガダルカナル戦線』(文芸誌群、 1992) ほか | 『二度の鉄拳』(文芸誌群、2000、奥 付に著者略歴、顔写真あり) | 2012/7/12 | 甲府 |
| ナクモ リュウ 南雲 龍 | 男 | 1934 | 群馬県 | 群馬県 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2002』 | 芸術・ス ポーツ | 山梨県中富町に南雲窯窯芸研究所 を設立。 1963年日展に初入選。以降、日展 特選・無鑑査となり、審査員をつと める。 日本現代工芸美術展工芸賞、東陶 賞など多数受賞。 FUJIBIエンナーレの審査員。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2002』) 1983年、中富町特別町民となる。 全国公募陶芸展の開催、また総合 会館の陶壁も手がけた。 (『中富町50年の軌跡』) | 『陶芸の窯製造と知識のすべて』 (D・ロードス共著、日貿出版社、 1979) 『陶芸—制作と知識のすべて』(上 下巻、日貿出版社、1998) 『陶芸の粘土と釉薬』(D・ローズ著、 南雲龍比古訳、南雲龍訳・監修、日 貿出版社、2000) | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 (日外アソシエーツ、2002、p263) 『中富町50年の軌跡』(中富町、 2004、p90) 『山梨日日新聞』 (1998.6.9/12面、2001.11.8/2面) | 2022/11/30 | 身延 |
| ナシダ コウ 梨田 耕 | 男 | 1949 | 田富町 | 中央市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2007』 | 文学 | 本名金丸孝。 高校時代より独自に句作をはじめ める。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2007』) | 『川流れ(馬籠のうた)』(新風舎、 2001) 『訪問者』(新風舎、2005) 『甲州まごめまごまご』(山梨ふるさ と文庫、2006) 『信玄堤』(そうぶん社、2007) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2007』 (日外アソシエーツ、2007、p238) | 2012/8/10 | 田富 |
| ナトリ シュンセン 名取 春仙 | 男 | 1886 1960 | 明穂村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 芸術・ス ポーツ | 画家 (『山梨百科事典』) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p696) 『名取春仙榊形町立春仙美術館所 蔵名取春仙作品目録』(榊形町立春 仙美術館、2002) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図 書、1992、p167) 『名取春仙展浮世絵歌舞伎版画最 後の巨匠』(榊形町立春仙美術館、 1991) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p404) 『山梨日日新聞』(2018.9.1、1面、26 面、顔写真あり) | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 (日外アソシエーツ、2002、p263) 『中富町50年の軌跡』(中富町、 2004、p90) 『山梨日日新聞』 (1998.6.9/12面、2001.11.8/2面) | 2020/10/28 | 榊形 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|-------|--|---|---|------------|-----|
| ナトリ タツヒコ 名取 忠彦 | 男 | 1898 1977 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』『山梨百科事典1989』 | 社会科学 | 山梨中央銀行頭取山梨中央銀行会長甲府商工会議所会頭(『山梨県人物・人材情報リスト2011』) 県翼賛壮年団長(『山梨百科事典1989』) | 『敗戦以後-わが身の記-』(脈々会、1952) 『釣りと私』(アドブレーション社、1969) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p317) 『甲州人』(山下靖典、皓星社、1983、p67-68)『山梨百科事典1989』(山梨日日新聞社、1989、p696) | 2016/11/30 | 塩山 |
| ナトリ マサキ 名取 雅樹 | 男 | 1814 1900 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『郷土史にかがやく人々第11集』 | 産業 | 実業家。 1871年、直揚機械を発明。これにより製糸道具の改良がなされ、大蔵省より金二千両を与えられた。この機械によって県営勸業製糸場が甲府錦町に建設され、山梨県の蚕糸業に大きな発展をもたらした。 1880年には名取製糸場を設立した。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p696) 『やまなし明治の墓標』(有泉貞夫著、山梨郷土研究会、1979、p49~72) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p144) 『郷土史にかがやく人々第11集』(『青少年のための山梨県民会議、1981、p53~76』) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ナトリ ミチホ なとり みちほ | 女 | 1962 | 白根町 | 南アルプス市 | 『コッコママ』 | 文学 | 絵本作家。 (『コッコママ』) | 『たろうくんのにおい』(大日本絵画、1984) 『おろであそぶおかあさんはどこ?』(JULA出版、1987) 『コッコママ』(JULA出版、1994) 『はじめてのおべんとう』(小学館、1998) ほか | 『コッコママ』(JULA出版、1994) | 2012/8/2 | 白根 |
| ナベタ ミキオ 鍋田 幹雄 | 男 | 不詳 | 南部町 | 南部町 | 『富沢町誌』『南部町誌』『甲陽軍記』 『甲斐国志』 | 歴史・地理 | | 論考ふるさとを伝える』『戦国時代の甲駿国境』信虎追放の地・鳥居尾城 『南部町万沢の西行法師伝説』 | | 2021/1/21 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------------------|---------------------|--|---|--|------------|-----|
| ナルシマ イズル 成島 出 | 男 | 1961 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 映画監督、脚本家。 「みどりの女」(8ミリ)が1986年ぴあフィルム・フェスティバルで入選。その後、ディレクターズカンパニーに所属し、助監督や脚本の仕事に携わる。1994年、脚本家デビュー。2003年「油断大敵」で初監督。監督作品「フライ、ダディ、フライ」「孤高のメス」など。 第62回芸術選奨文部科学大臣賞など多数受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 映画「八日目の蝉」で第35回日本アカデミー賞最優秀監督賞受賞。 第40回記念報知映画賞・作品賞受賞。(邦画部門) (『山梨日日新聞』) 監督作品一覧 (『株式会社アンカット』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p340、p517～518) 『山梨日日新聞』(2012.3.3、30面、2015.11.27、11面顔写真あり)、 2017.5.30、15面顔写真あり、 2020.1.7、13面顔写真あり) 株式会社アンカット https://unc10.jp/director/8818.html (2022.9.9確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ナルヤマ ソウヘイ 鳴山 草平 | 男 | 1902 1972 | 宝村 | 都留市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 文学 | 本名前田好照 県立農林学校教諭 神奈川県立第一中学校教諭 1939年「新青年」千円懸賞小説募集に入賞(『都留の今昔』) ユーモア小説、時代小説を執筆 (『山梨「人物」博物館』) | 『きんぴら先生青春記』(春陽堂、1952) 『花粉の園』(東京文芸社、1952) 『出張社員』(同人社、1960) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p319) 『都留の今昔』(都留市老人クラブ連合会、1978、p115～117) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p202～203) 『資本小説』(末永昭二著、アスペクト、2001、p228～236) 『草露山房覚書』(棚本安男著、2004、p409～473) | 2012/8/9 | 都留 |
| ニイツ タケン 新津 健 | 男 | 1949 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『山梨の人と文化1』 『猪の文化史』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 自然科学 医学 | 1978年県教育委員会に文化財主事として採用。 1982年より埋蔵文化財センター文化財主事。 (『山梨の人と文化1』) 山梨県立考古博物館副館長、山梨県埋蔵文化財センター所長を歴任。 山梨県教育庁学術文化財課非常勤嘱託。 (『猪の文化史』) 昭和測量文化財調査課研究顧問、山梨英和大学非常勤講師。 2022年山梨県考古学協会会長。 | 『猪の文化史考古編』 『猪の文化史歴史編』 (雄山閣、2011) 『大配石と異形の土偶金生遺跡』 (新泉社、2020) | 『山梨の人と文化1』(山梨県生涯学習推進センター編、山梨ふるさと文庫、2003、p38、顔写真あり) 『猪の文化史』(奥付) 『山梨日日新聞』 (2022.5.25、14面顔写真あり) | 2022/11/30 | 敷島 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------------------|----|--|--|---|------------|-----|
| ニツ ヒロシ 新津 宏 | 男 | 1899 1990 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『甲西町新聞』 『山梨日日新聞』 | 産業 | りんごの新種「ふじ」の作成者。 東京帝国大学農学部農学科卒。 東京農林専門学校教授、東京農耕 大学教授などを歴任。(「甲西町新 聞」) | 『果物原色図説』(日本園芸会編、 養賢堂、1935、p51～54、p65～90、 解説文あり) 『園芸技術新説』(養賢堂、1955、 p61～67執筆) | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p276) 『甲西町新聞』(1974.6.10、88号顔 写真あり) 『山梨日日新聞』(2001.4.24、28面) | 2020/10/28 | 甲西 |
| ニシ コウイチロウ 仁志 耕一郎 | 男 | 1955 | 富山県 | 富山県 | 『家康の遺言』 | 文学 | 広告制作や広告代理店勤務を経 て、その後執筆に専念。 2012年、『玉兔の望』で第7回小説 現代長編新人賞受賞。 蕪崎市在住。 『無名の虎』で第4回朝日時代小説 大賞を受賞。 同一作で歴史時代作家クラブ賞新 人賞も受賞。 (『家康の遺言』) | 『玉兔の望』(講談社、2012) 『無名の虎』(朝日新聞出版、2012) 『玉蘭の道』(朝日新聞出版、2013) 『とんぼさま』(幻冬舎、2014) 『松姫はゆく』(角川春樹事務所、 2014) 『家康の遺言』(講談社、2015) 『咲かせて三升の團十郎』(新潮 社、2022) | 『家康の遺言』(仁志耕一郎、講談 社、2015) 山梨日日新聞2022年9月2日(写真 あり) | 2023/3/1 | 蕪崎 |
| ニシナ サチコ 仁科 幸子 | 女 | 不詳 | 大月市 | 大月市 | 『のねずみポップはお天気は かせ』 『続・大月人物伝』 | 文学 | 絵本作家、アートディレクター。 元大月市立図書館館長(2015.4～ 2021.3) 多摩美術大学卒業後、日本デザイ ンセンター入社。永井一正氏のもと アートディレクターとしてグラフィック デザインを手掛ける。 1995年独立し絵本を本格的に創作 開始 メキシコ国際ポスタービエンナーレ 展ほか多数入選。 第23回ひろすけ童話賞受賞『ちい さなともだち-星ねこさんのおはな し』 (『のねずみポップはお天気はか せ』、『続・大月人物伝』) | 『Moon』(ブロンズ新社、1997) 『クローバーがくれたなかなおり』(フ レーベル館、2003) 『よるがきらいなふくろう』(偕成社、 2008) 『ちいさなともだち-星ねこさんのお はなし』(のら書店、2011) 『雨の日のせんたくやさん』(のら書 店、2016) 『きらわれもののがらしぼうや』(P HP研究所、2018) 『おなかをすかせたドラゴンとためい きゼリー』(あすなろ書房、2022) ほか | 『のねずみポップはお天気はかせ』 (徳間書店、2013、著者紹介欄) 『続・大月人物伝』(日本ステンレス 工業株式会社、2012、p186～190、 顔写真あり) 仁科幸子のブログ DropsofLifehttps://cinniyan.exblog.j p/(2022/10/19確認) | 2022/10/19 | 大月 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------------|---------------|--|--|---|--------------------------|-----|
| ニシムロ タイゾウ 西室 泰三 | 男 | 1935 2017 | 都留市 | 都留市 | 『毎日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 | 社会科学 | 東京芝浦電気(現・東芝)に入社し、1996年社長に就任。01年から経団連副会長を務め、政府関連の要職や東京証券取引所の会長などを歴任。13年には日本郵政の社長に就任。 (『毎日新聞』) | 「国際的な環境変化と東証の取組み」(『現代の金融市場』黒坂佳央編著、慶應義塾大学出版会、2009、p101収録) 「Challenge-新たな飛躍のために」(『社会を生きる経済学』慶応義塾大学経済学部編、慶應義塾大学出版会、2010、p83収録) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p321) 『トップの素顔論』(幸田真音著、小学館、2007、p255) 『リーダーの決断』(高雄宏政著、世界文化社、2001、p295) 『私が絶望しない理由』(河合薫著、プレジデント社、2008、p225) 『日経ビジネスNo.1914』 (2017.10.30) 『毎日新聞』(2017.11.22) 『山梨日日新聞』 (2017.11.27)(2017.10.19) (2015.12.18)(2015.8.7)(2015.6.18) ほか | 2018/11/22 | 都留 |
| ニシヤマ ケンゴ 西山 賢吾 | 男 | 1931 2016 | 竜王町 | 甲斐市 | 『昼と夜と友情と』 『教育長走る』 | 社会科学 | 山梨県立農林高等学校卒業。 白根町教育委員会次長、竜王町教育委員会教育長。 (『教育長走る』) | 『昼と夜と友情と』(西山賢吾、1977) 『教育長走る』(西山賢吾、1993) | 『昼と夜と友情と』(西山賢吾、1977、奥付) 『教育長走る』(西山賢吾、1993、奥付) 『山梨日日新聞』(2016.1.31、18面) | 2014/11/27 2022/11/07 | 竜王 |
| ネス カイイチウ 根津 嘉一郎 | 男 | 1860 1940 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2004』 | 歴史・地理 社会科学 | 実業家、政治家、美術収集家。 若尾逸平、雨宮敬次郎らと共に甲州財閥の旗頭。 村会議員、郡会議員、県会議員、村長を歴任。 房総鉄道をはじめ、東武鉄道取締役など24社に関係し、鉄道王と呼ばれた。 また、東京電灯取締役など有事業200余社を創設、経営。 衆議院議員として11年間国政に参与。 根津美術館には7,400点にのぼる美術品が所蔵されている。 笛吹川根津橋の架橋、平等小学校(山梨小学校)、山梨県教育会図書館(県立図書館)、山梨県内の全小学校へピアノ、ミシンなど寄贈。 山梨市万力公園に銅像が建てられる。 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『世渡り体験談』(実業之日本社、1938) | 『根津翁傳』(根津翁傳記編纂会、1961) 『郷土史にかがやく人々・集合編』(青少年のための山梨県民会議、1974、p69~86) 『甲州財閥物語上・下巻』(斎藤芳弘、テレビ山梨、1975、1976) 『甲州財閥』(小泉剛、新人物往来社、1975、p104~126) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p727) 『山梨20世紀の群像』(山梨日日新聞社、2000、p155~160) 『再増補版根津・禰津家家歴と系譜』(根津清、2001、p136~144) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p292) 『資料・根津嘉一郎の育英事業』(武蔵学園記念室、2005) ほか | 2009/1/23 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|------|--|--|---|------------|-----|
| ネズ タツコ 禰津 忠子 | 女 | 1919 1999 | 甲府市 | 甲府市 | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』 | 文学 | 小説家。 1953年、「文化人」の同人。 1964年、「中部文学」の同人。 (『やまなし女性の文学』) 1983年、「文学と歴史」の同人。 (『文学と歴史第36号』) | 『こおろぎ抄』(甲陽書房、1982) 『夕映えのとき』(甲陽書房、1992) | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p42) 『文学と歴史』第36号(1999、p39～58追悼集あり) | 2016/9/21 | 甲府 |
| ノウ ハツミ 濃野 初美 | 女 | 1954 | 甲府市 | 甲府市 | 『都双紙』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 1992年、小説「水音」で平成4年度山日芸年度賞。 1994年、小説「さくら貝」で第47回山梨県芸術祭賞・実賞。 1995年、小説「水のレクイエム」で第3回やまなし文学賞佳作。 2001年、詩「水の蛹」で第1回やまなし県民文化祭賞・実賞。 2005年、小説「海にいるのは」で「文学界」同人雑誌評月間ベスト5。 2006年、小説「海にいるのは」で平成17年度「季刊作家」最優秀作品賞。 「季刊作家」同人。山梨芸芸協会会員。山梨県詩人会会員。 (『都双紙』) 2013年、『踊り猫』で第27回中村星湖文学賞受賞。 (『山梨日日新聞』) | 『都双紙』(音盤生活社、2007) 『詩集砂姫』(音盤生活社、2008) 『踊り猫』(音盤生活社、2013) ミュージカル「キヤッツ裏見寒話」(脚本、2013) 朗読劇「山梨大貳ものがたり」(脚本、2013) ほか | 『山梨日日新聞』(2001.11.19、4面、顔写真あり) 『都双紙』(音盤生活社、2007、奥付) 『山梨日日新聞』(2013.10.3、10面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2013.10.31、20面) | 2014/11/27 | 竜王 |
| グチ エイフ 野口 英夫 | 男 | 1856 1922 | 徳島県 | 徳島県 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 社会科学 | 1879年、甲府日日新聞主筆として来県。 1880年、公愛社(県初の言論結社)設立。山梨日日新聞社長となる。 1882年、立憲保守党を結成。 1891年、甲府市議員に当選、これ以降7選。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p733～734) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p72、147～148、381) 『甲州百人の顔』(豆州かわら版、1983、p196～197) 『郷土史にかがやく人々集合編1』(青少年のための山梨県民会議、1974、p321～337) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p123～124) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---|------------|---|---|--|------------|------|
| ナガワ ハジメ 野沢 一 | 男 | 1904 1945 | 一宮町 | 笛吹市 | 『山梨の文学』 | 文学 | 詩人。 市川大門町四尾連湖で独居生活をしながら、詩をうたう。 高村光太郎を敬愛していた。 | 『木葉童子詩経』(文治堂書店、1976) 『森の詩人』(彩流社、2014) 『木葉童子詩経—野沢一詩集(復刻版)』(コールサック社、2018) | 『山梨の文学』(山梨ふるさと文庫、1994、p256~258) 『忘れ得ぬ人びと』(甲陽書房、1986、p13~45) 「蛾眉」第18号(市川大門文化協会、1989) 『山梨の作家2』(山梨ふるさと文庫、1995、p61) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| ナヅリ ホウエイ 野尻 抱影 | 男 | 1885 1977 | 神奈川県 | 神奈川県 | 『日本人名大事典』 『山梨百科事典』 | 自然科学・医学 | 星の民俗学者、英文学者。 1930年、新発見の第9番惑星プルートに冥王星と命名した。 (『日本人名大事典』) ラフカディオ・ハーン、坪内逍遙、島村抱月に学び相馬御風、會津八一と親交を結ぶ。 1907年5月、甲府中学英語教師として着任。寄宿舎監を兼ね5年間、甲州の風土、人情に大きな関心を持つ。早大講師などを兼ねながら文筆活動、ラジオ放送を通じて天文趣味を全国に普及した。同人誌「中央線」への寄稿も多い。 (『山梨百科事典』) | 『日本星名辞典』(東京堂出版、1978) 『星座の話』(偕成社、1979) 『野尻抱影星は周る』(平凡社、2015) ほか | 『日本人名大事典現代』(平凡社、1979、p598) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p735) 『山梨「人物」博物館』(江宮隆之、丸山学芸図書、1992、p165) 『野尻抱影星は周る』(野尻抱影、平凡社、2015) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ナノ コウ 野田 孝 | 男 | 1901 1984 | 竜王町 | 甲斐市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 社会科学 文学 | 1920年、甲府中学卒。 1921年、阪神急行電鉄(現阪急電鉄)に入社。 1957年、社長に就任。 1981年、会長に就任。 1964年藍綬褒賞、1971年勲二等瑞宝章、1975年大英勲章、1979年レジオン・ド・ヌール勲章、1980年コマンドーレ勲章、1982年勲一等瑞宝章 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『野田考氏の追想』に「遺稿集」(p183~220)に収録あり | 『野田考氏の追想』(阪急百貨店共栄会、1985、年譜あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p329) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ハキイ ヤヨイ 波木井 やよい | 女 | 1928 2010 | 身延町 | 身延町 | 『読みきかせのすすめ』 『親子で読みたい絵本300』 『子どもの本棚』 | 社会科学 | 1945年、東京都立第一高等女学校卒業。 山梨県に疎開し、山梨師範学校女子部本科に入学。 増穂町・中富町で3年、東京都で25年公立小学校に勤務。 後、公民館、学校等での子どもの本の普及活動に尽力した。 日本子どもの本研究会会員。 (『読みきかせのすすめ』) | 『読みきかせのすすめ』(国土社、1994) 『「読みきかせ」ボランティア入門』(国土社、2006) 『親子で読みたい絵本300』(共著、共同通信社、2004) 『授業が生きるブックトーク』(共著、一声社、2007) 『えほん子どものための300冊』(共著、一声社、2004) | 『読みきかせのすすめ』 『「読みきかせ」ボランティア入門』 『子どもの本棚』(2011年1月号No.507追悼記事)(山梨県立図書館所蔵) 『山梨日日新聞』(2000.9.18/11面、2008.5.30/21面) | 2014/12/12 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-------|---------------|---|------------|---|---|--|------------|------|
| ハセカワ シンイチ 長谷川 伸一 | 男 | 1963 | 中富町 | 身延町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | <p>峡南高校空手部に所属し、3年時に国体で4位入賞。 その後アジア大会で準優勝するなど活躍。 整体治療院を開きながら、空手スクールで指導にあたる。 2002年ブラジルで行われた世界空手選手権男子団体「形の部」に2人の弟と出場、6連覇を達成。 2007年、文部科学大臣表彰。 弟：長谷川克英、行光。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』「山梨日日新聞」)</p> | | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 (日外アソシエーツ、2002、p277) 『中富町50年の軌跡』(中富町、2004、p109) 「空手道マガジンJKFan」(新晃社、2004年8月号、表紙・巻頭特集『進化する空手』) 「山梨日日新聞」 (2002.11.24/16面、2007.3.27/14面、2014.7.1/野口賞受賞者、2015.11.1/20面、2017.12.10/23面、2020.9.12/19面) 「朝日新聞」(1998.11.10、山梨版) | 2022/11/30 | 身延 |
| ハセカワ テル 長谷川 テル | 女 | 1912 1947 | 大原村 | 大月市 | 『長谷川テル』 『大月人物伝』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 社会科学 言語 | <p>エスペランティスト、反戦活動家。 通称テル子、照子 エスペラント名ヴェルダ・マーヨ。 中国での通名緑川英子。 エスペランティストの中国人劉仁と結婚。中国に渡り抗日・反戦運動に参加、抗日反戦放送のアナウンサーとなる。 1983年中国政府により四豊山合塚陵園「国際主義戦士」テルと劉仁の比翼墓建立 (『長谷川テル』、『大月人物伝』、『山梨県人物・人材情報リスト2011』)</p> | 『嵐の中のささやき』(新評論、1980) 『長谷川テル作品集』(亜紀書房、1979) | 『長谷川テル』(せせらぎ出版、2007、p306～316、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p337) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p2163～220、顔写真あり) 『望郷の星長谷川テルの青春』(TBSブリタニカ、1980) 『嵐の中のささやき』(新評論、1980、p203～206、顔写真あり) | 2016/11/18 | 大月 |
| ハダ タツオ 羽田 辰男 | 男 | 1928 2008 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 社会科学 | <p>弁護士。1925年中央大学法学部卒。同年司法試験に合格、検事となる。1970年岐阜地検を最後に退官し、弁護士となる。巨額の顧問料を人権擁護活動や学生のために寄付するなどの活動を行う。1989年には羽田人権文化基金を創設。2009年寄付金をもとに「羽田ブックプレゼント事業」を実施する。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』、「山梨日日新聞」)</p> | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p47～48) 「山梨日日新聞」(2009.6.24、18面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|---------|--|--|---|------------|----------|
| ハチウダ マサン 羽中田 昌 | 男 | 1964 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 芸術・スポーツ | サッカー監督。小学校5・6年生の時全国大会優秀選手に選ばれ、中学時代ナショナルトレセンに参加。韮崎高に進学、1年生からレギュラーで活躍し2年連続全国大会準優勝に貢献。プロを志したが1983年交通事故で下半身不随になり車いす生活に。1995年、スペインサッカー協会公認のコーチングスクールに入学。2006年日本サッカー協会S級コーチライセンスを取得。2008～09カマタマーレ讃岐、2012奈良クラブ、2015年東京23FC監督に就任。(『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『みんなの声がかきこえる』(四谷ラウンド、1998)『グラシアス』(四谷ラウンド、1999)『そこからはじまる』(扶桑社、2001)『サッカー監督の流儀』(スキージャーナル、2008)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p567)『必ず、愛は勝つ!』(戸塚啓/著、講談社、2017)『山梨日日新聞2017.6.1614面』 | 2020/10/25 | 韮崎 |
| ハッタ タツヤ 八田 達也 | 男 | 1854 1916 | 鵜飼村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | 蚕糸改良家 政治家 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『蚕事輯説』(内藤伝右衛門、1886) 『新撰養蚕書』(出版社不明、1894) 『秋蚕と風穴』(山梨蚕友会、1906) 『実験秋蚕飼育法』(明文堂、1912) 『蚕桑要説』(柳正堂、1896) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p753) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p177) 『石和町誌2』(石和町、1991、p349～351) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p179～188) ほか | 2022/11/5 | 石和 |
| ハナカタ タケオ 羽中田 壮雄 | 男 | 1924 2017 | 福島県 | 福島県 | 『甲斐の美術・建造物・城郭』 | 歴史・地理 | 1942年、山梨県職員となる。 1960年、山梨県文化財調査委員。 1979年、敷島町文化財審議会会長。 1990年、竜王町文化財保護審議委員。 1999年、勲五等瑞宝章受章。 山梨郷土研究会理事 (『甲斐の美術・建造物・城郭』) | 「光照寺と蘇った薬師堂」(『甲斐中世史と仏教美術』名著出版、1994) 『山梨県の近代化遺産』(山梨県教育委員会、1997、分担執筆) 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、分担執筆) 『山梨の歴史景観』(山梨日日新聞社、1999、分担執筆) 『山梨県史』文化財編(山梨県、1999、分担執筆) 『山梨県の巨樹・名木100選』(山梨日日新聞社、2001、執筆協力) ほか | 『山梨日日新聞』(1999.11.3、5面、2017.12.30、おくやみ) 『甲斐の美術・建造物・城郭』(岩田書院、2002、略年譜p463～467) | 2018/11/29 | 甲府 竜王 |
| ハニハラ イチジヨウ 埴原 一壺 | 男 | 1907 1977 | 白州町 | 北杜市 | 『イマジネーション』創刊号 | 文学 | 古本業、作家。 芥川賞候補3回。 (山梨文芸協会「イマジネーション」創刊号) | 『埴原一壺創作集』(文芸復興社、1968) 『一国一壺ぼろ家の主』(栄光出版社、1977) 『人間地図』(創思社、1969) 『東京湾の風』(栄光出版社、1981) | 『「二足の草鞋を履いた」芥川賞候補作家埴原一壺記』(植松光宏、2002) 『イマジネーション』(山梨文芸協会、創刊号、2002.12) | 2012/7/14 | はくしゅう |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|-------------------------------------|---------|--|----------------------------------|--|------------|------|
| ハニハラ クワジ 埴原 久和代 | 女 | 1879 1936 | 源村 | 南アルプス市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 芸術・スポーツ | 洋画家 甲斐美術協会設立 山梨美術協会結成 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p406) 『山梨美術』(山梨美術協会、1977、p12) | 2020/10/28 | 白根 |
| ハニハラ マサナオ 埴原 正直 | 男 | 1876 1934 | 源村 | 南アルプス市 | 『駐米大使埴原正直』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 社会科学 | 外交官、駐米大使 1916年、サンフランシスコ総領事 1919年、外務事務次官 1922年、駐米特命全権大使 1921年、羅馬帝国(ルーマニア国) 皇帝より第一等勲章 1924年、勲一等旭日大綬章ほか (『駐米大使埴原正直』、『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | | 『駐米大使埴原正直』(雨宮正英、2011) 『「排日移民法」と闘った外交官』 (チャオ埴原美鈴共著、藤原書店、2011) 『日本近現代人名辞典』(臼井勝美 ほか編、吉川弘文館、2001、p837~ 838) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p39) | 2020/10/28 | 白根 |
| ハマダ ショウゾウ 浜田 彰三 | 男 | 1944 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 芸術・スポーツ | 彫刻家。 1966年から岡崎市の石工師のもと で修行。 1971年、富士吉田市にアトリエを開 設し、本格的に活動を始める。みさ か桃源郷公園、忍野村水番小屋、 富士吉田市庁舎前、東京都江戸川 区の親水緑道などにも多くの作品 が設置される。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』) | 『やさしさの石たち』(浜田彰三石 彫、光村印刷、1995) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p304) 「浜田彰三ホームページISHIBORI」 http://www.hamadashozo.com/ (2023.2.22確認) | 2023/2/22 | 富士吉田 |
| ハヤカワ リツグ 早川 徳次 | 男 | 1881 1942 | 浅間村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 | 産業 | 日本初の地下鉄を創設。 東京地下鉄株式会社を設立、鉄道 業界に大きな偉業を残す。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞、 1989、p761) 『東八メモリーズこんなひとがいた』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p189) 『山梨「人物」博物館』(丸山文芸学 芸図書、1992、p152) 『郷土史にかがやく人々集編Ⅳ』 (社団法人青少年育成山梨県民会 議、1997、p111) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、P342~343) 『パンフレットで読み解く東京メトロ 建設と開業の歴史』(実業之日本 社、2014、P33、P42) 『夢の地下鉄冒険列車』(1990、くも ん出版、名前の表記:徳次(リツグ)) 『笛吹市ふるさとの偉人』(笛吹市教 育委員会・笛吹市ふるさとの偉人選 考委員会、2017)『日本の鉄道をつ くった人たち』(悠書館、2010、P231) | 2022/9/21 | 一宮 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------|---------|---|---|---|------------|----------|
| ハヤシ イヱ 林 市江 | 女 | 1931 | 甲府市 | 甲府市 | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』 | 文学 | 歌人。 1970年、短歌研究新人賞受賞。 1985年、潮音賞受賞。 (『やまなし・女性の文学』) | 『銀漢頌』(白玉書房、1978) 『あたたかき闇』(不識書院、1988) | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p49) | 2018/11/28 | 甲府 |
| ハヤシ シゲマツ 林 茂松 (初代) | 男 | 1909 1973 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 陶芸家。初代。 京都国立陶磁器試験所専修科卒業。陶彫を沼田一雄などに師事。 1932年から韮崎市穴山村に窯場を開設。能穴焼と命名。能穴三彩の特徴をもつ。 1952年、全国陶芸展入選。 1953年、第9回日展に初入選。以後、日展を中心に活躍する。 1972年、勲五等瑞宝章、県政功労者の表彰を受ける。 (『山梨百科事典』) 『中央線』創刊号～11号の表紙を飾る。嘯月美術館(南アルプス市)に多数収蔵。 (『山梨「人物」博物館』) | 『中央線創刊号、3～11号』(中央線社、1968年～1974年、表紙の陶彫) 『中央線同上号に詩・随筆』(中央線社、1968年) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p761) 『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編集委員会、1979、p723) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p216) 『中央線第11号(追悼特集)』(中央線社、1974、p.17～61) | 2018/11/27 | 甲府 韮崎 |
| ハヤシ タツノ 林 立人 | 男 | 1933 | 東京都 | 東京都 | 『詩集<モリ>』 | 文学 | 詩人。 日本現代詩人会会員、日本文芸家協会会員。 2000年北杜市明野町に仕事場を構える。 (『詩集<モリ>』) | 詩集『ツエツペリン』(詩学社、1970) 詩集『棺応答集』(花神社、1978) 『詩集<モリ>』(花神社、2004) CD『詩<モリ>を読む』(GroupVEL A、2006) | 『清流』(清流出版、2006年12月号、p14～15) 『山梨日日新聞』(2006.1.26、11面) | 2023/3/1 | 明野 |
| ハヤシ マリコ 林 真理子 | 女 | 1955 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 文学 | 小説家、エッセイスト。 2000年～直木賞選考委員。 コピーライターを経て人気エッセイストの地位を確立。 1986年『最終便に間に合えば』『京都まで』で第94回直木賞受賞。 1995年『百連れんれん』で第8回柴田錬三郎賞受賞。 1998年『みんなの秘密』で第32回吉川英治文学賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』『やまなし・女性の文学』) | 『ルンルン症候群』(角川書店、1983) 『最終便に間に合えば』(文芸春秋、1985) 『本を読む女』(新潮社、1990) 『白連れんれん』(中央公論社、1994) 『文学少女』(文芸春秋、1994) 『素晴らしき家族旅行』(毎日新聞社、1994) 『不機嫌な果実』(文芸春秋、1996) 『みんなの秘密』(講談社、1997) 『葡萄物語』(角川書店、1998) ほか | 『山梨の女性作家たち』(ふじざくらの会、1997、p41～45) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p62～67) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p308) | 2009/1/30 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------------|----|-------------------|--------|---------------|------------------------------------|---------|--|---|---|------------|-----|
| ハヤシヤ ショウシヤク 林家 正雀 | 男 | 1951 | 大月市 | 大月市 | 落語協会ホームページ 『正雀芝居ばなし』 『大月人物伝』 | 芸術・スポーツ | 落語家落語協会所属。 本名井上茂。 山梨県立都留高等学校在学中、落語研究会を設立。 1974年、「八代目林家正蔵」(林家彦六)に入門。 1979年第8回NHK新人コンクール最優秀賞。 1982年八代目正蔵没後、橘家文蔵一門に。 1983年真打昇進。 1996年、芸術選奨大衆芸能部門新人賞。 (落語協会ホームページ、『正雀芝居ばなし』、『大月人物伝』) | 『正雀芝居ばなし』(立風書房、1993) 『師匠の懐中時計』(うなぎ書房、2000) 『増補師匠の懐中時計』(うなぎ書房、2003) 『彦六覚え帖』(うなぎ書房、2012) | 一般社団法人落語協会ホームページ https://rakugo-kyokai.jp/ (2022/10/19確認) 林家正雀公式サイト https://60momc.wixsite.com/shoujyaku (2022/10/19確認) 『正雀芝居ばなし』(著者紹介欄、顔写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p225~228) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p346~347) | 2022/10/19 | 大月 |
| ハヤノ アスサ 早野 梓 (サウトシオ) | 男 | 1946 | 栃木県 | 栃木県 | 『幸福の遺伝子』 『ちよっとミステリー』 | 文学 | 作家(ペンネーム:早野梓、サウトシオ)(株)ファナック(本社所在地:忍野村)労組役員(山梨日日新聞1994.11.10) | 『富士・青木ヶ原樹海事件簿』(批評社、1996)『幸福の遺伝子』(新潮社、1998)『ちよっとミステリー』(批評社、1994)『青木ヶ原樹海を科学する』(批評社、2006) ほか | 『ちよっとミステリー』(サウトシオ、批評社、1994)山梨日日新聞(1994.11.10、1998.5.16、2013.10.5) | 2022/7/31 | おしの |
| ハラダ コト 原田 琴子 | 女 | 1889 1925 | 愛知県名古屋 | 愛知県名古屋市 | 『富沢町誌』 | 文学 | 歌人。 文芸誌「明星」などに投稿し与謝野鉄幹や晶子などの選に入ったり「青鞥」にも寄稿し活躍。 夫の出身地である万沢村へ移住。 (『富沢町誌』下巻)、『「青鞥」人物事典』) | 『ふるへる花』(水の原社1987復刻) | 「蔭の薔薇」(「明星(第2次)」1巻1号、新誌社、1921.10) 「山の日」(「明星(第2次)」1巻2号、新誌社、1921.12) 「峡谷より」(「明星(第2次)」1巻3号、新誌社、1922.1) 『冬の峡谷』(調まどか著、水の原社、1990) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、2002、p416) 『「青鞥」人物事典—110人の群像—』(らいてう研究会編著、大修館書店、2001、P140) | 2023/3/1 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------|-----------|--|---|---|------------|-------|
| ハラダ ジュウゾウ 原田 重三 | 男 | 1921 2006 | 竜王町 | 甲斐市 | 「山梨日日新聞」 『脱走』 | 文学 | 日本文芸家協会、日本ペンクラブ会員。 山梨文芸協会副会長、山梨同人誌 懇話会座長、中村星湖文学賞選考 委員、山梨芸術文化協会委員、「作 家」地区委員。 「すばる」文芸誌主宰。 (『脱走』) | 『忘却の丘』(甲陽書房、1978) 『梟の脱走』(近代文芸社、1994) 『認識票一女の戦記一』(東京図書 出版会、1999) 『脱走』(山梨ふるさと文庫、2004) 『「作家」に関わった山梨の文人た ち』(季刊作家社、2005) 『サンカの墓』(山梨ふるさと文庫、 2006) ほか | 『脱走』(奥付) 「山梨日日新聞」(2006.6.13、11面) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ハラダ ヨシキヨ 原田 義清 | 男 | 1914 1997 | 双葉町 | 甲斐市 | 『双葉町の俳句考』 | 文学 | 豊岡村・登美村農会勤務 山梨県庁職員・技手、技師 双葉町選挙管理委員会長 (『双葉町の俳句考』) | 『双葉町の俳句考』(原田義清、 1999) | | 2018/11/18 | 双葉 |
| ハン ユカ 判 泰 | 男 | 1910 1997 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『浅間神社正史』 | 歴史・地 理 | 元河口浅間神社宮司。 郷土研究者。 (『浅間神社正史』) | 『浅間神社正史』(浅間神社、1983) | | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| ヒガイ センゾウ 樋貝 詮三 | 男 | 1890 1953 | 勝沼町 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家 1946年衆議院議長 1949年国務大臣 小川正子元夫 (『山梨百科事典』) | 『海の慣習法』(良書普及会、1943) 恩給法原論(巖松堂書店、1922) 新恩給法釈義(良書普及会、1923) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p768) 『郷土史にかがやく人々・集合編 II』(青少年のための山梨県民会 議、1980、p241～) 『政治家学人樋貝詮三先生を讃う』 (樋貝詮三先生胸像建設委員会、 1972) | 2012/8/21 | 塩山 |
| ヒグチ アキオ 樋口 明雄 | 男 | 1960 2011 | 山口県 | 山口県 | 『クライム』 | 文学 | 作家、山梨県自然監視員。 (『クライム』) 『約束の地』、第27回日本冒険小説 協会大賞、第12回大藪春彦賞をダ ブル受賞(『目の前にシカの鼻息』) | 『戦場は、フリーウェイ』(双葉社、 1987) 『狼は眠らない』(角川春樹事務所、 2000) 『クライム』(角川春樹事務所、 2006) 『約束の地』(光文社、2008) 『ミッドナイト・ラン!』(講談社、 2011) ほか | 『ミステリアス・ジャム・セッション』 (早川書房、2004、p112～119) 『クライム』(著者略歴) 『目の前にシカの鼻息』(フライの雑 誌、2011) | 2012/7/14 | はくしゅう |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------------|---------|---|--|---|------------|-----|
| ヒグチ イチヨウ 樋口 一葉 | 女 | 1872 1896 | 東京 | 東京都 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 作家 (『山梨百科事典』) 青海学校小学高等科第四級を首席で卒業 歌人中島歌子の「萩の舎塾」へ入る (『新潮日本文学アルバム樋口一葉』) 両親は中萩原村(現在の甲州市出身) | 『一葉全集』(筑摩書房、1954) 『現代日本文学全集第9巻』(改造社、1927) 『全集樋口一葉』(小学館1979) 『樋口一葉小説集』(筑摩書房、2005) 『日本現代文学全集第3巻』(講談社、1977) | 『新潮日本文学アルバム3樋口一葉』(新潮社、1985) 『樋口一葉と甲州』(甲陽書房、1989) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p773) ほか | 2012/8/21 | 塩山 |
| ヒグチ フジオ 樋口 富士雄 | 男 | 1942 | 増穂町 | 富士川町 | 『山梨自然の極』 | 自然科学・医学 | 山梨自然監視員(1985~2001年) 富士山五合目周辺自然解説員(1994年~) (『山梨自然の極』) | 『山梨自然の極』(山梨日日新聞社、2007) | 『山梨自然の極』(奥付) 『山梨日日新聞』(2007.7.25、18面) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ヒグチ マサカズ 樋口 雅一 | 男 | 1946 | 谷村町 | 都留市 | 『萬画堂』だより (本人ホームページ) | 芸術・スポーツ | アニメーターとしてタツノコプロ、虫プロを経てフリーに。『ムーミン』、『まんが日本昔ばなし』ほかのTVアニメ番組で監督・演出・作画を務めたのち、単行書を主とするマンガ家となる。 (『萬画堂』だより) | 『マンガ聖書物語(旧約篇・新約篇)』(講談社、1998) 『マンガグリム童話』(講談社、2003) 『マンガメディチ家物語』(講談社、2005) 『まんがキリスト教の歴史(前・後篇)』(いのちのことば社、2006・2008)『グリム童話(コミック版)』(大和書房、2007)『マンガ聖書物語イエスの弟子たちとパウロ』(いのちのことば社、2009) | 『まんがキリスト教の歴史前篇』(2006、著者紹介) 『『萬画堂』だより』(ブログ) http://d.hatena.ne.jp/manga-do/about (2012.8.9確認) | 2020/10/10 | 都留 |
| ヒコ オクラ 飛児 おくら | 男 | 1954 | 山梨県 | 山梨県 | 『山梨日日新聞』 『少年のひ』 | 文学 | 甲斐市在住。 40代からミステリー小説を書く。 | 『少年のひ』 (文芸社、2021) | 『山梨日日新聞』 (2021.9.14、13面、顔写真あり) | 2022/11/30 | 敷島 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|------------------|----|-------------------|-------|---------------|---|---------|--|--|--|------------|------|
| ヒダ ケイコ 妣田 圭子 | 女 | 1912 2011 | 大阪府 | 大阪府 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 | 芸術・スポーツ | 草絵の創始者。書家。舞踊家。翻訳家。実業家としても幅広く活躍。妣田豊原塾主催。1982年、生活の拠点を山梨市に移す。(『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『ひとりごつインカ』(柏書房、1976) 『草絵宗教画によるいのち生きる私たち』(山雅房、1978) 『見えないものをみる目』(希望社、1983) 『ナラ王物語』(翻訳、サンスクリット・サロン、1983) 『草絵第1～3巻』(京都書院、1989) 『創り出すところ』(日本教文社、1991) 『心経百話』(東方出版、1993) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p314) | 2022/11/27 | 山梨 |
| ヒハラ ムゲン 日原 無限 | 男 | 1885 1930 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 『山梨文芸の研究』 『山梨県アララギ系物故歌人伝』 | 文学 | 歌人 本名は文蔵(ブンゾウ) 地方回りの芝居、浪曲、歌舞、曲芸、奇術などの演劇 塩山藤木の龍光院に歌碑建設 (山梨日日新聞1990.9.119面) | 『日原無限歌集』 | 『山梨百科事典』(p778) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『山梨文芸の研究』『山梨県アララギ系物故歌人伝』 山梨日日新聞2000.10.1712面 山梨日日新聞1990.9.119面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| ヒヤッキマル 百鬼丸 | 男 | 1951 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | 挿絵画家、切り絵画家。 東洋大学工学部建築科卒。 1978年、切り絵の創作活動に入る。単行本・文庫本のカバー画等の挿絵を担当。埼玉県在住。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』) | 『お帰りにさい朝青龍』(内館牧子著、朝日新聞社、2008) 『歌舞伎ギャラリー50』(田口章子編著、学研、2008) 『休眠用心棒』(森村誠一著、中央公論社、2008) 『五万両の茶器』(小杉健治著、光文社、2008) 『孤狼江戸を奔る』(松本茂樹著、広済堂出版、2008) ほか(挿絵) | 『山梨県人物・人材情報リスト2007』 (日外アソシエーツ、2006、p266) 『山梨日日新聞』(2002.7.14、4面) 「百鬼丸ホームページ」 http://www.hyakkimaru.com/ (2014.11.25確認) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ヒラガ ジュン 平賀 淳 | 男 | 1978 2022 | 双葉町 | 甲斐市 | 『山と渓谷2022年10月号』 P124-130ハンター北壁夢の伴奏者「夢を実現できた陰には、つねに心を鼓舞し続ける存在があった。平賀淳に捧げるレクイエム」 | 芸術・スポーツ | 登山家、山岳カメラマン。 韮崎高校山岳部出身。1996年インターハイ登山競技で全国優勝。日本映画学校(現・日本映画大学)に進学。在学中にアドベンチャーレーサーとして、エクアドルやニュージーランド、中国での大会に出場した。2003年から山岳カメラマンとしてヒマラヤ山域を撮影。2007年にはエベレスト山頂からの撮影に成功した。また、NHKの番組『グレートトラバース』と『グレートレース』の山岳映像を手掛けた。2022年アラスカ山中で滑落死。 | <書影撮影図書>小林元喜『さよなら、野口健』(集英社インターナショナル、2022) 野口健『登り続けるということ。』(学研プラス、2021) 神山典士『地球を走った人間寛平アースマロン』(ヨシモトブックス、2011) 野口健『自然と国家と人間と』(日本経済新聞出版社、2009) 野口健『確かに生きる落ちこぼれたら這い上がればいい』(集英社文庫、2009) 野口健『あきらめないこと、それが冒険だ』(学研プラス、2006) | 山本健一「平賀淳という男1」 https://full-marks.com/yamaken/2022/06/05/平賀淳という男%E3%80%801/ 山本健一「平賀淳という男2」 https://full-marks.com/yamaken/2022/06/16/平賀淳という男%E3%80%802/ 光電子アウトドアカメラマン平賀淳 vol.01 https://corp.goldwin.co.jp/kodenshi/archive/hiraga.html 光電子アウトドアカメラマン平賀淳 vol.02 https://corp.goldwin.co.jp/kodenshi/archive/hiraga02.html | 2022/10/16 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------|--|--|---|------------|------|
| ヒラガ フミオ 平賀 文男 | 男 | 1895 1964 | 穂坂村 | 韭崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 芸術・スポーツ | 登山家。 生家で農業に従事、県会議員もつとめた。 山を愛し文章をよくし、1922年、南アルプスの甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、北岳を縦走。 積雪期の南アルプスも踏破、開拓した。 1924年、甲斐山岳会を創立。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『日本南アルプスと甲斐の山旅』(マウンテン、1926) 『日本南アルプス』(博文館、1929) 『ハケ岳火山群』(木星社書院、1932) 『赤石渓谷』(隆章閣、1933) 『中央アルプスと御岳』(大村書店、1936) ほか | 『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p568) 『平賀文男ノート』(樋口清作、白山書房、2007) | 2018/11/27 | 韭崎 |
| ヒラタ センホウ 平田 泉鳳 | 男 | 1906 1975 | 武川村 | 北杜市 | 『武川村誌下巻』 | 社会科学 | 武川村社会教育委員、教育長を歴任し、昭和36年度県政功績者として表彰。 (『武川村誌下巻』) 郷土民謡縁故節と馬八節の普及宣伝に努力した。 (『文協むかわ創立20周年記念誌』) | 「馬八節」(民謡、1934) (『文協むかわ創立20周年記念誌』武川村文化協会、1992、p89~90) 「馬八物語」(『武川の文化財と民謡・伝説・伝記・童謡代1集』、武川村教育委員会、1980、p21~26) 『武川村誌下巻』(武川村、1986、p860~861、p874~876) | 『武川村誌下巻』(p536~539) 『文協むかわ創立20周年記念誌』(p100) | 2012/7/30 | むかわ |
| ヒラヤマ ユウ 平山 優 | 男 | 1964 1975 | 東京都 | 東京都 | 『真田三代』 | 歴史・地理 | 東京都出身。立教大学大学院修了。専攻は日本中世史。山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、山梨県史編さん室主査、山梨大学非常勤講師、山梨県教育庁学術文化財課主査、山梨県立博物館副主幹を経て、現在は山梨県立中央高等学校教諭。南アルプス市在住 『真田三代』(PHP研究所、2011) | 『戦国大名領国の基礎構造』(校倉書房、1999) 『武田信玄』(吉川弘文館、2006) 『山本勘助』(東京、2006) 『検証長篠合戦』(吉川弘文館、2014) 『山梨「地理・地名・地図」の謎』(実業之日本社、2015) 『真田三代の挑戦』(NHK出版、2016) 『真田一族』(サンニチ印刷、2016) 『武田氏滅亡』(KADOKAWA、2017) ほか | 「山梨日日新聞」(2000.7.1、19面、2014.11.14、12面、2017.3.22、15面、2017.5.28、20面、2019.1.25、13面、2019.4.26、13面、顔写真あり、2019.9.8、24面、2019.12.6、13面顔写真あり、2020.10.28、8面、顔写真あり) | 2020/10/28 | 櫛形 |
| ヒロセ ゲンキョウ 廣瀬 元恭 | 男 | 1821 1870 | 藤田村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』 『コンサイス日本人名事典』 | 自然科学・医学 | 医師、蘭学者。 京都に蘭学塾時習堂を開く。 伊勢国津藩の医員。 官軍病院の初代院長。 天然痘の絶滅を期して西洋の諸書を研究した。学問の幅が広く、医学のほか、洋式兵学・築城・砲術に通じる。 (『山梨百科事典』『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』『コンサイス日本人名事典』) | 『新訂牛痘奇法』(広瀬元恭校、絵入本、1849) 『知生論』(広瀬元恭天目訳、幕末期生理学書、1856) 『西医脈鑑』(広瀬元恭訳、時習堂、1857) 『人身窮理』(広瀬元恭再訳、時習堂蔵版、1855)ほか | 『知られざる蘭医の夢ー広瀬元恭の生涯』(加藤雅彦著、近代文藝社、1993) 『京都時習堂ー幕末の蘭医広瀬元恭の生涯』(鬼丸智彦著、アーカイブス出版、2008) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p663) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(青少年のための山梨県民会議、1987、p255~275) 『コンサイス日本人名事典第4版』(三省堂、2001、p1109) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p463) | 2020/10/28 | わかかき |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------------|-----------|---|---|---|--------------------------|------|
| ヒロセ ナオ 広瀬 直人 | 男 | 1929 2018 | 一宮町 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 俳人 『白露』主宰 1968年山廬賞(第4回)受賞 NHK全国俳句大会選者、やまなし 文学賞実行委員、山日芸俳句選 者 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『婦路』(雲母社、1972) 『朝の川』(富士見書房、1986) 『遍照』(ウエップ、2004) 『日の鳥』(邑書林、1997) 『矢竹』(花神社、2002) 『風の空』(角川書店、2008) 『飯田龍太の俳句』(花神社、1985) 『俳句実作入門』(富士見書房、 1993)『廣瀬直人全句集』(角川文化 振興財団、2020)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、P346～ 347) 『新訂現代日本人名録④』(日外ア ソシエーツ、p17) 『作句の現場』(角川文芸出版、 2007) 『山梨日日新聞』(2008.10.11、15面) 『山梨日日新聞』(2008.11.26、13 面) | 2022/10/13 | 石和 |
| ヒロセ ワイク 廣瀬 和育 | 男 | 1849 1925 | 藤田村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 貴族院議員、第十銀行頭取。 賞付会社釜石社を設立。書画に 優れる。 (『山梨百科事典』) | 『山梨大弐先生事蹟考』(広瀬和育 共著、山梨県教育会、1931) 『訳文柳子新論』(広瀬和育共編、 広瀬和育、1924、山梨県立図書館 蔵)ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1972、p664) 『図説韭崎・巨摩の歴史』(郷土出版 社、2000、p210、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p22、72) | 2020/10/28 | わかきさ |
| ピンナカ シゲミチ 備仲 臣道 | 男 | 1941 | 朝鮮 | 韓国 | 『美は乱調にあり、生は無限 にあり』 『内田百閒我楽多箱』 | 歴史・地 理 | 1941年、朝鮮忠清南道大田生ま れ。 1945年、日本の敗戦により帰国、尾 道を経て山梨へ。 1959年、山梨県立甲府第一高校 卒。 山梨時事新聞に入社し記者となる。 同労働組合書記長。 1982年、月刊「新山梨」を創刊、編 集発行人となる。 1993年、同誌を134号まで発行して 休刊。 2009年、国立市へ転居。 2002年、「メロンとお好み焼き」で第 6回岡山・吉備の国内田百閒文学賞 優秀賞を受賞。 (『内田百閒我楽多箱』) 美術団体「猿の会」事務局長。 (『美は乱調にあり、生は無限にあ り』) | 『千塚物語』(花郷堂書林、1979) 『蘇る朝鮮文化』(明石書店、1993) 『輝いて生きた人々』(山梨ふるさと 文庫、1996) 『美は乱調にあり、生は無限にあり』 (批評社、2006) 『司馬遼太郎と朝鮮』(批評社、 2007) 『坂本龍馬と朝鮮』(かもがわ出版、 2010) 『内田百閒我楽多箱』(皓星社、 2012)『坂本篤艶本狂詩曲』(皓星 社、2016) | 『美は乱調にあり、生は無限にあり』 (批評社、2006、奥付) 『内田百閒我楽多箱』(皓星社、 2012、奥付) | 2014/11/27 2022/11/07 | 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|------|--|---|--|------------|-----|
| カサワ イシミ 深沢 泉 | 男 | 1909 1998 | 中富町 | 身延町 | 『中富町誌』 『甲州方言』 『山梨日日新聞』 | 言語 | 戦前山梨県公立小中学校・山梨師範訓導・教諭。 派遣された中国で日本中学校の教諭を勤める。 帰国後は山梨県立高校教諭、山梨大学教授。 産経新聞山梨版に甲州方言解説を掲載。 NHKラジオ『甲州百話』で、民話等の脚本を担当。 1970年『唐以王』で旺文社学芸コンクール文部大臣賞。 山梨方言研究会会員。 (『甲州方言』) | 『山梨県政六十周年誌』(山梨県、1952、p1415～) 『甲州方言』(甲陽書房、1976) 『唐似王』(旺文社、1970) | 『中富町誌』(中富町誌編纂委員会、1971、p1034) 『甲州方言』(奥付) 『山梨日日新聞』 (1989年連載「甲州弁の風景」 1.16/1.23/2.20/2.27/3.27/4.10/4.17/ 4.24/5.8/6.5/6.19/、 1998.6.17、16面、1998.6.24、16面 1998.12.30/12面) | 2022/11/30 | 身延 |
| カサワ カンコウ 深澤 完興 | 男 | 1936 2019 | 長坂町 | 北杜市 | 『昭和町誌』 | 文学 | 元教員 2005年1月「歌会始の儀」入選 西条小学校校歌作詞 常永小学校校歌作詞 元昭和町立図書館館長 元北杜市立たかね図書館館長 元昭和町教育長 | 『雪ふれ降り深澤完興句集』(半熟、2007) 『百日紅真つ赤深澤完興第二句集』(半熟、2008) 『まほろば深澤完興歌集』(文芸書房、1998) 『ちちはは深澤完興歌集』(深澤完興、1983) 『ことばの学習としての単元の誕生』/編(東洋館出版社、1993) 『考える力を育てる説明文の指導』/編(東洋館出版社、1994) | 『昭和町誌』(1990、P1081) | 2022/8/31 | 昭和 |
| カサワ キッペイ 深沢 吉平 | 男 | 1885 1957 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『郷土研究こうさい20号』 | 社会科学 | 酪農の先覚者。 明治36年、一家で北海道音江村(現深川市)に入植。30歳で音江村の村長になり、その後、衆院議員、北海道製酪販売連合会理事、北海道興農公社社長などを歴任。(「郷土研究こうさい20号」) | | 『郷土研究こうさい20号』(南アルプス市文化協会甲西地区郷土研究部、2004、p10) | 2012/8/21 | 甲西 |
| カサワ シロウ 深沢 七郎 | 男 | 1914 1987 | 石和町 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』 | 文学 | 小説家 1956年『榎山節考』で中央公論新人賞受賞 1965年「ラブミー農場」を開く 1980年『みちのくの人形たち』が川端康成文学賞に選ばれるが辞退 1981年『みちのくの人形たち』で谷崎潤一郎賞受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』『山梨百科事典』) | 『榎山節考』(新潮社、1977) 『みちのくの人形たち』(中央公論社、1980) 『笛吹川』(中央公論社、1958) 『甲州子守唄』(読売新聞社) 『生きているのはひまつぶし』(光文社、2005) 『盆栽老人とその周辺』(文芸春秋、1973)『榎山節考/東北の神威たち 深沢七郎短篇集』(中央公論社、2014) ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p794) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p347～349) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政組合、2002、p201～214) 『深沢七郎ラプソディ』(福岡哲司著、TBSブリタニカ、1994) 『深沢七郎の文学』(山梨県立文学館、2011) ほか | 2022/10/13 | 石和 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------|---|---|---|------------|-----|
| フカサワ タツト 深澤 竜人 | 男 | 1964 | 山梨県 | 山梨県 | 『市民がつくる半自給農の世界』 | 産業 | 明治大学政治経済学部兼任講師、山梨学院大学経営情報学部非常勤教員、産業能率大学兼任教員。半農半X実践・研究者。 (『市民がつくる半自給農の世界』) | 『市民がつくる半自給農の世界』(農林統計協会、2014) | | 2014/11/14 | 昭和 |
| フカサワ ナオト 深澤 直人 | 男 | 1956 □ | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」 「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」 | 芸術・スポーツ | プロダクトデザイナー。 甲府工業高校、多摩美術大学卒。 国内外のプロジェクトを多数手掛ける日本のトップデザイナーとして活躍する。 2007年、ロイヤルデザイナー・フォー・インダストリー(英国王室芸術協会)の称号を授与。 グッドデザイン賞審査委員長(2010～2014年)。 日本民藝館5代目館長。 多摩美術大総合デザイン学科教授。 良品計画デザインアドバイザーボード、マルニ木エアートディレクターなども務める。 2018年、イサム・ノグチ賞受賞。 (「山梨日日新聞」) | 『デザインの輪郭』(TOTO出版、2005) 『AMBIENT』(現代企画室、2017) 『ふ・つう』 (D&DEPARTMENTPROJECT、2020) ほか | 「山梨日日新聞」(2012.7.11、26面顔写真あり、2017.8.24、13面顔写真あり、2018.5.24、24面顔写真あり) 「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」 https://naotofukasawa.com/ja/about/ (2022.09.07) | 2022/9/30 | 甲府 |
| フカサワ ヨシモリ 深沢 義守 | 男 | 1905 1966 | 身延村 | 身延町 | 『身延町誌』 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 日本大学在学中から農民運動に参加。全国農民組合全国会議派県連書記長となる。 1932年、「共産党事件」で投獄。 1945年、社会党県連組織部長、日本農民組合県連書記長となる。 1949年、日本共産党入党。県内初の共産党代議士となる。日本農民組合中央委員として活動するが、党と対立し離党。後、首都圏住宅生活共同組合常任理事。 (『身延町誌』『山梨百科事典』) | 『八人の同志の手記—私はなぜ共産党に入ったのか』(解放社、1949、p175～202) 『農民運動研究』(農民運動研究会、1957) | 『山梨思想運動史』(山梨思想問題研究所、1950、p48、63、75、144～) 『身延町誌』(身延町誌編集委員会、身延町役場、1970、p1182) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p795) 『女性が主役戦前山梨の労働運動史』(山寺勉、1990、p568～) 『近代日本社会運動史人物大事典4』(日外アソシエーツ、1997、p85) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p367) 『山梨新報』(2000.2.12、8面) ほか | 2014/12/12 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|---------------|--|--|---|------------|-----|
| フカダ キウヤ 深田 久弥 | 男 | 1903 1971 | 石川県 | 石川県 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ 文学 | 作家、登山家。 「文学界」同人として文学活動を始める。 太平洋戦争後は山登りを再開。 1966年、トルコから中央アジアを経てソ連まで踏査。日本山岳会山梨支部会員らとともに韮崎市から茅ヶ岳へ登山中、山頂付近で脳卒中のため倒れる。 (『山梨百科事典』) 韮崎市では、深田記念公園を設置し、記念碑を建立。氏の遺徳をしるぶ「深田祭」を毎年実施している。 (「韮崎市観光協会」ホームページ) | 『日本百名山』(新潮社、1964) 『わが山山』(改造社、1934) 『シルクロードの旅』(朝日新聞出版、1978) 『山の文学全集』(朝日新聞社、1974) 『深田久弥の山がたり』1～3(二見書房、2000) ほか | 『世界山岳百科事典』(山と溪谷社、1971、p612) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p795) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p205) 『深田久弥その山と文学』(近藤信行、平凡社、2011) 『山ありて、わが人生は楽し』深田久弥を偲んで『韮崎市2021年「深田久弥と穴山町」「穴山町ふるさとの風土を次世代に」推進委員会2022年「韮崎市観光協会」ホームページ http://www.nirasaki-kankou.jp/?page_id=254 (2018.11.27確認) ほか | 2022/11/30 | 韮崎 |
| フクオカ テツシ 福岡 哲司 | 男 | 1948 2015 | 甲府市 | 甲府市 | 『近代山梨の光と影』 『本の本』 「山梨日日新聞」 | 文学 | 県立高校教諭、山梨県立図書館長、作家。 近代文学史、近代思想史、国語教育専攻。 1994年『深沢七郎ラプソディ』が第3回開高健賞(奨励賞)、1995年第9回中村星湖文学賞(特別賞)受賞。 平成20年度甲府市民文化奨励賞受賞。 (『近代山梨の光と影』『山梨県人物・人材リスト2023』『山梨日日新聞』) | 『深沢七郎ラプソディ』(TBSブリタニカ、1994) 『遠い散歩近い旅』(山梨ふるさと文庫、2003) 『近代山梨の光と影』(山梨日日新聞社、2006) 『樋口一葉日記全釈若葉かげ』(「文芸思潮」第9号、アジア文化社、p190～203) ほか | 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p368) 『山梨日日新聞』(2006.7.8、15面、2009.1.29、17面、2015.7.22、27面、2015.12.18、15面、写真あり) 『福岡哲司の遠い散歩近い旅・猫町文庫店』 http://ccnet.easymyweb.jp/member/fukuoka/ (2023/2/23確認、最終記事日付2015/1/22) | 2023/2/23 | 県立 |
| フクダ キネオ 福田 甲子雄 | 男 | 1927 2005 | 白根町 | 南アルプス市 | 『花曇』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 文学 | 俳人。 「白露」同人。飯田蛇笏・龍太親子に師事。 1969年第5回山廬賞受賞、2002年第26回野口賞、2004年第38回蛇笏賞、山梨県文化省特別賞受賞、2003年白根町特別功労者表彰。 (『花曇』) | 『曇火』(雲母社、1971) 『飯田蛇笏』(桜楓社、1973) 『白根山麓』(邑書林、1982) 『盆地の灯』(角川書店、1992) 『肌を通して覚える俳句』(朝日新聞社、1999) 『飯田龍太の四季』(富士見書房、2001) 『草風』(花押社、2003) 『蛇笏・龍太の旅心』(山梨日日新聞社、2003) 『師の掌』(角川書店、2005) 『福田甲子雄全句集』(ふらんす堂、2018) ほか | 『花曇』(福田甲子雄展実行委員会、2011、p118～119) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p346) 『福田甲子雄全句集』(ふらんす堂、2018、p259～290) 『福田甲子雄の世界』(「俳句研究」第63巻2号、富士見書房、1995、p15～58) 『福田甲子雄『盆地の灯』』(「俳句」第42巻5号、角川書店、1993、p164～182) 『追悼・福田甲子雄』(「俳句朝日」通巻125号、朝日新聞社2005、p38～43) 『山梨日日新聞』(2005.4.26、10面、19面、2005.4.30、10面、2018.10.13、14面、顔写真あり)ほか | 2020/10/28 | 白根 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------------|-------------|---|---|--|------------|-----|
| フクタ シュウジ 福田 修二 | 男 | 1951 | 白根町 | 南アルプス市 | 「山梨日日新聞」 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』 | 産業 | 山梨県白根町(現南アルプス市)出身。 山梨県立巨摩高等学校を経て、福島大学卒業。 昭和49年(1974)小野田セメント(現太平洋セメント)入り。執行役員などを経て平成22年(2010)8月から取締役常務執行役員。平成24年(2012)4月から代表取締役社長。 「山梨日日新聞」(2012.2.298面)2018年から会長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p150) 『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社、4436号) 『財界』(財界研究所、1518号) 『山梨日日新聞』(2012.2.298面、2013.2.98面) | 2020/10/28 | 白根 |
| フジマ イサム 藤嶋 勇 | 男 | 1931 | 清哲村 | 韮崎市 | 『山菜の絵本』 | 産業 | 山梨県農業改良普及員、野菜・花き専門技術員、山梨県農業試験場八ヶ岳分場場長、農業改良普及所所長などを歴任。タラノメなど山菜の園芸科研究を続け全国の山菜栽培普及に尽力。(『山梨県人物・人材情報リスト2000』)山菜類の園芸化をはかり、経営・技術の普及に努めた(『山菜の絵本』) | 『タラノメ』(農山漁村文化協会、1997年) 『山菜の絵本』(農山漁村文化協会、2010) | 『山梨県人物・人材情報リスト2000』 (日外アソシエーツ、2000、p327) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| フジタニ ミサオ 藤谷 みさを | 女 | 1901 1984 | 山口県 | 山口県 | 『山梨の女性作家たち』 | 歴史・地理 文学 | 教員、史学者、随筆家。 1927年結婚して春日居町に居住。 1940年東京日日新聞が皇紀二千六百年記念事業で募集した論文に一等当選し、50万部を突破するベストセラーとなる。 1951～1954年徳富蘇峰『近世日本国民史』の口述筆記をつとめる。 (『山梨の女性作家たち』) | 『皇国二千六百年史』(大阪毎日新聞社、1940、県立図書館所蔵) 『蘇峰先生の間像』(明玄書房、1958、県立図書館所蔵) 『あしのうら』(金剛出版、1964、県立図書館所蔵) 『一期一会』(野ばら社、1969) 『こぶしの花』(野ばら社、1971、県立図書館所蔵) 『次善を生きる』(風濤社、1980、県立図書館所蔵) 『老人ホームの四季』(社会保険出版社、1983、県立図書館所蔵) | 『山梨の女性作家たち』(ふじざくらの会、1997、p48～55) 『甲斐路ふるさとの文学散歩』(山梨日日新聞社、1989、p57) | 2022/10/22 | 春日居 |
| フジハラ ミル 藤原 実 | 男 | 1974 | 甲府市 | 甲府市 | 『現代オタク用語の基礎知識』 「山梨日日新聞」 | 社会科学 | 会社経営者。 2009年『現代オタク用語の基礎知識』発刊。 (「山梨日日新聞」) 女性オタク向け古典朗読CD企画制作販売を手掛ける。 (『知っているだけで恥ずかしい現代オタク用語の基礎知識』) 2013年、藤原実税理士事務所設立。 (「藤原実税理士事務所」ホームページ) | 『現代オタク用語の基礎知識』(ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009) 『萌えビジネスに学ぶ「顧客を熱中させる」技術「売れない時代」の新しいマーケティング論』(中経出版、2012) 『まいにち見るのに意外と知らないIT企業が儲かるしくみ』(技術評論社、2014) | 「山梨日日新聞」(2009.8.2、12面) 「藤原実税理士事務所」ホームページ https://www.morestartups.net/ (2022.9.8確認) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------|----|-------------------|-----|---------------|------------------------------|---------------------|--|---|---|------------|-----|
| フジマキ アイコ 藤巻 愛子 | 女 | 1940 | 塩山市 | 甲州市 | 『かみず』 『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』 | 芸術・スポーツ 言語 文学 | 山梨むかしがたりの会主宰 日本民話の会会員 日本民話研究会会員 民話と文学の会会員 (『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』) | 『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』(甲州民話房、2005) 『かみず』(藤巻愛子、2008) 『昔話ふるさとへの旅』CD(キングレコード、2005) 『甲州弁いろはカルタ』CD(榊苗木の村、2004) | 『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』 『かみず』 | 2012/8/21 | 塩山 |
| フジマキ カイイチロウ 藤巻 嘉一郎 | 男 | 1872 1946 | 清哲村 | 韮崎市 | 『甲斐路の夜明け「信玄旗掛松事件」とその社会的背景』 | 社会科学 | 明治法律学校卒業。 判検事登用試験に合格、司法官試験に任命され検事代理として岐阜区裁判所に赴任。 1900年12月、甲府地方裁判所の判事として赴任。 1908年、弁護士を開業 1914年、甲府弁護士会の会長に選出。 1917年1月、「信玄旗掛松事件」の訴訟代理人となり、甲府地方裁判所へ提訴。 翌1918年1月、原告側の勝訴となる。その後東京控訴院、大審院でも原告が勝訴して確定。 1931年、弁護士を廃業して公証役場を開く。 (『甲斐路の夜明け「信玄旗掛松事件」とその社会的背景』) | | 『甲斐路の夜明け「信玄旗掛松事件」とその社会的背景』(新藤東洋男、創研出版、1990、p136～p188) 「甲斐路」第72号(山梨郷土研究会、1992) 「山梨日日新聞」(2018.10.10、18面、写真あり) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| フジマキ カメキチ 藤巻 亀吉 | 男 | 1852 1916 | 南部町 | 南部町 | 『南部地区における明治の群像』 | 産業 | 地方開発の業績により日本で17番目の緑綬褒章授与。 1877年、西八代郡第21学区学務員。 1893年、栄銀行(興農社)頭取就任。 1896年、県議会議員に当選以来32年間、県政に尽力。 (『南部地区における明治の群像』) | | 『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p11) | 2012/8/14 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|----------|-----|---------------|---------------------------------|---------|---|---|---|------------|-----|
| フジマキ リョウタ 藤巻 亮太 | 男 | 1980 | 御坂町 | 笛吹市 | 「レミオロメン公式サイト」 | 芸術・スポーツ | 2000年に結成したバンド、「レミオロメン」のボーカル・ギター。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でインディーズデビュー。レコード店のインディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデビュー。2005年にリリースされた8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐市)にて史上初の滑走路ライブを開催し、3万人を動員。 2012年2月活動休止 (レミオロメン公式サイト) 2012年2月Single「光をあつめて」でソロデビュー。同年10月にはソロ1stAlbum「オオカミ青年」をリリース。 2018年から山中湖交流プラザきららで、野外音楽フェス「Mt.FUJIMAKI」を主催。(「山梨日日新聞」) | Single 「粉雪」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2005) 「茜空」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2007) 「夢の蕾」 (OORONGRECORDS2009)ほか Album 「HORIZON」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2006) 「風のクロマ」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2008) 「レミオベスト」 (OORONGRECORDS2009)ほか ソロSingle 「光をあつめて」ほか ソロAlbum 「オオカミ青年」 「旅立ちの日」 「日日は好日」ほか | 「レミオロメン公式サイト」 http://www.remioromen.jp/ (2022.10.8確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版(日外アソシエーツ、2004、p995～996) 「H」(ロッキング・オン、2006年9月号、p12～29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二、汐文社、2007) 「藤巻亮太オフィシャルサイト」 https://www.fujimakiryota.com/ (2022.10.8確認) 山梨日日新聞(2018.6.26、2020.8.24他) | 2022/10/8 | 御坂 |
| フジモト シュン 藤本 俊 | 男 | 1950 | 広島県 | 広島県 | 「山梨日日新聞」 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 芸術・スポーツ | 中央市在住。モンリオール五輪体操男子団体総合金メダリスト、山梨大学名誉教授。 紀陽銀行を経て1976年1月山梨大学助手となる。同年夏のモンリオール五輪で団体総合優勝。 2017年国際体操殿堂入り。スポーツ功労賞、日本スポーツ賞、朝日賞、山梨県体育協会体育功労者 | 『男子・体操競技(鞍馬・平行棒編)』(泰流社、1978) | 「山梨日日新聞」(2017.7.1、p41) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p282、p573) | 2020/10/23 | 田富 |
| フジワラ ヒサコ 藤原 緋沙子 | 女 | 不詳 | 高知県 | 高知県 | 『雁の宿』 『菜の花の道』 | 文学 | 小説家・脚本家。 高知県生まれ。立命館大学文学部史学科卒業。 小松左京主宰「創翔塾」出身。 2009年3月より笛吹市在住。 テレビドラマ「暴れん坊将軍」「はぐれ刑事純情派」などの脚本を手掛ける。 2013年「隅田川御用帳」シリーズで第2回歴史時代作家クラブ賞シリーズ賞受賞。 (『雁の宿』、『菜の花の道』、「広報ふえふき」2010年9月号・2013年1月号、「産経ニュース」ホームページ) | ○隅田川御用帳シリーズ 『雁の宿』(広済堂出版、2002) 『秋の蟬』(光文社、2018)ほか ○藍染袴お匙帖シリーズ 『風光る』(双葉社、2005) 『色なき風』(双葉社、2021)ほか ○見届け人秋月伊織事件帖シリーズ 『遠花火』(講談社、2005)ほか ○切り絵図屋清七シリーズ 『ふたり静』(文藝春秋、2011)ほか 『恋の櫛』(新潮社、2018) 『ほたる茶屋』(KADOKAWA、2020) 『岡っ引黒駒吉蔵』(文藝春秋、2022) 『菜の花の道』(KADOKAWA、2022) 『永代橋』(光文社、2022) ほか | 「山梨日日新聞」(2010.10.30、11面) 「広報ふえふき」(2010年9月号、p37・p39、2013年1月号、p28) 「産経ニュース」(2013.5.27) http://www.sankei.com/life/news/130527/lif1305270031-n1.html (2022.8.27確認) | 2022/10/13 | 春日居 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------------|---------|--|--|--|------------|-------|
| フワラ ヨシアキ 藤原 義章 | 男 | 1942 | 秋田県 | 秋田県 | 『リズムはゆらぐ』 | 芸術・スポーツ | ヴァイオラ奏者・指揮者 (『リズムはゆらぐ』) 南アルプス市在住 | 『リズムはゆらぐ』(白水社、1990) 『新しいアンサンブル入門』(春秋社、1992) 『ヴァイオリンとヴァイオラの小百科』(春秋社、1999) 『美しい演奏の科学』(春秋社、2006) | 『山梨日日新聞』 (2006.2.18、15面、2008.8.4、16面) | 2023/3/9 | 櫛形 |
| フミタ ケンイチロウ 文田 健一郎 | 男 | 1995 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 芸術・スポーツ | レスリング選手(グレコローマン)。 2010年、全国中学生選手権優勝。 2011～2013年、韮崎工業高校在学中 全国高校生グレコローマン選手権と 国体グレコローマンで3連覇。 日体大に進み、2014年世界ジュニア 選手権60キロ級出場。 2015年、全日本選手権と国体を制す。 2017年、アジア選手権優勝、全日本 選手権2連覇。初出場の世界選手権 で金メダル。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 2017年、韮崎市民栄誉賞受賞。 (『広報にらさき』) 2018年、第42回野口賞受賞。 (『山梨日日新聞』) 2021年、東京2020オリンピック競技 大会レスリング男子グレコローマン 60キロ級銀メダル(『広報にらさき』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p573) 『広報にらさき』(2018年10月号) 『山梨日日新聞』(2018.7.1、52面、 写真あり) 『広報にらさき』(2021年9月号、写 真あり) | 2022/11/30 | 韮崎 |
| フルヤ カズオ 古屋 和雄 | 男 | 1949 | 小立村 | 富士河口湖町 | 『世代を超えて』 | 社会科学 | 早稲田大学経済学部卒業後、1972 年NHK入局、テレビ・ラジオの情報 系を中心に活躍。 (『世代を超えて』) | 『愛されたい症候群』(講談社、1986) 『余った人生なんてない』(かもがわ 出版、1998) 『おくればせながら男の出番です』 (旬報社、1992) 『優しく「老い」をみつめたい』(かも がわ出版、1990) 『くやし涙うれし涙神戸』(PHP研究 所、1996) | 『愛されたい症候群』(講談社、 1986、奥付) 『余った人生なんてない』(かもがわ 出版、1998、奥付) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| フルヤ カネオ 古屋 兼雄 | 男 | 1920 2010 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『甲府盆地に残る虚構と真 実』『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 軍籍4ヶ月の後、甲西町議会議員 当選2期、甲西町民生委員長、甲 西町消防団長、甲西町選挙管理委 員長、甲西町文化協会会長、中巨 摩郡郷土研究部事務局長等(『甲府 盆地に残る虚構と真実』) | 『富田城の発見』(富田城顕彰会 1977) 『武田意外史』(近代文藝社1994) 『甲府盆地に残る虚構と真実』(やま なしふるさと文庫2008) | 『甲府盆地に残る虚構と真実』(やま なしふるさと文庫、2008、奥付) 『山梨日日新聞』(2010.11.1020面) | 2013/1/19 | 甲西 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------|------------|---|--|--|------------|-------|
| フルヤゴロウ 古屋 五郎 | 男 | 1910 1995 | 菅原村 | 北杜市 | 『白州町誌』 『南十字星の下に』 | 文学 社会科学 | 初代白州町長 県町村会長 全国町村会常任理事 県農業構造改善審議会議長 県農業合併促進審議会議長 県農林統計会長 砂防協会会長 河川協会会長 日本赤十字山梨支部副支部長 国立公園協会県支部長 (『白州町誌』『南十字星の下に』) | 『甲斐路ふるさとの文学散歩』 (山梨日日新聞社、1989) 『南十字星の下に』(新聞春秋社、1964) 『南方第九陸軍病院南十字星の下に』(ほるぶ出版、1989) | 『白州町誌』(白州町、1986、p1445) 『南十字星の下に』(新聞春秋社、1964、p239) | 2013/1/30 | はくしゅう |
| フルヤ トクヘエ 古屋 徳兵衛 | 男 | 1849 1911 | 上教来石村 | 北杜市 | 『松屋一五〇年史』 | 産業 | 1869年横浜で鶴屋呉服店を開業。 1889年東京神田の松屋呉服店を買取し、1907年百貨店(現在の松屋)とする 「バーゲンデー」の生みの親 (『松屋一五〇年史』、 | | 『松屋一五〇年史』(松屋2019、p21～) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p827) 「山梨日日新聞」(2020.8.4、17面、顔写真あり) | 2020/10/23 | はくしゅう |
| フルヤ ヒサアキ 古屋 久昭 | 男 | 1943 | 御坂町 | 笛吹市 | 『古屋久昭詩集』 | 文学 | 詩人 山梨県詩人会の理事長、会長などを務める 日本現代詩人会が主催する、第72回「H氏賞」の選考委員長 (『古屋久昭詩集』『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『三色隣り合わせ』(美和草舎、1993) 『虫らしく花らしく』(美和草舎、1996) 『日用散策』(山梨ふるさと文庫、2004) 『古屋久昭詩集』(土曜美術社出版販売、2015) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p350) 『朝日新聞』(2022、2/24) | 2022/10/13 | 石和 |
| ホウシヨウ ユウコ 北条 裕子 | 女 | 1985 | 白根町 | 南アルプス市 | 『山梨日日新聞』 | 文学 | 山梨学院高、青山学院大第二経済学部卒業 2018年4月、『美しい顔』で第61回群像新人賞を受賞し、作家デビュー。 『山梨日日新聞』(2018.6.1822面) | 『美しい顔』(「群像」第73巻6号、講談社、2018) 『美しい顔』(講談社、2019) | 「群像」(第73巻6号、講談社、2018、p6～85) 「山梨日日新聞」(2018.6.18、22面、顔写真あり、2018.5.18、12面、顔写真あり、2018.7.12、29面、顔写真あり、2019.5.17、12面、顔写真あり、2019.6.19、12面、顔写真あり) | 2020/10/28 | 白根 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|----------------------------------|---------|---|---|--|------------|-------|
| ポール ホリウチ ポール 堀内 | 男 | 1906 1999 | 大石村 | 富士河口湖町 | 『富士北麓と文人たち』 | 芸術・スポーツ | 画家。コラージュ作家。 1955年全米タッパウエアコンペ賞、 1960年フォード財団賞、1970年各州 一人の年間政府賞をはじめ30賞以 上。 1968年ワシントン州ビュージッド・サ ウンド大学名誉博士、1976年勲4等 瑞宝章、1979年セント・マーチン大 学名誉博士。 (『富士北麓と文人たち』) | | 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄、 ぎょうせい、1986、p267～283) 『雪解流』(6号、p55～65) 『山梨県立美術館蔵品抄』(山梨県 立美術館、1978、p130) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| ホカ カズシ 保坂 和志 | 男 | 1956 | 増穂町 | 富士川町 | 『ザやまなし』 『山梨県人物・人材リスト 2023』 | 文学 | 小説家。 1993年『草の上の朝食』が野間文芸 新人賞受賞。 1995年『この人の闘』が第113回芥 川賞受賞。 1997年『季節の記憶』が第25回平林 たい子文学賞(小説部門)、第33回 谷崎潤一郎賞受賞。 (『小説、世界の奏でる音楽』) 2013年『未明の闘争』が第66回野間 文芸賞受賞。 2018年『こことよそ』(『ハレルヤ』収 録)が第44回川端康成文学賞受 賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』) | 『草の上の朝食』(講談社、1993) 『この人の闘』(新潮社、1995) 『季節の記憶』(講談社、1996) 『カンバセーション・ピース』(新潮社、 2003) 『小説の誕生』(新潮社、2006) 『三十歳までなんか生きるな』と 思っていた』(草思社、2007) 『小説、世界の奏でる音楽』(新潮 社、2008) 『未明の闘争』(講談社、2013) 『ハレルヤ』(新潮社、2018) 『猫がこなくなった』(文藝春秋、 2021) ほか | 『山梨日日新聞』(2018.4.13、26面、 写真あり) 『ザやまなし』(山梨日日新聞社、 1995年9月号、p2～3) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p369～370) | 2023/2/23 | 県立 |
| ホカ カナイ 保坂 嘉内 | 男 | 1896 1937 | 駒井村 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』 | 文学 | 詩人。 宮沢賢治の親友。 1916年、旧制甲府中学から盛岡高 等農林学校に進み、寮で1年先輩 の詩人・宮沢賢治と同室になる。 以来、文芸同人誌「アザリア」を発 行するなど親交を深める。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』) 1918年、除名処分を受け、帰村。宮 農のかたわら、農村青年を指導す る農業伝習所設立に尽力。 賢治の遺品や手紙を嘉内の生家に 残す。 (『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編纂委 員会、1979、p712) 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編纂委 員会、1979、p431) 『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『宮沢賢治の青春』(菅原千恵子著、 宝島社、1994) 『心友-宮沢賢治と保坂嘉内』(山梨 ふるさと文庫、2007) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p348)ほ か | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ホカ コウ 保坂 耕 | 男 | 1960 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『21世紀—山梨の100人』 | 産業 | ブドウ農家。 農協指導員として地区のブドウ栽培 を見たのち、自らの畑で栽培。 (『21世紀—山梨の100人』) 韮崎市観光協会会長。 (『韮崎市第3期まちなか活性化計 画』) | | 『21世紀—山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p12) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------|-------------------|--|--|---|------------|-----|
| ホサカ コウジン 保坂 耕人 | 男 | 1909 2003 | 竜王村 | 甲斐市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 歌人。 本名、保坂農康。 甲府中時代から作歌をはじめ、 1932年「心の花」に入会。 佐佐木信綱、治綱、幸綱に師事。 「炎樹」主宰。「甲府なぎの会」代 表。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『一隅』(甲陽書房、1965) 『岫』(短歌新聞社、1979) 『風炎』(短歌新聞社、1984) 『風』(なごらみ書房、1994) 『風塵抄』(なごらみ書房、1988) 『保坂耕人全歌集』(なごらみ書房、 2015) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p352) 『山梨日日新聞』(2006.12.1、22面、 2003.6.24、10面、2003.6.21、27面、 2015.9.4、13面) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ホサカ コロキチ 保坂 吾良吉 | 男 | 1920 2005 | 山梨県 | 山梨県 | 『双葉町百話集』 | 歴史・地 理社会科 学 | 元双葉町文化財審議会 長 県文化財保護指導員 県史編纂協力者 2003年県文化奨励賞受賞(『双葉 町百話集』) | 『双葉町の石造物』(双葉町石造物 誌編集委員会、1992) 『双葉町とところどころ』(保坂吾良 吉、1997) 『双葉町百話集』(保坂吾良吉、 2004) | 山梨日日新聞(2003.11.12、20面) 山梨日日新聞(2004.8.4、22面) | 2018/11/18 | 双葉 |
| ホサカ サシ 保坂 聡 | 男 | 1944 | 竜王町 | 甲斐市 | 『山梨日日新聞』 | 産業 | 飲食店経営 | 『竜王駅物語』(保坂聡、2006) | 『山梨日日新聞』(2006.2.9、15面) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ホサカ ツネオ 保阪 庸夫 | 男 | 1926 2016 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『宮澤賢治友への手紙』 | 自然科 学・医学 文学 | 医学博士。 旧韮崎外科病院(現韮崎相互病院) 院長。 (『宮澤賢治友への手紙』) 保阪嘉内次男。 父親保阪嘉内と宮澤賢治との交友 の足跡を賢治から送られた73通の 手紙をもとに研究し『宮澤賢治友へ の手紙』を出版、多数の論文、寄稿 文を著す。 (『保阪嘉内・宮澤賢治アザリア記 念会会報第15号』) | 『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『心友宮沢賢治と保阪嘉内』(山梨 ふるさと文庫、2007) | 『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『花園農村の理想をかかげて』(アザ リア記念会、2009) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------|---------------------|--|---|---|------------|-----|
| ホサカ トコロウ 保坂 徳五郎 | 男 | 1923 2005 | 双葉町 | 甲斐市 | 『走馬灯の独白』 | 文学 | 元サントリー山梨ワイナリー職員 山梨県自然保護監視員 山梨県・県政モニター(『土魂の四季』) | 『土魂の四季』(保坂徳五郎、1984) 『走馬灯の独白』(保坂徳五郎、1993) | | 2018/11/18 | 双葉 |
| ホサカ ナオミツ 穂坂 直光 | 男 | 1847 1920 | 大草村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』 | 自然科学 ・医学 社会科学 | 1897年ごろ、甘利山が薪とりなどで丸裸になっているのを憂い、大草町に六反歩の苗圃を設ける一方県当局に補助金を申請、1915年までの10年間松苗をはじめ杉、唐松、栗を植林した。 幼木の生育期間の10年間は村民の入山を禁止し厳しく監視させた。昭和3年山梨県山林会から林業功労者として表彰された。 1953年には山梨時事新聞にて「上水道建設に一役三十年前の功績実る」との記事が掲載されるに至る。(『韮崎市誌』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p430) 『甘利山に木を植えた穂坂直光さん』(韮崎ふるさと偉人研究会、韮崎市ふるさと偉人資料館、2020) | 2022/11/30 | 韮崎 |
| ホサカ ノオ 保坂 紀夫 | 男 | 1940 2017 | 甲斐市 | 甲斐市 | 『変幻の竹』『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | 造形作家。 保坂耕人の長男。 保坂デザイン研究所所長。 (『変幻の竹』) 竹造形作家、工業デザイナー。 美術館「保坂紀夫竹の造形館」開館。東京芸術大学で日本初の竹の美術講義を行って以来各地でワークショップなどを続ける。愛知県芸術大学非常勤講師、東京芸術大学、武蔵野美術大学特別講師。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2014年、第38回野口賞(芸術・文化部門)受賞。 (「山梨日日新聞」) | 『変幻の竹』(六耀社、1999) 『自在の竹』(日貿出版社、2016) | 『変幻の竹』(六耀社、1999) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p414) 「山梨日日新聞」(2014.7.1、59面、2017.9.29、14面) 「保坂紀夫竹の造形美術館」 http://www.bambooart.jp/ (2022.9.8確認) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|----------------|---------|--|--|--|------------|-------|
| ホリカワ シュウネン 細川 秀年 | 男 | 1934 | 香川県 | 香川県 | 『21世紀-山梨の100人』 | 芸術・スポーツ | 陶芸家。 21歳の時京都市・清水焼の大家、 故清水六兵衛に弟子入りする。日 展をはじめ、各種陶芸展での入選 は限らない。 富士吉田市上吉田に富士山秀年窯 を設置。富士山の土を使った陶芸 作品を制作している。 (『21世紀-山梨の100人-』) | | 『21世紀-山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p72~73) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ホリカワ ヒデオ 細川 英雄 | 男 | 1949 | 東京 | 東京 | 『自分の<ことば>をつくる』 | 言語 | 1949年東京生まれ。早稲田大学名 誉教授(大学院日本語教育研究 科)。博士(教育学)。 専門は言語文化教育。言語文化 教育研究所八ヶ岳アカデミア主 宰。ことばと文化の教育をめぐる市 民性形成とwell-being(よく生き る)をめざした言語教育の理論と実 践について研究。 1989年『パリの日本語教室から』で ヨゼフ・ロゲンドルフ賞受賞。 1991年~白州町花水在住。 (『自分の<ことば>をつくる』) | 『パリの日本語教室から』 (三省堂、1987)、 『薪ストーブのある暮らし』 (筑摩書房、1995)、 『日本語教育は何をめざすか』 (明石書店、2002)、 『対話をデザインする』 (筑摩書房、2019)、 『自分の<ことば>をつくる』 (ディスカヴァー・トゥエンティワン、 2021) ほか多数 | 『自分の<ことば>をつくる』 (奥付) 『山梨日日新聞』 2020.2.289面、 2021.12.225面 2022.3.417面 http://gbki.org/ (2022.11.15確認) | 2022/11/17 | はくしゅう |
| ホリダ サダノ 細田 さだの | 女 | 1871 1905 | 小田川村 | 韮崎市 | 『峡北地方物故文化人集』 | 社会科学 | 明治27年国本女学校を創立。 もっぱら裁縫と家政を教授する。 (『峡北地方物故文化人集』) | | 『峡北地方物故文化人集』(堀内 【リュウ】一郎、1961、p25) 『韮崎の礎を築いた偉人たち2巻』 (韮崎ふるさと偉人研究会、2018、 p2) 『峡北女子教育の先駆者細田さだ の』(韮崎ふるさと偉人研究会、 2021) | 2022/11/30 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|--------|---------------|--|------|--|--|---|------------|------|
| ホリ ヨウセイ 堀 秀成 | 男 | 1819 1887 | 茨城県古河市 | 茨城県古河市 | 『葦崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』 『葦崎市誌下巻』 | 社会科学 | 「峡北地方に学問の種を蒔き、教育の礎を築いた男」(『葦崎の礎を築いた偉人たち』) 文政2(1819)年12月6日、江戸の古河藩井家の江戸屋敷で生まれる。幼少期は武士として山鹿流兵学などを学び、弓や槍、乗馬いずれも免許皆伝の腕前であった。安政3(1856)年37歳の時、穴山の石水の城源院で長養義塾を開く。山梨にいる10年間で700名に及ぶ弟子を指導する。弟子には栗原信近、伊藤松逕や八代駒雄など。明治3(1870)年、朝廷に徴され、大学少博士に任ぜられ、同5年御前に進講、その後、神官教院教授に任ぜられる。生涯の著者130部を超える。 『葦崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』 | 『音義全書上下』堀秀成遺著神宮奉斎会編輯神宮奉斎会1913 『神名考』堀秀成著穂出版1944 『日本随筆大成第1期4』日本随筆大成編輯部編吉川弘文館1975堀秀成著他 『日本随筆大成2期第11巻』日本随筆大成編輯部編纂日本随筆大成刊行会1929下馬おとなひ堀秀成著 その他 | 『葦崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』第1巻葦崎ふるさと偉人研究会 // 編2016.3P.6 『葦崎市誌下巻』葦崎市誌編纂専門委員会 // 編集葦崎市役所P.440 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社編・発行1989)(p854) 『江戸文人辞典:国学者・漢学者・洋学者』(石山洋ほか編東京堂出版1996年)(p343-344) 『国書人名辞典』第4巻(市古貞次ほか編岩波書店1998)(p332-333) 『日本人名大事典』第5巻(平凡社1979)(p531-532) 『神道史大辞典』(園田稔編吉川弘文館2004年)(p887) 『神道人名辞典』(神社新報社1986年)(p267) 『平安時代史事典』本編下巻(古代学協会編角川書店1994年)(p2328) 『国学者伝記集成』第2巻(大川茂雄編国本出版社1934年)(p1564-1575) | 2020/10/25 | 葦崎 |
| ホリウチ ケイジ 堀内 啓治 | 男 | 1875 1945 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 代議士。 1907年、県会議員に当選。 1912年、衆議院に当選。 福地村(富士吉田市)長、富士吉田市外2ヶ村恩賜県有財産保護組合長、福地村耕地整理組合長を歴任。このほか宮川電灯社長、饒益銀行、吉田銀行頭取として富士北麓の経済発展に尽力した。 (『山梨百科事典』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p853) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ホリウチ サチエ 堀内 幸枝 | 女 | 1920 2021 | 御代咲村 | 笛吹市 | 『山梨興信録』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 文学 | 詩人 詩誌「葡萄」主宰 日本現代詩人会、日本ペンクラブ、日本文芸家協会所属 日本現代詩人会名誉会員 | 『夢の人に』(1975無限) 『市之蔵村』(1985文京書房) 『堀内幸枝詩集』(1989土曜美術社) 『九月の日差し』(1997思潮社) 『村のたんぽぽ』(1991三茶書房) 『堀内幸枝全詩集』(2009沖積舎) | 『山梨興信録』(山梨日日新聞社、1979、p727) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p394) 『堀内幸枝全詩集』(沖積舎、2009、p869～900) 『「山の少女」と呼ばれた詩人堀内幸枝ノート』(鈴木正樹著、土曜美術社出版販売、2020) 「山梨日日新聞」(2021.10.30、31面) 「山梨日日新聞」(2021.11.12、13面) | 2022/10/13 | 一宮 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------|---------|--|------------------------|---|------------|-------|
| ホリウチ ショウト 堀内 昭登 | 男 | 1949 | 大石村 | 富士河口湖町 | 『四季のハーブ』 | 産業 | 1968年河口湖町職員に、1990年河口湖町ふるさと振興財団に出向、河口湖ハーブ館館長。 (『四季のハーブ』) 2009年から河口湖町議会議員(「山梨日日新聞」) | 『四季のハーブ』(山梨日日新聞社、1994) | 『四季のハーブ』(山梨日日新聞社、1994、奥付) 「山梨日日新聞」(2009.10.5、1面) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| ホリウチ リョウヘイ 堀内 良平 | 男 | 1870 1944 | 黒駒村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 | 社会科学 | 1912年、富士身延鉄道(身延線)を創立。小野金六を社長に迎え、常務取締役となる。1918年、東京市街自動車株式会社を創立、専務取締役。1926年、富士山麓電気鉄道株式会社、富士山麓土地株式会社を設立、取締役社長。1930年から衆院議員となり、当選3回、民政党に属した。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』、『富士北麓と文人たち』) | | 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1993、p135) 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、ぎょうせい、1986、p360~375) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p26) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p854) 『富士を拓く-堀内良平の生涯-』(塩田道夫著、堀内良平伝刊行委員会、1994) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ホリコメ ユウキ 堀米 勇輝 | 男 | 1992 □ | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | 山梨学院大附属高校卒業。 ヴァンフォーレ甲府ジュニアユースからユースチームに昇格。高い技術と優れた戦術眼で早くから評価される。 2010年、トップチームに昇格。 2013年ロアッソ熊本、2014年愛媛FCに期限付き移籍、2016年京都サンガに移籍。2017年にヴァンフォーレ甲府に復帰、2019年にジェフユナイテッド市原・千葉に移籍。 U-16、U-17、U-19の各年代で日本代表に選ばれ、2009年U-17W杯に出場。 2015年より、甲府大使。 2022年1月サガン鳥栖に移籍 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) (「山梨日日新聞」) (「サガン鳥栖OfficialWebSite」) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p578) 「山梨日日新聞」(2015.2.12、13面顔写真あり、2015.7.25、23面顔写真あり、2017.2.12、20面顔写真あり、2019.1.10、17面、顔写真あり、2021.12.28、23面顔写真あり) Jリーグ公式選手名鑑 https://www.jleague.jp/player/1000380/#attack (2022.9.9確認) サガン鳥栖OfficialWebSite https://www.sagan-tosu.net/team/player/160298/ 堀米勇輝Twitter https://twitter.com/yuki12137 (2022.9.9確認) | 2023/3/7 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|--------------|-------|--|---|--|------------|-------|
| ホンジョウ カイヘイ 本庄 魁平 | 男 | 1893 1984 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『河口湖町文化のあゆみ』 | 歴史・地理 | 元河口浅間神社宮司 郷土研究家 | 『川口村の古事志』(1981) 『富士山明細図』(1978) 「川口村古事1・2・3・4」(「二十一日会」第72号p20、73号p13p、74号p12、75号p22、二十一日会、1979) 「川口村の古代墳墓について」(「富士を守る」第77号p14、二十一日会、1979) ほか | 『河口湖町文化のあゆみ』(河口湖町教育委員会、1978、p268顔写真あり) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| マエジマ シンジ 前嶋 信次 | 男 | 1903 1983 | 八代町 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 文学博士 慶応大学名誉教授 東洋史学・イスラム関係、東西アジア史の権威 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 「アラビアン・ナイト(千夜一夜物語)」原典の翻訳者 (『山梨百科事典』) | 『西アジア史』(山川出版社、1958) 『アラビアン・ナイト1~12』(平凡社、1966~1983) 『アラビア学への途わが人生のシルクロード』(NHKブックス、1982) 『アラビアに魅せられた人びと』(中央公論社、1993) 『千夜一夜物語と中東文化』(平凡社、2000)『 <u>華麗島</u> 台湾からの眺望』(平凡社、2000) 『イスラムとヨーロッパ』(平凡社、2000)ほか | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p858) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p230~231) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p235~246) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p207) | 2022/10/13 | 石和 |
| マエダ アキラ 前田 晃 | 男 | 1879 1961 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨百科事典』 | 文学 | 作家、翻訳家。 徳永寿美子の夫。 博物館の「文章世界」編集などを通じて自然主義文学運動に尽くす。 ゴンクール、キーランド、モーパッサンなど翻訳。 1959年山梨市万力林の笛吹川岬に文学碑建立。 1987年から山人会により前田晃文化賞設置。 (『山梨百科事典』) | 『手紙講座第7巻』(平凡社、1935、p1~25、p60) 『手紙講座第8巻』(平凡社、1935、p45~53) 『少年国史物語第5巻』(早稲田大学出版部、1937) 『現代語訳国文学全集第13巻』(訳、非凡社、1938) 『鯛と黒鯛』(山人会、1959) 『クオレ上・下』(訳、岩波書店、上1976、下1977) | 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p391~405) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p858) 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p91~101) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p77~81) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p354) ほか | 2009/1/22 | 山梨 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|----------|-------|---------------|-----------------------------------|---------------|---|--|--|------------|-------|
| マエダ ケイスケ 前田 啓介 | 男 | 1979 | 御坂町 | 笛吹市 | 「レミオロメン公式サイト」 | 芸術・スポーツ 産業 | 2000年に結成したバンド、「レミオロメン」のベース・コーラス。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でインディーズデビュー。レコード店のインディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデビュー。2005年にリリースされた8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐市)にて史上初の滑走路ライブを開催し、3万人を動員。 2012年2月活動休止。 (レミオロメン公式サイト) 笛吹オリブオイル前田屋代表取締役。(「笛吹オリブオイル前田屋」ホームページ) 2012年オリブの本格的な栽培を開始。世界最大級のオリブオイルのコンテスト「オリブジャパン2020」で、「笛吹オリブオイル前田屋」が製造した「コロネイキ」が県内初、銀賞を獲得。(「山梨日日新聞」)2021年も「ブラックラベルブランド」が銀賞を獲得。(「山梨日日新聞」)2022年には「ミッション」が金賞、「コロネイキ」が銀賞を獲得。(「笛吹オリブオイル前田屋」HP) | Single 「粉雪」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2005) 「茜空」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2007) 「夢の蕾」 (OORONGRECORDS2009)ほか Album 「HORIZON」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2006) 「風のクロマ」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2008) 「レミオベスト」 (OORONGRECORDS2009)ほか | 「レミオロメン公式サイト」 http://www.remioromen.jp/ (2022.10.8確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版(日外アソシエーツ、2004、p1032) 『H』(「ロッキング・オン」2006年9月号、p12～29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二著、汐文社、2007) 「笛吹オリブオイル前田屋」ホームページ https://maedaya-olive.com/ (2022.10.4確認) 「山梨日日新聞」(2016.8.27、27面、顔写真あり、2020.7.11、7面、2022.1.1、64—65面) | 2022/10/8 | 御坂 |
| マエダ コウセイ 前田 康成 | 男 | 1950 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『21世紀-山梨の100人』 | 芸術・スポーツ | アニメーション演出家。 1969年虫プロダクション入社、「まんが日本昔ばなし」をはじめ、学校の教育アニメや博物館の解説ビデオなど多数の作品を生んでいる。 (『ふじごこふるさとむかしばなし第一集～第三集』) | 『ふじごこふるさとむかしばなし第一集～第三集』(富士五湖広域行政事務組合、1994～1996) | 『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002年、p36) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| マカベ シズオ 真壁 静夫 | 男 | 1942 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物人材情報リスト2000』 『新・学社融合の実践』 | 社会科学 | 韮崎市教育委員会社会教育主事となり15年間社会教育を担当。以後、生涯学習推進に取り組む。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』) 全国生涯学習まちづくり協会会員、まちづくりコーディネーター、日本生涯教育学会会員等で活動。 (『新・学社融合の実践』) | 『韮崎の生涯学習心の3・3方式』(第一法規、1995) 『人生心の3・3方式』(近代文芸社、1995) 『新・学社融合の実践』(新風舎、2003) 『かかしの詩心に魅る写真集』(文芸社、2022) | 『山梨県人物人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p347) 山梨日日新聞2022年9月15日(写真あり) | 2022/11/30 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 | |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|---------|---|---|---|------------|------------|----|
| マキ ヒロシ 牧 宏 | 男 | 1927 2003 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『笛吹川ほとり』 | 文学 | 小説家。 本名中村宏通。 同人誌「劬」代表、山梨県芸術文化協会副会長、山梨同人誌懇談会座長、やまなし県民文化祭実行委員を歴任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』『笛吹川ほとり』) | 『どん百姓で』(山梨日日新聞社、1975) 『おれは縄者』(研文学会、1987) 『高貝のころ』(甲陽書房、1993) 『笛吹川ほとり』(山梨日日新聞社、2003) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p356) | 2009/1/22 | 山梨 | |
| マキノ トミタロウ 牧野 富太郎 | 男 | 1862 1957 | 高知県 | 高知県 | 『牧野富太郎』(日本図書センター、1997年) | 自然科学・医学 | 植物分類学者。自著に掲載されている膨大な植物群はすべて自らが手書きで彩色した。 明治20年「植物学雑誌」の創刊、明治45年東京帝国大学理学部講師。昭和10年6月、山梨県西湖附近に採集に赴いた。昭和20年5月、山梨県北巨摩郡穂坂村に疎開した。 (『牧野富太郎』) | 『牧野新日本植物図鑑』(北隆館、1968) 『牧野富太郎牧野富太郎自叙伝』(日本図書センター、1997) 『我が思ひ出牧野富太郎<遺稿>』(北隆館、2022)ほか | 『牧野富太郎』牧野富太郎 // 著(日本図書センター、1997) 『牧野富太郎の歌年譜』澁川葵人 // 著(牧野富太郎研究所、2013) 『牧野富太郎日本植物学の父』清水洋美 // 文(汐文社、2020) 『牧野富太郎植物の神様といわれた男』横山充男 // 著(くもん出版、2022)ほか | 2022/11/30 | 葦崎 | |
| マシモ ハンスウ 真下 晩菘 | 男 | 1799 1875 | 中萩原村 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 歴史・地理 | 1866年陸軍奉行並支配 (『山梨百科事典』) 維新後「融貫塾」開設、政治結社「融貫社」の母胎となる。 (『評伝晩菘真下専之丞』) 樋口一葉の父則義(幼名:大吉)の援助人(『わが晩菘道遥』) | 『わが晩菘道遥』(町田ジャーナル社、1993) 『評伝晩菘真下専之丞』(荻原留則、1991) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p864) | | 2012/8/21 | 塩山 | |
| マチダ センショウ 町田 是正 | 男 | 1930 2021 | 浜松市 | 浜松市 | 『日蓮聖人にみる宗教思想』 | 哲学・宗教 | 5歳で身延山の坊に入る。 1953年、立正大学文学部史学科卒業後、身延山短大、久遠寺に勤める。 1979年、西ドイツの修道院で修道生活を体験。 身延山大学教授・理事を務め、身延山を主とした歴史を研究する。 身延町社会福祉協議会会長を務める。 (『日蓮聖人にみる宗教思想』) | 『身延山秘話外史』(延寿坊、1990) 『日蓮聖人にみる宗教思想』(宝文館出版、1993) 「日蓮聖人の時間論」(『林是幹教授古希記念論文集』収録、身延山短期大学学会、1980) | 『身延山秘話外史』(奥付) 『日蓮聖人にみる宗教思想』(奥付) 『山梨日日新聞』 (1990.11.82面、1992.11.173面、1995.9.2322面、1997.2.2225面、2000.1.1217面、2004.11.817面他) | | 2022.11.30 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|--------------------------------|---------------|--|-------------------|---|------------|-----|
| マツガミ イッペイ 松上 一平 | 男 | 1985 | 榑形町 | 南アルプス市 | 『山梨日日新聞』 | 芸術・スポーツ | バイオリン職人 「シモーネ・フェルナンド・サッコーニ賞」受賞 (『山梨日日新聞』) | | 『山梨日日新聞』(2012.10.30、23面) 『南アルプスLifeあしたの夢に』(南アルプス市、2013、p24~25) | 2016/11/1 | 榑形 |
| マツキ テルシゲ 松木 輝殷 | 男 | 1843 1911 | 福居村 | 身延町 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物人材情報リスト2015』 | 技術 芸術・スポーツ | 下山大工の一門に生まれ、堂宮大工の技術を父・松木運四郎から学ぶ。独立直前に明治維新を迎え、それを機に擬洋風建築を修める。1875年日川学校建築後、睦沢学校、勝沼学校・祝学校・韭崎学校等10校に及ぶ藤村式学校建築の秀作を残した。睦沢学校は藤村記念館として、国指定重要文化財。 (『山梨百科事典』) | 『松木家資料』(勝沼、松木家所蔵) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p869) 『山梨県史文化財編』(山梨県、1999、p9~)『県史だより』(第29号、2005) 『山梨の洋風建築』(甲陽書房、1977、p46ほか) 『幻の学校をたずねて』(早稲田出版、2004、p153) 『山梨県人物人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、P378) 『下山大工史資料』(加藤為夫、2004) 『都留の近代建築』(ミュージアム都留企画展、2016) 『甲斐路』(第26号、1975、p95) 『サライ』(1998.1.1、200号、p52) 『山梨日日新聞』(2004.5.3、19面、2004.6.1、31面) 『読売新聞』(2004.9.12、山梨版「下山大工実態示す資料続々」)他 | 2022/11/30 | 身延 |
| マツザワ ハジメ 松沢 一 | 男 | 1896 1961 | 春日居村 | 笛吹市 | 『春日居町誌』 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 政治家。 大正・昭和時代に農民開放運動で活躍。(『春日居町誌閉町記念編』)早くから農民運動に参加し、1930年日本農民組山梨県連合会結成のとき青年部理事となった。以後、会長平野力三とともに運動を推進したが、やがて日本国家社会党に、さらに皇道会へ転じた。春日居村会議員を経て1939年に県議員に当選した。1945年12月、日本社会党山梨県連合会に参加し、翌年の第22回衆議院議員総選挙に当選。翌年の総選挙にも再選されたが、社会党県連の分裂によって社会革新党県連を結成。1951年に追放解除の平野を迎えて社会民主党県連に改組したが、党勢は振るわなかった。 (『山梨百科事典』、『春日居町誌』) | | 『春日居町誌』(春日居町、1988、p1373~1379) 『春日居町誌閉町記念編』(笛吹市役所春日居支所、2005、p180) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p870) | 2022/11/3 | 春日居 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------------|-------------|---|--|---|------------|-----|
| マツダ ユリコ 松田 百合子 | 女 | 1943 | 兵庫県 | 兵庫県 | 『現代日本人名録2002』 『陶Vol. 34』 | 芸術・ス ポーツ | 陶芸家・1969年忍野村に築窯 ファエンツァ国際陶芸展金賞 日本陶芸展、八木一夫賞展入選 (『現代日本人名録2002』) | | 『現代日本人名録2002-2』(日外ア ソシエーツ、2002、p616)『陶Vol. 34』(京都書院、1992)『別冊芸術 『陶芸家150人』(阿部出版、2020、 https://yuriko- matsuda.com/archives/684)https:// /yuriko-matsuda.com/(2022.7.31現 在) | 2022/7/31 | おしの |
| マツノ シホ 松野 志保 | 女 | 1973 | 甲西町 | 南アルプス市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 『山梨日日新聞』 | 文学 | 歌人高校在学中より短歌を始め雑 誌に投稿。大学3年で月光の会に 入会、2003年より同人誌「Es」に参 加。(『山梨県人物・人材情報リスト 2011』) | 『モイラの裔』(洋々社、2002) 『TooYoungToDie』(風媒社、2007) 『現在短歌最前線新響十人』(北溟 社、2007) | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p351) 『山梨日日新聞』(2002.12.8、10面、 2007.2.16、11面、5.29、9面、いづれ も顔写真あり) | 2020/10/28 | 甲西 |
| ミウラ トモカス 三浦 友和 | 男 | 1952 | 塩山市 | 甲州市 | 『被写体』 | 芸術・ス ポーツ | 俳優 (『被写体』) | 『被写体』(マガジン・ハウス、1999) 『相性』(小学館、2011) | 『被写体』(マガジン・ハウス、1999、 p237)『家の履歴書』(キネマ旬報 社、2011、p119) | 2012/8/21 | 塩山 |
| ミカミ イサオ 三神 勲 | 男 | 1907 1997 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2021』 | 文学 | 英文学者。 シェイクスピアの作品を多数翻訳、 劇の上演に使用される。 明治学院大学名誉教授、駒沢大学 教授。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』) | 『筑摩世界文学大系16』(筑摩書 房、1975、「ウインザーの陽気な女 房たち」三神勲・西川正身共訳、 p108~160) 『世界文学大系89』(筑摩書房、 1963、「靴屋の祭日」訳、p5~42) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021 (日外アソシエーツ、2020、p233) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ミカミ ヒロシ 三神 弘 | 男 | 1945 | 甲府市 | 甲府市 | 『踊り初め』 『猫町文庫第4集』 | 文学 | 小説家。 1982年、『三日芝居』ですばる文学 賞受賞。 日本文芸家協会会員。 (『踊り初め』) 猫町文庫編集同人。 (『猫町文庫第4集』) | 『三日芝居』(集英社、1985) 『花供養』(集英社、1990) 『踊り初め』(三神弘、1989) 『どんぶり坂心中』(『猫町文庫第4 集』猫町文庫、2013、p110~145) ほか | 『踊り初め』(三神弘、1989) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p356) 「公益社団法人日本文藝家協会」会 員名簿 http://www.bungeika.or.jp/pdf/2018 0801.pdf(2020.9.15確認) 『山梨日日新聞』(2010.10.1、13面 顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------|------------|---|---|---|------------|-----|
| ミズガミ カシヨウ 水上 華松 | 女 | 1923 2020 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983) | 芸術・スポーツ | 本名は萬。池坊山梨県支部長、山梨県芸術祭華道部門代表、裏千家淡交会山梨県支部幹事を歴任。茶名は宗周(『甲州百人の顔』) | | 『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p130-131)『山梨日日新聞』(1993.10.31、24面、顔写真あり、1995.11.18、5面、顔写真あり、2020.7.19、20面) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| ミズガミ カスオ 水上 和夫 | 男 | 1933 | 山梨県 | 山梨県 | 『スポーツ思いつくまま』 | 芸術・スポーツ | 東京教育大学卒。 以降、山梨県教育委員会、山梨大学非常勤講師、山梨県国体局協議課長、韮崎市教育委員長などを歴任。 2002年、文部科学大臣体躯功労者表彰。 2003年山梨県教育功労者表彰。 (『スポーツ思いつくまま』) | 『スポーツ思いつくまま』(近代文藝社、2012) | 『スポーツ思いつくまま』(近代文藝社、2012、奥付) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ミズガミ タツゾウ 水上 達三 | 男 | 1903 1989 | 清哲村 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 社会科学 産業 | 実業家。1928年三井物産に入社。北京支店長代理などを歴任。戦後、三井物産解散に伴い第一物産創立。1959年三井物産大合同の立て役者として活躍。1961年社長、1969年会長、1971年より相談役。1972年日本貿易会会長、1985年名誉会長に就任。“ハヤブサの達”と呼ばれた敏腕の商社マン。藍綬褒章(1963年)、ペルー国グランクルス勲章(1968年)、紺綬褒章(1975年)、勲一等瑞宝章(1977年)(『山梨県人物人材情報リスト2019』) | 『貿易立国論』(有斐閣、1988)『私の商社昭和史』(東洋経済新報社、1987)『私の履歴書経済人15』(共著、日本経済新聞社、1981)ほか | 『静かなタフネス10の人生』(城山三郎、文芸春秋、1986)『平成・昭和に活躍する山梨県人』(かいじしんぶん、1998、p125)『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p158)『貿易のバイオニア水上達三』(韮崎ふるさと偉人資料館、2019)山梨日日新聞2018年2月14日 | 2020/10/28 | 韮崎 |
| ミズガミ ブンエン 水上 文淵 | 男 | 1861 1929 | 御代咲村 | 笛吹市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 教育家。 訓導や視学を歴任し、育英に尽力。1909年、一宮尋常小学校長に就任。郷土史においても多くの著書を発行。 (『山梨百科事典』) | 『一宮村文教史』(少国民新聞社、1925) 『甲斐碑文集』(知新堂、1903) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p883) 『東八メモリーズこんなひとがいた』(東八代広域行政事務組合、2002、p247) 『一宮町誌』(一宮町、1967、p1135) | 2012/8/20 | 一宮 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|--------------------|--|--|--|------------|-----|
| ミヅカミ ミユキ 水上 みゆき | 女 | 1928 1985 | 高根町 | 北杜市 | 『野のまつり』 『草の雛』 | 文学 | 1978年「未知思派」賞受賞(『草の雛』) | 『野のまつり』(不識書院、1981) 『草の雛』(不識書院、1986) | | 2018/11/18 | 双葉 |
| ミスキ リョウ 水木 亮 | 男 | 1942 | 北朝鮮 | 北朝鮮 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ 文学 | 劇作家、演出家、作家。 本名、望月弘美。 1999年、『祝祭』で第16回織田作之助賞受賞。 2006年、「お見合いツアー」で第49回農民文学賞受賞。 1983年～2015年、劇団コメディ・オブ・イェスタディ主宰。 2014年、「峠の念仏踊り」で第62回地上文学賞受賞。 甲府市在住。 (『山梨日日新聞』) | 『山梨の民族芸能』(勉誠出版、2000) 『雪乃丞くんへの手紙』(山梨ふるさと文庫、2002) 『祝祭』(山梨日日新聞社、2006) 『美しい朝の国』(カモミール社、2001) 『古い焚く妖の記』(窓社、2012) 『なまよみの山河を生きた庶民の歌水木亮戯曲集上・下』(2015) 『人生で私の一番美しかった女(ひと)』(2019) 『エッセイを書こう心を伝える楽しみ』(2021) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p357～358、522) 『山梨の民族芸能』(勉誠出版、2000) 『山梨日日新聞』(2006.11.29、13面、2015.8.13、11面、2015.1.15、11面、2019.8.12、1面、顔写真あり) 劇団コメディ・オブ・イェスタディ http://www.ne.jp/asahi/comedy/ye/sterday/concept.html (2022.9.10確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ミツイ コウシ 三井 甲之 | 男 | 1883 1953 | 松島村 | 甲斐市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 『山梨百科事典』 | 文学 | 歌人、評論家。 本名三井甲之助。 「アカネ」(のち「人生と表現」と改題)を創刊し短歌のほか短歌研究、小説、随筆などを発表。 1928年しきしまのみち会を結成し明治天皇御製拝唱の制度化を提唱。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)(『山梨県人物・人材情報リスト2015』) 1958年山梨神社(甲斐市篠原)境内に「ますらをのかなしきいのちつみかさねまもるやまとしまねを」の歌碑が建立された。 (『山梨百科事典』) | 『三井甲之歌集』 (「三井甲之」歌碑建設・歌集刊行会、1958) 『三井甲之存稿』 (三井甲之遺稿刊行会、1969) 『しきしまのみち原論』 (原理日本社、1934) 『山県大式研究』 (原理日本社、1935) 『平和の大海へ注ぐ一滴の水』 (三井甲之遺稿刊行会、1969、県立図書館所蔵) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p421～422)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ2014、p346) 『山梨百科事典』 (山梨日日新聞社、1989、p888) 『三井甲之歌集』 (巻頭に写真あり) 『三井甲之存稿』 (巻頭に写真、附録p1～43に略年譜あり) | 2016/11/4 | 敷島 |
| ミナト シュウサク 湊 秋作 | 男 | 1953 | 和歌山県 | 和歌山県 | 『田んぼの楽校』 | 社会科学 自然科学 医学 | 小学校教諭で24年間、田んぼを用いた独自の環境教育を展開。ヤマネの研究で理学博士号。キープ協会やまねミュージアム館長。日本環境教育学会運営委員。NHK教育番組制作委員。日本動物行動学会会員。 (『田んぼの楽校』) | 『ヤマネはねぼすけ』(福音館書店、1992) 『森のスケーターヤマネ』(文研出版、2000) 『田んぼの学校—あそび編/まなび編』(農文協、2002) 『ヤマネの森を見あげてごらん』(佼成出版社、2005) 『田んぼの生きものおもしろ図鑑』(農文協、2006) ほか | 『田んぼの楽校』(山と溪谷社、2004、奥付) | 2012/11/4 | 萠崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|----------|------|---------------|--|---------------|--|---|---|------------|-------|
| ミヤザキ ヨシロ 宮崎 吉宏 | 男 | 1946 | 明野村 | 北杜市 | 『甲斐駒開山』 | 歴史・地理 文学 | 山梨文芸協会会員 南嶺会会友 「季刊作家」同人 (『甲斐駒開山』) | 『甲斐駒開山』(山梨日日新聞社出版部、2005) 『イマジネーション』(山梨文芸協会) | 山梨日日新聞(1995.1.1、78面) 山梨日日新聞(1996.5.1、14面) 山梨日日新聞(2005.7.18、19面) 山梨日日新聞(2005.9.17、15面) 山梨日日新聞(2006.5.31、7面) | 2018/11/18 | 双葉 |
| ミヤザワ カズフミ 宮沢 和史 | 男 | 1966 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 「世田谷文学館秋の企画展 宮沢和史の世界」チラシ | 芸術・スポーツ 文学 | 歌手、アーティスト。 THEBOOMのボーカリストとして平成元年にデビュー 作家としても多くのアーティストに曲を提供。 2005年、「島唄」で遠藤実歌謡音楽大賞受賞。他にも数々の賞を受賞している。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2006年、世田谷文学館で「宮沢和史の世界」開催。 (「宮沢和史の世界」チラシ) 2014年、THEBOOMは解散。 2015年からソロで活動していたが、2016年春から歌手活動を無期休業。 (「山梨日日新聞」) 2017年活動を再開。 (宮沢和史オフィシャルウェブ) | 『夜ふかしの凡人』(宮沢和史著・写真、PARCO出版、2002) 『足跡のない道』(マガジンハウス、2008) 『旅の響き』(河出書房新社、2002) 『言の葉摘み』(新潮社、2006) 『未完詩』(河出書房新社、2001) 『宮沢和史前歌詞集』(河出書房新社、2001) 『島々百景』(ラティナー、2019) 『沖繩のことを聞かせてください』(双葉社、2022) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p486～p487) 『夜ふかしの凡人』(宮沢和史著・写真、PARCO出版、2002、奥付に年表あり) 「山梨日日新聞」(2016.1.4、24面、2018.7.1、41面、2022.5.6、9面、顔写真あり、2022.6.1、9面、顔写真あり、2022.7.2、1面、30面、顔写真あり) 「世田谷文学館秋の企画展宮沢和史の世界」チラシ(2006.9.30～11.26) 宮沢和史オフィシャルウェブ (https://www.miyazawa-kazufumi.jp/index.html (2022.9.10確認)) 宮沢和史Twitter https://twitter.com/miyazawa_info (2022.9.10確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ミヤタ エイゾウ 宮下 英三 | 男 | 1950 | 河口湖町 | 富士河口湖町 | 『元気に経営』 | 社会科学 | 千葉商科大学商学部卒業。 経営コンサルタント、税理士。 宮下会計事務所所長、宮下総合研究所代表取締役。 (『元気に経営』) | 『目からウロコわかりやすい経営バイブル』(リム出版新社、2002) 『元気に経営』(文芸社、2000) | 『目からウロコわかりやすい経営バイブル』(リム出版新社、2002) 『元気に経営』(文芸社、2000) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |
| ミライ ナ みらい なな | 女 | 1940 | 東京都 | 東京都 | 『21世紀山梨の100人』 | 文学 | 翻訳家 (『21世紀山梨の100人』) 小学校英語教諭を歴任 山梨英和大学講師 (「山梨日日新聞」) | 『葉っぱのフレディ』(童話屋、1998) 『モミの手紙』(童話屋、1999) 『みんななかよしりんらんろん』(童話屋、2002) 『あなたはだれ』(童話屋、1990) など翻訳 | 『21世紀山梨の100人』(山梨新報社、2002、p26) 「山梨日日新聞」(2002.1.1、39面) 「朝日新聞」(2000.9.6、26面) ほか | 2012/8/21 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|------------------|---------------|---|---|--|------------|------|
| ムコウヤマ タテオ 向山 建生 | 男 | 1949 | 韮崎市 | 韮崎市 | 山梨日日新聞 | 歴史・地理 社会科学 | NPO法人「減災ネットやまなし」代表。 2009年、NPO法人「減災ネットやまなし」設立。 2018年、内閣府の防災功労者防災担当大臣表彰を受ける。 小林一三の功績を顕彰する「逸翁・耳庵」研究所代表も務める。 (「山梨日日新聞」) | 『雅俗の偉人小林一三』(逸翁・耳庵研究所、2009～) 『小林一三物語』(山梨県立美術館、2010) 『小林一三(世界の伝記NEXT)』(集英社、2013) 『そなえハンドブック』(山梨放送、2016) | 「山梨日日新聞」(2018.10.3、11面) | 2022/11/30 | 韮崎 |
| ムトウ ケイジ 武藤 敬司 | 男 | 1962 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | プロレスラー。全日本プロレスリング社長。別名ニグレート・ムタ。1984年、新日本プロレスに入門。1985年、海外遠征でフロリダ・ヘビー級選手権を獲得。1990年、IWGPタッグ王座を獲得。2001年、新日本に復帰。2002年、全日本プロレスに移籍。2008年、4度目のプロレスMVPを史上最高齢の45歳11カ月で受賞。得意技はシャイニング・ウィザード、四の字固め。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | 『MUTO野心90%』(、アミューズブック、2002) 『武藤敬司プロレスの砦』(白夜書房、2003) 『全日本プロレス代表取締役社長武藤敬司』(扶桑社、2003) 『武藤敬司自叙伝』(経済界、2004) 『武藤敬司のBUMP人生』(扶桑社、2005) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p167～168、606～607) 「山梨日日新聞」(2004.2.15、5面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ムラオカ ハナコ 村岡 花子 | 女 | 1893 1968 | 甲府市 | 甲府市 | 『アンのゆりかご村岡花子の生涯』 | 文学 | 翻訳家、児童文学作家、日本ユネスコ協会連盟副会長。本名、安中はな。1914年、山梨英和女学校の英語教師となる。1916年、『爐邊』を処女出版。1919年、教文館で婦人子供向けの本を編集。1927年、マーク・トウェイン作『王子と乞食』を出版。1932年、JOAK(現NHK)で「子供の新聞」を担当。1939年、「アン・オブ・グリーンゲイブルズ」を贈られ、翻訳を行う。1952年、『アン・オブ・グリーン・ゲイブルズ』を「赤毛のアン」として出版。(『アンのゆりかご村岡花子の生涯』) (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『曲り角のその先に村岡花子エッセイ集』(河出書房新社、2014) 『想像の翼にのって村岡花子エッセイ集』(河出書房新社、2014) 『腹心の友たちへ村岡花子エッセイ集』(河出書房新社、2014) 『たんぽぽの目村岡花子童話集』(河出書房新社、2014) 『伝記ヘレン・ケラー』(偕成社、2014) 『ナイチンゲール』(講談社、1981) 『赤毛のアン』(モンゴメリ、村岡花子訳、旺文社、1976) 『フランダースの犬』(ウィーダ、村岡花子訳、偕成社、1986) ほか | 『アンのゆりかご村岡花子の生涯』(マガジンハウス2008、略歴p330～332) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p184～185) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p162～164) 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p274～280) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p359～360) 『山梨の女性作家たち』(ふじざくら会、1997、p74～83) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p21～25) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--|----|-------------------|-----------|---------------|--|-------------|--|--|--|------------|------|
| ムラカミ マサノ 村上 雅則 | 男 | 1944 | 七保村 | 大月市 | 『たった一人の大リーガー』 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 | 芸術・ス ポーツ | 元プロ野球選手、日本人初の大 リーガー、現野球解説者。 別名マツシー村上。 法政二高から南海ホークス入団。 1964年米大リーグ「SFジャイアンツ」 へ留学生として派遣。傘下の「フレ スノ」に所属。11勝を上げ、大リーグ 昇格。 1966年南海、1975年阪神、1976年 日本ハム。 1982年現役引退。 大リーグ：5勝1敗9S、防御率3.43 プロ野球：103勝82敗30S、防御率 3.64 (『たった一人の大リーガー』、『山梨 県人物・人材情報リスト2011』) | 『たった一人の大リーガー』(恒文 社、1985) 『ヒット・バイ・ピッチメジャーリーグTV 観戦ガイド』(ザ・マサダ、2001) 『大リーグのひみつ』(学研、2003) | 『たった一人の大リーガー』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p432～ 434) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業 株式会社、2008、p272～275、顔写 真あり) | 2016/11/18 | 大月 |
| ムラタ ハチロ ウベエ 村田 八郎兵衛 (ムラタ エイ) (村田 永孚) | 男 | 1807 1899 | 塩山市 | 甲州市 | 『山梨百科事典』 | 産業 | 養蚕業・事業家 蚕種紙「青龍」 青梅街道の開削事業 向嶽寺に顕彰碑慈徳院に記念碑 | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p.918)『山梨百科事典』 (山梨日日新聞社、1972、p.777)山 梨日日新聞2015.05.2522面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| ムラマツ サダノ 村松 定孝 | 男 | 1918 2007 | 市川大門 町 | 市川三郷町 | 『定本泉鏡花研究』 『言葉の映像(かげ)ー鏡花 五十年』 | 文学 | 1988年「泉鏡花の基礎的研究」で関 西学院大学より文学博士号を受け る。 同年、評伝『あぢさゐ供養頌ーわが 泉鏡花ー』で大衆文学研究賞受 賞。 1989年上智大学名誉教授、2004年 春の叙勲、勲四等瑞宝章受章受 章。 泉鏡花研究の第一人者。 (『定本泉鏡花研究』、『言葉の映像 (かげ)ー鏡花五十年ー』) | 『泉鏡花事典』(有精堂、1982) 『ことばと人生』(桜楓社、1978) 『あじさゐ供養頌ーわが泉鏡花ー』 (新潮社、1988) 『近代作家名文句辞典』(東京堂出 版、1990) 『言葉の映像(かげ)ー鏡花五十年』 (東京布井出版、1994) 『定本泉鏡花研究』(有精堂出版、 1996) 『教育と文芸のひずみ』(高文堂出 版、1998) ほか | 『定本泉鏡花研究』 『言葉の映像(かげ)ー鏡花五十年』 | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| ムラマツ ショウ (ロシュウ) 村松 志孝 (蘆洲) | 男 | 1874 1974 | 市川大門 町 | 市川三郷町 | 『山梨日日新聞』 『山梨の文学』 | 歴史・地 理 | 郷土史研究者。 山梨郷土研究会の理事長をつとめ たほか、峡南郷土研究会会長など を歴任。地域に郷土史の研究を広 め、貢献した。 郷土研究のかたわら、蘆洲と号し漢 詩をたしなんだ。 | 『市川大門町誌』(市川大門町誌刊 行委員会、1967) 『甲州叢話』(顕光閣、1936) 『蘆洲詩集』(村松定孝、1980) | 『峡南の郷土』第12集(峡南郷土研 究会) 『山梨日日新聞』(1974.5.1214面) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、 2001、P74～76) 『山梨漢詩人列伝』(山梨漢詩会、 2008、p137～171) | 2020/10/9 | 市川三郷 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|-------------|---|--|---|------------|-----|
| ムラツ シンゾウ 村松 甚蔵 | 男 | 1869 1945 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨百科事典』 『山梨県議会史』 | 社会科学 | 南塘文庫を開設。 日清製粉株式会社ほかの重役、県 会議員、衆議院議員を務める。 舞鶴城跡の払い下げ代金を県に寄 付。 (『山梨百科事典』) | 『贈従三位山陽頼先生百年祭記』 (汲古館南塘文庫、1931、山梨県立 博物館所蔵) | 『山梨県議会史』第3巻(山梨県議 会、1974、p1268、顔写真あり) 『甲府市史別編Ⅱ 美術工芸』(甲府 市役所、1988、p125~126) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p918~919) | 2014/11/27 | 県立 |
| モリスキ ヨサブロウ 望月 與三郎 | 男 | 1872 1939 | 富河村 | 南部町 | 『富沢町誌』 『山梨緑の礎森を育てた 人々』 | 社会科学 | 郵便局長。 林業家。 文部大臣賞。 (『富沢町誌』下巻) | | 『郷土史にかがやく人々』(青少年 のための県民会議、1973、p49-72) 『山梨緑の礎森を育てた人々』(山梨 県みどりの基金、1991、p58) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、 2002、p110) | 2012/8/14 | 南部 |
| モチヅキ キョウジン 望月 丘人 | 男 | 1932 2021 | 中富町 | 身延町 | 『鑿方入魂』 | 芸術・ス ポーツ | 1950年、印刻師望月旭洋に師事。 1955年、日本美術印章社設立。 山梨書道協会展、山梨県芸術祭書 道展、全国印章技術大競技会など 各展入選する。 第一級印章彫刻技能士。 (『鑿方入魂』) | 『鑿方入魂望月丘人作品集』(日本 美術印章社、1987) 『日本芸術の創跡』(P301掲載、植 村鷹千代他執筆、世界文芸社、 1995) | 『鑿方入魂』(奥付) | 2022/11/30 | 身延 |
| モチヅキ ケイジ 望月 継治 | 男 | 1917 1994 | 中富町 | 身延町 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2015』 『中富町50年の軌跡』 | 社会科学 | 1948年、伯父の経営する銀座精養 軒入社。 1949年独立、神田でパン店開店。 1952年、神田精養軒を設立。玄米 パンを販売。 1959年、シュタインメッツニッポンを 設立、代表。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2002』) 1983年、中富町初の特別町民。 高校移動セミナー、総合会館の綴 帳寄贈等町の発展に尽力。 (『中富町50年の軌跡』) | 『いかに生きるべきか』(神田精養 軒、1967) 『土と子どもとパン屋のおやじ』(神 田精養軒、1975) 『パン屋のおやじは考える』(神田精 養軒、1977) 『食卓からの出発』(柏樹社、1979) | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p437) 『中富町50年の軌跡』(中富町、 2004、p90) 『パン屋のおやじは考える』 (望月継治、1977、奥付) 『毎日新聞』(1976.12.3、「くらしの “ひと”」) 『読売新聞』(1978.1.25、「汎日本 人」) | 2022/11/30 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|------|--|---|--|------------|-----|
| モチヅキ コウメイ 望月 幸明 | 男 | 1924 2020 | 中富町 | 身延町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 | 社会科学 | 1948年山梨県庁に入り、1966年教育長、1968年総務部長、1972年企画調整局長、1978年副知事を経て、1979年以来山梨県知事に3選。1986年にかいじ国体開催、また山梨リニア実験線の誘致も推進する。1991年引退。1992年参院選に連合から立候補するが敗れた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』) | 『遙かなる国々へ』(1984) 『蜀は遠からず』(1986) 『私と山梨教育』(日本教育新聞社、1990) | 『山梨県人物・人材情報リスト』(日外アソシエーツ、2002、p357) 『中富町50年の軌跡』(中富町、2004、p80) 『私とふるさと』『日本経済新聞』(1991.11.4、夕刊) 『山梨日日新聞』(2020.8.10、1・24面) 自著及び山梨日日新聞等に顔写真有 | 2021/1/21 | 身延 |
| モチヅキ コタロウ 望月 小太郎 | 男 | 1865 1927 | 身延村 | 身延町 | 『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2002』『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』 | 社会科学 | 1883年、山梨県師範学校卒業。大里小学校教諭となるが、その後慶応義塾を卒業。 ロンドン大学に留学し「日英実業雑誌」を発刊する。 1896年、随行としてロシア皇帝戴冠式、英国女王即位五十年祭に参列。 1902年、衆議院議員、以降7回当選。立憲政友会、同志会、憲政会と転じた。 1906年、英文通信社設立。「日刊英文通信」などを発刊した。 漢詩をよくし、鶯溪と号す。身延町竹之坊境内に記念巨碑あり。 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2002』『郷土史にかがやく人々』) | 『鶯溪演説集』(大日本社1898) 『独逸の現勢』(英文通信社、1913) 『軍備制限と日米関係』(日本評論社、1921) 『華府会議の真相』(慶文堂書店、1922) 『世界評論明治大帝と我国民性』(英文通信社、1922) 『世界に於ける明治天皇』上下(英文通信社、1927) 『鶯溪遺稿』(春光社、1942) | 『身延町誌』(身延町誌編集委員会編、身延町役場、1970、p1181) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p929) 『山梨県史資料編14』(山梨県、1996、p533、745) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p359～) 『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p357) 『国立国会図書館ホームページ』(http://www.ndl.go.jp/ 国立国会図書館所蔵「望月小太郎関係文書」260点、憲政資料に目録あり)(2009.3.23確認) | 2014/12/12 | 身延 |
| モチヅキ コタロウ 望月 小太郎 | 男 | 1911 2006 | 下山村 | 身延町 | 『富士を仰いで』『山梨県人物・人材情報リスト2011』 | 社会科学 | 1931年、大阪に望月建設創立。 1947年、大阪府議会議員に当選。豊中信用金庫理事、新大阪新聞社取締役、豊中地区更正保護協会会長、大阪音楽大学理事などを歴任。梅田コマ劇場の創立にも携わる。 1971年から26年間、大阪山梨県人会会長を勤めた。下山小・中学校、文化会館、体育館等の建設に貢献。 紺綬褒章を3度受章。 1972年、旧身延町名誉町民に推戴された。 (『富士を仰いで』『山梨県人物・人材情報リスト2011』) | 『富士を仰いで』(望月小太郎、1976) 『故郷を想う』(大阪山梨県人会創立七十周年記念誌、大阪山梨県人会、1988、p168～) | 『富士を仰いで』(p200、経歴) 『故郷を想う』(p8、168、206) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p438) 『山梨日日新聞』(1996.3.31/14面、2006.1.14/31面、12.30/7面、2013.1.12/9面) | 2014/12/12 | 身延 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|---------|---|---------------------|---|------------|-----|
| モチヅキ ジュンキチ 望月 純吉 | 男 | 1971 | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | 演出家。 劇団文学座所属。 水木亮の息子。 舞台「ダウト」「ザ・クライシス」を手がける。 (「山梨日日新聞」) 城西国際大学准教授 (城西国際大学ホームページ) やまなし大使 (山梨県ホームページ、やまなし大使リスト) | | 「文学座公式サイト」http://www.bungakuza.com(2020.9.17確認、作品プロフィールあり) 「山梨日日新聞」(2008.4.5、16面、(2011.11.12、22面) 城西国際大学ホームページ https://www.jiu.ac.jp/media/faculty/detail/id=1503 (2022.9.10確認) 山梨県ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sk/yamanashi-ambassadors.html (2022.9.10確認) 劇団コメディ・オブ・イェスタディ http://www.ne.jp/asahi/comedy/yesterday/itemlist.html (2022.9.14確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| モチヅキ シュンコウ 望月 春江 | 男 | 1893 1979 | 住吉村 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』 『山梨「人物」博物館』 | 芸術・スポーツ | 日本画家。 日展参与、東京純心女子短期大学教授。 本名、望月尚。 結城素明に師事。文部省文部大臣官房図書課嘱託となり、教科書の挿絵を担当。 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 1920年、東京女子高等師範学校の講師となる。 1921年、第3回帝展に入選。 1928年、第9回帝展特選。 1929年、第10回帝展特選。 1938年、日本画院を結成。 1958年、日本芸術院賞受賞。 1971年、勲四等旭日賞受賞。 1975年、山梨県特別文化功労者表彰。 1978年、紺綬褒章受賞。 墓所は長禪寺。 (『郷土史にかがやく人々第20集』) | 『花をみつめて』(秋山書店、1979) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p409) 『郷土史にかがやく人々第20集』 (青少年のための山梨県民会議、1995、p36~72) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p185) 『望月春江とその時代』(山梨県立美術館、2013) 『望月春江展』(山梨県立美術館、1979) | 2022/9/30 | 甲府 |
| モチヅキ 効ヨシ 望月 たか美 | 男 | 1929 | 南部町 | 南部町 | 『信玄堤』 | 文学 | 川柳「青空」同人を経て川柳「一の枝」代表。 山梨県川柳協会副会長。 甲斐市文化協会川柳部、川柳双葉会、山梨ライトハウス川柳クラブ、青い鳥老人ホーム川柳クラブ所属 (『信玄堤』) | 『信玄堤』(望月たか美、2012) | 『信玄堤』(望月たか美、2012、奥付) | 2014/11/27 | 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|---------------|---|---|--|------------|-----|
| モチヅキ トキオ 望月 勲雄 | 男 | 1930 | 身延町 | 身延町 | 『墨絵が語るふるさと』 『久遠の里』 『藝術公論』 | 芸術・ス ポーツ | 1991年、郵便局長退職後、墨絵を始める。 1996年から続けて日書画展特選。 総合水墨画展、台北国際美術展、 全国水墨画展などで入賞多数。 1997年からは山梨化学学園講師、 2001年、国際書画連盟評議員。 1997年から個展を開く。2003年には 山梨県版寄附金付年賀葉書の原画 を担当した。 墨酔会主催、号=勲夫 (『墨絵が語るふるさと』『久遠の里』 『藝術公論』) | 『墨絵が語るふるさと』(山梨日日新聞社、2005) 『花とふるさと病床絵日記』(望月勲雄、2015) 『久遠の里』(文芸社、2017) | 『墨絵が語るふるさと』(望月勲雄水墨画集、山梨日日新聞社、2005、p102略歴) 『久遠の里』(望月時雄水墨画集、2017、奥付) 『藝術公論』(『藝術公論』2002年5月号、p85) 『季刊水墨画』(日貿出版社、2003年4月第104号、p70~) 『artmagazine』(アイエフティー、2004年1月号、p73、“大家の肖像”) 『朝日新聞』(2004.8.13、山梨版「故郷の風景、絵に託す」) 『山梨日日新聞』 (2006.12.930面)(2007.7.3127面) (2018.8.128面)他多数 | 2022/11/30 | 身延 |
| モチヅキ ユリコ 望月 百合子 | 女 | 1900 2001 | 甲府市 | 甲府市 | 『開館十周年記念展Iやまなし・女性の文学』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 文学 | 文芸評論家、翻訳家、歌人。 1920年、ソルボンヌ大学へ留学。 1928年に「女人藝術」へ連載したマルグリット著「みちづれ」の翻訳は昭和初年代の名翻訳といわれる。 (『開館十周年記念展Iやまなし・女性の文学』) 1999年、山梨県の躰沢町教育文化会館内に望月百合子記念館が開設された。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『幻のくに』(みちの会、1964) 『タイース』(新潮社、1924) 『限りない自由を生きて望月百合子集』(東京ドメス出版、1988) | 『開館十周年記念展Iやまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p12~13) 『断髪のマダンガール』(森まゆみ著、文藝春秋、2008、p8~15) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p361~362、P442~443) 『二〇世紀を自由に生きて写真集望月百合子一〇〇歳のあゆみ』(東京ドメス出版、2000) 『望月百合子記念館 https://www.town.fujikawa.yamanashi.jp/kanko/gallery/kinenkan.html (2022.9.13確認) | 2022/9/30 | 甲府 |
| モモセ コウキチ 百瀬 康吉 | 男 | 1865 1936 | 韮崎町 | 韮崎市 | 『山梨百科事典』 『山梨大学水晶図録』 | 産業 自然科学・医学 | 韮崎の素封家に生まれ、甲府柳町に薬局を開いた。 1893年ごろから甲州に産する水晶、鉱物の資料収集を行う。 1919年、30年にわたって収集した貴重な標本を山梨県師範学校へ寄贈した。 (『山梨百科事典』) 薬種業の傍ら、方々から鉱物の鑑定も依頼される。 1907年、百瀬国産部品部で水晶製品の販売。 1911年、双晶堂を開業。 1934年、水晶峠産水晶並びに倉沢鉱山産ライン鉱付き水晶を寄贈。 (『山梨大学水晶図録』) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p934) 『山梨大学水晶図録』(角田謙朗、山梨大学、2011) | 2018/11/27 | 韮崎 | |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|-----------------------|---------|---|---|--|------------|-----|
| モリカワ セイイチ 森川 政一 | 男 | 1844 1877 | 桑戸村 | 笛吹市 | 『春日居町誌』 | 歴史・地理 | 旧名、茂手木歳助(モテキサイスケ)。西南戦争時の薩摩軍兵士。(『春日居町誌』) | | 『春日居町誌』(春日居町、1988、p1379~1384) | 2022/10/14 | 春日居 |
| モリシマ イズミ 森島 いずみ | 女 | 不詳 | 秋田県 | 秋田県 | 『ずっと見つめていた』(偕成社、2020) | 文学 | 秋田県に生まれる。通訳業のかたわら児童文学を書きはじめ、『パンプキン・ロード』(学研教育出版)で第20回小川未明文学賞大賞、『あの日の花火は消えない』(偕成社)で第63回産経児童出版文化賞フジテレビ賞受賞。原発事故のあった福島県から山梨県に移住し、現在に至る。(『ずっと見つめていた』偕成社、2020) | 『パンプキン・ロード』(学研教育出版、2013) 『あの花火は消えない』(偕成社、2015) 『まっすぐな地平線』(偕成社、2017) 『ずっと見つめていた』(偕成社、2020) 『そして、物語は決着する』(偕成社、2020) | 山梨日日新聞 (2017.3.8、18面、顔写真あり、 2017.3.11、15面、顔写真あり、 2017.10.4、11面、2020.3.31、15面、 顔写真あり) | 2020/10/28 | 櫛形 |
| モリタ シンスケ 森田 新介 | 男 | 1846 1919 | 南部町 | 南部町 | 『南部町誌』 | 産業 | 峡南地区に製糸工場甲南社設立。1892年、アメリカコロンブスの世界博にて、生糸を出品。(『南部地区における明治の群像』) | | 『南部町誌』(南部町、1964、p869) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著渡辺修孝、2000、p10) | 2012/8/14 | 南部 |
| モリヤ キョウ 守屋 喜久夫 | 男 | 1925 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2000』 | 自然科学・医学 | 日本大学在学中は長距離選手として1500メートルで2回日本記録を樹立。日本大学講師、東京農業大学専任講師、日本大学理工学部教授。千葉県地震対策会議委員。1979年ユーゴスラビア政府感謝状、1982年イタリア政府感謝状(『山梨県人物・人材情報リスト2000』) | 『「三原山大噴火」の真相―日本の火山・地震対策はこれでよいのか』(サンケイ出版、1987) 『地震災害と地盤・基礎』(鹿島出版会、1989) 『古地図が教える地震危険地帯』(日刊工業新聞社、1995)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p384-385) | 2022/11/30 | 韮崎 |
| モロシミ ヒロシ 諸角 弘 | 男 | 1925 | 上野原町 | 上野原市 | 「山梨日日新聞」 | 文学 | 中学校教諭(「山梨日日新聞」) | 『うろろう舟』(2008) | 「山梨日日新聞」(2008.11.13、19面顔写真あり) | 2009/1/16 | 上野原 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------------------------|---------|--|--|--|------------|-----|
| モロホシ ヒロ 諸星 廣夫 | 男 | 1931 1931 | 甲府市 | 甲府市 | 『甲府空襲の実相「諸星廣夫体験記」』 | 技術 | 1975年9月運輸省航空大学校本科二期卒業、同年10月日本航空株式会社入社。1989年8月ジャルフライトアカデミー社長。1990年、黄綬褒賞を授賞。1991年3月日本航空株式会社定年退職。1994年7月ジャルフライトアカデミー退社。1995年9月航空評論家。 | 『甲府空襲の実相「諸星廣夫体験記」』(山梨平和ミュージアム、2007) 『甲府盆地は火の海だった』(山梨ふるさと文庫、2018) ほか | 『甲府空襲の実相「諸星廣夫体験記」』(山梨平和ミュージアム、2007、P15) 『山梨日日新聞』(1996.3.18、8面顔写真あり) | 2022.9.30 | 甲府 |
| ヤギユウ シンゴ 柳生 真吾 | 男 | 1968 2015 | 東京都 | 東京都 | 『山梨県人物・人材リスト2021』『柳生真吾のガーデニングははじめの一步』 | 産業 | 園芸家、タレント。父は俳優の柳生博。玉川大学農学部卒業後、花の生産農家で3年間修業し園芸の基礎を学ぶ。その後、北社市大泉町にある手づくりの雑木林にレストランやギャラリーを併設した、ハケ岳倶楽部を運営し、代表を務める。1999年から8年間NHK「趣味の園芸」のメインキャスターを務める。『柳生真吾のガーデニングははじめの一步』『山梨県人物・人材リスト2021』) | 『柳生真吾のハケ岳だより』(日本放送出版、2004) 『柳生真吾のガーデニングははじめの一步』(家の光協会、2008) 『男のガーデニング入門』(角川書店、2006) 『柳生真吾のガーデニングははじめの一步』(家の光協会、2008) 『柳生真吾の雑木林はテーマパークだ!』(日経新聞社出版、2010)ほか | 『柳生真吾のハケ岳だより』(日本放送出版、2004) 『柳生真吾のガーデニングははじめの一步』(家の光協会、2008) 『ハケ岳デイズ2014vol.7』(芸文社、2014p22~35) 『柳生真吾のハケ岳みどり通信』(山梨日日新聞、2008.1.19~2014.12.13) 『山梨日日新聞』(2015.5.827面) https://yatsugatake-club.com (2022.10.1確認) | 2022/10/1 | 金田一 |
| ヤギユウ ヒロシ 柳生 博 | 男 | 1937 2022 | 茨城県 | 茨城県 | 『山梨県人物・人材リスト2021』 | 芸能・スポーツ | 俳優。ハケ岳倶楽部オーナー、日本野鳥の会会長(2004~2019)、鳥根県立三瓶自然館名誉館長。北社市ふるさと親善大使。(2017年~)俳優養成所第9期生。生家は茨城の柳生一族に連なる旧家。テレビを中心に俳優を続けながら、1988年に自ら育てた雑木林の中(大泉村)にレストランとギャラリーを併設したハケ岳倶楽部を開く。『山梨県人物・人材リスト2021』) | 『ハケ岳倶楽部森と暮らす、森に学ぶ』【講談社、1994) 『柳生博鳥と語る』(ぺんぎん書房、2005) 『柳生博の庭園作法花鳥風月の里山』(小学館、2005) 『じいじの森』(清流出版、2012) 『森に暮らし、鳥になった人。』(東京ニュース通信社、2022) | 『山梨県人物・人材リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p455~456) 『山梨日日新聞』2022.4.22、27面) 『ハケ岳倶楽部森と暮らす、森に学ぶ』(講談社、1994) https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/ (2022.10.1確認) | 2022/10/1 | 金田一 |
| ヤザキ キミヨ 矢崎 きみよ | 女 | 1891 1979 | 白根町 | 南アルプス市 | 『愛育のあゆみ』 | 社会科学 | 白根町連合愛育会長、山梨県愛育連合会会長。甲府家庭裁判所家事調停員。 1966年藍綬褒章受賞、1969年恩賜財団母子愛育総裁表彰、1970年勲五等瑞宝章受賞ほか。 (『愛育のあゆみ』) | | 『愛育のあゆみ』(山梨県白根町母子愛育会、1990、顔写真あり) 山梨日日新聞(2019.2.27、17面、顔写真あり、2019.10.8、22面、顔写真あり) | 2020/10/28 | 白根 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---------------------|-----------------|---|--|---|------------|------|
| ヤザキ ケンクロウ 矢崎 源九郎 | 男 | 1921 1967 | 若草町 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 | 言語 文学 | 言語学者、北欧文学者、児童文学者、東京教育大学助教授。アンデルセン童話の翻訳と研究。(『山梨百科事典』) | 『アンデルセン童話全集』(矢崎源九郎訳、講談社、1984) 『絵のない絵本』(アンデルセン著、矢崎源九郎訳、新潮社、1952) 『ニルスのふしぎな旅』(セルマ・ラゲレーヴ著、矢崎源九郎訳、偕成社、1953) 『グリムの昔話』(グリム兄弟著、矢崎源九郎共訳、童話館出版、2000) 『本・子ども・大人』(ポール・アザール著、矢崎源九郎共訳、紀伊国屋書店、1979、山梨県立図書館蔵) 『子どもに聞かせる世界の民話』(実業之日本社、2014) | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p792) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p235) 『日本児童文学大辞典第二巻』(大阪国際児童文学館、1994、p233) 『山梨日日新聞』(2018.8.8、17面) | 2020/10/28 | わかくさ |
| ヤザキ ミツニ 矢崎 光圀 | 男 | 1923 2004 | 若草村 | 南アルプス市 | 『成城法学』 | 社会科学 | 法学博士。日本法哲学学会理事長、大阪大学名誉教授、成城大学法学教授・部長。(『成城法学』) | 『法哲学』(筑摩書房、1975、山梨県立図書館蔵) 『法の概念』(ハーバート・ハート著、矢崎光圀訳、みすず書房、1976、北杜市立図書館蔵) 『近代法思想の展開』(有斐閣、1981、富士河口湖町立図書館蔵) 『日常生活の法構造』(みすず書房、1987、山梨県立図書館蔵)ほか | 『成城法学』第48号・矢崎光圀先生古稀祝賀記念号(成城大学法学部、1995.3、p509、成城大学法学部ホームページで閲覧可) http://www.seijo-law.jp/faculty/public/info/hougaku/048.php (2012.8.21確認) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p235) | 2020/10/28 | わかくさ |
| ヤシロ エイタ 八代 英太 | 男 | 1937 1990 | 八代町 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 社会科学 | 政治家 元衆議院議員 元テレビ司会者 本名:前島英三郎 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『八代英太の車いす郵政大臣奮戦記』(日本テレソフト、2001) 『負けてたまるか車椅子』(日本図書センター、2001)『八代英太の車椅子からみた障害者福祉』(エンパワメント研究所、2006) | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p28~29) 『お父さんの車椅子』(前島由希著、講談社、2000) | 2022/10/13 | 石和 |
| ヤダ キミオ 矢田 喜美雄 | 男 | 1913 1990 | 増田村 | 笛吹市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』 | 社会科学 芸術・スポーツ | 元走り高跳び選手、ベルリンオリンピック第5位入賞。 元・朝日新聞記者(下山事件担当) (『山梨県人物・人材情報リスト2002』) 朝日新聞に連載された藤沢恒夫の「新雪」は教職時代の矢田がモデルとなった。 (『翔んだ男矢田喜美雄』) | 『謀殺下山事件』(講談社、1973) | 『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p369) 『翔んだ男矢田喜美雄』(『翔んだ男矢田喜美雄』刊行委員会、1991) | 2014/11/27 | 竜王 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|---|------------|-------|
| ヤダ シゲル 矢田 茂 | 男 | 1917 1987 | 甲府市 | 甲府市 | 『著作権台帳』 『山梨県人物人材情報リスト 2002』 | 社会科学 芸術・ス ポーツ | 甲府一高卒 (『甲府一高同窓会誌』) 「新宿福祉の家」代表。 舞台プロデューサー、「ダン・ヤダ・ ダンサーズ」主宰。 パリのムーランルージュで公演。 (『山梨県人物人材情報リスト 2002』) | 「私はこの街を愛している」作詞(作 曲・市村俊幸、歌・森繁久弥、レコー ド『マイライフマイピアノ』収録) | 『山梨県人物人材情報リスト2002』 (日外アソシエーツ、2002、p369) 「映画技術」3巻13号(日本映画技術 協会、1955.7、p26-27) 「毎日新聞夕刊」(1990.11.13、8面) 『山梨日日新聞』(1954.11.16) 『甲府一高同窓会誌』(甲府一高、 p399) 「ネットワーク」(2005年5・6月号から 2006年3・4月号まで「地平をひらくポ ランティアたち」5回連載) ほか | 2014/11/27 | 竜王 |
| ヤツシロ コマオ 八代 駒雄 | 男 | 1840 1897 | 穴山村 | 韮崎市 | 『韮崎市誌』『山梨百科事典』 | 哲学・宗 教 社会科学 自然科学 学・医学 | 甲斐国一宮浅間神社禰宜・宮司、 御嶽金桜神社宮司、信濃国一宮諏 訪神社宮司などを歴任。 また、県令藤村紫朗の信任を得て 西山梨郡長・中巨摩郡長・南北都留 郡長を歴任。 (『韮崎市誌』) 甲府市長禅寺、都留市大神宮公園 に碑がある。 (『山梨百科事典』) | | 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委 員会、韮崎市、1979、p442) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p948) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ヤブウチ マサユキ 藪内 正幸 | 男 | 1940 2000 | 大阪府 | 大阪府 | 「藪内正幸美術館(北杜市) ホームページ」 | 芸術・ス ポーツ | 画家 (『ヤブさん藪内正幸・動物画に生き た六十年』) | 絵・挿絵 『コウモリ』(福音館書店、1983) 『日本の恐竜』(福音館書店、1988) ほか | 『ヤブさん藪内正幸・動物画に生き た六十年』(たまたあ編集室、2004) 「藪内正幸美術館ホームページ」 https://yabuuchi-art.jp/ (2023.2.22確認) | 2023/2/22 | はくしゅう |
| ヤマキ クマン 八巻 九萬 | 男 | 1852 1929 | 高根町 | 北杜市 | 『山梨百科事典』 | 社会科学 | 慶應義塾大学に学び、漢学と西洋 学を修めた新知識人として知られ た。 1879年山梨県議会議員 1881年山梨県議会議長 第一回衆議院議員総選挙に当選、 大成会に属す。 晩年、東京に山梨共修社を創設、 郷党子弟の指導にあたった。 | | 『山梨百科事典』 | 2018/11/19 | たかね |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|------------------------|-------------|---|---|--|------------|-----|
| ヤマキ ヨシオ 八巻 与志夫 | 男 | 1954 | 若草町 | 南アルプス市 | 『山梨県人物人材 情報リスト2000』 | 歴史・地 理 | 山梨県埋蔵文化財センター文化財 主事、所長を歴任。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』) (『毎日新聞』) | 『古代甲斐国の謎』(新人物往来社、 1985) 『戦国武将・武田信玄』(新人物往来 社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来 社、2001) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、 2008) ほか | 『山梨県人物人材情報リスト2000』 (日外アソシエーツ、2000、p392) 『毎日新聞』(2012.3.28、27面) | 2012/11/4 | 韮崎 |
| ヤマキタ シゲリ 山北 しげり | 男 | 1912 1994 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨日日新聞』 『やまわらべたち』 | 文学 | 童謡詩人。本名は山北茂利。大村 主計に師事し「ぶんぶく茶釜」などを 作詩。童謡集「小人の踊り」を刊行。 (『山梨日日新聞』) 戦前より多くの童謡を作詩する。晩 年を竜王町で過ごした。 (『山北しげり童謡集』) | 『山北しげり童謡集』(竜王町、 1995) 童謡「ぶんぶく茶釜」(中山晋平作 曲、ビクターレコード) | 『山梨日日新聞』(2000.2.22、11面、 顔写真あり) 『やまわらべたち』(竹内秀秋著、ふ じ音楽事務所、2003、p42~43) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ヤマグチ ススム 山口 進 | 男 | 1948 2022 | 三重県 | 三重県 | 『珍奇な昆虫』 | 自然科 学・医学 | コンピューター会社勤務を経て独 立。昆虫植物写真家。 自然科学写真家協会会員 日本鱗翅学会会員 山梨県在住 40年以上にわたり「ジャポニカ学習 帳」(ショウワノート)の表紙写真を 撮影。 (『珍奇な昆虫』) | 『砂漠の虫の水さがし』(福音館書 店2000) 『米が育てたオオクワガタ』(岩崎書 店2006) 『実物巨大大昆虫探検図鑑』 (岩崎書店2008) 『カブトムシ山に帰る』(汐文社 2013) ほか | 『珍奇な昆虫』(光文社2017奥付) 山口進HP 一花と虫の地球 http://susumuyamaguchi.com/ | 2022/2/20 | すたま |
| ヤマグチ ヨシアキ 山口 好昭 | 男 | 1941 | 上野原町 | 上野原市 | 『食と邑おこし』(文芸社) | 産業 | ふるさと長寿館館長 山梨県農村休暇邑ゆうゆう案内人 上野原市議会議員 | 『食と邑おこし』(文芸社、2005)『未 来につなぐまちおこし長寿の里・山 梨県上野原市の実践』(文芸社、 2019) | 『食と邑おこし』(文芸社) | 2020/10/20 | 上野原 |
| ヤマザキ テルトモ 山崎 照朝 | 男 | 1947 | 大和村 | 甲州市 | 『無心の心』 | 芸術・ス ポーツ | 第1回全日本空手道選手権大会優 勝 (『無心の心』) | 『無心の心』(スポーツライフ社、 1980) 『山崎照朝の実戦空手』(池田書 店、1984) | 『無心の心』(裏表紙、顔写真あり) 『山崎照朝の実戦空手』(裏表紙、 顔写真) | 2012/8/21 | 大和 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----------|---------------|------------------------|-----------|---|---|--|------------|------|
| ヤマザキ ホウダイ 山崎 方代 | 男 | 1914 1985 | 右左口村 | 甲府市 | 『山崎方代全歌集』 | 文学 | 歌人。 1972年から晩年まで鎌倉で暮らし た。 1975年「短歌」昭和49年9月号掲載 『めし』が第1回角川短歌愛読者賞 受賞。 (『山崎方代展』) (『山梨県人物・人材リスト2023』) | 『右左口』(短歌新聞社、1974) 『こおろぎ』(短歌新聞社、1980) 『青じその花』(かまくら春秋社、 1981) 『首』(短歌新聞社、1981) 『迦葉』(不識書院、1985) 『山崎方代全歌集』(不識書院、 1995) | 『山梨県人物・人材リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p383～384) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、 2001、p355～) 『山崎方代展』(山梨県立文学館、 1994) 『山崎方代のうた』(大下一真著、短 歌新聞社、2003) 『方代を読む』(現代短歌社、2012) 『方代研究』(山崎方代を語り継ぐ 会、創刊号～) ほか | 2023/2/23 | 県立 |
| ヤマジ ススム 山地 進 | 男 | 1929 | 富士吉田 市 | 富士吉田市 | 『山梨日日新聞』 | 産業 | 農政評論家。 内外食料経済研究会代表、山人会 会長。京都工芸繊維大学繊維学部 卒。1953年日本経済新聞社入社。 1969年編集委員兼論説委員、1984 年日経を定年退職。2006年学術文 化団体・山人会会長に就任。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2007』) | 『再出発する日本農業』(永田農共 著、農業図書、1962) | 『山梨県人物・人材情報リスト2007』 (日外アソシエーツ、2006、p343～ 344) 『山梨日日新聞』(2006.2.12、9面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ヤマシタ タカシ 山下 孝司 | 男 | 1957 | 竜王町 | 甲斐市 | 『山梨県人物人材情報リスト 2000』 | 歴史・地 理 | 考古学研究者。 日本考古学協会会員。 (『山梨県人物人材情報リスト 2000』) | 『戦国武将・武田信玄』(新人物往来 社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来 社、2001) 『中世近世甲斐の社会と文化』(岩 田書院、2005) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、 2008) 『戦国期の城と地域』(岩田書院、 2014) 『甲信越の名城を歩く山梨編』(吉川 弘文館、2016)ほか | 『山梨県人物人材情報リスト2000』 (日外アソシエーツ、2000、p395) | 2018/11/27 | 韮崎 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------------|---------------|-------------------|---------|--|---|---|------------|-----|
| ヤマダ コウゾウ 山田 耕三 | 男 | 1932 | 京都府 | 京都府 | 『山梨百景』 『山鳴る』 | 芸術・スポーツ | 3歳のとき、甲府へ転居、現在は甲斐市在住。 1953年、第2回全国公務員レクリエーション(山梨)絵画展で特選をはじめ、受賞多数。 1985～1991年、山梨県立美術館副館長。 1991～1993年、山中湖高村美術館館長。 1996年、旧竜王町北部公園モニュメント制作。 (『山梨百景』) 1997年、第2回NHK地域放送文化賞受賞。 1998年、第1回山梨県文化賞・文化功労章受章、第12回山人会前田晁文化賞受賞。 2001年、櫛形町立春仙美術館館長。 2002年、南アルプス市制施行により同市立春仙美術館・白根桃源美術館館長。 (『山鳴る』) | 『山梨百景』(山梨日日新聞社、1994) 『山梨百景』(山梨日日新聞社、1997) 『スケッチ富士の表情100』(ART・R、2006) 『春によし』(ART・R、2009) 『山鳴る』(ART・R、2013) ほか | 『山梨百景』(p227～p230) 『ザ・やまなし』(山梨日日新聞社、1997年12月号、p2～3) 『山鳴る』(略歴p248～251) | 2014/11/27 | 竜王 |
| ヤマダ タカイチ 山田 多賀市 | 男 | 1907 1990 | 長野県南安曇野郡三田村 | 長野県安曇野市 | 『終焉の記』 | 文学 | 子守奉公・大工の従弟・瓦焼屋の従弟・農家の雇人・土方・瓦焼職人・25歳で実際運動から転向、文学作家を志す(『終焉の記』) 登美(甲斐市竜地)に「耕土」の文学碑あり『山梨の文学第20号』 | 『耕土』(文化山梨社、1947) 『農民』(山梨ふるさと文庫、1987) 『雑草』(東邦出版社、1971) 『実録小説北富士物語』(たいまつ社、1977) 『終焉の記』(山梨ふるさと文庫、1987) | 山梨日日新聞(1999.12.7、12面) 『山梨の子ども文学風土記』(山梨国語教育研究会、1987、p70) 『山梨の文学第14号』(山梨県立文学館、1998、p27) 『資料と研究第五輯』(山梨県立文学館、2000、p152) 『山梨の農民文学』(山梨県立文学館、2003、p8) 『山梨の文学第20号』(山梨県立文学館、2004、p35) | 2018/11/18 | 双葉 |
| ヤマダ トシコ 山田 十士子 | 女 | 1943 | 山梨県 | 山梨県 | 『すいぎんちたのくってんかいねい』 | 文学 | 保育士 元双葉西保育園園長 (『すいぎんちたのくってんかいねい』) | 『すいぎんちたのくってんかいねい』 (山田十士子、2009) 『漢字と私森羅万象編』(協立コミュニケーションズ、2021) | 『山梨日日新聞』(2009.1.31.15面) 『山梨日日新聞』(2021.11.25.18面) | 2018/11/18 | 双葉 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|----------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------|--------------------------|---|--|---|------------|-----|
| ヤマテラ ジンタロウ 山寺 仁太郎 | 男 | 1919 2016 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『21世紀—山梨の100人』 「中央線」第73号 | 歴史・地理 | 井筒屋醤油会長、山梨郷土研究会 会員、日本山岳会員、白鳳会顧問。 (『21世紀—山梨の100人』) 山岳信仰や山岳風習等の研究を続 けた県内民俗学の草分け的存在。 北巨摩地域の山岳のフィールド ワークを行い、自ら発行人も務めた 県内最古参の総合同人誌「中央線」 で1968年から86年まで甘利山と南 アルプス、茅ヶ岳などの自然と伝説 を掲載。 白鳳会会長は69年から4期8年務め た。県内外での登山だけでなく、植 生調査や登山道の安全確認などに 尽力。韮崎駅に北原白秋の歌碑を 建立した。 (「中央線」第73号) 2001年、野口賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』) | 『五車』(五車会、1991) 『甘利山』(山梨日日新聞社、2001) 『中央線』(中央線社)ほか | 『21世紀—山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p176) 「中央線」第73号(中央線社、2016) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p237) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ヤマノ ケイゾウ 山野 慶蔵 | 男 | 1924 2010 | 双葉町 | 甲斐市 | 『甲州百人の顔』(株式会社豆 州かわら版、1983) | 社会科学 | 旧制韮崎中学卒業、太平物産社長 (『甲州百人の顔』) | | 『甲州百人の顔』(株式会社豆州か わら版、1983、p144-145)富士川町 役場ホームページ (https://www.town.fujikawa.yamana shi.jp/mayor/aisatsu/img/H22.8.pdf 、2020.10.25確認) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| ヤマモト イコ 山本 育夫 | 男 | 1948 | 山梨市 | 山梨市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2015』 | 芸術・ス ポーツ 歴史・地 理 | 美術ジャーナリスト、詩人、造形作 家。 2003年、NPO法人“つなぐ”を結成。 つなぐ理事長。 県立美術館学芸員を経て、ミュージ アム・マガジン「DOME」、アートマガ ジン「L/R」各編集長。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2015』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2015』 (日外アソシエーツ、2014、 p373.P399) 「MUHvol.41」(2009.10、p9) 「山梨日日新聞」(2012.11.25.2面) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|-------------|--|--|--|------------|----------|
| ヤマモト ケンイチ 山本 健一 | 男 | 1979 - | 山梨県 | 山梨県 | 『トレイルランナーヤマケン は笑う』 | 芸術・ス ポーツ | トレイルランナー、高校教諭。 信州大学時代はモーグル選手と して活躍。そのトレーニングの一環 として山を走っていたことがきっかけ でトレイルランニングの世界へ。 2012年に日本国内で初めて開催さ れた100マイルレース「ウルトラレ イル・マウントフジ(UTMF)」で日本人 最高の3位に入賞。8月末のフランス 「グランレイド・デ・ピレネー」では日 本人初の優勝。 トレイルランナーとして国内外の 数々のレースに挑戦している。 (『トレイルランナーヤマケン は笑う』) | 『トレイルランナーヤマケン は笑う』 (カンゼン、2015) | 『トレイルランナーヤマケン は笑う』 (カンゼン、2015) 『甲斐国ロングトレイル』(2021) | 2022/11/30 | 韭崎 |
| ヤマモト シュウゴロウ 山本 周五郎 | 男 | 1903 1967 | 初狩村 | 大月市 | 『大月人物伝』 『韭崎の礎を築いた偉人た ち～近世・近代を生き抜いた先 人たちの行動～』 『山本周五郎』 『素顔の山本周五郎』 『郷土史にかがやく人々集 合編』 『山梨県人物・人材情報リス ト2019』 『山梨百科事典』 | 文学 | 小説家。 本名清水三十六(さとむ) 1907年初狩村の大洪水により4歳で 東京に転居。 小学校卒業後、東京市木挽町の山 本周五郎質店(きねや)で丁稚奉公 しながら学校に通う。 関東大震災後、地方新聞記者、雑 誌記者などをする。 1926年文壇出世作となる「須磨寺 附近」発表。 1943年「日本婦道記」で直木賞に推 されたが辞退。以後も各賞を辞退。 (『大月人物伝』、『山梨県人物・人 材情報リスト2011』) | 『須磨寺付近』(文芸春秋、1926) 『小説日本婦道記』(講談社、1943) 『樅ノ木は残った』(日本経済新聞、 1954) 『雨あがる』(同光社、1956) 『赤ひげ診療譚』(文芸春秋新社、 1959) 『さぶ』(新潮社、1963) ほか 山梨を題材にした作品 『夜明けの辻』新潮社甲州篠原村(周五 郎の母の出身地)出身の山梨大武の思 想にひかれる二人の若者の友情話。本 名「清水三十六」署名あり 『明和絵暦』新潮社山梨大武と明和事 件を題材にした作品 『甲州小説集』実業之日本社全集未収 録作品集六として刊行。『明和絵暦』 『米の武士道』『夜霧の半太郎』など収 録。 『山彦乙女』朝日新聞社甲府勤番だ った叔父の不可解な疾走が武田家再興 とその遺産をめぐる謎に関わり、甘利 の地で解き明かす物語。 『戦国少年記』鶴書房武田家滅亡後の 甲州が舞台。武田家の再興を願って隠 された財宝を探し求めていくという物 語。 | 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p291～294、顔写真あ り) 『曲軒・山本周五郎の世界』(山梨県立 文学館、1998) 『山梨日日新聞』(2003.6.21、13面) 『山本周五郎の世界』(新評社、1981) 『韭崎の礎を築いた偉人たち～近世・近 代を生き抜いた先人たちの行動～』韭 崎ふるさと偉人研究会 // 編2016.3P.30 『山梨「人物」博物館甲州を生きた273 人』江宮隆之 // 編著丸山芸芸P.203 『郷土史にかがやく人々集合編』[甲府] 青少年のための山梨県民会議P.419 『山梨県人物・人材情報リスト2019』日 外アソシエーツ株式会社 // 編集日外ア ソシエーツ(制作)P.361 『山本周五郎』尾崎秀樹 // 編集至文堂 『素顔の山本周五郎』木村久選典 // 著 新潮社 『山梨百科事典』山梨日日新聞社 // 編 集増補改訂版山梨日日新聞社P.1018 一般社団法人韭崎市観光協会ホーム ページ (https://www.nirasaki-kankou.jp/#header-nav) 2023.3.1確認 韭崎市地域情報センター (http://nirasaki.info/heiwakannon/) 2020.10.22確認 | 2023/3/1 | 大月 韭崎 |
| ヤマモト タケル 山本 文晴 | 男 | 1925 2011 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『僕のそばには、いつも音楽 と感動と愛のときめきがあっ た』 | 芸術・ス ポーツ | 作曲家の古賀政男に師事し、ギ ター演奏により古賀メロディの普及 に貢献。 女優山本富士子の夫。 第48回日本レコード大賞功労賞受 賞。 (『僕のそばには、いつも音楽と感動 と愛のときめきがあった』) | 『コードから入るギター独習』(全音 楽譜出版) 『生誕百年記念ギターでつまびく古 賀政男110名曲集我が心の歌』(全 音楽譜出版) 『僕のそばには、いつも音楽と感動 と愛のときめきがあった』(ワン・ ツー・ワン・プロダクツ、2006) | 『僕のそばには、いつも音楽と感動 と愛のときめきがあった』(ワン・ ツー・ワン・プロダクツ、2006、奥付) | 2012/8/16 | 富士河口湖 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------------|-------------|---|---|--|------------|-----|
| ヤマモト チスギ 山本 千杉 | 男 | 1929 | 高根町 | 北杜市 | 『逸見筋の歳時記・方言』 『日本の神話-古事記より』 | 歴史・地理 言語 | 1929年、代々神職の家に生まれる。 1948年、山梨師範学校卒業後、県内小中学校で教鞭をとり1989年退職。 高根町郷土研究会員、高根町社会教育委員、高根町文化財審議委員などを務め、現在、蔵原諏訪神社宮司。 (『逸見筋の歳時記・方言』『日本の神話-古事記より』) | 『甲斐国志にみる高根町』(小宮山プリント社、1993) 『古事記に現れる「神名要覧」』(小宮山プリント社、1994) 『逸見筋の歳時記・方言』(小宮山プリント社、1997) 『高根町内神社とまつりごと』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神々』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神話-古事記より』(小宮山プリント社、2010) ほか | 『逸見筋の歳時記・方言』(山本千杉編、小宮山プリント、1997) 『日本の神話-古事記より』(山本千杉著、小宮山プリント社、2010、著者略歴に顔写真あり) | 2012/8/3 | たかね |
| ヤマモト ミハ 山本 美香 | 女 | 1967 2012 | 都留市 | 都留市 | 『山本美香という生き方』 | 図書館・情報 | 都留文科大学卒業後、CS放送局の記者、ディレクターを経て1996年から独立系通信社ジャパンプレスに所属。世界各地の紛争地、米国同時多発テロ戦時下のアフガニスタン、イラク戦争等を取材、リポート。大学非常勤講師として、また講演活動等で活躍。2012年8月20日、シリア内戦の取材中、銃撃を受け殉職。 ポーン・上田記念国際記者賞特別賞、都留市市民栄誉賞受賞。(『山本美香という生き方』) | 『匿されしアジア』(共著、風媒社、1996) 『中継されなかったバグダッド』(小学館、2003) 『ほくの村は戦場だった』(マガジンハウス、2006) 『戦争を取材する』(講談社、2011) 『山本美香という生き方』(日本テレビ放送網、2012) 『山本美香が伝えたかったこと』(山梨日日新聞社、2014) 『これから戦場に向かいます』(ポプラ社、2016)『ザ・ミッション』(早稲田大学出版部、2013)『戦争の教室』(共著、月曜社、2014) | 『山本美香という生き方』(日本テレビ放送網、2012) | 2020/10/10 | 都留 |
| ヤマモト ユウスケ 山本 裕輔 | 男 | 1982 | 山梨県 | 山梨県 | 『めぐる日本のモノづくり52』 『印伝の山本』HP | 芸術・スポーツ | 1982年生まれ。甲州印伝工芸士。中学生のころ日本唯一の甲州印伝の伝統工芸士であった父からの影響を受け、この道を目指す。 (『めぐる日本のモノづくり52』) 2018年甲州印伝伝統工芸士(総合部門)No.507802称号取得。 2017年『日本伝統工芸士会会長賞』 2018年『全国中小企業団体中央会会長賞』 2020年『関東伝統工芸士会長賞』 2020年『第45回全国伝統的工芸品公募展』にて『若手奨励賞』 2022年『関東伝統工芸士会長賞』 数々のゲーム・アニメなどのコラボ商品を開発し、新たな客層へのアプローチに成功した。 (『印伝の山本』HP) | | 『めぐる日本のモノづくり52』(美術出版社、2017、P96~99) 「印伝の山本」 http://www.yamamoto-inden.com/ (工芸士紹介、2022.9.13確認) 「日本の伝統工芸士」 http://www.kougeishi.jp/index.html (一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、2022.9.13確認) | 2022.9.30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------|----|-------------------|-----------|---------------|--|-------------|---|---|--|------------|-----|
| ユウ ヒカル 優 ひかる | 女 | 不詳 | 塩山市 | 甲州市 | 『ザ・タカラヅカ』 『HandyTakarazukaOtom e月組』 | 芸術・ス ポーツ | 宝塚音楽学校95期生宝塚歌劇団月 組(『ザ・タカラヅカ』) | | 『ザ・タカラヅカ』(阪急コミュニケー ションズ、2011、p51)『HandyTaka razukaOtomeme月組』(阪急コミュニ ケーションズ、2010、p77) 山梨日日新聞2009.3.318面 | 2016/11/30 | 塩山 |
| ユキエ ナホミ 雪江 なほみ | 女 | 1941 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨現代美術の軌跡』 | 芸術・ス ポーツ | 工芸家、ジュエルアート作家。 九人展事務局長。 「ジュエルスタンド」を考案。 甲府盆地ナイトツアーを考える会に 参加。 (『山梨現代美術の軌跡』) 1995年、JJAジュエリーコンテスト 95にて、通産産業省生活産業局長 賞受賞。 (「ジュエルスタンドアトリエ雪江」) | | 『山梨現代美術の軌跡』(現代美術 「こうふ展」実行委員会・甲府教育 委員会、2005、p18) 「ジュエルスタンドアトリエ雪江」 http://www5.nns.ne.jp/~jewel.staine d//((2022.9.13確認)) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ユキ マリ 柚木 真理 | 女 | 不詳 | 東京都 | 東京都 | 『父さん、ぼく面倒みきれませ ん。』 | 文学 | 大学で国文学・民俗学を学び、昔話 の研究書を2冊著す。 小学校・養護学校教員、山梨県史 や富士吉田市史等の編集専門調査 員(民俗編)をつとめる。 『にいちゃん、ぼく反省しきれませ ん。』は第10回読書感想画中央コン クールの指定図書になる。 清里高原在住。 (『父さん、ぼく面倒みきれませ ん。』) | 『にいちゃん、ぼく反省しきれませ ん。』(ポプラ社、1998) 『父さん、ぼく面倒みきれません。』 (新風舎、2005) | 『山梨日日新聞』(2005.2.27、13面) 柚木真理のホームページ http://ameblo.jp/hoyurican/ (2012/8/3確認) | 2012/8/3 | たかね |
| ヨウチ カナメ 横内 要 | 男 | 1908 1989 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『甲州百人の顔』(株式会社豆 州かわら版、1983)、『韮崎市 65年のあゆみ』 (https://www.city.nirasaki.lg.j p/material/files/group/4/28- 29p.pdf、2020.10.25確認) | 社会科学 | 韮崎市長(第2代から第6代)、韮崎 紡績株式会社社長、山梨県議会議員(2期) 同議長を歴任。勲三等瑞宝章、韮 崎市名誉市民(『甲州百人の顔』) | | 『甲州百人の顔』(株式会社豆州か わら版、1983、p150-151)、『韮崎市 65年のあゆみ』 (https://www.city.nirasaki.lg.jp/mat erial/files/group/4/28-29p.pdf、 2020.10.25確認)『山梨日日新聞』 (1989.5.1、15面、顔写真あり、 1989.12.30、16面、顔写真あり) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| ヨコセ ノブコ 横瀬 信子 | 女 | 1948 | 富士吉田 市 | 富士吉田市 | 山梨日日新聞「やまなし文学 賞」 | 文学 | 『笹こだま』同人発行 やまなし文学賞受賞 銅版画家 (山梨日日新聞) | 『笹こだま』『優しい雲』(山梨日日新 聞社2002)『大きな大きなおんなの 子』(上崎美恵子/著横瀬信子/絵金 の星社) | 山梨日日新聞 2013.03.112面 1996.10.2717面 1994.10.65面 山梨文芸の研究(白倉一由/著山梨 ふるさと文庫2009) | 2016/11/30 | 塩山 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-----|---------------|-------------------------|------------|--|--|--|------------|-----|
| ヨコモリ タクミ 横森 巧 | 男 | 1942 | 祝村 | 甲州市 | 『たかがサッカーされどサッカー』 | 芸術・スポーツ | 日本体育大学卒業後、高校体育教師となる。以降、韮崎工業高校、都留高校、谷村工業高校、韮崎高校を歴任。 1973年から1986年まで韮崎高校サッカー部監督を務め、インターハイ・高校選手権にて活躍。その後高体連事務局、韮崎工業高校を経て2005年より山梨学院高校サッカー部の監督・総監督として指導。2010年全国高校サッカー優勝。 (『たかがサッカーされどサッカー』) 平成22年韮崎市民栄誉賞受賞。 (「韮崎市」ホームページ) 2018年全国高校総体優勝。 (「山梨日日新聞」) | 『たかがサッカーされどサッカー』(山梨日日新聞社、2017) 『たかがサッカーされどサッカー』(山梨日日新聞社、2017) | 『たかがサッカーされどサッカー』(山梨日日新聞社、2017) 「山梨日日新聞」(2018.8.14、25面) 「韮崎市」ホームページ http://www.city.nirsaki.lg.jp/ (2018/11/27確認) | 2018/11/27 | 韮崎 |
| ヨコモリ トヨ 横森 豊雄 | 男 | 1952 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 社会科学 | 英国スターリング大学客員教授、専修大学教授、長崎県立大学教授を経て、2004年から宮城大学事業構想学部教授(『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | 『街づくりマーケティングの国際比較』(共著)(同文館出版、1998)『英国の中心市街地活性化タウンセンターマネジメントの活用』(同文館出版、2001)『流通の構造変動と課題ヨーロッパと日本の流通』(白桃書房、2002)『失敗に学ぶ中心市街地活性化英国のコンパクトなまちづくりと日本の先進事例』(学芸出版社、2008) | 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p238) | 2020/10/25 | 韮崎 |
| ヨコヤマ アキサウ 横山 昭作 | 男 | 1927 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『山梨県人物人材情報リスト2011』 | 社会科学 文学 | 随筆家。 県内公立学校勤務。1953年から成城学園に勤務。同初等校長・幼稚園園長を歴任。NHK学校放送企画委員。日本私立小学校常任連合会常任理事。山人会理事。 俳誌「黄鐘」同人。 (『山梨県人物人材情報リスト2011』) | 『四幕の島』(新生社、1983) 『遠い花火』(千代田永田書房、1988) 『花は葉に』(大成出版社1995) | 『山梨県人物人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p472) | 2012/11/4 | 韮崎 |
| ヨシイ トキエ 吉井 ときゑ | 女 | 1922 1998 | 甲府市 | 甲府市 | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』 | 文学 | 歌人。 伊藤生更に師事。 「見たまま、感じたまををぞうさもない言葉で表現する」などの言葉を具現した。 (『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』) | 『俱会一処』(吉井とときゑ、1993) | 『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p49) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|--|---------|--|---|---|------------|-----|
| ヨシオカ ジュンサク 吉岡 順作 | 男 | 1864 1944 | 徳条村 | 笛吹市 | 『春日居町誌』 『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々第17集』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 自然科学・医学 | 医師(地方病・日本住血吸虫病の研究)。 1864年徳条村(現・笛吹市春日居町)の医家に生まれ、徽典館(山梨大学)医学部卒。 1888年石和村へ吉岡医院を開業。 1897年水腫張満の患者「杉山なか」の死体解剖を盛岩寺(清田村向町)で実現させた。山梨県での献体第1号ともなる。この解剖で虫卵は発見したが、原虫は明らかにできなかった。 1910年地方病予防予報の論文を国家医学雑誌に発表。 (『郷土史にかがやく人々第17集』、 『山梨百科事典』、『春日居町誌』) | | 『春日居町誌』(春日居町、1988、p1337~1353、顔写真あり) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p1036~1037) 『郷土史にかがやく人々第17集』(青少年のための山梨県民会議、1989、p1~30、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p465) | 2022/11/10 | 春日居 |
| ヨシカワ ユキオ 吉川 行雄 | 男 | 1907 1937 | 大原村 | 大月市 | 『月夜の詩人吉川行雄』 | 文学 | 童謡詩人。 14歳の時、ポリオにより足が不自由となる。 1924年「赤い鳥」等に作品が入選。 1930年北原白秋門下の雑誌「チチノキ」同人。 数多くの月の詩を残し「月夜の詩人」と呼ばれた。 (『月夜の詩人吉川行雄』) | 『郭公啼くころ』(吉川行雄、1927) 『ロビン』(発行所不明、1927、『月夜の詩人吉川行雄』収録) ほか | 『月夜の詩人吉川行雄』(てらいんく、2007) 「山梨日日新聞」(2007.8.29、10面、顔写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p295~299、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p473) | 2018/11/25 | 大月 |
| ヨシザワ ヤスミ 吉沢 やすみ | 男 | 1950 | 山梨市 | 山梨市 | 『パパとゆっちゃん』 | 芸術・スポーツ | 漫画家 1970年『週刊少年ジャンプ』(集英社)で『ど根性ガエル』でデビュー。ベストセラーになる。 (『パパとゆっちゃん』単行本未収録作品集) | 『ど根性ガエル』(集英社、1995) ほか | 『パパとゆっちゃん』(ど根性クラブ、2010.5、奥付) | 2014/12/12 | 山梨 |
| ヨシダ シゲオ 依田 茂夫 | 男 | 1933 | 甲府市 | 甲府市 | 『青春グラフィティ』 | 文学 | 作家。 1983年「裾文学会」へ入会、創作活動を始める。 (『青春グラフィティ』) 『裾』編集人。 (郷土雑誌『裾』) | 『青春グラフィティ』(裾文学会、2002) 『花嫁の父』(裾文学会、2002) 『炎暑』(裾文学会、1993) ほか | 『青春グラフィティ』(裾文学会、2002、奥付に著者略歴あり) 郷土雑誌『裾』(裾文学会、年刊) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|-------|---------------|------------------------------------|---------|---|---|--|------------|------|
| ヨダ トオル 依田 徹 | 男 | 1977 | 若草町 | 南アルプス市 | 『盆栽』 | 産業 | 東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻、博士後期課程修了。美術博士。さいたま市大宮盆栽美術館学芸員を経て、現在は遠山記念館学芸員。専門は日本近代美術史、茶道史。『近代の「美術」と茶の湯』により、第24回茶道文化学術奨励賞を受賞。(『盆栽』) | 『女性と茶の湯ものがたり』(淡交社、2016)『茶を好んだ人』(淡交社、2016)『盆栽』(KADOKAWA、2015)『近代茶人の肖像』(淡交社、2015)『盆栽の誕生』(大修館書店、2014)『近代の「美術」と茶の湯』(思文閣出版、2013)『皇室と茶の湯』(淡交社、2019)『マボロシの茶道具』(淡交社、2019) | 「山梨日日新聞」(2014.8.12、13面、2014.11.19、14面、2015.3.8、9面、2015.4.25、12面、顔写真あり、2015.5.23、19面、2015.6.27、13面、2015.7.25、12面、2015.8.22、12面、2015.9.26、16面、2015.11.28、16面、2015.12.26、12面、2016.1.16、12面) | 2020/10/28 | わかくさ |
| ヨネザワ ユキオ 米沢 幸男 | 男 | 1932 | 身延町 | 身延町 | 『少年オルフェ』 | 文学 | 日本大学法学部卒業。1962年、長編童話『少年オルフェ』で第3回講談社児童文学新人賞を受賞。1965年、NHKで『少年オルフェ』がドラマ化される。1972年、NHKで再びドラマ化。1976年、俳句「乳母車花野をゆくや蝶ふえて」で、俳人協会全国俳句大会で特選となる。(『少年オルフェ』) | 『少年オルフェ』(講談社、1981) | 『少年オルフェ』(奥付) | 2014/12/12 | 身延 |
| ヨネミツ タツヒロ 米満 達弘 | 男 | 1986 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 「広報ふじよしだ」 | 芸術・スポーツ | レスリング選手(フリースタイル)。韮崎工時代は全国高校グレコローマン選手権、国体グレコローマンで優勝。拓殖大学に進み、2006年全国日本選手権フリースタイル66キロ級2位。2007年年全日本学生選手権で優勝。2008年世界学生選手権フリースタイル66キロ級で優勝した他、全日本選手権で初優勝。2009年、2010年世界選手権に出場。2012年ロンドン五輪フリースタイル66キロ級で金メダル獲得。同年「富士吉田市民文化スポーツ特別栄誉賞」受賞。身長169cm、リーチ184cm。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p477~478) 「山梨日日新聞」(2012.8.13、21面) 「広報ふじよしだ」(2012年9月号、表紙~3p) 「MAMOR(マモル)」(2013年3月号、p10~13) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ヨネヤマ アイシ 米山 愛紫 | 男 | 1906 1973 | 黒駒村 | 笛吹市 | 『こんなひとがいた。東八メモリーズ』 『武田節米山愛紫歌謡集』 | 芸術・スポーツ | 作詞家。本名、直照(ナオテル)。高校・中学・小学校の校歌、社歌、団体歌、音頭小唄を数多く手掛けた。代表作は「武田節」。笛吹市御坂町上黒駒に武田節詩碑が建立されている。(『こんなひとがいた。東八メモリーズ』) (『御坂町誌』) | | 『こんなひとがいた。東八メモリーズ』(東八代広域行政事務組合、2002、p269-277) 『御坂町誌』(御坂町役場、1971、p1718、p1808~p1810) 『武田節米山愛紫歌謡集』(甲府ライオンズクラブ、1975) | 2020/9/27 | 御坂 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-----------------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------------|------------------|---|--|--|------------|-----|
| ヨネヤマ キミヒロ 米山 公啓 | 男 | 1952 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材リスト2023』 米山公啓オフィシャルウェブサイト | 自然科学・医学 文学 | 作家、医師。 神経内科学専攻。医学博士。 (『山梨県人物・人材リスト2023』) | 『すべてがうまくいく8割行動術』(ソフトバンククリエイティブ、2006) 『頭のいい人の時間攻略法』(日本実業出版社、2007) 『新老人論』(アスキー、2007) 『医療格差の時代』(筑摩書房、2008) 『健康偽装』(ビジネス社、2008) 『AI時代に頭がいいとはどういうことか』(青春出版社、2018) 『看取り医独庵』(小学館、2021) ※根津潤太郎名義 ほか | 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p389～390、495) 『山梨日日新聞』(2004.8.29、5面、顔写真あり、2007.8.29、2面、顔写真あり) 米山公啓オフィシャルウェブサイト http://yoneyamakimihiro.main.jp/ (2023.2.23確認) | 2023/2/23 | 県立 |
| ヨネヤマ ホクアン 米山 朴庵 | 男 | 1864 1928 | 境村 | 都留市 | 『都留の今昔』 | 芸術・スポーツ | 本名米山登 滝和亭の弟子 (『都留の今昔』) | | 『都留の今昔』(都留市老人クラブ連合会、1978、p87～89) | 2012/8/9 | 都留 |
| ヨネヤマ ママコ 米山 曼舞子 | 女 | 1935 | 身延町 | 身延町 | 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『砂漠にコスモスは咲かない』 | 芸術・スポーツ | 東京教育大学体育学部卒。 1958年、NHK「私はバック」出演。 1960年渡米後、11年間放浪。日生上人に「十牛図」を説かれ「禪トマイム」の道へ。米国各地で大学講師を務める。 1981年、セリフ入り舞台で「ボルチモア国際演劇祭」にて高い評価を得る。 帰国後「ママコ・ザ・マイムスタジオ」を設立。公演活動、後進の指導にあたる。 1990年、一時米山曼舞子に改名。 1993年、第12回芦原英子賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』『砂漠にコスモスは咲かない』) | 『砂漠にコスモスは咲かない』(講談社、1977) | 『砂漠にコスモスは咲かない』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p479) 「婦人公論」(1992年1月号、p114～) 『山梨日日新聞』(2002.7.7/4面「元氣甲州人」、2004.10.5/11面、2005.5.24/10面、2014.5.18/11面) 「毎日新聞」(1986.10.8夕刊、1面) 「朝日新聞」(1987.12.5、13面) 「東京新聞」(1990.2.15、16面) 「日本経済新聞」(1992.7.23、36面) | 2014/12/12 | 身延 |
| ラッシュ ホール ポール・フレデリック・ラッシュ | 男 | 1897 1979 | アメリカ | アメリカ | 『清里の父ポール・ラッシュ伝』 | 歴史・地理 芸術・スポーツ | 清泉寮、清里農村センターを設立し 開拓支援を行う キープ協会創設者 日本アメリカンフットボール連盟創設 勲三等瑞宝賞受賞 山梨県文化功労者 (『清里の父ポール・ラッシュ伝』) | | 『清里の父ポール・ラッシュ伝』(ユニバース出版社、1988) 『夢かける高原清里の父ポール・ラッシュ』(キープ協会、2002) 『ポール・ラッシュ100の言葉』(清里100年プロジェクト、2003) 「ポール・ラッシュ記念センター」 http://www.keep.or.jp (2012/8/14確認) | 2012/8/14 | たかね |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|------------------|--|---|--|------------|----------|
| リュウデン コウシ 竜電 剛至 | 男 | 1990 □ | 甲府市 | 甲府市 | 「山梨日日新聞」 | 芸術・スポーツ | 力士。 本名、渡辺裕樹。 甲府・池田小学校1年から柔道を始め、竜王中学校3年で、県少年選手権兼県連盟会長杯争奪大会重量級の部、優勝。 15歳で高田川部屋に入門。 出身中学校の竜王、江戸時代の名大関・雷電から1字ずつを取った。 2006年、春場所初土俵。 2017年、甲府大使任命。 (「山梨日日新聞」) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p586～587) 『ライフスタイルマガジン晴耕雨読』26(サンニチ印刷、2018、p4～10) 『竜電不屈の闘志』(山梨日日新聞社、2019) 『山梨日日新聞』(2010.1.12、41面、顔写真あり、2018.7.1、35面、顔写真あり、2018.9.27、21面、顔写真あり、2019.5.27、1面、顔写真あり) 『日本相撲協会』 https://www.sumo.or.jp/ (2022.9.13、プロフィールあり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ワカ イツペイ 若尾 逸平 | 男 | 1820 1913 | 在家塚村 | 南アルプス市 | 『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 | 社会科学 技術 産業 | 行商(葉たばこ)や蚕糸業に従事。 1862年、若尾器機(製糸器材)開発。 1872年、山梨の蚕種製造人大総代に任命される。 1893年、若尾貯蓄銀行設立。 1889年、甲府市長。 1890年、貴族院議員。 1899年、緑綬褒章。 (『山梨百科事典』) (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) | | 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p1059～1060) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p29～30、p78～79、p165～166) 『若尾逸平』(内藤文治良、1914) 『甲州百人の顔』(豆州かわら版、1983、p212～213) 『郷土史にかがやく人々集合編1』(青少年のための山梨県民会議、1974、p155～169) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p101～102) 『下村善太郎と若尾逸平』(上毛新聞社事業局出版部、2018) ほか | 2020/10/28 | 甲府 白根 |
| ワカ シンイチロウ 若尾 真一郎 | 男 | 1942 2018 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 | 芸術・スポーツ | イラストレーター。 東京工芸大学芸術学部教授、同学部長を経て、2008年～2015年まで学長。2016年より名誉教授。 1975年国際ユーモアアートビエンナーレ金賞受賞。 1987年日本グラフィック展年間作家賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) | 『女または帰ろの歌』(若尾真一郎、1969) 『S氏の休日』(S/√4スタジオ、1973) 『GIGA』(用美社、1994) M/W(玄光社、2020) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p411) 『山梨日日新聞』(2004.3.7、5面、顔写真あり、1994.1.31、9面) | 2022/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-----|---------------|---|---------|---|---|---|------------|------|
| ワカオ チカシ 若尾 親 | 男 | 1957 | 山梨県 | 山梨県 | 『クマタカ』 | 芸術・スポーツ | 1957年、山梨県生まれ。東京電力株式会社勤務の後、1995年フリーカメラマンとして独立。ハケ岳山麓に移り住み、四季を彩る多くの鳥との出会いをもとめて全国を駆けめぐる。写真撮影と絵画制作の双方で自然の感動を伝えている。日本野鳥の会会員。(『クマタカ』) | 『カワセミ物語』(河出書房新社、2001) 『クマタカ』(平凡社、2011) | 『カワセミ物語』(河出書房新社、2001) 『クマタカ』(平凡社、2011) | 2022/10/21 | ながさか |
| ワカバヤシ ケンメイ 若林 賢明 | 男 | 1927 2021 | 身延町 | 身延町 | 『写真集-故郷の残影』 | 芸術・スポーツ | 山梨日日新聞社編集局退職後、フリーランスとして活躍。 | 『写真集-故郷の残影』(若林賢明、2010) | 『写真集-故郷の残影』(若林賢明、2010) | 2022/8/31 | 昭和 |
| ワカバヤシ サトル 若林 覚 | 男 | 1949 | 共和村 | 身延町 | 『私の美術散歩』 | 産業 | サントリー美術館副館長。 1971年にサントリー株式会社に入社。宣伝事業部長、文化事業部長、サン・アド社長、サン宣弘社社長を歴任。 1988年日本宣伝賞松下賞受賞。総合広告電通賞3年連続受賞。フジサンケイメディアミックス大賞3年連続受賞。新聞広告賞4年連続受賞。(『私の美術散歩』) 2010年～2017年東京・練馬区立美術館の館長を務めた。 山人会理事。「広告とアートのアドバイザー」として、広告や美術館運営についてアドバイスしている。(『山梨日日新聞』) | 『私の美術散歩』(生活の友社、2018) | 『私の美術散歩』(生活の友社、2018) 「山梨日日新聞」(2018.9.19、13面、顔写真あり) | 2022/9/30 | 甲府 |
| ワカバヤシ トウイチ 若林 東一 | 男 | 1912 1943 | 南部町 | 南部町 | 『南部町誌』 『改訂南部町誌』 『軍神若林東一中隊長の遺徳を偲ぶ』 | 歴史・地理 | 仙台軍教導導学校卒業に際し教育総監賞受賞。 陸軍予科士官学校首席、恩賜賞受賞静岡歩兵第34連隊旗手。 軍司令官により個人感状授与。(『南部町誌』) | | 『改訂南部町誌上巻』(南部町、1999、p964、顔写真あり) 『帝国軍人の最後』(伊藤正徳著、文芸春秋、1959) 『栄光よ永遠に人間若林大尉の生涯』(山田行雄著、弘文堂、1963) 『軍神若林中隊長の遺徳を偲ぶ』(吉野一正ほか著、2008) | 2012/8/14 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|---------------------|----|-------------------|-------|---------------|-------------------------------------|----------------------|---|---|---|------------|------|
| ワタナベ アキラ 渡辺 彬 | 男 | 1929 2014 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『私の道-山梨経済人聞き書き回顧録-』 『山梨日日新聞』 | 社会科学 自然科学 学・医学 | 医師。 蓬莱医院院長、 東京医科大学卒。 1957年、蓬莱医院内に産婦人科を 開業。 1977年、都留信用組合理事、1988 年、理事長に就任。 1994年、富士吉田商工会議所会 頭。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』、『私の道-山梨経済人聞き 書き回顧録-』) | 『蓬莱』(渡辺彬、2006) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p428) 『私の道-山梨経済人聞き書き回 顧録-』(山梨新報社、2007、p24~ 33) 『山梨日日新聞』(2014.10.10、31 面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ワタナベ カノウ 渡辺 寒鷗 | 男 | 1931 2009 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 『山梨日日新聞』 | 芸術・ス ポーツ | 書家。書真会主宰、日本刻字協会 会長。本名渡辺忠治。1955年、月刊 誌「書真」創刊、主幹に。萱沼寒石 から漢詩、内藤香石から篆刻の手 ほどきを受ける。1997年毎日書道 展文部科学大臣賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』) | 『論書百絶』(書真会、1984) 『ちよさんぼく』(書真会、1987) 『間鷗冗語』(書真会、1988) 『壺中大夢』(書真会、1990) 『渡水看華』(書真会、1992) 『起承転々』(書真会、1994) 『寸馬豆人』(書真会、1996) 『花好月圓』(書真会、2001) 『鷗巢詩集』(鷗巢吟社、2004) 『刻字』(美術年鑑社、2007) | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p428~ 429) 『山梨日日新聞』(2009.2.2、19面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ワタナベ キイチ 渡辺 喜一 | 男 | 1925 2014 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 | 社会科学 | 1950年大蔵省に入り、官房審議 官、理財局長などを歴任。 1983年退官後、国際金融情報セン ター初代理事長に就任。 1986年、中小企業金融公庫総裁と なる。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2013』) | | 『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p42) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ワタナベ ショウゾウ 渡部 省三 | 男 | 1849 1924 | 南部町 | 南部町 | 『改定南部町誌』 『南部地区における明治の群 像』 | 社会科学 | 甲府徽典館に学ぶ。 睦合村初代戸長。 殖産興業、睦合病院設立に力を入 れる。 1921年、明治神宮において琵琶浄 瑠璃を献奏。 1877年、第1回県会議員。 (『南部地区における明治の群像』) | | 『改定南部町誌』(南部町、1999、 p396) 『南部地区における明治の群像』 (渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、 p11) | 2012/8/14 | 南部 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|--------------------|----|-------------------|------|---------------|---------------------------------|-------------|--|--|---|------------|-------|
| ワタナベ セツホウ 渡辺 雪峰 | 男 | 1868 1949 | 出羽庄内 | 山形県 | 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ | 日本画家、書家。 本名精次。 1873年、下吉田村に帰住。画を渡辺小華に、漢学を広瀬青村、書を長三洲に学んだ。 1888年、龍池会が日本美術協会と改称され、発足時より参加、審査員、幹事を歴任する。 1902年、麴町区5番町に移住、日本文人画協会を創立する。 (『富士北麓と文人たち』、『山梨百科事典』) | | 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、ぎょうせい、1986、p26~40) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p1066)、 | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ワタナベ タマエ 渡邊 玉枝 | 女 | 1938 2022 | 山梨県 | 山梨県 | 『63歳のエヴェレスト』 | 芸術・スポーツ | 都留市立都留短期大学卒業。 日本酒類販売、神奈川勤務。 1998年読売新聞日本スポーツ賞(山岳)受賞、2002年神奈川県スポーツ賞(登山)受賞。 (『63歳のエヴェレスト』) 2012年5月、女性最高齢のエベレスト登頂記録を更新。 2012年山梨県イメージアップ大賞選出 (『山梨日日新聞』) | 『63歳のエヴェレスト』(白水社、2003) | 『読売新聞社』(2004.6.12) 『山梨日日新聞』(2004.6.1510面、顔写真あり) 『山梨日日新聞』(2012.5.20、1面、23面) 『山梨日日新聞』(2012.7.11、26面) | 2022/11/12 | 富士河口湖 |
| ワタナベ ナガヨシ 渡辺 長義 | 男 | 1916 2006 | 忍野村 | 忍野村 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 郷土史家。 1935年、山梨県林務部に勤務。林業試験場、富士分場長などを歴任。退職後、富士山の地質、溶岩流のほか、山梨郷土研究会に所属し富士古文献、伝説などの調査を行う。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『北富士の林業読本』(山梨県林業改良普及協会、1970) 『探求幻の富士古文献』(今日の話題社、2002) | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p433) 『山梨日日新聞』(2006.12.25、16面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ワタナベ フサオ 渡辺 房男 | 男 | 1944 | 甲府市 | 甲府市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2009』 | 歴史・地理 文学 | 小説家。 1999年歴史文学賞受賞、世田谷文学賞(小説部門)受賞。 2001年中村星湖文学賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2009』) | 『桜田門外十萬坪』(新人物往来社、1999) 『ゲルマン紙幣一億円』(講談社、2000) 『黄金の糸幕末甲州金始末』(実業之日本社、2014) 『大久保利通わが維新、いまだ成らず』(実業之日本社、2018)ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2009』(日外アソシエーツ、2008、p410) 『大久保利通わが維新、いまだ成らず』(実業之日本社、2018、著者紹介) 『山梨日日新聞』(2004.6.8、10面、2013.12.6、15面、2016.4.23、11面、顔写真あり、2018.11.16、13面、(顔写真あり)ほか | 2020/9/30 | 甲府 |

| 氏名 | 性別 | 生没年 | 出身地 | 出身地 現行自治体名 | 基本データ出典 | 分野 | 職業・業績など(出典) | 著作 | 本人紹介資料 | 作成日 | 記入館 |
|-------------------------------------|----|-------------------|-------|---------------|---------------------------------|-----------------|--|---|--|------------|-------|
| ワタナベ マコト (セイシュウ) 渡辺 信 (青洲) | 男 | 1839 1910 | 島上条村 | 甲斐市 | 『郷土史にかがやく人々』第8集 『山梨百科事典』 | 芸術・スポーツ 社会科学 | 小田切五郎右衛門の三男、本名五三郎。渡辺家の養子となる。後に信と改名、号は青洲。1885年青洲文庫を設置。後に「青洲文庫古版目録」を出版。1886年市川紡績所経営、1889年市川大門村初代村長。1907年大水害の際の青洲の功績を讃えて、青洲堤が残る。青洲文庫は1924年東京帝国大学図書館へ譲渡された。 (『郷土史にかがやく人々』第8集) | | 『市川大門町誌』(市川大門町誌刊行委員会、1967、p634) 『郷土にかがやく人々』第8集(青少年のための県民会議、1980、p1~32) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p1066) 『第十回ふるさと文化人展』(市川大門町教育委員会、1986) 『渡辺青洲伝』(清水茂夫述、出版年不明) 『郷土の先哲渡邊青洲』(中込蘇、2022) | 2020/10/9 | 市川三郷 |
| ワタナベ ミツシ 渡辺 光敏 | 男 | 1914 2005 | 富士吉田市 | 富士吉田市 | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『山梨日日新聞』 | 歴史・地理 | 山梨師範卒。小学校校長、教育研修所長等を歴任。東南アジア民俗調査を行い、韓国国立公州師範大学校歴史教育科で、東南アジア民俗史等の講座を担当。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』) | 『古代天皇家の渡来』(新人物往来社、1983) 『鬼・社・命と字・村』(丸沼書店、1986) 『日本語はなかった』(三一書房、1996) 『富士山信仰史』(渡辺光敏、1998) 『天皇とは』(彩流社、2002) ほか | 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p436~437) 『山梨日日新聞』(2005.10.4、20面) | 2014/11/25 | 富士吉田 |
| ワタナベ ユウゾウ 渡辺 勇三 | 男 | 1918 1999 | 韮崎市 | 韮崎市 | 『教育とは何か我がスパルタ教育45年の記』 | 社会科学 | 私塾「渡辺の門」経営者、週刊新潮(1966年)「現代の顔」、タイム誌に紹介、教育のために韮崎市に5000万円寄付(1993年)(『教育とは何か我がスパルタ教育45年の記』) | 『わがスパルタ教育二十年の記』(明玄書房、1972)『スパルタ教育渡辺の門』(荒木由太郎、1985)、『教育とは何か我がスパルタ教育45年の記』(山梨日日新聞出版局、1996) | 『教育とは何か我がスパルタ教育45年の記』(山梨日日新聞出版局、1996) | 2023/3/1 | 韮崎 |
| ワタナベ ヨシマサ 渡辺 喜正 | 男 | 1921 2009 | 河口村 | 富士河口湖町 | 『遠い道』 | 歴史・地理 | 河口湖干拓土地改良区庶務理事。 (『河口湖干拓史』) 第7回日本自分史大賞受賞。 (『遠い道』) | 『河口湖干拓史』(はる書房、1998) 『遠い道』(創永出版、2000) | | 2012/8/16 | 富士河口湖 |